

◎二千六年の海上の労働に関する条約

(略称) 海上労働条約

平成十八年	二月二十三日	ジュネーブで採択
平成二十四年	九月六日	国会承認
平成二十五年	八月二日	批准の閣議決定
平成二十五年	八月五日	批准書寄託
平成二十五年	八月七日	公布(条約第九号)
平成二十五年	八月七日	告示(外務省告示第二百七十五号)
平成二十六年	八月五日	我が国について効力発生

前文	四五一	ページ
第一条 一般的義務	四五二	
第二条 定義及び適用範囲	四五二	
第三条 基本的な権利及び原則	四五四	
第四条 船員の雇用についての権利及び社会的権利	四五五	
第五条 実施及び執行の責任	四五五	
第六条 規則並びに規範A部及び規範B部	四五六	
第七条 船舶所有者団体及び船員団体との協議	四五六	
第八条 効力発生	四五七	

第九 条	廃棄	四五七
第十 条	効力発生の効果	四五七
第十一 条	寄託	四五九
第十二 条	登録	四五九
第十三 条	特別三者委員会	四五九
第十四 条	この条約の改正	四六〇
第十五 条	規範の改正	四六一
第十六 条	正文	四六三
規則及び規範		四六四
第一章	船舶において労働する船員に関する最低限の条件	四六四
第1.1 規則	最低年齢	四六四
第1.2 規則	健康証明書	四六五
第1.3 規則	訓練及び資格	四六六
第1.4 規則	募集及び職業紹介	四六七
第二章	雇用条件	四七三
第2.1 規則	船員の雇用契約	四七三
第2.2 規則	賃金	四七五
第2.3 規則	労働時間及び休息時間	四七九
第2.4 規則	休暇についての権利	四八二
第2.5 規則	送還	四八四
第2.6 規則	船舶の滅失又は沈没に係る船員への補償	四八九
第2.7 規則	船員の配乗の水準	四八九

第2.8規則	船員の経歴及び技能の向上並びに雇用の機会	四九〇
第三章	居住設備、レクリエーション用の設備、食料及び料理の提供	四九二
第3.1規則	居住設備及びレクリエーション用の設備	四九二
第3.2規則	食料及び料理の提供	五〇五
第四章	健康の保護、医療、厚生及び社会保障による保護	五〇八
第4.1規則	船舶及び陸上における医療	五〇八
第4.2規則	船舶所有者の責任	五一三
第4.3規則	健康及び安全の保護並びに災害の防止	五一五
第4.4規則	陸上の厚生用施設の利用	五二四
第4.5規則	社会保障	五二八
第五章	遵守及び執行	五三一
第5.1規則	旗国の責任	五三一
第5.1.1規則	一般原則	五三一
第5.1.2規則	認定された団体の権限	五三三
第5.1.3規則	海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書	五三五
第5.1.4規則	検査及び執行	五四〇
第5.1.5規則	船舶内における苦情に関する手続	五四四
第5.1.6規則	海難	五四六
第5.2規則	寄港国の責任	五四七
第5.2.1規則	港における検査	五四七
第5.2.2規則	陸上における船員の苦情の取扱いに係る手続	五五〇
第5.3規則	労働力の供給に関する責任	五五二

付録A五—I	五五三
付録A五—II	五五四
付録A五—III	五六五
付録B五—I	五六六
末文	五六九



二千六年の海上の労働に関する条約

前文

国際労働機関の総会は、

理事会によりジュネーブに招集されて、二千六年二月七日にその第九十四回会期として会合し、

既存の国際的な海上の労働に関する条約及び勧告に含まれる全ての最新の基準並びに他の国際的な労働に関する条約（特に次に掲げるものを含む。）において認められる基本的な原則を可能な限り含む一の整合性のある文書を作成することを希望し、

千九百三十年の強制労働条約（第二十九号）

千九百四十八年の結社の自由及び団結権保護条約（第八十七号）

千九百四十九年の団結権及び団体交渉権条約（第九十八号）

千九百五十一年の同一報酬条約（第百号）

千九百五十七年の強制労働の廃止条約（第百五号）

千九百五十八年の差別（雇用及び職業）条約（第百十一号）

千九百七十三年の最低年齢条約（第百三十八号）

千九百九十九年の最悪の形態の児童労働条約（第百八十二号）

適切な労働条件を促進する国際労働機関の中核的な任務に留意し、

千九百九十八年の労働における基本的な原則及び権利に関する国際労働機関の宣言を想起し、

船員が国際労働機関の他の文書の規定の適用を受けること並びに全ての者に適用される基本的な権利及び自由として確立された他の権利を有することに留意し、

海運業の地球的規模の性質に鑑み、船員が特別の保護を必要とすることを考慮し、

改正された千九百七十四年の海上における人命の安全のための国際条約及び改正された千九百七十二年の海上における衝突の予防のための国際規則に関する条約に規定する船舶の安全、人間の安全保障及び船舶の管理の質に関する国際基準並びに改正された千九百七十八年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約に規定する船員の訓練及び能力の要件に留意し、

海上労働条約

MARITIME LABOUR CONVENTION, 2006

PREAMBLE

The General Conference of the International Labour Organization,

Having been convened at Geneva by the Governing Body of the International Labour Office, and having met in its Ninety-fourth Session on 7 February 2006, and

Desiring to create a single, coherent instrument embodying as far as possible all up-to-date standards of existing international maritime labour Conventions and Recommendations, as well as the fundamental principles to be found in other international labour Conventions, in particular:

- the Forced Labour Convention, 1930 (No. 29);
- the Freedom of Association and Protection of the Right to Organise Convention, 1948 (No. 87);
- the Right to Organise and Collective Bargaining Convention, 1949 (No. 98);
- the Equal Remuneration Convention, 1951 (No. 100);
- the Abolition of Forced Labour Convention, 1957 (No. 105);
- the Discrimination (Employment and Occupation) Convention, 1958 (No. 111);
- the Minimum Age Convention, 1973 (No. 138);
- the Worst Forms of Child Labour Convention, 1999 (No. 182); and
- Mindful of the core mandate of the Organization, which is to promote decent conditions of work, and
- Recalling the ILO Declaration on Fundamental Principles and Rights at Work, 1998, and
- Mindful also that seafarers are covered by the provisions of other ILO instruments and have other rights which are established as fundamental rights and freedoms applicable to all persons, and
- Considering that, given the global nature of the shipping industry, seafarers need special protection, and

Mindful also of the international standards on ship safety, human security and quality ship management in the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended, the Convention on the International Regulations for Preventing Collisions at Sea, 1972, as amended, and the seafarer training and competency requirements in the International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers, 1978, as amended, and

## 海上労働条約

千九百八十二年の海洋法に関する国際連合条約が、一般的な法的枠組みであつて海洋における全ての活動をその枠内で実施しなければならないものを定め、かつ、海事部門における国内的、地域的及び世界的な行動及び協力の基礎として戦略的な重要性があること並びに同条約の完全性が維持される必要があることを想起し、

千九百八十二年の海洋法に関する国際連合条約第九十四条の規定が、特に自国を旗国とする船舶における労働条件、乗組み及び社会上の事項について旗国の責務及び義務を定めていることを想起し、

国際労働機関憲章第十九条8において、いかなる場合にも、総会による条約若しくは勧告の採択又は加盟国による条約の批准は、条約又は勧告に規定された条件よりも関係労働者にとって有利な条件を確保している法律、裁決、慣行又は協約に影響を及ぼすものとみなされてはならないと規定していることを想起し、

この新たな文書について、適切な仕事の原則を誓約する政府、船舶所有者及び船員の間にできる限り広範に受け入れられることを確保するものとすべきであり、容易に更新することができるとすべきであり、並びに効果的に実施し、及び執行することができるとべきであると決意し、

前記の会期の議事日程の唯一の議題であるこのような文書の実現のための提案の採択を決定し、

その提案が国際条約の形式をとるべきであることを決定して、

次の条約（引用に際しては、「一千六年の海上の労働に関する条約と称する」とができる。）を「二千六年二月二十三日に採択する。」

### 一般的義務

#### 第一条

1 この条約を批准する加盟国は、適切な雇用に関する全ての船員の権利を確保するため、第六条に定めるところによりこの条約の規定を完全に実施することを約束する。

2 加盟国は、この条約の効果的な実施及び執行を確保するために相互に協力する。

### 定義及び適用範囲

#### 第二条

1 この条約の適用上、特定の規定において別段の定めがある場合を除くほか、

Recalling that the United Nations Convention on the Law of the Sea, 1982, sets out a general legal framework within which all activities in the oceans and seas must be carried out and is of strategic importance as the basis for national, regional and global action and cooperation in the marine sector, and that its integrity needs to be maintained, and

Recalling that Article 94 of the United Nations Convention on the Law of the Sea, 1982, establishes the duties and obligations of a flag State with regard to, inter alia, labour conditions, crewing and social matters on ships that fly its flag, and

Recalling paragraph 8 of article 19 of the Constitution of the International Labour Organisation which provides that in no case shall the adoption of any Convention or Recommendation by the Conference or the ratification of any Convention by any Member be deemed to affect any law, award, custom or agreement which ensures more favourable conditions to the workers concerned than those provided for in the Convention or Recommendation, and

Determined that this new instrument should be designed to secure the widest possible acceptability among governments, shipowners and seafarers committed to the principles of decent work, that it should be readily updateable and that it should lend itself to effective implementation and enforcement, and

Having decided upon the adoption of certain proposals for the realization of such an instrument, which is the only item on the agenda of the session, and

Having determined that these proposals shall take the form of an international Convention;

adopts this twenty-third day of February of the year two thousand and six the following Convention, which may be cited as the Maritime Labour Convention, 2006.

### GENERAL OBLIGATIONS

#### Article 1

1. Each Member which ratifies this Convention undertakes to give complete effect to its provisions in the manner set out in Article VI in order to secure the right of all seafarers to decent employment.

2. Members shall cooperate with each other for the purpose of ensuring the effective implementation and enforcement of this Convention.

### DEFINITIONS AND SCOPE OF APPLICATION

#### Article 11

1. For the purpose of this Convention and unless provided otherwise in particular provisions, the term:

- (a) 「権限のある機関」とは、関係する規定の対象となる事項に関して法的効力を有する規則、命令その他の指示を発し、及び執行する権限を有する閣僚、官庁その他機関をいう。
- (b) 「海上労働遵守措置認定書」とは、第1.1.規則に規定する認定書をいう。
- (c) 「総トン数」とは、千九百六十九年の船舶のトン数の測定に関する国際条約附属書Iに定めるトン数の測定に関する規則又はこれを承継する条約に従って計算される総トン数をいう。国際海事機関によって採択されたトン数の測定に関する暫定的な制度の対象となる船舶については、総トン数は、国際トン数証書（千九百六十九年）の備考欄に記載されるものをいう。
- (d) 「海上労働証書」とは、第1.3.規則に規定する証書をいう。
- (e) 「この条約上の義務」とは、この条約の本文並びに規則及び規範A部に定める義務をいう。
- (f) 「船員」とは、職務のいかんを問わず、この条約が適用される船舶において雇用され、従業し、又は労働する者をいう。
- (g) 「船員の雇用契約」には、雇用契約及び雇入契約の双方を含む。
- (h) 「船員の募集及び職業紹介のための機関」とは、公的部門又は民間部門において、船舶所有者に代わって船員を募集すること又は船員を船舶所有者に紹介することに従事する個人又は会社、協会、機関その他の団体をいう。
- (i) 「船舶」とは、船舶のうち、内陸水域又は外洋の影響から保護されている水域若しくは港湾規則の適用水域若しくはこれらの水域に近接する水域のみを航行する船舶以外のものをいう。
- (j) 「船舶所有者」とは、船舶の所有者又は管理人、代理人、探備船者その他の当該所有者以外の団体若しくは個人であって、当該所有者から船舶の運航に係る責任を引き受け、かつ、その引受けに際して、この条約に従って船舶所有者に課される義務及び責任を引き継ぐことに同意したものをいう。この場合において、別の団体又は個人が船舶所有者の義務又は責任の一部を果たすか否かを問わない。
- 2 この条約は、別段の明文の規定がある場合を除くほか、全ての船員について適用する。
- 3 いずれの範疇<sup>scope</sup>の者をこの条約の適用上船員と認めるべきか否かの問題について疑義がある場合には、その問題については、加盟国の権限のある機関が当該問題に関係のある船舶所有者団体及び船員団体と協議した後決定する。

## 海上労働条約

- (a) *competent authority* means the minister, government department or other authority having power to issue and enforce regulations, orders or other instructions having the force of law in respect of the subject matter of the provision concerned;
- (b) *declaration of maritime labour compliance* means the declaration referred to in Regulation 5.1.3;
- (c) *gross tonnage* means the gross tonnage calculated in accordance with the tonnage measurement regulations contained in Annex I to the International Convention on Tonnage Measurement of Ships, 1969, or any successor Convention; for ships covered by the tonnage measurement interim scheme adopted by the International Maritime Organization, the gross tonnage is that which is included in the REMARKS column of the International Tonnage Certificate (1969);
- (d) *maritime labour certificate* means the certificate referred to in Regulation 5.1.3;
- (e) *requirements of this Convention* refers to the requirements in these Articles and in the Regulations and Part A of the Code of this Convention;
- (f) *seafarer* means any person who is employed or engaged or works in any capacity on board a ship to which this Convention applies;
- (g) *seafarers' employment agreement* includes both a contract of employment and articles of agreement;
- (h) *seafarer recruitment and placement service* means any person, company, institution, agency or other organization, in the public or the private sector, which is engaged in recruiting seafarers on behalf of shipowners or placing seafarers with shipowners;
- (i) *ship* means a ship other than one which navigates exclusively in inland waters or waters within, or closely adjacent to, sheltered waters or areas where port regulations apply;
- (j) *shipowner* means the owner of the ship or another organization or person, such as the manager, agent or bareboat charterer, who has assumed the responsibility for the operation of the ship from the owner and who, on assuming such responsibility, has agreed to take over the duties and responsibilities imposed on shipowners in accordance with this Convention, regardless of whether any other organization or persons fulfil certain of the duties or responsibilities on behalf of the shipowner.
2. Except as expressly provided otherwise, this Convention applies to all seafarers.
3. In the event of doubt as to whether any categories of persons are to be regarded as seafarers for the purpose of this Convention, the question shall be determined by the competent authority in each Member after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned with this question.

4 この条約は、別段の明文の規定がある場合を除くほか、通常、商業活動に従事する全ての船舶（公有のものであるか私有のものであるかを問わない。）であつて、漁ろう又は「これに類する業務に従事する船舶及びダウ、ジャンクその他の伝統的構造の船舶以外のものについて適用する。」（この条約は、軍艦又は軍の補助艦については、適用しない。）

5 この条約を一の船舶又は特定の範疇の船舶について適用するか否かの問題について疑義がある場合には、その問題については、加盟国の権限のある機関が関係のある船舶所有者団体及び船員団体と協議した後決定する。

6 権限のある機関が一の船舶又は特定の範疇の船舶であつて加盟国を旗国とするものについて第六条1に規定する規範の特定の細目を適用することが現時点では合理的でない又は実行可能でないと決定した場合には、当該規範の関連する規定は、その対象である事項が国内法令、団体交渉の合意又は他の措置により別途取り扱われる限りにおいて適用しない。その決定は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した上でのみ、かつ、国際航行に従事しない総トン数二百トン未満の船舶についてのみ行うことができる。

7 3、5又は6の規定に基づく加盟国による決定は、国際労働事務局長に通報するものとし、同事務局長は、国際労働機関の加盟国に通報する。

8 別段の明文の規定がない限り、「この条約」というときは、規則及び規範を含めていうものとする。

基本的な権利及び原則

第三条

加盟国は、自国の法令の規定が、この条約との関係において、次に掲げるものについての基本的な権利を尊重することを確認する。

- (a) 結社の自由及び団体交渉権の実効的な承認
- (b) あらゆる形態の強制労働の撤廃
- (c) 児童労働の実効的な廃止
- (d) 雇用及び職業についての差別の撤廃

4. Except as expressly provided otherwise, this Convention applies to all ships, whether publicly or privately owned, ordinarily engaged in commercial activities, other than ships engaged in fishing or in similar pursuits and ships of traditional build such as dhows and junks. This Convention does not apply to warships or naval auxiliaries.

5. In the event of doubt as to whether this Convention applies to a ship or particular category of ships, the question shall be determined by the competent authority in each Member after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned.

6. Where the competent authority determines that it would not be reasonable or practicable at the present time to apply certain details of the Code referred to in Article VI, paragraph 1, to a ship or particular categories of ships flying the flag of the Member, the relevant provisions of the Code shall not apply to the extent that the subject matter is dealt with differently by national laws or regulations or collective bargaining agreements or other measures. Such a determination may only be made in consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned and may only be made with respect to ships of less than 200 gross tonnage not engaged in international voyages.

7. Any determinations made by a Member under paragraph 3 or 5 or 6 of this Article shall be communicated to the Director-General of the International Labour Office, who shall notify the Members of the Organization.

8. Unless expressly provided otherwise, a reference to this Convention constitutes at the same time a reference to the Regulations and the Code.

FUNDAMENTAL RIGHTS AND PRINCIPLES

Article III

Each Member shall satisfy itself that the provisions of its law and regulations respect, in the context of this Convention, the fundamental rights to:

- (a) freedom of association and the effective recognition of the right to collective bargaining;
- (b) the elimination of all forms of forced or compulsory labour;
- (c) the effective abolition of child labour; and
- (d) the elimination of discrimination in respect of employment and occupation.

船員の雇用についての権利及び社会的権利

第四条

- 1 全ての船員は、安全基準に適合する安全な職場についての権利を有する。
- 2 全ての船員は、公正な雇用条件についての権利を有する。
- 3 全ての船員は、船舶における適切な労働条件及び生活条件についての権利を有する。
- 4 全ての船員は、健康の保護、医療、厚生に係る措置その他の形態の社会的な保護についての権利を有する。
- 5 加盟国は、自国の管轄権の範囲内で、1から4までに規定する船員の雇用についての権利及び社会的権利がこの条約上の義務に従って完全に実現されることを確保する。その実現は、この条約に別段の定めがある場合を除くほか、国内法令、適用可能な団体交渉の合意又は他の措置若しくは慣行を通じて達成することができる。

実施及び執行の責任

第五条

- 1 加盟国は、自国の管轄の下にある船舶及び船員について、この条約に基づく約束を履行するために制定した法令その他の措置を実施し、及び執行する。
- 2 加盟国は、この条約上の義務の遵守を確保するための制度（定期的な検査、報告、監視及び適用される法令に基づく法的手続を含む。）を構築することにより、自国を旗国とする船舶に対し有効に管轄権を行使し、及び有効に規制を行う。
- 3 加盟国は、自国を旗国とする船舶がこの条約によって要求される海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書を備えることを確保する。
- 4 この条約の適用を受ける船舶は、旗国以外の加盟国の港にある場合には、国際法に従い、当該船舶がこの条約上の義務を遵守しているか否かを決定するため、当該加盟国による検査を受けることがある。
- 5 加盟国は、船員の募集及び職業紹介のための機関が自国の領域内に設立される場合には、当該船員の募集及び職業紹介のための機関に対し有効に管轄権を行使し、及び有効に規制を行う。

海上労働条約

SEAFARERS' EMPLOYMENT AND SOCIAL RIGHTS

Article IV

1. Every seafarer has the right to a safe and secure workplace that complies with safety standards.
2. Every seafarer has a right to fair terms of employment.
3. Every seafarer has a right to decent working and living conditions on board ship.
4. Every seafarer has a right to health protection, medical care, welfare measures and other forms of social protection.
5. Each Member shall ensure, within the limits of its jurisdiction, that the seafarers' employment and social rights set out in the preceding paragraphs of this Article are fully implemented in accordance with the requirements of this Convention. Unless specified otherwise in the Convention, such implementation may be achieved through national laws or regulations, through applicable collective bargaining agreements or through other measures or in practice.

IMPLEMENTATION AND ENFORCEMENT RESPONSIBILITIES

Article V

1. Each Member shall implement and enforce laws or regulations or other measures that it has adopted to fulfil its commitments under this Convention with respect to ships and seafarers under its jurisdiction.
2. Each Member shall effectively exercise its jurisdiction and control over ships that fly its flag by establishing a system for ensuring compliance with the requirements of this Convention, including regular inspections, reporting, monitoring and legal proceedings under the applicable laws.
3. Each Member shall ensure that ships that fly its flag carry a maritime labour certificate and a declaration of maritime labour compliance as required by this Convention.
4. A ship to which this Convention applies may, in accordance with international law, be inspected by a Member other than the flag State, when the ship is in one of its ports, to determine whether the ship is in compliance with the requirements of this Convention.
5. Each Member shall effectively exercise its jurisdiction and control over seafarer recruitment and placement services, if these are established in its territory.



6 加盟国は、この条約上の義務に違反することを禁止し、及び国際法に従い、その違反を防止するために十分な内容の法令に基づき、制裁措置を定め、又は是正措置をとることを要求する。

7 加盟国は、この条約を批准していない国を旗国とする船舶がこの条約を批准している国を旗国とする船舶よりも有利な取扱いを受けないことを確保するような方法でこの条約に基づく自国の責任を果たす。

規則並びに規範A部及び規範B部

第六条

1 規則及び規範A部の規定は、義務的なものとする。規範B部の規定は、義務的なものではない。

2 加盟国は、規則に定める権利及び原則を尊重すること並びに規範A部の関連規定に定める方法で各規則を実施することを約束する。さらに、加盟国は、規範B部に定める方法で自国の責任を果たすことについて妥当な考慮を払う。

3 規範A部に定める方法で権利及び原則を実施することができない加盟国は、この条約に別段の明文の規定がない限り、規範A部の規定と実質的に同等な自国の法令の規定又は他の措置を通じて規範A部を実施することができる。

4 3の規定の適用上に限り、法令、団体交渉の合意又は他の実施のための措置は、加盟国が次のことを確認する場合には、この条約との関係において、実質的に同等であるとみなす。

- (a) 関係する規範A部の規定の一般的な趣旨及び目的の完全な達成に資するものであること。
- (b) 関係する規範A部の規定の趣旨を実現するものであること。

船舶所有者団体及び船員団体との協議

第七条

この条約により船舶所有者団体及び船員団体との協議が必要とされるこの条約の特例、適用除外又は他の弾力的な適用については、加盟国内に代表的な船舶所有者団体又は船員団体が存在しない場合には、第十三条に規定する委員会との協議を通じてのみ、当該加盟国が決定することができ。

6. Each Member shall prohibit violations of the requirements of this Convention and shall, in accordance with international law, establish sanctions or require the adoption of corrective measures under its laws which are adequate to discourage such violations.

7. Each Member shall implement its responsibilities under this Convention in such a way as to ensure that the ships that fly the flag of any State that has not ratified this Convention do not receive more favourable treatment than the ships that fly the flag of any State that has ratified it.

REGULATIONS AND PARTS A AND B OF THE CODE

Article VI

1. The Regulations and the provisions of Part A of the Code are mandatory. The provisions of Part B of the Code are not mandatory.

2. Each Member undertakes to respect the rights and principles set out in the Regulations and to implement each Regulation in the manner set out in the corresponding provisions of Part A of the Code. In addition, the Member shall give due consideration to implementing its responsibilities in the manner provided for in Part B of the Code.

3. A Member which is not in a position to implement the rights and principles in the manner set out in Part A of the Code may, unless expressly provided otherwise in this Convention, implement Part A through provisions in its laws and regulations or other measures which are substantially equivalent to the provisions of Part A.

4. For the sole purpose of paragraph 3 of this Article, any law, regulation, collective agreement or other implementing measure shall be considered to be substantially equivalent, in the context of this Convention, if the Member satisfies itself that:

- (a) it is conducive to the full achievement of the general object and purpose of the provision or provisions of Part A of the Code concerned; and
- (b) it gives effect to the provision or provisions of Part A of the Code concerned.

CONSULTATION WITH SHIPOWNERS' AND SEAFARERS' ORGANIZATIONS

Article VII

Any derogation, exemption or other flexible application of this Convention for which the Convention requires consultation with shipowners' and seafarers' organizations may, in cases where representative organizations of shipowners or of seafarers do not exist within a Member, only be decided by that Member through consultation with the Committee referred to in Article XIII.

効力発生

効力発生

第八条

- 1 この条約の正式な批准は、登録のため国際労働事務局長に通告する。
- 2 この条約は、国際労働機関の加盟国であつて自国による批准が国際労働事務局長により登録されたもののみを拘束する。
- 3 この条約は、三十以上の加盟国であつてその商船舶腹量の合計が総トン数で世界の商船舶腹量の三十三パーセントに相当する商船舶腹量以上となるものの批准が登録された日の後十二箇月で効力を生ずる。
- 4 この条約は、この条約が効力を生じた後は、いずれの加盟国についても、自国による批准が登録された日の後十二箇月で効力を生ずる。

廃棄

第九条

- 1 この条約を批准した加盟国は、この条約が最初に効力を生じた日から十年を経過した後は、登録のため国際労働事務局長に送付する文書によつてこの条約を廃棄する（と）が（た）る。廃棄は、登録された日の後一年間は効力を生じない。
- 2 1に規定する十年の期間が満了した後一年以内にこの条に定める廃棄の権利を行使しない加盟国は、更に十年間拘束を受けるものとし、その後は、新たな十年の期間が満了する（と）に、この条に定める条件に従つてこの条約を廃棄することができる。

効力発生の効果

第十条

この条約は、次の条約を改正するものである。

- 千九百二十年の最低年齢（海上）条約（第七号）
- 千九百二十年の失業補償（海難）条約（第八号）
- 千九百二十年の海員の職業紹介条約（第九号）
- 千九百二十一年の年少者（海上）の体格検査条約（第十六号）
- 千九百二十六年の海員の雇入契約条約（第二十二号）
- 千九百二十六年の海員送還条約（第二十三号）
- 千九百三十六年の職員海技免状条約（第五十三号）

海上労働条約

ENTRY INTO FORCE

Article VIII

1. The formal ratifications of this Convention shall be communicated to the Director-General of the International Labour Office for registration.
2. This Convention shall be binding only upon those Members of the International Labour Organization whose ratifications have been registered by the Director-General.
3. This Convention shall come into force 12 months after the date on which there have been registered ratifications by at least 30 Members with a total share in the world gross tonnage of ships of at least 33 per cent.
4. Thereafter, this Convention shall come into force for any Member 12 months after the date on which its ratification has been registered.

DENUNCIATION

Article IX

1. A Member which has ratified this Convention may denounce it after the expiration of ten years from the date on which the Convention first comes into force, by an act communicated to the Director-General of the International Labour Office for registration. Such denunciation shall not take effect until one year after the date on which it is registered.
2. Each Member which does not, within the year following the expiration of the period of ten years mentioned in paragraph 1 of this Article, exercise the right of denunciation provided for in this Article, shall be bound for another period of ten years and, thereafter, may denounce this Convention at the expiration of each new period of ten years under the terms provided for in this Article.

EFFECT OF ENTRY INTO FORCE

Article X

This Convention revises the following Conventions:

- Minimum Age (Sea) Convention, 1920 (No. 7)
- Unemployment Indemnity (Shipwreck) Convention, 1920 (No. 8)
- Placing of Seamen Convention, 1920 (No. 9)
- Medical Examination of Young Persons (Sea) Convention, 1921 (No. 16)
- Seamen's Articles of Agreement Convention, 1926 (No. 22)
- Repatriation of Seamen Convention, 1926 (No. 23)
- Officers' Competency Certificates Convention, 1936 (No. 53)

効力発生  
の  
効果

廃  
棄

## 海上労働条約

千九百三十六年の有給休暇（海上）条約（第五十四号）  
千九百三十六年の船舶所有者責任（傷病海員）条約（第五十五号）  
千九百三十六年の傷病保険（海上）条約（第五十六号）  
千九百三十六年の労働時間及び配乗（海上）条約（第五十七号）  
千九百三十六年の最低年齢（海上）改正条約（第五十八号）  
千九百四十六年の食料及び司厨（船舶乗組員）条約（第六十八号）  
千九百四十六年の船舶料理士資格証明条約（第六十九号）  
千九百四十六年の社会保障（船員）条約（第七十号）  
千九百四十六年の有給休暇（船員）条約（第七十二号）  
千九百四十六年の健康検査（船員）条約（第七十三号）  
千九百四十六年の有能海員の資格証明条約（第七十四号）  
千九百四十六年の乗組員設備条約（第七十五号）  
千九百四十六年の賃金、労働時間及び配乗（海上）条約（第七十六号）  
千九百四十九年の有給休暇（船員）改正条約（第九十一号）  
千九百四十九年の乗組員設備改正条約（第九十二号）  
千九百四十九年の賃金、労働時間及び配乗（海上）改正条約（第九十三号）  
千九百五十八年の賃金、労働時間及び配乗（海上）改正条約（第九十九号）  
千九百七十年の乗組員設備（補足規定）条約（第一百三十三号）  
千九百七十年の災害防止（船員）条約（第一百三十四号）  
千九百七十六年の雇用（船員）の継続性条約（第一百四十五号）  
千九百七十六年の船員の年次有給休暇条約（第一百四十六号）  
千九百七十六年の商船（最低基準）条約（第一百四十七号）  
千九百七十六年の商船（最低基準）条約（第一百四十七号）の千九百九十六年の議定書  
千九百八十七年の船員の厚生条約（第一百六十三号）  
千九百八十七年の健康の保護及び医療（船員）条約（第一百六十四号）

## 四五八

Holidays with Pay (Sea) Convention, 1936 (No. 54)  
Shipowners' Liability (Sick and Injured Seamen) Convention, 1936 (No. 55)  
Sickness Insurance (Sea) Convention, 1936 (No. 56)  
Hours of Work and Manning (Sea) Convention, 1936 (No. 57)  
Minimum Age (Sea) Convention (Revised), 1936 (No. 58)  
Food and Catering (Ships' Crews) Convention, 1946 (No. 68)  
Certification of Ships' Cooks Convention, 1946 (No. 69)  
Social Security (Seafarers) Convention, 1946 (No. 70)  
Paid Vacations (Seafarers) Convention, 1946 (No. 72)  
Medical Examination (Seafarers) Convention, 1946 (No. 73)  
Certification of Able Seamen Convention, 1946 (No. 74)  
Accommodation of Crews Convention, 1946 (No. 75)  
Wages, Hours of Work and Manning (Sea) Convention, 1946 (No. 76)  
Paid Vacations (Seafarers) Convention (Revised), 1949 (No. 91)  
Accommodation of Crews Convention (Revised), 1949 (No. 92)  
Wages, Hours of Work and Manning (Sea) Convention (Revised), 1949 (No. 93)  
Wages, Hours of Work and Manning (Sea) Convention (Revised), 1958 (No. 109)  
Accommodation of Crews (Supplementary Provisions) Convention, 1970 (No. 133)  
Prevention of Accidents (Seafarers) Convention, 1970 (No. 134)  
Continuity of Employment (Seafarers) Convention, 1976 (No. 145)  
Seafarers' Annual Leave with Pay Convention, 1976 (No. 146)  
Merchant Shipping (Minimum Standards) Convention, 1976 (No. 147)  
Protocol of 1996 to the Merchant Shipping (Minimum Standards) Convention, 1976 (No. 147)  
Seafarers' Welfare Convention, 1987 (No. 163)  
Health Protection and Medical Care (Seafarers) Convention, 1987 (No. 164)



千九百八十七年の社会保障（船員）改正条約（第百六十五号）  
千九百八十七年の船員送還改正条約（第百六十六号）  
千九百九十六年の労働監督（船員）条約（第百七十八号）  
千九百九十六年の船員の募集及び職業紹介条約（第百七十九号）  
千九百九十六年の船員の労働時間及び船舶の配乗条約（第百八十号）

寄託

第十一条

1 国際労働事務局長は、この条約に基づく全ての批准、受諾及び廃棄の登録について国際労働機関の全ての加盟国に通報する。

2 国際労働事務局長は、第八条3に定める条件が満たされたときは、この条約が効力を生ずる日につき国際労働機関の加盟国の注意を喚起する。

第十二条

国際労働事務局長は、国際連合憲章第百二条の規定による登録のため、この条約に従って登録された全ての批准、受諾及び廃棄の完全な明細を国際連合事務総長に通報する。

特別三者委員会

第十三条

1 国際労働機関の理事会は、海上の労働基準の分野における特別な権限を有する委員会を設立し、当該委員会を通じてこの条約の運用を継続的に検討する。

2 1に規定する委員会は、この条約に従って取り扱われる事項のため、この条約を批准した各加盟国の政府が指名する二人の代表者並びに理事会が合同海事委員会と協議した後任命する船舶所有者及び船員の代表者で構成する。

3 この条約を批准していない加盟国の政府の代表者は、1に規定する委員会に参加することができ、この条約に従って取り扱われる事項についての投票権を有しない。理事会は、他の機関又は団体に對し当該委員会にオブザーバーを出席させるよう招請することができ、

Social Security (Seafarers) Convention (Revised), 1987 (No. 165)  
Repatriation of Seafarers Convention (Revised), 1987 (No. 166)  
Labour Inspection (Seafarers) Convention, 1996 (No. 178)  
Recruitment and Placement of Seafarers Convention, 1996 (No. 179)  
Seafarers' Hours of Work and the Manning of Ships Convention, 1996 (No. 180).

DEPOSITARY FUNCTIONS

Article XI

1. The Director-General of the International Labour Office shall notify all Members of the International Labour Organization of the registration of all ratifications, acceptances and denunciations under this Convention.

2. When the conditions provided for in paragraph 3 of Article VIII have been fulfilled, the Director-General shall draw the attention of the Members of the Organization to the date upon which the Convention will come into force.

Article XII

The Director-General of the International Labour Office shall communicate to the Secretary-General of the United Nations for registration in accordance with Article 102 of the Charter of the United Nations full particulars of all ratifications, acceptances and denunciations registered under this Convention.

SPECIAL TRIPARTITE COMMITTEE

Article XIII

1. The Governing Body of the International Labour Office shall keep the working of this Convention under continuous review through a committee established by it with special competence in the area of maritime labour standards.

2. For matters dealt with in accordance with this Convention, the Committee shall consist of two representatives nominated by the Government of each Member which has ratified this Convention, and the representatives of Shipowners and Seafarers appointed by the Governing Body after consultation with the Joint Maritime Commission.

3. The Government representatives of Members which have not yet ratified this Convention may participate in the Committee but shall have no right to vote on any matter dealt with in accordance with this Convention. The Governing Body may invite other organizations or entities to be represented on the Committee by observers.

- 4 1に規定する委員会における船舶所有者及び船員の代表者の票については、関係する会合に代表者を出席させ、かつ、投票権を有する政府の総投票権数の半数を船舶所有者のグループ及び船員のグループそれぞれが有することを確保するように加重する。

## この条約の改正

## 第十四条

- 1 この条約の全ての規定の改正は、国際労働機関憲章第十九条並びに条約の採択のための国際労働機関の規則及び手続の枠組みにおいて、国際労働機関の総会が採択することができる。規範の改正は、第十五条に定める手続に従って採択することもできる。
- 2 改正が採択される前にこの条約の批准が登録された加盟国の場合には、当該改正は、批准のために当該加盟国に送付する。
- 3 2に規定する加盟国以外の国際労働機関の加盟国の場合には、改正された条約は、国際労働機関憲章第十九条の規定に従って批准のために当該加盟国に送付する。
- 4 改正は、三十以上の加盟国であつてその商船舶腹量の合計が総トン数で世界の商船舶腹量の三十三パーセントに相当する商船舶腹量以上となるものの当該改正の批准又は改正された条約の批准が登録された日に受諾されたものとみなす。
- 5 国際労働機関憲章第十九条の枠組みにおいて採択された改正は、国際労働機関の加盟国であつて自国による批准が国際労働事務局長により登録されたもののみを拘束する。
- 6 2に規定する加盟国については、改正は、4に規定する受諾の日の後十二箇月を経過した日又は当該改正の批准が登録された日の後十二箇月を経過した日のいずれか遅い日に効力を生ずる。
- 7 3に規定する加盟国については、9の規定に従うことを条件として、改正された条約は、4に規定する受諾の日の後十二箇月を経過した日又は当該改正された条約の批准が登録された日の後十二箇月を経過した日のいずれか遅い日に効力を生ずる。
- 8 改正が採択される前にこの条約の批准が登録された加盟国で当該改正を批准していないものについては、この条約は、当該改正を行うことなく効力を有する。

4. The votes of each Shipowner and Seafarer representative in the Committee shall be weighted so as to ensure that the Shipowners' group and the Seafarers' group each have half the voting power of the total number of governments which are represented at the meeting concerned and entitled to vote.

## AMENDMENT OF THIS CONVENTION

## Article XIV

1. Amendments to any of the provisions of this Convention may be adopted by the General Conference of the International Labour Organization in the framework of article 19 of the Constitution of the International Labour Organisation and the rules and procedures of the Organization for the adoption of Conventions. Amendments to the Code may also be adopted following the procedures in Article XV.
2. In the case of Members whose ratifications of this Convention were registered before the adoption of the amendment, the text of the amendment shall be communicated to them for ratification.
3. In the case of other Members of the Organization, the text of the Convention as amended shall be communicated to them for ratification in accordance with article 19 of the Constitution.
4. An amendment shall be deemed to have been accepted on the date when there have been registered ratifications, of the amendment or of the Convention as amended, as the case may be, by at least 30 Members with a total share in the world gross tonnage of ships of at least 35 per cent.
5. An amendment adopted in the framework of article 19 of the Constitution shall be binding only upon those Members of the Organization whose ratifications have been registered by the Director-General of the International Labour Office.
6. For any Member referred to in paragraph 2 of this Article, an amendment shall come into force 12 months after the date of acceptance referred to in paragraph 4 of this Article or 12 months after the date on which its ratification of the amendment has been registered, whichever date is later.
7. Subject to paragraph 9 of this Article, for Members referred to in paragraph 3 of this Article, the Convention as amended shall come into force 12 months after the date of acceptance referred to in paragraph 4 of this Article or 12 months after the date on which their ratifications of the Convention have been registered, whichever date is later.
8. For those Members whose ratification of this Convention was registered before the adoption of an amendment but which have not ratified the amendment, this Convention shall remain in force without the amendment concerned.

## 規範の改正

9 改正が採択された後で4に規定する日前にこの条約の批准が登録された加盟国は、批准書に付する宣言書において、その批准が当該改正を行っていない条約に関するものであることを明示することができる。この条約は、当該宣言書を付した批准の場合には、その批准が登録された日の後十二箇月で当該加盟国について効力を生ずる。批准書に当該宣言書が付されない場合又は4に規定する日以後に批准が登録された場合には、この条約は、その批准が登録された日の後十二箇月で当該加盟国について効力を生ずるものとし、当該改正は、7の規定により効力を生じた時に、当該改正に別段の定めがある場合を除くほか、当該加盟国を拘束する。

### 規範の改正

#### 第十五条

1 規範は、第十四条に定める手続又は別段の明文の規定がない限り、この条に定める手続に従って改正することができる。

2 規範の改正は、国際労働機関の加盟国の政府又は第十三条に規定する委員会における代表者として任命された船舶所有者のグループ若しくは船員のグループが国際労働事務局長に提案することができる。加盟国の政府が提案する改正案は、この条約を批准している五以上の加盟国の政府又は当該船舶所有者のグループ若しくは当該船員のグループが提案し、又は支持するものでなければならない。

3 国際労働事務局長は、改正案が2に定める要件を満たすことを確認した上で、当該改正案を適当と認める意見又は提案を付して、国際労働機関の全ての加盟国に速やかに通報し、六箇月以内又は理事会が定める他の期間（三箇月以上とし、九箇月以内とする。）内に当該改正案に関する見解又は提案を送付するよう要請する。

4 改正案は、3に規定する期間が満了した時に、3の規定に基づいて表明された見解又は提案の要約を付して、第十三条に規定する委員会に対し、その会合における検討のために送付する。改正は、次の全ての要件を満たす場合には、当該委員会によって採択されたものとする。

- (a) この条約を批准した加盟国の政府の半数以上が改正案を検討する会合に代表者を出席させていること。
- (b) 当該委員会の委員の三分の二以上の多数が改正に賛成の投票を行うこと。

9. Any Member whose ratification of this Convention is registered after the adoption of the amendment but before the date referred to in paragraph 4 of this Article may, in a declaration accompanying the instrument of ratification, specify that its ratification relates to the Convention without the amendment concerned. In the case of a ratification with such a declaration, the Convention shall come into force for the Member concerned 12 months after the date on which the ratification was registered. Where an instrument of ratification is not accompanied by such a declaration, or where the ratification is registered on or after the date referred to in paragraph 4, the Convention shall come into force for the Member concerned 12 months after the date on which the ratification was registered and, upon its entry into force in accordance with paragraph 7 of this Article, the amendment shall be binding on the Member concerned unless the amendment provides otherwise.

### AMENDMENTS TO THE CODE

#### Article XV

1. The Code may be amended either by the procedure set out in Article XIV or, unless expressly provided otherwise, in accordance with the procedure set out in the present Article.

2. An amendment to the Code may be proposed to the Director-General of the International Labour Office by the government of any Member of the Organization or by the group of Shipowner representatives or the group of Seafarer representatives who have been appointed to the Committee referred to in Article XIII. An amendment proposed by a government must have been proposed by, or be supported by, at least five governments of Members that have ratified the Convention or by the group of Shipowner or Seafarer representatives referred to in this paragraph.

3. Having verified that the proposal for amendment meets the requirements of paragraph 2 of this Article, the Director-General shall promptly communicate the proposal, accompanied by any comments or suggestions deemed appropriate, to all Members of the Organization, with an invitation to them to transmit their observations or suggestions concerning the proposal within a period of six months or such other period (which shall not be less than three months nor more than nine months) prescribed by the Governing Body.

4. At the end of the period referred to in paragraph 3 of this Article, the proposal, accompanied by a summary of any observations or suggestions made under that paragraph, shall be transmitted to the Committee for consideration at a meeting. An amendment shall be considered adopted by the Committee if:

- (a) at least half the governments of Members that have ratified this Convention are represented in the meeting at which the proposal is considered; and
- (b) a majority of at least two-thirds of the Committee members vote in favour of the amendment; and

- (c) (b)に規定する三分の二以上の多数の票が、改正案が投票に付される会合において登録された当該委員会の委員である政府の投票権数、船舶所有者の投票権数及び船員の投票権数のそれぞれ半数以上の賛成票で構成されること。
- 5 4の規定に従って採択された改正は、承認を得るために国際労働機関の総会の次の会期に提出する。その承認には、出席代表により投じられた票の三分の二以上の多数による議決を必要とする。改正案は、当該多数が得られない場合には、第十三条に規定する委員会が希望するときは、当該委員会に再検討のために付託する。
- 6 国際労働機関の総会が承認した改正は、その承認の日前にこの条約の批准が登録された加盟国に対して国際労働事務局局長が通報する。当該加盟国は、以下「批准加盟国」という。当該通報は、この条の規定の引用を含めるものとし、及び正式な異議の通告のための期間を定める。この期間は、国際労働機関の総会が承認の際に異なる期間（一年以上とする。）を定めた場合を除くほか、当該通報の日から二年間とする。当該通報の写しは、国際労働機関の他の加盟国に情報として送付する。
- 7 国際労働機関の総会が承認した改正は、6に規定する期間の満了までに、この条約を批准した加盟国の総数の四十パーセントを超える当該加盟国であつて、その商船船腹量の合計が総トン数でこの条約を批准した加盟国の商船船腹量の四十パーセントに相当する商船船腹量以上となるものからの正式な異議の通告を国際労働事務局局長が受領しない限り、受諾されたものとみなす。
- 8 受諾されたものとみなされる改正は、7の規定に従つて正式に異議を通告し、かつ、11の規定に基づく当該異議の撤回を行っていない批准加盟国を除くほか、6に規定する期間の満了後六箇月を経過した日に全ての批准加盟国について効力を生ずる。ただし、批准加盟国は、次のことを行うことができる。
- (a) 6に規定する期間の満了前に、自国の受諾について後に行う明示の通告後にのみ自国が当該改正によつて拘束されることを国際労働事務局局長に通告すること。
- (b) 当該改正が効力を生ずる日前に、当該改正の実施を一定の期間延期することを国際労働事務局局長に通告すること。
- 9 8(a)に規定する通告の対象となる改正は、当該通告を行った加盟国が当該改正の受諾を国際労働事務局局長に通告した後六箇月を経過した日又は当該改正が最初に効力を生じた日のいずれか遅い日に当該加盟国について効力を生ずる。

- (c) this majority comprises the votes in favour of at least half the government voting power, half the Shipowner voting power and half the Seafarer voting power of the Committee members registered at the meeting when the proposal is put to the vote.
5. Amendments adopted in accordance with paragraph 4 of this Article shall be submitted to the next session of the Conference for approval. Such approval shall require a majority of two-thirds of the votes cast by the delegates present. If such majority is not obtained, the proposed amendment shall be referred back to the Committee for reconsideration should the Committee so wish.
6. Amendments approved by the Conference shall be notified by the Director-General to each of the Members whose ratifications of this Convention were registered before the date of such approval by the Conference. These Members are referred to below as "the ratifying Members". The notification shall contain a reference to the present Article and shall prescribe the period for the communication of any formal disagreement. This period shall be two years from the date of the notification unless, at the time of approval, the Conference has set a different period, which shall be a period of at least one year. A copy of the notification shall be communicated to the other Members of the Organization for their information.
7. An amendment approved by the Conference shall be deemed to have been accepted unless, by the end of the prescribed period, formal expressions of disagreement have been received by the Director-General from more than 40 per cent of the Members which have ratified the Convention and which represent not less than 40 per cent of the gross tonnage of the ships of the Members which have ratified the Convention.
8. An amendment deemed to have been accepted shall come into force six months after the end of the prescribed period for all the ratifying Members except those which had formally expressed their disagreement in accordance with paragraph 7 of this Article and have not withdrawn such disagreement in accordance with paragraph 11. However:
- (a) before the end of the prescribed period, any ratifying Member may give notice to the Director-General that it shall be bound by the amendment only after a subsequent express notification of its acceptance; and
- (b) before the date of entry into force of the amendment, any ratifying Member may give notice to the Director-General that it will not give effect to that amendment for a specified period.
9. An amendment which is the subject of a notice referred to in paragraph 8(a) of this Article shall enter into force for the Member giving such notice six months after the Member has notified the Director-General of its acceptance of the amendment or on the date on which the amendment first comes into force, whichever date is later.

10 8 (b)に規定する期間は、改正が効力を生じた日から一年又は改正が承認された時に国際労働機関の総会が決定したそれよりも長い期間を超えてはならない。

11 改正について正式に異議を通告した加盟国は、いつでもその異議を撤回することができる。改正が効力を生じた後に異議の撤回の通告を国際労働事務局長が受理した場合には、当該改正は、その通告が登録された日の後六箇月を経過した日に当該加盟国について効力を生ずる。

12 この条約は、改正が効力を生じた後は、改正された形式でのみ批准することができる。

13 この条約の効力を生じた改正の適用を受ける事項に海上労働証書が関連する場合には、次のとおりとする。

(a) 当該改正を受諾した加盟国は、次に掲げる他の加盟国を旗国とする船舶に対して発給された海上労働証書について、この条約による利益を与える義務を負わない。

(i) 7の規定に従って当該改正について正式に異議を通告し、かつ、当該異議を撤回していない他の加盟国

(ii) 8 (a)の規定に従い自国の受諾を後に行う明示の通告によつて行ふことを通告した他の加盟国であつて、当該改正を受諾していないもの

(b) 当該改正を受諾した加盟国は、10の規定に基づく一定の期間当該改正の実施を延期することを8 (b)の規定に従つて通告した他の加盟国を旗国とする船舶に対して発給された海上労働証書について、この条約による利益を与える。

正文

第十六条

この条約の英文及びフランス文は、ひとしく正文とする。

10. The period referred to in paragraph 8(b) of this Article shall not go beyond one year from the date of entry into force of the amendment or beyond any longer period determined by the Conference at the time of approval of the amendment.

11. A Member that has formally expressed disagreement with an amendment may withdraw its disagreement at any time. If notice of such withdrawal is received by the Director-General after the amendment has entered into force, the amendment shall enter into force for the Member six months after the date on which the notice was registered.

12. After entry into force of an amendment, the Convention may only be ratified in its amended form.

13. To the extent that a maritime labour certificate relates to matters covered by an amendment to the Convention which has entered into force:

(a) a Member that has accepted that amendment shall not be obliged to extend the benefit of the Convention in respect of the maritime labour certificates issued to ships flying the flag of another Member which:

(i) pursuant to paragraph 7 of this Article, has formally expressed disagreement to the amendment and has not withdrawn such disagreement; or

(ii) pursuant to paragraph 8(a) of this Article, has given notice that its acceptance is subject to its subsequent express notification and has not accepted the amendment; and

(b) a Member that has accepted the amendment shall extend the benefit of the Convention in respect of the maritime labour certificates issued to ships flying the flag of another Member that has given notice, pursuant to paragraph 8(b) of this Article, that it will not give effect to that amendment for the period specified in accordance with paragraph 10 of this Article.

AUTHORITATIVE LANGUAGES

Article XVI

The English and French versions of the text of this Convention are equally authoritative.



海上労働条約

規則及び規範

規則及び規範

船舶に就いて労働する船員の最低年齢の条件

最低年齢

- 第一章 船舶において労働する船員に関する最低限の条件
- 第1.1規則 最低年齢
- 目的 最低年齢に達していない者が船舶において労働しないことを確保すること。
- 1 最低年齢に達していない者は、船舶において雇用され、従業し、又は労働してはならない。
- 2 この条約の最初の効力発生時の最低年齢は、十六歳とする。
- 3 規範に規定する場合においては、一層高い最低年齢が要求される。
- A.1基準 最低年齢
- 1 十六歳未満の者の船舶における雇用、従業又は労働は、禁止する。
- 2 十八歳未満の船員の夜間の労働は、禁止する。このA.1基準の規定の適用上、「夜間」は、国内法令及び国内慣行に従って定める。夜間は、午前零時までに開始し、午前五時以降に終了する少なくとも九時間を含むものとする。
- 3 権限のある機関は、次の場合には、夜間の労働の制限の厳格な遵守に対する例外を設けることができる。
- (a) 確立した計画及び予定に従って行われる関係する船員の効果的な訓練が損なわれる場合
- (b) 例外の対象となる船員が職務の特性又は承認された訓練計画により、夜間に職務を遂行することを要求され、かつ、権限のある機関が関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、その労働が当該船員の健康又は福祉を害するものではないと決定する場合
- 4 十八歳未満の船員の雇用、従業又は労働は、労働させることにより当該船員の健康又は安全を損なうおそれがある場合には、禁止する。そのような労働の種類は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、関連する国際的な基準に従って、国内法令又は権限のある機関によって決定される。
- B.1指針 最低年齢
- 1 加盟国は、労働条件及び生活条件を規制する場合には、十八歳未満の年少者の必要性について特別の注意を払うべきである。

THE REGULATIONS AND THE CODE

TITLE 1. MINIMUM REQUIREMENTS FOR SEAFARERS TO WORK ON A SHIP

Regulation 1.1 – Minimum age

Purpose: To ensure that no under-age persons work on a ship

1. No person below the minimum age shall be employed or engaged or work on a ship.
2. The minimum age at the time of the initial entry into force of this Convention is 16 years.
3. A higher minimum age shall be required in the circumstances set out in the Code.

Standard A1.1 – Minimum age

1. The employment, engagement or work on board a ship of any person under the age of 16 shall be prohibited.
2. Night work of seafarers under the age of 18 shall be prohibited. For the purposes of this Standard, "night" shall be defined in accordance with national law and practice. It shall cover a period of at least nine hours starting no later than midnight and ending no earlier than 5 a.m.
3. An exception to strict compliance with the night work restriction may be made by the competent authority when:
  - (a) the effective training of the seafarers concerned, in accordance with established programmes and schedules, would be impaired; or
  - (b) the specific nature of the duty or a recognized training programme requires that the seafarers covered by the exception perform duties at night and the authority determines, after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned, that the work will not be detrimental to their health or well-being.
4. The employment, engagement or work of seafarers under the age of 18 shall be prohibited where the work is likely to jeopardize their health or safety. The types of such work shall be determined by national laws or regulations or by the competent authority, after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned, in accordance with relevant international standards.

Guideline B1.1 – Minimum age

1. When regulating working and living conditions, Members should give special attention to the needs of young persons under the age of 18.

第1.2規則 健康証明書

目的 全ての船員が海上における職務を遂行することに医学上適していることを確保すること。

1 船員は、職務を遂行することに医学上適していると証明されない限り、船舶において労働してはならない。

2 例外は、規範の定めるところによつてのみ認めることができ。

A.2 基準 健康証明書

1 権限のある機関は、船員が船舶における労働の開始に先立ち、海上において行う職務を遂行することに医学上適していることを証明する有効な健康証明書を所持することを要求する。

2 権限のある機関は、健康証明書が船員の遂行する職務に照らし当該船員の健康状態を真に反映することを確認するため、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、この規範のB部に定める適用可能な国際的な指針に妥当な考慮を払った上で、健康検査及び健康証明書の内容を定める。

3 この基準は、改正された千九百七十八年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約（以下「STCW条約」という。）の適用を妨げるものではない。STCW条約の要件に従つて発給された健康証明書は、第1.2規則の規定の適用上、権限のある機関によつて認められる。STCW条約が適用されない船員については、当該要件を実質的に満たす健康証明書が同様に認められる。

4 健康証明書は、正当な資格を有する医師又は専ら視力に関する証明書の場合には当該証明書を発給する資格を有すると権限のある機関によつて認められた者が発給する。医師は、健康検査の手続を行う際に医学上の判断を行うに当たつて、完全な職務上の独立性を有しなければならない。

5 証明書の発給を拒否された船員又は労働能力、特に時間、労働の分野若しくは航行する区域に関して制限を課された船員は、他の独立性を有する医師又は独立性を有する医事審査員による新たな検査を受ける機会を与えられる。

6 健康証明書には、特に次のことを明示する。

- (a) 関係する船員の聴力及び視力並びに従事する労働に対する適性が色覚の欠陥によつて影響されるおそれのある職務区分で雇用される船員の場合には色覚が全て満足すべきものであること。
- (b) 関係する船員が、海上勤務によつて悪化し、若しくは海上勤務に適さなくなるおそれのある健康状態又は船舶内の他の者の健康に害を及ぼすおそれのある健康状態になつていないこと。

Regulation 1.2 – Medical certificate

*Purpose: To ensure that all seafarers are medically fit to perform their duties at sea*

1. Seafarers shall not work on a ship unless they are certified as medically fit to perform their duties.

2. Exceptions can only be permitted as prescribed in the Code.

Standard A1.2 – Medical certificate

1. The competent authority shall require that, prior to beginning work on a ship, seafarers hold a valid medical certificate attesting that they are medically fit to perform the duties they are to carry out at sea.

2. In order to ensure that medical certificates genuinely reflect seafarers' state of health, in light of the duties they are to perform, the competent authority shall, after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned, and giving due consideration to applicable international guidelines referred to in Part B of this Code, prescribe the nature of the medical examination and certificate.

3. This Standard is without prejudice to the International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers, 1978, as amended ("STCW"). A medical certificate issued in accordance with the requirements of STCW shall be accepted by the competent authority, for the purpose of Regulation 1.2. A medical certificate meeting the substance of those requirements, in the case of seafarers not covered by STCW, shall similarly be accepted.

4. The medical certificate shall be issued by a duly qualified medical practitioner or, in the case of a certificate solely concerning eyesight, by a person recognized by the competent authority as qualified to issue such a certificate. Practitioners must enjoy full professional independence in exercising their medical judgement in undertaking medical examination procedures.

5. Seafarers that have been refused a certificate or have had a limitation imposed on their ability to work, in particular with respect to time, field of work or trading area, shall be given the opportunity to have a further examination by another independent medical practitioner or by an independent medical referee.

6. Each medical certificate shall state in particular that:

- (a) the hearing and sight of the seafarer concerned, and the colour vision in the case of a seafarer to be employed in capacities where fitness for the work to be performed is liable to be affected by defective colour vision, are all satisfactory; and
- (b) the seafarer concerned is not suffering from any medical condition likely to be aggravated by service at sea or to render the seafarer unfit for such service or to endanger the health of other persons on board.

- 7 関係する船員が遂行する特定の職務により又はSTCW条約に基づいて一層短い期間が求められる場合を除くほか、
- (a) 健康証明書は、最長二年の期間有効とする。ただし、十八歳未満の船員の場合には、有効期間は、最長一年とする。
- (b) 色覚に関する証明書は、最長六年の期間有効とする。
- 8 権限のある機関は、緊急の場合には、船員が資格を有する医師から健康証明書を取得することができる次の寄港地まで、有効な健康証明書なしに労働することを許可することができる。ただし、次のことを条件とする。
- (a) その許可の期間が三箇月以内であること。
- (b) 当該船員が有効期間が満了した最近の健康証明書を所持していること。
- 9 健康証明書は、その有効期間が航行中に満了した場合には、船員が資格を有する医師から健康証明書を取得することができる次の寄港地まで、なおその効力を有する。ただし、その期間は、三箇月以内とする。
- 10 通常国際航行に従事する船舶において労働する船員の健康証明書は、少なくとも英語によって提供されなければならない。
- B 1.2 指針 健康証明書
- 1.2 指針 国際的な指針
- 1 権限のある機関、医師、検査を行う者、船舶所有者、船員の代表者その他船員の候補者及び業務を行っている船員の医学上の適性検査の実施に関係する全ての者は、国際労働機関及び世界保健機関の乗船前及び定期的な船員のための医学上の適性検査の実施に関する指針（その後の改定版を含む。）及び国際労働機関、国際海事機関又は世界保健機関によって公表される他の適用可能な国際的な指針に従うべきである。

## 訓練及び資格

### 第1.3 規則 訓練及び資格

目的 船員が船舶における職務を遂行するために訓練され、又は資格を有することを確認すること。

7. Unless a shorter period is required by reason of the specific duties to be performed by the seafarer concerned or is required under STCW:

- (a) a medical certificate shall be valid for a maximum period of two years unless the seafarer is under the age of 18, in which case the maximum period of validity shall be one year;
- (b) a certification of colour vision shall be valid for a maximum period of six years.
8. In urgent cases the competent authority may permit a seafarer to work without a valid medical certificate until the next port of call where the seafarer can obtain a medical certificate from a qualified medical practitioner, provided that:

- (a) the period of such permission does not exceed three months; and
- (b) the seafarer concerned is in possession of an expired medical certificate of recent date.

9. If the period of validity of a certificate expires in the course of a voyage, the certificate shall continue in force until the next port of call where the seafarer can obtain a medical certificate from a qualified medical practitioner, provided that the period shall not exceed three months.

10. The medical certificates for seafarers working on ships ordinarily engaged on international voyages must as a minimum be provided in English.

#### Guideline B1.2 – Medical certificate

##### Guideline B1.2.1 – International guidelines

1. The competent authority, medical practitioners, examiners, shipowners, seafarers' representatives and all other persons concerned with the conduct of medical fitness examinations of seafarer candidates and serving seafarers should follow the ILO/WHO *Guidelines for Conducting Pre-sea and Periodic Medical Fitness Examinations for Seafarers*, including any subsequent versions, and any other applicable international guidelines published by the International Labour Organization, the International Maritime Organization or the World Health Organization.

### Regulation 1.3 – Training and qualifications

Purpose: To ensure that seafarers are trained or qualified to carry out their duties on board ship



- 1 船員は、職務を遂行するための訓練を受け、若しくは能力を有すると証明され、又はその他の方法によって職務を遂行するための資格を有しない限り、船舶において労働してはならない。
- 2 船員は、船舶における人命の安全のための訓練を良好に修了していない限り、船舶において労働することとは認められない。
- 3 国際海事機関によって採択された義務的な文書に基づく訓練及び資格証明は、1及び2に定める要件を満たすものとみなす。
- 4 この条約の批准の時に、千九百四十六年の有能海員の資格証明条約(第七十四号)に拘束される加盟国は、同条約が対象とする事項について規定する義務的な規定が国際海事機関によって採択され、かつ、効力を生ずる日まで又はこの条約が第八条3の規定に従って効力を生じた時から五年を経過する日までのうちいずれか早い日まで引き続き同条約に基づく義務を履行する。

第1.4 規則 募集及び職業紹介

目的 船員の募集及び職業紹介のための効果的かつ十分に規制された制度を船員が利用することができることを確保すること。

- 1 全ての船員は、無料で船舶における雇用を見出すための制度であって、効果的な、適当な及び透明性のあるものを利用することができる。
- 2 加盟国の領域内において運営されている船員の募集及び職業紹介のための機関は、規範に定める基準に適合するものとする。
- 3 加盟国は、自国を旗国とする船舶において労働する船員に関し、この条約の適用を受けない国又は領域に本拠を置く船員の募集及び職業紹介のための機関を利用する船舶所有者に対し、当該船員の募集及び職業紹介のための機関が規範に定める要件に適合することを確保するよう要求する。  
A.1.4 基準 募集及び職業紹介
- 1 公共の船員の募集及び職業紹介のための機関を運営する加盟国は、当該船員の募集及び職業紹介のための機関がこの条約に定める船員の雇用に関する権利を保護し、及び促進する秩序ある方法で運営されることを確保する。

1. Seafarers shall not work on a ship unless they are trained or certified as competent or otherwise qualified to perform their duties.

2. Seafarers shall not be permitted to work on a ship unless they have successfully completed training for personal safety on board ship.

3. Training and certification in accordance with the mandatory instruments adopted by the International Maritime Organization shall be considered as meeting the requirements of paragraphs 1 and 2 of this Regulation.

4. Any Member which, at the time of its ratification of this Convention, was bound by the Certification of Able Seamen Convention, 1946 (No. 74), shall continue to carry out the obligations under that Convention unless and until mandatory provisions covering its subject matter have been adopted by the International Maritime Organization and entered into force, or until five years have elapsed since the entry into force of this Convention in accordance with paragraph 3 of Article VIII, whichever date is earlier.

Regulation 1.4 – Recruitment and placement

Purpose: To ensure that seafarers have access to an efficient and well-regulated seafarer recruitment and placement system

1. All seafarers shall have access to an efficient, adequate and accountable system for finding employment on board ship without charge to the seafarer.

2. Seafarer recruitment and placement services operating in a Member's territory shall conform to the standards set out in the Code.

3. Each Member shall require, in respect of seafarers who work on ships that fly its flag, that shipowners who use seafarer recruitment and placement services that are based in countries or territories in which this Convention does not apply, ensure that those services conform to the requirements set out in the Code.

Standard A1.4 – Recruitment and placement

1. Each Member that operates a public seafarer recruitment and placement service shall ensure that the service is operated in an orderly manner that protects and promotes seafarers' employment rights as provided in this Convention.

- 2 加盟国が自国の領域内で運営される民間の船員の募集及び職業紹介のための機関であつて、主たる目的が船員の募集及び職業紹介であるもの又は相当数の船員を募集し、及び紹介するものを有する場合には、当該船員の募集及び職業紹介のための機関は、標準化された制度であつて免許、資格証明その他の形態の規制に関するものに適合する場合にのみ運営される。この制度は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後にのみ構築し、修正し、又は変更する。この条約が一の民間の船員の募集及び職業紹介のための機関に適用されるか否かについて疑義がある場合には、その問題については、加盟国の権限のある機関が関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後決定する。民間の船員の募集及び職業紹介のための機関の過度の増加は、奨励してはならない。
- 3 2の規定は、権限のある機関が関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議の上、適當であると決定する限りにおいて、加盟国を旗国とする船舶に当該加盟国の国民である船員を供給するために当該加盟国の領域内において船員団体が運営する船員の募集及び職業紹介のための機関についても適用する。この3の規定の適用を受ける船員の募集及び職業紹介のための機関は、次の条件を満たすものとする。
  - (a) 当該船員の募集及び職業紹介のための機関が当該船員団体と船舶所有者との間の団体交渉の合意に従つて運営されること。
  - (b) 当該船員団体及び船舶所有者の双方が当該加盟国の領域内に本拠を置いていること。
  - (c) 当該加盟国が、当該船員の募集及び職業紹介のための機関の運営を認める団体交渉の合意を承認し、又は登録する国内法令又は手続を有すること。
  - (d) 当該船員の募集及び職業紹介のための機関が秩序ある方法で運営され、並びに船員の雇用に関する權利を保護し、及び促進するための措置であつて5に規定する措置と同等のものがとられていること。
- 4 第1.4規則及びこの基準のいかなる規定も、
  - (a) 船員及び船舶所有者の需要を満たすための政策の枠組みにおいて、加盟国が無料かつ公共の船員の募集及び職業紹介のための機関（全ての労働者及び使用者のための公共職業安定組織の一部を構成するものであるか又は当該公共職業安定組織と調整が図られているものであるかを問わない。）を維持することとを妨げるものと解してはならない。
  - (b) 加盟国に対し、その領域内において民間の船員の募集及び職業紹介のための機関を運営するための制度を構築する義務を課するものと解してはならない。
- 5 2に規定する制度を採用する加盟国は、自国の法令その他の措置において少なくとも次のことを行う。
  - (a) 3. The provisions of paragraph 2 of this Standard shall also apply – to the extent that they are determined by the competent authority, in consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned, to be appropriate – in the context of recruitment and placement services operated by a seafarers' organization in the territory of the Member for the supply of seafarers who are nationals of that Member to ships which fly its flag. The services covered by this paragraph are those fulfilling the following conditions:
    - (a) the recruitment and placement service is operated pursuant to a collective bargaining agreement between that organization and a shipowner;
    - (b) both the seafarers' organization and the shipowner are based in the territory of the Member;
    - (c) The Member has national laws or regulations or a procedure to authorize or register the collective bargaining agreement permitting the operation of the recruitment and placement service; and
    - (d) the recruitment and placement service is operated in an orderly manner and measures are in place to protect and promote seafarers' employment rights comparable to those provided in paragraph 5 of this Standard.
  4. Nothing in this Standard or Regulation 1.4 shall be deemed to:
    - (a) prevent a Member from maintaining a free public seafarer recruitment and placement service for seafarers in the framework of a policy to meet the needs of seafarers and shipowners, whether the service forms part of or is coordinated with a public employment service for all workers and employers; or
    - (b) impose on a Member the obligation to establish a system for the operation of private seafarer recruitment or placement services in its territory.
  5. A Member adopting a system referred to in paragraph 2 of this Standard shall, in its laws and regulations or other measures, at a minimum:
    - (a) both the seafarers' organization and the shipowner are based in the territory of the Member;
    - (b) the Member has national laws or regulations or a procedure to authorize or register the collective bargaining agreement permitting the operation of the recruitment and placement service; and
    - (c) the recruitment and placement service is operated in an orderly manner and measures are in place to protect and promote seafarers' employment rights comparable to those provided in paragraph 5 of this Standard.
  4. Nothing in this Standard or Regulation 1.4 shall be deemed to:
    - (a) prevent a Member from maintaining a free public seafarer recruitment and placement service for seafarers in the framework of a policy to meet the needs of seafarers and shipowners, whether the service forms part of or is coordinated with a public employment service for all workers and employers; or
    - (b) impose on a Member the obligation to establish a system for the operation of private seafarer recruitment or placement services in its territory.
  5. A Member adopting a system referred to in paragraph 2 of this Standard shall, in its laws and regulations or other measures, at a minimum:

- (a) 船員の募集及び職業紹介のための機関が、船員がそのための資格を有する職業を得ることを妨げ、又は抑止することを意図した手段、仕組み又は名簿を用いることを禁止する<sup>6</sup>。
  - (b) 船員の募集若しくは職業紹介又は船員への雇用の機会の提供のための手数料その他の料金（船員が国内法令に定める健康証明書、船員手帳及び旅券又は他の類似の個人の旅行証明書を取得するための経費を除く。ただし、当該経費には査証に係る経費を含まないものとし、査証に係る経費は、船舶所有者が負担する。）の全部又は一部を直接又は間接に船員が負担しないよう要求すること。
  - (c) 自国の領域内において運営される船員の募集及び職業紹介のための機関が次のことを行うことを確保すること。
    - (i) 権限のある機関による検査の際に利用することができるようにするため、当該船員の募集及び職業紹介のための機関を通じて募集され、又は紹介された全ての船員の最新の登録簿を維持すること。
    - (ii) 船員が勤務に先立ち又はその過程において雇用契約の下での自己の権利及び義務について通知されていること並びに船員が雇用契約に署名する前及び署名した後は当該契約を検討するため並びに船員が当該契約の写しを受け取るために適正な措置がとられていることを確認すること。
    - (iii) 当該船員の募集及び職業紹介のための機関によって募集され、又は紹介された船員がその職務に必要な資格を有し、及びその職務に必要な文書を所持していること並びに当該船員の雇用契約が関係法令及び雇用契約の一部を構成する団体交渉の合意に適合していることを確認すること。
    - (iv) 実行可能な限り、船員が外国の港に取り残されることのないよう保護する手段を船舶所有者が有することを確認すること。
    - (v) 当該船員の募集及び職業紹介のための機関の活動に関する全ての苦情について調査し、及び対応し、並びに解決されなかった苦情について権限のある機関に通知する<sup>7</sup>。
    - (vi) 当該船員の募集及び職業紹介のための機関又は船員の雇用契約の下で関係する船舶所有者が船員に対する義務を履行しないことによって当該船員が負うこととなる金銭的損失を補償するため、保険又はこれと同等の適当な措置によって保護する制度を構築すること<sup>8</sup>。
- <sup>6</sup> 権限のある機関は、関係する加盟国の領域内において運営される全ての船員の募集及び職業紹介のための機関を注意深く監督し、及び規制する。領域内における民間の船員の募集及び職業紹介のための機関の運営のための免許、証明書又はこれらに類する許可については、当該船員の募集及び職業紹介のための機関が国内法令の要件を満たしていることを確認した後<sup>9</sup>にのみ、与え、又は更新する。

- (a) prohibit seafarer recruitment and placement services from using means, mechanisms or lists intended to prevent or deter seafarers from gaining employment for which they are qualified;
  - (b) require that no fees or other charges for seafarer recruitment or placement or for providing employment to seafarers are borne directly or indirectly, in whole or in part, by the seafarer; other than the cost of the seafarer obtaining a national statutory medical certificate, the national seafarer's book and a passport or other similar personal travel documents, not including, however, the cost of visas, which shall be borne by the shipowner; and
  - (c) ensure that seafarer recruitment and placement services operating in its territory:
    - (i) maintain an up-to-date register of all seafarers recruited or placed through them, to be available for inspection by the competent authority;
    - (ii) make sure that seafarers are informed of their rights and duties under their employment agreements prior to or in the process of engagement and that proper arrangements are made for seafarers to examine their employment agreements before and after they are signed and for them to receive a copy of the agreements;
    - (iii) verify that seafarers recruited or placed by them are qualified and hold the documents necessary for the job concerned, and that the seafarers' employment agreements are in accordance with applicable laws and regulations and any collective bargaining agreement that forms part of the employment agreement;
    - (iv) make sure, as far as practicable, that the shipowner has the means to protect seafarers from being stranded in a foreign port;
    - (v) examine and respond to any complaint concerning their activities and advise the competent authority of any unresolved complaint;
    - (vi) establish a system of protection, by way of insurance or an equivalent appropriate measure, to compensate seafarers for monetary loss that they may incur as a result of the failure of a recruitment and placement service or the relevant shipowner under the seafarers' employment agreement to meet its obligations to them.
- <sup>6</sup> The competent authority shall closely supervise and control all seafarer recruitment and placement services operating in the territory of the Member concerned. Any licences or certificates or similar authorizations for the operation of private services in the territory are granted or renewed only after verification that the seafarer recruitment and placement service concerned meets the requirements of national laws and regulations.

# 海上労働条約

7 権限のある機関は、船員の募集及び職業紹介のための機関の活動に関する苦情を必要に応じて調査するための適当な制度及び手続であつて、適当な場合には船舶所有者及び船員の代表が関与するものが存在することを確保する。

8 この条約を批准した加盟国は、この条約を批准していない国がこの条約の定める基準と同等の基準を適用していると認められるまでの間、当該批准していない国を旗国とする船舶への船員の雇入れから生ずるおそれのある問題につき、実行可能な限り自国民に周知させる。この条約を批准した加盟国によってとられるこのような措置は、関係する両国が締約国である条約に定める労働者の移動の自由の原則に抵触するものであつてはならない。

9 この条約を批准した加盟国は、自国を旗国とする船舶の船舶所有者であつて、この条約の適用を受けない国又は領域に本拠を置いている船員の募集及び職業紹介のための機関を利用するものに対し、当該船員の募集及び職業紹介のための機関がこの基準に定める要件を満たすことを実行可能な限り確保するよう求める。

10 この基準のいかなる規定も、加盟国を旗国とする船舶について、船舶所有者又は当該加盟国の義務及び責任を減ずるものと解してはならない。

B  
1.4 指針 募集及び職業紹介

B.4. 指針 組織上及び運営上の指針

1 権限のある機関は、A 1.4 基準 1 の規定に基づく義務を履行する場合には、次のことを考慮すべきである。

(a) 船員の募集及び職業紹介のための機関（公共のものであるか民間のものであるかを問わない。）の間  
の効果的な協力を促進するために必要な措置をとること。

(b) 船舶の乗組員の一部であつて当該船舶の安全な航行及び汚染の防止のための活動について責任を負うものを構成する船員のための訓練計画を船舶所有者、船員及び関連のある訓練機関の参加を得て作成する場合に、海運業における国内的及び国際的な要請

(c) 公共の船員の募集及び職業紹介のための機関が存在する場合には、その組織及び運営について代表的な船舶所有者団体及び船員団体が協力するための適当な措置をとること。

(d) 私生活についての権利及び秘密の保護の必要性に妥当な考慮を払いつつ、船員の募集及び職業紹介のための機関が船員の個人情報処理（収集、保管、組合せ及び第三者への当該情報の伝達を含む。）を行うことができる条件を決定すること。

7. The competent authority shall ensure that adequate machinery and procedures exist for the investigation, if necessary, of complaints concerning the activities of seafarer recruitment and Placement services, involving, as appropriate, representatives of ship-owners and seafarers.

8. Each Member which has ratified this Convention shall, in so far as practicable, advise its nationals on the possible problems of signing on a ship that flies the flag of a State which has not ratified the Convention, until it is satisfied that standards equivalent to those fixed by this Convention are being applied. Measures taken to this effect by the Member that has ratified this Convention shall not be in contradiction with the principle of free movement of workers stipulated by the treaties to which the two States concerned may be parties.

9. Each Member which has ratified this Convention shall require that ship-owners of ships that fly its flag, who use seafarer recruitment and placement services based in countries or territories in which this Convention does not apply, ensure, as far as practicable, that those services meet the requirements of this Standard.

10. Nothing in this Standard shall be understood as diminishing the obligations and responsibilities of shipowners or of a Member with respect to ships that fly its flag.

#### Guideline B1.4 – Recruitment and placement

#### Guideline B1.4.1 – Organizational and operational guidelines

1. When fulfilling its obligations under Standard A1.4, paragraph 1, the competent authority should consider:

(a) taking the necessary measures to promote effective cooperation among seafarer recruitment and placement services, whether public or private;

(b) the needs of the maritime industry at both the national and international levels, when developing training programmes for seafarers that form the part of the ship's crew that is responsible for the ship's safe navigation and pollution prevention operations, with the participation of shipowners, seafarers and the relevant training institutions;

(c) making suitable arrangements for the cooperation of representative shipowners' and seafarers' organizations in the organization and operation of the public seafarer recruitment and placement services, where they exist;

(d) determining, with due regard to the right to privacy and the need to protect confidentiality, the conditions under which seafarers' personal data may be processed by seafarer recruitment and placement services, including the collection, storage, combination and communication of such data to third parties;

- (e) 海上の労働に係る市場に関連する全ての情報（乗組員として労働する船員の現在の及び予想される供給であって、年齢、性別、地位及び資格（これに分類されたものと並びに海運業における要請を含む。）の収集及び分析のための措置を維持すること。年齢又は性別に関する情報の収集は、統計上の目的のためのみ、又は年齢若しくは性別に基づく差別を防止するための計画の枠組みにおいて使用される場合のみ認められる。
- (f) 公共及び民間の船員の募集及び職業紹介のための機関であって、船舶の安全な航行及び汚染の防止のための活動について責任を負う船舶の乗組員のためのものを監督する責任を負う職員が、承認された海上業務の経験を含む適切な訓練を受けており、及び海運業について関連する知識（訓練、資格証明及び労働基準に関する関連の海事に係る国際文書に関するものを含む。）を有することを確保すること。
- (g) 船員の募集及び職業紹介のための機関について、運営上の基準を定めること並びに行動規範及び倫理規範を採択すること。
- (h) 品質基準の制度に基づき免許又は資格証明の制度について監督を行うこと。
- 2 加盟国は、A 1.4 基準 2 に規定する制度を構築するに当たり、その領域内に設置される船員の募集及び職業紹介のための機関に対し検証可能な実務上の手順を作成し、及び維持すること并要求することを考慮すべきである。民間の船員の募集及び職業紹介のための機関のための実務上の手順並びに公共の船員の募集及び職業紹介のための機関のための実務上の手順（適用可能な範囲のものに限る。）は、次のことを取り扱うべきである。
- (a) 健康検査、船員の身分証明書その他船員が雇用を得るために必要なもの
- (b) 私生活についての権利及び秘密の保護の必要性に妥当な考慮を払いつつ、当該船員の募集及び職業紹介のための機関による募集及び職業紹介の対象となる船員の十分かつ完全な記録を維持すること。この記録には、次の情報を含めるべきであるが、これらに限定されない。
- (i) 船員の資格
- (ii) 雇用に関する記録
- (iii) 雇用に関連する個人の情報
- (iv) 雇用に関連する医学的な情報

- (e) maintaining an arrangement for the collection and analysis of all relevant information on the maritime labour market, including the current and prospective supply of seafarers that work as crew classified by age, sex, rank and qualifications, and the industry's requirements, the collection of data on age or sex being admissible only for statistical purposes or if used in the framework of a programme to prevent discrimination based on age or sex;
- (f) ensuring that the staff responsible for the supervision of public and private seafarer recruitment and placement services for ship's crew with responsibility for the ship's safe navigation and pollution prevention operations have had adequate training, including approved sea-service experience, and have relevant knowledge of the maritime industry, including the relevant maritime international instruments on training, certification and labour standards;
- (g) prescribing operational standards and adopting codes of conduct and ethical practices for seafarer recruitment and placement services; and
- (h) exercising supervision of the licensing or certification system on the basis of a system of quality standards.
2. In establishing the system referred to in Standard A1.4, paragraph 2, each Member should consider requiring seafarer recruitment and placement services, established in its territory, to develop and maintain verifiable operational practices. These operational practices for private seafarer recruitment and placement services and, to the extent that they are applicable, for public seafarer recruitment and placement services should address the following matters:
- (a) medical examinations, seafarers' identity documents and such other items as may be required for the seafarer to gain employment;
- (b) maintaining, with due regard to the right to privacy and the need to protect confidentiality, full and complete records of the seafarers covered by their recruitment and placement system, which should include but not be limited to:
- (i) the seafarers' qualifications;
- (ii) record of employment;
- (iii) personal data relevant to employment; and
- (iv) medical data relevant to employment;



## 海上労働条約

- (c) 当該船員の募集及び職業紹介のための機関が船員を供給する船舶の最新の「一覧表を維持し、及び緊急の場合にはいつでも当該船員の募集及び職業紹介のための機関に連絡を取る」ことのできる手段があることを確保すること。
  - (d) 特定の船舶における又は特定の会社による勤務の機会の提供に関して、船員が当該船員の募集及び職業紹介のための機関又はその職員による搾取の対象とならないことを確保するための手続
  - (e) 船舶所有者と船員との間の賃金の前払その他の金銭上の取引であつて、当該船員の募集及び職業紹介のための機関が取り扱うものから生ずる船員の搾取の機会を防止するための手続
  - (f) 募集の過程において船員が負担することが予期される費用がある場合には、当該費用を明確に公表する。
  - (g) 船員が従事することとなる職務に適用される特別の条件及び船員の雇用に關する船舶所有者の特別の方針について当該船員に通知することを確保すること。
  - (h) 自然的正義の原則に基づく手続であつて、国内法令及び国内慣行並びに適用可能な場合には団体交渉の合意に従つて能力又は規律の欠如の事例を取り扱うためのもの
  - (i) 雇用のために提出される全ての義務的な証明書及び文書が最新のものであり、かつ、不正に取得されたものでないこと並びに雇用履歴が確認されていることを実行可能な限り確保するための手続
  - (j) 船員が海上にいる間、当該船員の家族が情報又は助言を要請する場合において、その要請について迅速に、好意的に、かつ、無料で対処することを確保するための手続
  - (k) 船員が紹介された船舶における労働条件が船舶所有者と代表的な船員団体との間で締結した適用可能な団体交渉の合意に適合していることを確認し、及び方針として、適用可能な法令又は団体交渉の合意に適合する雇用条件を船員に提示する船舶所有者に対してのみ船員を供給する。
- 3 加盟国と関係する機関との間における次のような国際協力を奨励することについて考慮を払うべきである。
- (a) 海運業及び労働市場に関する二国間の、地域的な及び多数国間の体系的な情報交換
  - (b) 海上の労働に係る法制に関する情報交換
  - (c) 船員の募集及び職業紹介に適用される政策、作業方法及び法制の調和
  - (d) 船員の国際的な募集及び職業紹介のための手続及び条件の改善

## 四十一

- (c) maintaining up-to-date lists of the ships for which the seafarer recruitment and placement services provide seafarers and ensuring that there is a means by which the services can be contacted in an emergency at all hours;
  - (d) procedures to ensure that seafarers are not subject to exploitation by the seafarer recruitment and placement services or their personnel with regard to the offer of engagement on particular ships or by particular companies;
  - (e) procedures to prevent the opportunities for exploitation of seafarers arising from the issue of joining advances or any other financial transaction between the shipowner and the seafarers which are handled by the seafarer recruitment and placement services;
  - (f) clearly publicizing costs, if any, which the seafarer will be expected to bear in the recruitment process;
  - (g) ensuring that seafarers are advised of any particular conditions applicable to the job for which they are to be engaged and of the particular shipowner's policies relating to their employment;
  - (h) procedures which are in accordance with the principles of natural justice for dealing with cases of incompetence or indiscipline consistent with national laws and practice and, where applicable, with collective agreements;
  - (i) procedures to ensure, as far as practicable, that all mandatory certificates and documents submitted for employment are up to date and have not been fraudulently obtained and that employment references are verified;
  - (j) procedures to ensure that requests for information or advice by families of seafarers while the seafarers are at sea are dealt with promptly and sympathetically and at no cost; and
  - (k) verifying that labour conditions on ships where seafarers are placed are in conformity with applicable collective bargaining agreements concluded between a shipowner and a representative seafarers' organization and, as a matter of policy, supplying seafarers only to shipowners that offer terms and conditions of employment to seafarers which comply with applicable laws or regulations or collective agreements.
3. Consideration should be given to encouraging international cooperation between Members and relevant organizations, such as:
- (a) the systematic exchange of information on the maritime industry and labour market on a bilateral, regional and multilateral basis;
  - (b) the exchange of information on maritime labour legislation;
  - (c) the harmonization of policies, working methods and legislation governing recruitment and placement of seafarers;
  - (d) the improvement of procedures and conditions for the international recruitment and placement of seafarers; and

## 雇用条件

### 第二章 雇用条件

#### 第2.1規則 船員の雇用契約

## 船員の雇用契約

(e) 船員の需給及び海運業における要請を考慮に入れた労働力についての計画の策定

目的 船員が公正な雇用契約を有することを確保すること。

1 船員の雇用条件は、明確な書面による契約であつて法的に執行するものができうるものに定め、及び規範に定められた基準に適合するものとする。

2 船員の雇用契約は、船員が署名する前に当該契約の条件について検討し、及び助言を求める機会を有すること並びに署名する前にそれらの条件を自由に受け入れることが確保される状況の下で、当該船員によつて同意されなければならない。

3 船員の雇用契約は、加盟国の国内法令及び国内慣行に適合する限りにおいて、適用可能な団体交渉の合意を含むものと了解する。

#### A.1基準 船員の雇用契約

1 加盟国は、自国を旗国とする船舶が次の要件を遵守するのを要求する法令を制定する。

(a) 自国を旗国とする船舶において労働する船員は、自己並びにこの条約の要求する船舶における適切な労働条件及び生活条件を提供する船舶所有者又はその代表者の双方によつて署名された船員の雇用契約（当該船員が被用者でない場合には、契約上又は類似の取決めの証拠）を有すること。

(b) 船員の雇用契約に署名する船員は、署名する前に当該契約について検討し、及び助言を求める機会並びに自己の権利及び責任について十分な理解をもつて自由に契約を締結するのを確保するために必要な他の便宜が与えられること。

(c) 関係する船舶所有者及び船員は、船員の雇用契約の署名済みの原本をそれぞれ有すること。

(d) 船員（船長を含む。）が船舶において自己の雇用条件に関する明確な情報を容易に得ることができるところ及び権限のある機関の職員（寄港する港における権限のある機関の職員を含む。）も当該情報（船員の雇用契約の写しを含む。）を検査のために利用することができ、これを確保するための措置をとること。

(e) workforce planning, taking account of the supply of and demand for seafarers and the requirements of the maritime industry.

### TITLE 2. CONDITIONS OF EMPLOYMENT

#### Regulation 2.1 – Seafarers' employment agreements

*Purpose: To ensure that seafarers have a fair employment agreement*

1. The terms and conditions for employment of a seafarer shall be set out or referred to in a clear written legally enforceable agreement and shall be consistent with the standards set out in the Code.

2. Seafarers' employment agreements shall be agreed to by the seafarer under conditions which ensure that the seafarer has an opportunity to review and seek advice on the terms and conditions in the agreement and freely accepts them before signing.

3. To the extent compatible with the Member's national law and practice, seafarers' employment agreements shall be understood to incorporate any applicable collective bargaining agreements.

#### Standard A2.1 – Seafarers' employment agreements

1. Each Member shall adopt laws or regulations requiring that ships that fly its flag comply with the following requirements:

(a) seafarers working on ships that fly its flag shall have a seafarers' employment agreement signed by both the seafarer and the shipowner or a representative of the shipowner (or, where they are not employees, evidence of contractual or similar arrangements) providing them with decent working and living conditions on board the ship as required by this Convention;

(b) seafarers signing a seafarers' employment agreement shall be given an opportunity to examine and seek advice on the agreement before signing, as well as such other facilities as are necessary to ensure that they have freely entered into an agreement with a sufficient understanding of their rights and responsibilities;

(c) the shipowner and seafarer concerned shall each have a signed original of the seafarers' employment agreement;

(d) measures shall be taken to ensure that clear information as to the conditions of their employment can be easily obtained on board by seafarers, including the ship's master, and that such information, including a copy of the seafarers' employment agreement, is also accessible for review by officers of a competent authority, including those in ports to be visited; and

- (e) 船員は、船舶における自己の雇用の記録が記載された文書を交付されること。
- 2 団体交渉の合意が船員の雇用契約の全部又は一部を構成する場合には、当該団体交渉の合意の写しは、船舶において利用可能とする。船員の雇用契約及び適用可能な団体交渉の合意の言語が英語でない場合には、次のものは、英語によっても利用可能とする（国内の航行にのみ従事する船舶を除く。）。
- (a) 当該契約の標準様式の写し
- (b) 団体交渉の合意のうち、第5.2規則の規定に基づく寄港国による検査の対象となる部分
- 3 1(e)に規定する文書には、船員の勤務の成績又は賃金に関する事項を記述してはならない。その文書の形式、記録すべき事項及びその事項を記入する方法は、国内法令で定める。
- 4 加盟国は、その国内法令によつて規律される全ての船員の雇用契約に含まれるべき事項を明示する法令を制定する。船員の雇用契約には、次の事項が含まなければならない。
- (a) 船員の氏名、生年月日又は年齢及び出生地
- (b) 船舶所有者の名称及び住所
- (c) 当該船員の雇用契約が締結された場所及び年月日
- (d) 船員の従事する職務
- (e) 船員の賃金の額又は適用可能な場合には、賃金を計算するために用いられる方法
- (f) 年次有給休暇の日数又は適用可能な場合には、日数を計算するために用いられる方法
- (g) 当該契約の終了及びその条件、特に、
- (i) 当該契約が期間を定めなくて締結された場合には、各当事者が契約を終了させることができる条件及び予告期間。船舶所有者側の予告期間は、船員側の予告期間よりも短くしてはならない。
- (ii) 当該契約が一定の期間について締結された場合には、その期間の満了の日
- (iii) 当該契約が特定の航行について締結された場合には、目的港及びそれに到達した後船員が解雇されるまでの期間
- (h) 船舶所有者により船員に与えられる健康の保護及び社会保険による保護に関する給付
- (i) 船員の送還される権利
- (j) 適用可能な場合には、団体交渉の合意への言及
- (k) その他国内法令に定める事項

- (c) seafarers shall be given a document containing a record of their employment on board the ship.
2. Where a collective bargaining agreement forms all or part of a seafarers' employment agreement, a copy of that agreement shall be available on board. Where the language of the seafarers' employment agreement and any applicable collective bargaining agreement is not in English, the following shall also be available in English (except for ships engaged only in domestic voyages):
- (a) a copy of a standard form of the agreement; and
- (b) the portions of the collective bargaining agreement that are subject to a port State inspection under Regulation 5.2.
3. The document referred to in paragraph 1(e) of this Standard shall not contain any statement as to the quality of the seafarers' work or as to their wages. The form of the document, the particulars to be recorded and the manner in which such particulars are to be entered, shall be determined by national law.
4. Each Member shall adopt laws and regulations specifying the matters that are to be included in all seafarers' employment agreements governed by its national law. Seafarers' employment agreements shall in all cases contain the following particulars:
- (a) the seafarer's full name, date of birth or age, and birthplace;
- (b) the shipowner's name and address;
- (c) the place where and date when the seafarers' employment agreement is entered into;
- (d) the capacity in which the seafarer is to be employed;
- (e) the amount of the seafarer's wages or, where applicable, the formula used for calculating them;
- (f) the amount of paid annual leave or, where applicable, the formula used for calculating it;
- (g) the termination of the agreement and the conditions thereof, including:
- (i) if the agreement has been made for an indefinite period, the conditions entitling either party to terminate it, as well as the required notice period, which shall not be less for the shipowner than for the seafarer;
- (ii) if the agreement has been made for a definite period, the date fixed for its expiry; and
- (iii) if the agreement has been made for a voyage, the port of destination and the time which has to expire after arrival before the seafarer should be discharged;
- (h) the health and social security protection benefits to be provided to the seafarer by the shipowner;
- (i) the seafarer's entitlement to repatriation;
- (j) reference to the collective bargaining agreement, if applicable; and
- (k) any other particulars which national law may require.



## 賃金

- 5 加盟国は、船員の雇用契約の早期の終了のために船員及び船舶所有者によって与えられる最も短い予告期間を定める法令を制定する。この最も短い予告期間は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、決定されるものとし、七日間よりも短くてはならない。
- 6 国内法令又は適用可能な団体交渉の合意に基づき、一層短い期間の予告で又は予告なしに雇用契約を終了させることが正当であると認められる状況においては、最も短い予告期間よりも短い予告期間を与えることができる。加盟国は、そのような状況決定するに当たり、船員が不利益を受けることなく、人道的な又は他の緊急の理由のために、一層短い期間の予告で又は予告なしに雇用契約を終了させる必要性が考慮されることを確保する。
  - B.1 指針 船員の雇用契約
  - B.1.1 指針 雇用の記録
    - 1 加盟国は、A.2.1基準1(e)に規定する雇用の記録に記載される事項を決定するに当たり、当該記録が更なる労働の機会の取得を促進し、又は昇格若しくは昇進のための海上勤務の要件を満たすために十分な情報（英語による訳文を含む。）を含んでいることを確保すべきである。船員手帳は、同基準1(e)に規定する要件を満たすことができる。
  - 第2.2規則 賃金
    - 1 全ての船員は、その労働について、雇用契約に従い定期的に賃金の全額の支払を受ける。
  - A.2.2基準 賃金
    - 1 加盟国は、自国を旗国とする船舶において労働する船員に支払われるべき賃金が適用可能な団体交渉の合意に従い、一箇月以内の間隔で支払われることを要求する。
    - 2 船員は、支払われるべき賃金及び支払われた金額の一箇月ごとの明細（賃金及び追加的な給付並びに合意したものと異なる通貨又は換算率によって支払が行われた場合には用いられた為替換算率を含む。）が与えられる。
    - 3 加盟国は、船舶所有者に対し、船員がその収入の全部又は一部をその家族、被扶養者又は法定の受給者に送金する手段を当該船員に提供するため、4 に定めるような措置をとることを要求する。
    - 4 船員がその家族に収入を送金することができることを確保するための措置は、次のものを含む。

### 海上労働条約

5. Each Member shall adopt laws or regulations establishing minimum notice periods to be given by the seafarers and shipowners for the early termination of a seafarers' employment agreement. The duration of these minimum periods shall be determined after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned, but shall not be shorter than seven days.
6. A notice period shorter than the minimum may be given in circumstances which are recognized under national law or regulations or applicable collective bargaining agreements as justifying termination of the employment agreement at shorter notice or without notice. In determining those circumstances, each Member shall ensure that the need of the seafarer to terminate, without penalty, the employment agreement on shorter notice or without notice for compassionate or other urgent reasons is taken into account.

#### Guideline B2.1 – Seafarers' employment agreements

##### Guideline B2.1.1 – Record of employment

1. In determining the particulars to be recorded in the record of employment referred to in Standard A2.1, paragraph 1(e), each Member should ensure that this document contains sufficient information, with a translation in English, to facilitate the acquisition of further work or to satisfy the sea-service requirements for upgrading or promotion. A seafarers' discharge book may satisfy the requirements of paragraph 1(e) of that Standard.

#### Regulation 2.2 – Wages

##### Purpose: To ensure that seafarers are paid for their services

1. All seafarers shall be paid for their work regularly and in full in accordance with their employment agreements.

##### Standard A2.2 – Wages

1. Each Member shall require that payments due to seafarers working on ships that fly its flag are made at no greater than monthly intervals and in accordance with any applicable collective agreement.
2. Seafarers shall be given a monthly account of the payments due and the amounts paid, including wages, additional payments and the rate of exchange used where payment has been made in a currency or at a rate different from the one agreed to.
3. Each Member shall require that shipowners take measures, such as those set out in paragraph 4 of this Standard, to provide seafarers with a means to transmit all or part of their earnings to their families or dependants or legal beneficiaries.
4. Measures to ensure that seafarers are able to transmit their earnings to their families include:

## 海上労働条約

- (a) 船員が希望する場合には、当該船員が雇用される時又は当該船員の雇用期間中に、銀行口座振替又は類似の手段により当該船員の収入の一定の割合をその家族への定期的な送金に割り当てることができるようにする制度
- (b) 船員の指定した者に対し割当額を所定の時期に直接送金するよう要求する制度。
- 5 3及び4の規定に基づくサービスに係る料金は、妥当な金額のものとす。通貨の為替換算率は、別段の定めがない限り、国内法令に従い、市場における一般的な換算率又は公表された公式の換算率とし、かつ、船員にとって不利とならないものとする。
- 6 船員の賃金を規律する国内法令を制定する加盟国は、規範B部に定める指針に妥当な考慮を払う。
  - B 2.2 指針 賃金
    - 1 B 2.2 指針 特定の定義
      - 1 B 2.2 指針の適用上、
        - (a) 「有能船員」とは、甲板部において勤務する部員に対して要求される職務（監督又は専門的な部員の職務を除く。）を遂行する能力を有すると認められる船員又は国内法令、国内慣行若しくは団体交渉の合意により有能船員として定義される者をいう。
          - (b) 「基本給又は基本賃金」とは、構成のいかんを問わず、通常の労働時間に対する支払をいうものとす。時間外手当、賞与、手当、有給休暇その他の追加的な報酬を含まない。
          - (c) 「統合賃金」とは、基本給及び他の給料に関連する給付を含む賃金又は給与をいう。統合賃金には、全ての時間外労働に対する補償その他給料に関連する全ての給付を含めることができるものとす。また、部分的に特定の給付のみを含めることができる。
          - (d) 「労働時間」とは、船員が船舶のために労働する（とを要求される）時間をいう。
          - (e) 「時間外労働」とは、通常の労働時間を超過して労働する時間をいう。
        - B 2.2 指針 計算及び支払
          - 1 支払われる報酬に時間外労働についての区別された補償が含まれる船員に関し、
            - (a) 賃金の計算上、海上及び港における通常の労働時間は、一日当たり八時間以内とすべきである。

## 四七六

- (a) a system for enabling seafarers, at the time of their entering employment or during it, to allot, if they so desire, a proportion of their wages for remittance at regular intervals to their families by bank transfers or similar means; and
- (b) a requirement that allotments should be remitted in due time and directly to the person or persons nominated by the seafarers.
  5. Any charge for the service under paragraphs 3 and 4 of this Standard shall be reasonable in amount, and the rate of currency exchange, unless otherwise provided, shall, in accordance with national laws or regulations, be at the prevailing market rate or the official published rate and not unfavourable to the seafarer.
6. Each Member that adopts national laws or regulations governing seafarers' wages shall give due consideration to the guidance provided in Part B of the Code.
 

Guideline B2.2 – Wages

Guideline B2.2.1 – Specific definitions

  1. For the purpose of this Guideline, the term:
    - (a) *able seafarer* means any seafarer who is deemed competent to perform any duty which may be required of a rating serving in the deck department, other than the duties of a supervisory or specialist rating, or who is defined as such by national laws, regulations or practice, or by collective agreement;
    - (b) *basic pay or wages* means the pay, however composed, for normal hours of work; it does not include payments for overtime worked, bonuses, allowances, paid leave or any other additional remuneration;
    - (c) *consolidated wage* means a wage or salary which includes the basic pay and other pay-related benefits; a consolidated wage may include compensation for all overtime hours which are worked and all other pay-related benefits, or it may include only certain benefits in a partial consolidation;
    - (d) *hours of work* means time during which seafarers are required to do work on account of the ship;
    - (e) *overtime* means time worked in excess of the normal hours of work.

Guideline B2.2.2 – Calculation and payment

  1. For seafarers whose remuneration includes separate compensation for overtime worked:
    - (a) for the purpose of calculating wages, the normal hours of work at sea and in port should not exceed eight hours per day;

- (b) 時間外労働の計算上、基本給又は基本賃金の支払の対象となる一週間当たりの通常の労働時間数は、団体交渉の合意によって決定されない場合には、国内法令に定めるべきであるが、一週間当たり四十八時間以内とすべきである。団体交渉の合意は、これよりも不利でない異なる扱いを定めることができる。
  - (c) 時間外労働に対する補償の額は、一週間当たりの基本給又は基本賃金の $1.25$ 倍以上とすべきであり、また、国内法令又は適当な場合には団体交渉の合意に定めるべきである。
  - (d) 全ての時間外労働の記録は、船長又は船長が指名する者が保管し、及び船員が一箇月以内の間隔で署名すべきである。
- 2 支払われる賃金の全額又は一部が統合賃金である船員に関し、
- (a) 船員の雇用契約は、適当な場合には、当該賃金の対価として船員に期待される労働時間数、当該統合賃金に加えて支払われ得る追加的な手当及び当該手当がどのような場合に支払われるかについて明確に定めるべきである。
  - (b) 統合賃金の対象となる労働時間を超える労働時間に対して時間外労働の時給が支払われる場合には、当該時給は、1に定める通常の労働時間に対応する基本額の $1.25$ 倍以上とすべきである。同様の原則は、統合賃金の対象に含まれる時間外労働についても適用すべきである。
  - (c) 当該賃金のうち1(a)に定める通常の労働時間に相当する部分については、当該部分に対する報酬が適用される最低賃金以上の額となるようにすべきである。
  - (d) 支払われる賃金の一部が統合賃金である船員については、全ての時間外労働の記録は、1(d)の規定に従って保管され、及び署名されるべきである。
- 3 国内法令又は団体交渉の合意は、当該国内法令又は当該団体交渉の合意に定める報酬その他の補償に代えて、時間外労働又は週の休日及び公の休日に行われた労働に対する補償として、少なくとも当該時間外労働又は当該労働と同等の時間の陸上での休息又は追加的な休暇を与える(ことを定める)ことができる。
- 4 代表的な船舶所有者団体及び船員団体と協議した後制定される国内法令又は適当な場合には団体交渉の合意は、次の原則を考慮すべきである。
- (a) 同一価値の労働に対する同一報酬の原則は、人種、皮膚の色、性、宗教、政治的意見、国民的系統又は社会的出身による差別なしに、同一の船舶において雇用される全ての船員について適用する。

- (b) for the purpose of calculating overtime, the number of normal hours per week covered by the basic pay or wages should be prescribed by national laws or regulations, if not determined by collective agreements, but should not exceed 48 hours per week; collective agreements may provide for a different but not less favourable treatment;
  - (c) the rate or rates of compensation for overtime, which should be not less than one and one-quarter times the basic pay or wages per hour, should be prescribed by national laws or regulations or by collective agreements, if applicable; and
  - (d) records of all overtime worked should be maintained by the master, or a person assigned by the master, and endorsed by the seafarer at no greater than monthly intervals.
2. For seafarers whose wages are fully or partially consolidated:
- (a) the seafarers' employment agreement should specify clearly, where appropriate, the number of hours of work expected of the seafarer in return for this remuneration, and any additional allowances which might be due in addition to the consolidated wage, and in which circumstances;
  - (b) where hourly overtime is payable for hours worked in excess of those covered by the consolidated wage, the hourly rate should be not less than one and one-quarter times the basic rate corresponding to the normal hours of work as defined in paragraph 1 of this Guideline; the same principle should be applied to the overtime hours included in the consolidated wage;
  - (c) remuneration for that portion of the fully or partially consolidated wage representing the normal hours of work as defined in paragraph 1(a) of this Guideline should be no less than the applicable minimum wage; and
  - (d) for seafarers whose wages are partially consolidated, records of all overtime worked should be maintained and endorsed as provided for in paragraph 1(d) of this Guideline.
3. National laws or regulations or collective agreements may provide for compensation for overtime or for work performed on the weekly day of rest and on public holidays by at least equivalent time off duty and off the ship or additional leave in lieu of remuneration or any other compensation so provided.
4. National laws and regulations adopted after consulting the representative shipowners' and seafarers' organizations or, as appropriate, collective agreements should take into account the following principles:
- (a) equal remuneration for work of equal value should apply to all seafarers employed on the same ship without discrimination based upon race, colour, sex, religion, political opinion, national extraction or social origin;

- (b) 適用される賃金について規定する船員の雇用契約は、船舶内に備え置かねばならない。賃金の額に関する情報については、関係する情報の少なくとも一通の署名入りの写しであつて船員が理解する言語によるものを当該船員に交付すること、当該船員の雇用契約の写しを船員が利用することができる場所に掲示すること又は他の適当な手段をとることにより、各船員の利用に供すべきである。
- (c) 賃金は、法貨で支払うべきであり、また、適当な場合には、銀行口座振替、銀行小切手、郵便小切手又は郵便為替によつて支払うことができる。
- (d) 勤務が終了した場合には、支払うべき全ての報酬が不当に遅延することなく支払われるべきである。
- (e) 権限のある機関は、船舶所有者が支払うべき全ての報酬の支払を不当に遅延させ、又は当該支払を行わない場合には、適切な制裁を科し、又は他の適当な救済措置をとらねばならない。
- (f) 賃金は、船員が書面での方法によることを要請しない限り、直接当該船員の指定する銀行口座に支払うべきである。
- (g) 船舶所有者は、(h)の規定に従うことを条件として、船員がその報酬を処分する自由に制限を課すべきでない。
- (h) 報酬からの控除は、次の場合にのみ認められるべきである。
  - (i) 国内法令又は適用可能な団体交渉の合意に明示の規定があり、かつ、船員が権限のある機関によつて最も適当と認められた方法により当該控除の条件について知らされている場合
  - (ii) 当該控除の合計額が国内法令、団体交渉の合意又は当該控除を行うべきことについての判決に定める限度額を超えない場合
- (i) 雇用を得ること又は維持することに関して、船員の報酬からいかなる控除も行ふべきでない。
- (j) 国内法令、団体交渉の合意又は他の措置によつて認められている罰金以外の罰金を船員に科することは、禁止すべきである。
- (k) 権限のある機関は、関係する船員の利益のために公正かつ妥当な価格が適用されることを確保するため、船舶内の売店及び船舶において提供されるサービスについて検査する権限を有すべきである。
- (l) 雇用について支払われるべき賃金その他金銭に関する船員の債権は、千九百九十三年の海上における先取特権及び抵当権に関する国際条約に従つて担保されない場合には、千九百九十二年の労働者債権の保護（使用者の支払不能）条約（第百七十二号）に従つて保護されるべきである。

- (b) the seafarers' employment agreement specifying the applicable wages or wage rates should be carried on board the ship; information on the amount of wages or wage rates should be made available to each seafarer, either by providing at least one signed copy of the relevant information to the seafarer in a language which the seafarer understands, or by posting a copy of the agreement in a place accessible to seafarers or by some other appropriate means.
- (c) wages should be paid in legal tender; where appropriate, they may be paid by bank transfer, bank cheque, postal cheque or money order;
- (d) on termination of engagement all remuneration due should be paid without undue delay;
- (e) adequate penalties or other appropriate remedies should be imposed by the competent authority where shipowners unduly delay, or fail to make, payment of all remuneration due;
- (f) wages should be paid directly to seafarers' designated bank accounts unless they request otherwise in writing;
- (g) subject to subparagraph (h) of this paragraph, the shipowner should impose no limit on seafarers' freedom to dispose of their remuneration;
- (h) deduction from remuneration should be permitted only if:
  - (i) there is an express provision in national laws or regulations or in an applicable collective agreement and the seafarer has been informed, in the manner deemed most appropriate by the competent authority, of the conditions for such deductions; and
  - (ii) the deductions do not in total exceed the limit that may have been established by national laws or regulations or collective agreements or court decisions for making such deductions;
- (i) no deductions should be made from a seafarer's remuneration in respect of obtaining or retaining employment;
- (j) monetary fines against seafarers other than those authorized by national laws or regulations, collective agreements or other measures should be prohibited;
- (k) the competent authority should have the power to inspect stores and services provided on board ship to ensure that fair and reasonable prices are applied for the benefit of the seafarers concerned; and
- (l) to the extent that seafarers' claims for wages and other sums due in respect of their employment are not secured in accordance with the provisions of the International Convention on Maritime Liens and Mortgages, 1993, such claims should be protected in accordance with the Protection of Workers' Claims (Employer's Insolvency) Convention, 1992 (No. 173).

5 加盟国は、代表的な船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、この指針に規定する事項に関する苦情を調査するための手続を有すべきである。

B 2.3 指針 最低賃金

1 加盟国は、自由な団体交渉の原則の適用を妨げることなく、代表的な船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、船員の最低賃金を決定するための手続を設けるべきである。代表的な船舶所有者団体及び船員団体は、当該手続の運用に参加すべきである。

2 1に規定する手続を設ける場合及び最低賃金を決定する場合には、最低賃金の決定に関する国際的な労働基準及び次の原則に妥当な考慮を払うべきである。

(a) 最低賃金の水準は、海上の勤務の性質、船舶における船員の配乗の水準及び船員の通常の労働時間を考慮に入れたものとすべきである。

(b) 最低賃金の水準は、生計費の変動及び船員の需要の変化を考慮して調整すべきである。

3 (a) 権限のある機関は、監督及び制裁の制度により、賃金が決定された額以上の額で支払われることを確保すべきである。

(b) 権限のある機関は、最低賃金よりも低い額の賃金の支払を受けた船員が低廉かつ迅速な司法上の手続その他の手続により不足額の支払を受けることができるようにすることを確保すべきである。

B 2.4 指針 有能船員の最低月額基本給又は基本賃金

1 有能船員の1箇月の勤務に対する基本給又は基本賃金は、合同海事委員会又は他の機関であつて国際労働機関の理事会によつて権限を与えられたものが定期的に設定する額よりも低い額とすべきでない。国際労働事務局局長は、理事会の決定に基づき、改定された額を国際労働機関の加盟国に通報する。

2 この指針のいかなる規定も、雇用に関する基準となる最低条件に係る規則に関して船舶所有者又は船舶所有者団体と船員団体との間で合意された取決めの適用を妨げるものと解すべきでない。ただし、権限のある機関が当該最低条件を認める場合に限り。

第2.3規則 労働時間及び休息時間

目的 船員が規定された労働時間又は休息時間を有することを確保する。

1 加盟国は、船員の労働時間又は休息時間が規定されることを確保する。

海上労働条約

5 Each Member should, after consulting with representative shipowners' and seafarers' organizations, have procedures to investigate complaints relating to any matter contained in this Guideline.

Guideline B2.2.3 – Minimum wages

1. Without prejudice to the principle of free collective bargaining, each Member should, after consulting representative shipowners' and seafarers' organizations, establish procedures for determining minimum wages for seafarers. Representative shipowners' and seafarers' organizations should participate in the operation of such procedures.

2. When establishing such procedures and in fixing minimum wages, due regard should be given to international labour standards concerning minimum wage fixing, as well as the following principles:

(a) the level of minimum wages should take into account the nature of maritime employment, crewing levels of ships, and seafarers' normal hours of work; and

(b) the level of minimum wages should be adjusted to take into account changes in the cost of living and in the needs of seafarers.

3. The competent authority should ensure:

(a) by means of a system of supervision and sanctions, that wages are paid at not less than the rate or rates fixed; and

(b) that any seafarers who have been paid at a rate lower than the minimum wage are enabled to recover, by an inexpensive and expeditious judicial or other procedure, the amount by which they have been underpaid.

Guideline B2.2.4 – Minimum monthly basic pay or wage figure for able seafarers

1. The basic pay or wages for a calendar month of service for an able seafarer should be no less than the amount periodically set by the Joint Maritime Commission or another body authorized by the Governing Body of the International Labour Office. Upon a decision of the Governing Body, the Director-General shall notify any revised amount to the Members of the Organization.

2. Nothing in this Guideline should be deemed to prejudice arrangements agreed between shipowners or their organizations and seafarers' organizations with regard to the regulation of standard minimum terms and conditions of employment, provided such terms and conditions are recognized by the competent authority.

Regulation 2.3 – Hours of work and hours of rest

Purpose: To ensure that seafarers have regulated hours of work or hours of rest

1. Each Member shall ensure that the hours of work or hours of rest for seafarers are regulated.



- 2 加盟国は、一定の期間における最長の労働時間又は最短の休息時間であつて規範の規定に適合するものを定める。
  - A 2.3 基準 労働時間及び休息時間
- 1 この基準の適用上、
  - (a) 「労働時間」とは、船員が船舶のために労働すること并要求される時間をいう。
  - (b) 「休息時間」とは、労働時間以外の時間をいうものとし、短い休息を含まない。
- 2 加盟国は、5から8までに定める制限の範囲内において、一定の期間において超えてはならない最長の労働時間又は一定の期間において与えられる最短の休息時間を定める。
- 3 加盟国は、他の労働者の労働時間の基準と同様に、船員の通常の労働時間の基準について、一週間当たり一日の休日及び公の休日における休養を伴う一日八時間を基礎とすることを確認する。ただし、「( )」とは、加盟国が、船員の通常の労働時間をこの基準よりも不利とならないように定める団体交渉の合意を承認し、又は登録するための手続を有すること（これを妨げるものではない）。
- 4 加盟国は、自国の基準を定めるに当たり、船員（特に、その職務が航行の安全並びに船舶の運航の安全及び保安に関係する者）の疲労がもたらす危険を考慮する。
- 5 労働時間又は休息時間の限度は、次のとおりとする。
  - (a) 最長の労働時間は、次のとおりとする。
    - (i) 二十四時間につき二十四時間以内
    - (ii) 七日間につき七十二時間以内
  - (b) 最短の休息時間は、次のとおりとする。
    - (i) 二十四時間につき十時間以上
    - (ii) 七日間につき七十七時間以上
- 6 休息時間は、二分割を限度として分割することができる。そのうち一の休息の長さは、六時間以上とし、かつ、休息と次の休息との間隔は、十四時間以内とする。
- 7 招集、消火及び救命艇に係る操練並びに国内法令及び国際文書に定める操練は、休息に及ぼす支障を最少のものにとどめ、かつ、疲労を引き起こさない方法によつて行ふ。
- 8 機関区域が無となる場合のように船員が待機の状態にある場合において、労働のための呼出しにより通常の休息が妨げられたときは、当該船員は、これを補う適当な休息が与えられる。

2. Each Member shall establish maximum hours of work or minimum hours of rest over given periods that are consistent with the provisions in the Code.

*Standard A2.3 – Hours of work and hours of rest*

1. For the purpose of this Standard, the term:
  - (a) *hours of work* means time during which seafarers are required to do work on account of the ship;
  - (b) *hours of rest* means time outside hours of work; this term does not include short breaks.
2. Each Member shall within the limits set out in paragraphs 5 to 8 of this Standard fix either a maximum number of hours of work which shall not be exceeded in a given period of time, or a minimum number of hours of rest which shall be provided in a given period of time.
3. Each Member acknowledges that the normal working hours' standard for seafarers, like that for other workers, shall be based on an eight-hour day with one day of rest per week and rest on public holidays. However, this shall not prevent the Member from having procedures to authorize or register a collective agreement which determines seafarers' normal working hours on a basis no less favourable than this standard.
4. In determining the national standards, each Member shall take account of the danger posed by the fatigue of seafarers, especially those whose duties involve navigational safety and the safe and secure operation of the ship.
5. The limits on hours of work or rest shall be as follows:
  - (a) maximum hours of work shall not exceed:
    - (i) 14 hours in any 24-hour period; and
    - (ii) 72 hours in any seven-day period;
  - or
  - (b) minimum hours of rest shall not be less than:
    - (i) ten hours in any 24-hour period; and
    - (ii) 77 hours in any seven-day period.
6. Hours of rest may be divided into no more than two periods, one of which shall be at least six hours in length, and the interval between consecutive periods of rest shall not exceed 14 hours.
7. Musters, fire-fighting and lifeboat drills, and drills prescribed by national laws and regulations and by international instruments, shall be conducted in a manner that minimizes the disturbance of rest periods and does not induce fatigue.
8. When a seafarer is on call, such as when a machinery space is unattended, the seafarer shall have an adequate compensatory rest period if the normal period of rest is disturbed by call-outs to work.

9 7又は8の規定に関し、団体交渉の合意若しくは仲裁裁定が存在しない場合又は団体交渉の合意若しくは仲裁裁定が不十分であると権限のある機関が判断する場合には、権限のある機関は、関係する船員が十分な休息を与えられることを確保するための措置について定める。

10 加盟国は、船舶内の労働の配置に関する表を船員が容易に利用することができる場所に掲示することを要求するものとし、この表には、それぞれの職務につき少なくとも次の事項を含める。

(a) 海上及び港における業務の予定

(b) 国内法令又は適用可能な団体交渉の合意が要求する最長の労働時間又は最短の休息時間

11 10に規定する表については、船舶内の常用語及び英語により標準化された様式で作成する。

12 加盟国は、5から11までの規定の遵守を監視することと可能にするため、船員の毎日の労働時間又は休息時間の記録が保持されることを要求する。当該記録は、権限のある機関が利用可能な国際労働機関の指針を考慮して定める標準化された様式又は国際労働機関が作成した標準化された様式とする。当該記録は、11に規定する言語によるものとする。船員は、船長又は船長の委任を受けた者及び自己によって署名された自己に関する当該記録の写しを受け取る。

13 5及び6の規定は、加盟国が、定められた限度の例外を認める団体交渉の合意について権限のある機関が承認し、又は登録するための国内法令又は手続を有することを妨げるものではない。そのような例外については、この基準の規定にできる限り従うものとする。ただし、当直を担当する船員又は短航海に従事する船舶において労働する船員に対し一層頻繁な若しくは一層長期の休暇又は代休を与えることを考慮することができる。

14 この基準のいかなる規定も、船長が船員に対し、船舶、乗船者若しくは貨物の速やかな安全の確保又は海上における遭難船舶若しくは遭難者への援助のために必要な労働にその時間の長さのいかなる間わず従事することを要求する権利を害するものと解してはならない。したがって、船長は、労働時間又は休息時間の予定を中止し、及び船員に対し、通常の状態が回復されるまでの間、必要な労働にその時間の長さのいかなる間わず従事することを要求することができる。船長は、通常の状態が回復された後、実行可能な限り速やかに、予定された休息中に労働に従事した船員に対し適当な休息を与えることを確保する。

9. If no collective agreement or arbitration award exists or if the competent authority determines that the provisions in the agreement or award in respect of paragraph 7 or 8 of this Standard are inadequate, the competent authority shall determine such provisions to ensure the seafarers concerned have sufficient rest.

10. Each Member shall require the posting, in an easily accessible place, of a table with the shipboard working arrangements, which shall contain for every position at least:

(a) the schedule of service at sea and service in port; and

(b) the maximum hours of work or the minimum hours of rest required by national laws or regulations or applicable collective agreements.

11. The table referred to in paragraph 10 of this Standard shall be established in a standardized format in the working language or languages of the ship and in English.

12. Each Member shall require that records of seafarers' daily hours of work or of their daily hours of rest be maintained to allow monitoring of compliance with paragraphs 5 to 11 inclusive of this Standard. The records shall be in a standardized format established by the competent authority taking into account any available guidelines of the International Labour Organization or shall be in any standard format prepared by the Organization. They shall be in the languages required by paragraph 11 of this Standard. The seafarers shall receive a copy of the records pertaining to them which shall be endorsed by the master, or a person authorized by the master, and by the seafarers.

13. Nothing in paragraphs 5 and 6 of this Standard shall prevent a Member from having national laws or regulations or a procedure for the competent authority to authorize or register collective agreements permitting exceptions to the limits set out. Such exceptions shall, as far as possible, follow the provisions of this Standard but may take account of more frequent or longer leave periods or the granting of compensatory leave for watchkeeping seafarers or seafarers working on board ships on short voyages.

14. Nothing in this Standard shall be deemed to impair the right of the master of a ship to require a seafarer to perform any hours of work necessary for the immediate safety of the ship, persons on board or cargo, or for the purpose of giving assistance to other ships or persons in distress at sea. Accordingly, the master may suspend the schedule of hours of work or hours of rest and require a seafarer to perform any hours of work necessary until the normal situation has been restored. As soon as practicable after the normal situation has been restored, the master shall ensure that any seafarers who have performed work in a scheduled rest period are provided with an adequate period of rest.

海上労働条約

B 2.3 指針 労働時間及び休息時間

B 2.3.1 指針 年少の船員

1 海上及び港において、全ての十八歳未満の年少の船員について、次の(a)から(c)までの規定を適用すべきである。

(a) 労働時間は、一日当たり八時間及び一週間当たり四十時間を超えないものとすべきである。時間外労働は、安全上の理由から避けることのできない場合に限り適用すべきである。

(b) 全ての食事のために十分な時間を与えるべきである。一日の主要な食事のためには、少なくとも一時間の休息時間を確保すべきである。

(c) 連続する二時間の労働の後、とにできる限り速やかに、十五分の休息を与えるべきである。

2 1の規定は、例外的に、次の場合には、適用することを要しない。

(a) 甲板部、機関部及び司<sup>（ボイラー）</sup>厨<sup>（ボイラー）</sup>部において当直又は輪番制による職務に従事する年少の船員について、適用することが実際のでない場合

(b) 確立した計画及び予定に基づく年少の船員の効果的な訓練が妨げられる場合

3 2に規定する例外的な場合については、理由を付して記録し、船長が署名すべきである。

4 1の規定は、年少の船員について、A 2.3 基準 14 に定めることにより緊急時に労働するという全ての船員の一般的義務を免除するものではない。

第 2.4 規則 休暇についての権利

目的 船員が適当な休暇を与えられることを確保すること。

1 加盟国は、規範の規定に従って、自国を旗国とする船舶において雇用される船員が適当な条件の下で年次有給休暇を与えられることを要求する。

2 船員は、自己の健康及び福祉のために、その職務上の要請に合致する上陸許可を与えられる。

A 2.4 基準 休暇についての権利

1 加盟国は、年次休暇に関する船員の特別の必要を適切に考慮して、自国を旗国とする船舶において業務を行う船員の年次休暇に関する最低基準を定める法令を制定する。

Guideline B2.3 – Hours of work and hours of rest

Guideline B2.3.1 – Young seafarers

1. At sea and in port the following provisions should apply to all young seafarers under the age of 18:

(a) working hours should not exceed eight hours per day and 40 hours per week and overtime should be worked only where unavoidable for safety reasons;

(b) sufficient time should be allowed for all meals, and a break of at least one hour for the main meal of the day should be assured; and

(c) a 15-minute rest period as soon as possible following each two hours of continuous work should be allowed.

2. Exceptionally, the provisions of paragraph 1 of this Guideline need not be applied if:

(a) they are impracticable for young seafarers in the deck, engine room and catering departments assigned to watchkeeping duties or working on a rostered shift-work system; or

(b) the effective training of young seafarers in accordance with established programmes and schedules would be impaired.

3. Such exceptional situations should be recorded, with reasons, and signed by the master.

4. Paragraph 1 of this Guideline does not exempt young seafarers from the general obligation on all seafarers to work during any emergency as provided for in Standard A2.3, paragraph 14.

Regulation 2.4 – Entitlement to leave

Purpose: To ensure that seafarers have adequate leave

1. Each Member shall require that seafarers employed on ships that fly its flag are given paid annual leave under appropriate conditions, in accordance with the provisions in the Code.

2. Seafarers shall be granted shore leave to benefit their health and well-being and consistent with the operational requirements of their positions.

Standard A2.4 – Entitlement to leave

1. Each Member shall adopt laws and regulations determining the minimum standards for annual leave for seafarers serving on ships that fly its flag, taking proper account of the special needs of seafarers with respect to such leave.



2 年次有給休暇に関する船員の特別の必要を考慮した適当な計算方法を定める団体交渉の合意又は法令に従うことを条件として、年次有給休暇についての権利は、一箇月の雇用につき最低二・五日を基礎として計算する。勤務期間を算定する方法は、各国の権限のある機関により又は適当な機構を通じて定められる。正当な欠勤は、年次休暇とはみなさない。

3 この基準に定める最小限の年次有給休暇を放棄する合意は、権限のある機関によって定められる場合を除くほか、禁止する。

#### B 4.4 指針 休暇についての権利

##### B 4.4 指針 権利のある休暇に係る計算

1 契約外の勤務は、各国の権限のある機関によって又は各国の適当な機構を通じて定められる条件の下で、勤務期間の一部として算入すべきである。

2 承認された海上の職業に係る訓練課程に参加するための欠勤、疾病、負傷等の理由による欠勤又は出座による欠勤については、権限のある機関が定める条件又は適当な団体交渉の合意に定める条件の下で、勤務期間の一部として算入すべきである。

3 年次休暇中の給料の水準は、国内法令又は適用される船員の雇用契約に定める船員の通常の報酬の水準とすべきである。船員の雇用された期間が一年に満たない場合又は雇用関係が終了した場合には、当該船員が権利を有する休暇の日数は、当該船員が雇用された期間に比例して計算すべきである。

4 次のものは、年次有給休暇の一部として算入すべきでない。

(a) 年次有給休暇の期間中に当たるか否かを問わず、旗国において認められた公の休日及び慣習上の休日  
(b) 疾病若しくは負傷又は出産に起因する労働不能の期間。ただし、各国の権限のある機関によって又は適当な機構を通じて定められる条件の範囲内のものに限り。

(c) 船員が雇用契約の下にある期間中に与えられた一時的な上陸許可

(d) あらゆる種類の代休。ただし、各国の権限のある機関によって又は適当な機構を通じて定められる条件の範囲内のものに限り。

##### B 4.4 指針 年次休暇の取得

1 年次休暇を取得する時期は、規則、団体交渉の合意、仲裁裁定その他国内慣行に合致する方法によって決定する場合を除くほか、船舶所有者が関係する船員又はその代表者と協議した後、できる限りこれらの者の同意を得て、決定すべきである。

2. Subject to any collective agreement or laws or regulations providing for an appropriate method of calculation that takes account of the special needs of seafarers in this respect, the annual leave with pay entitlement shall be calculated on the basis of a minimum of 2.5 calendar days per month of employment. The manner in which the length of service is calculated shall be determined by the competent authority or through the appropriate machinery in each country. Justified absences from work shall not be considered as annual leave.

3. Any agreement to forgo the minimum annual leave with pay prescribed in this Standard, except in cases provided for by the competent authority, shall be prohibited.

#### Guideline B2.4 – Entitlement to leave

##### Guideline B2.4.1 – Calculation of entitlement

1. Under conditions as determined by the competent authority or through the appropriate machinery in each country, service off-articles should be counted as part of the period of service.

2. Under conditions as determined by the competent authority or in an applicable collective agreement, absence from work to attend an approved maritime vocational training course or for such reasons as illness or injury or for maternity should be counted as part of the period of service.

3. The level of pay during annual leave should be at the seafarer's normal level of remuneration provided for by national laws or regulations or in the applicable seafarers' employment agreement. For seafarers employed for periods shorter than one year or in the event of termination of the employment relationship, entitlement to leave should be calculated on a pro-rata basis.

4. The following should not be counted as part of annual leave with pay:

- (a) public and customary holidays recognized as such in the flag State, whether or not they fall during the annual leave with pay;
- (b) periods of incapacity for work resulting from illness or injury or from maternity, under conditions as determined by the competent authority or through the appropriate machinery in each country;
- (c) temporary shore leave granted to a seafarer while under an employment agreement; and
- (d) compensatory leave of any kind, under conditions as determined by the competent authority or through the appropriate machinery in each country.

##### Guideline B2.4.2 – Taking of annual leave

1. The time at which annual leave is to be taken should, unless it is fixed by regulation, collective agreement, arbitration award or other means consistent with national practice, be determined by the shipowner after consultation and, as far as possible, in agreement with the seafarers concerned or their representatives.

2 船員は、原則として、当該船員が実質的な関係を有する場所（通常は当該船員が送還される権利を有する場所と同一の場所）において年次休暇を取得する権利を有すべきである。船員は、船員の雇用契約又は国内法令の規定に基づく場合を除くほか、自己の同意なしに、他の場所において自己に与えられる年次休暇を取得することを要求されるべきでない。

3 船員は、その年次休暇を2の規定によって認められる場所以外の場所取得することを要求される場合には、雇用され、又は募集された場所のうち当該船員の居住地に近いいずれかの場所まで交通費を負担することなく移動する権利を有すべきである。生活費その他直接関連する費用は、船舶所有者の負担とすべきである。その移動の期間は、当該船員に与えられる年次有給休暇から差し引くべきでない。

4 年次休暇を取得中の船員は、極めて緊急の場合にのみ、かつ、当該船員の同意を得て、呼び戻すべきである。

B 4.3 分割及び合算

1 年次有給休暇の分割又は一年につき与えられるべき年次有給休暇と次の年の休暇との合算については、各国の権限のある機関によって又は適当な機構を通じて認められるべきである。

2 B 2.4 指針で勧告する年次有給休暇は、1の規定に従うことを条件として、関係する船舶所有者及び船員に適用される合意に別段の定めがある場合を除くほか、継続した1の期間とすべきである。

B 4.4 指針 年少の船員

1 十八歳未満の年少の船員が外国に航行する船舶において六箇月間又は団体交渉の合意若しくは船員の雇用契約に基づいてそれよりも短い期間、休暇なしで勤務した場合において、当該船舶がその間に当該年少の船員の居住国に戻らず、その後三箇月の航行中当該居住国に戻る（こととならない）ときは、当該年少の船員について特別の措置をとることを考慮すべきである。このような措置として、当該年少の船員が航行中に権利を得た休暇を取得するため、当該居住国内で最初に雇用された場所に費用を負担することなく送還されることをすることができる。

第2.5規則 送還

目的 船員が帰国することができるとを確保すること。

1 船員は、規範に定める場合において、規範に定める条件の下で、自ら費用を負担することなく送還される権利を有する。

2. Seafarers should in principle have the right to take annual leave in the place with which they have a substantial connection, which would normally be the same as the place to which they are entitled to be repatriated. Seafarers should not be required without their consent to take annual leave due to them in another place except under the provisions of a seafarers' employment agreement or of national laws or regulations.

3. If seafarers are required to take their annual leave from a place other than that permitted by paragraph 2 of this Guideline, they should be entitled to free transportation to the place where they were engaged or recruited, whichever is nearer their home, subsistence and other costs directly involved should be for the account of the shipowner; the travel time involved should not be deducted from the annual leave with pay due to the seafarer.

4. A seafarer taking annual leave should be recalled only in cases of extreme emergency and with the seafarer's consent.

Guideline B2.4.3 – Division and accumulation

1. The division of the annual leave with pay into parts, or the accumulation of such annual leave due in respect of one year together with a subsequent period of leave, may be authorized by the competent authority or through the appropriate machinery in each country.

2. Subject to paragraph 1 of this Guideline and unless otherwise provided in an agreement applicable to the shipowner and the seafarer concerned, the annual leave with pay recommended in this Guideline should consist of an uninterrupted period.

Guideline B2.4.4 – Young seafarers

1. Special measures should be considered with respect to young seafarers under the age of 18 who have served six months or any other shorter period of time under a collective agreement or seafarers' employment agreement without leave on a foreign-going ship which has not returned to their country of residence in that time, and will not return in the subsequent three months of the voyage. Such measures could consist of their repatriation at no expense to themselves to the place of original engagement in their country of residence for the purpose of taking any leave earned during the voyage.

Regulation 2.5 – Repatriation

Purpose: To ensure that seafarers are able to return home

1. Seafarers have a right to be repatriated at no cost to themselves in the circumstances and under the conditions specified in the Code.

2 加盟国は、自国を旗国とする船舶に対し、船員が規範の規定に従って適切に送還されることを確保するための金銭上の保証を提供することを要求する。

A.5 基準 送還

1 加盟国は、自国を旗国とする船舶の船員が次の場合に送還される権利を有することを確保する。

- (a) 当該船員が国外にいる間にその雇用契約が終了した場合
- (b) 当該船員の雇用契約が次の者によって終了された場合

(i) 船舶所有者

(ii) 正当な理由のある船員

(c) 当該船員がもはや雇用契約に基づく職務を遂行することができない場合又は特定の状況において当該船員による職務の遂行を期待することができない場合

2 加盟国は、自国の法令若しくは他の措置又は団体交渉の合意に次の事項を定める適当な規定が存在することを確保する。

(a) 1 (b) 及び (c) の規定に従い船員が送還される権利を有する場合

(b) 船員が送還される権利を有することとなるまでの船舶における最長の勤務期間。この期間は、十二箇月未満とする。

(c) 送還のために船舶所有者が与える具体的な権利（送還の目的地、輸送手段、船舶所有者が負担する費用の項目及び船舶所有者がとる他の措置に関係するものを含む。）

3 加盟国は、船舶所有者が雇用の開始時に船員に対し送還に係る費用のための前金を支払うよう要求すること及び国内法令若しくは他の措置又は適用可能な団体交渉の合意に基づき船員に雇用上の義務の重大な不履行があると認められる場合を除くほか、船員の賃金又は他の受けた給付から送還に係る費用を回収することを禁止する。

4 国内法令は、船舶所有者が第三者との契約に基づき送還に係る費用を回収する権利を害するものではない。

5 船舶所有者が送還される権利を有する船員の送還のための措置をとらない場合又はその送還に係る費用を負担しない場合には、

2. Each Member shall require ships that fly its flag to provide financial security to ensure that seafarers are duly repatriated in accordance with the Code.

Standard A2.5 – Repatriation

1. Each Member shall ensure that seafarers on ships that fly its flag are entitled to repatriation in the following circumstances:

- (a) if the seafarers' employment agreement expires while they are abroad;
- (b) when the seafarers' employment agreement is terminated;

(i) by the shipowner; or

(ii) by the seafarer for justified reasons; and also

(c) when the seafarers are no longer able to carry out their duties under their employment agreement or cannot be expected to carry them out in the specific circumstances.

2. Each Member shall ensure that there are appropriate provisions in its laws and regulations or other measures or in collective bargaining agreements, prescribing:

(a) the circumstances in which seafarers are entitled to repatriation in accordance with paragraph 1(b) and (c) of this Standard;

(b) the maximum duration of service periods on board following which a seafarer is entitled to repatriation – such periods to be less than 12 months; and

(c) the precise entitlements to be accorded by shipowners for repatriation, including those relating to the destinations of repatriation, the mode of transport, the items of expense to be covered and other arrangements to be made by shipowners.

3. Each Member shall prohibit shipowners from requiring that seafarers make an advance payment towards the cost of repatriation at the beginning of their employment, and also from recovering the cost of repatriation from the seafarers' wages or other entitlements except where the seafarer has been found, in accordance with national laws or regulations or other measures or applicable collective bargaining agreements, to be in serious default of the seafarer's employment obligations.

4. National laws and regulations shall not prejudice any right of the shipowner to recover the cost of repatriation under third-party contractual arrangements.

5. If a shipowner fails to make arrangements for or to meet the cost of repatriation of seafarers who are entitled to be repatriated:

- (a) 船舶の旗国である加盟国の権限のある機関は、関係する船員の送還のための措置をとる。当該権限のある機関が当該措置をとらないときは、当該船員の送還が開始される国又は当該船員が国籍を有する国は、当該船員の送還のための措置をとり、及び当該旗国である加盟国からその費用を回収することができるとする。
- (b) 船舶の旗国である加盟国は、船員の送還に要した費用を船舶所有者から回収することができるとする。
- (c) 送還に係る費用は、3 に規定する場合を除くほか、いかなる場合にも当該船員が負担するものではない。
- 6 この規範の規定に従い送還に係る費用を支払った加盟国は、適用可能な国際文書（千九百九十九年の船舶の拿捕に関する国際条約を含む。）を考慮して、5 の規定に従い当該費用の償還が行われるまで関係する船舶所有者の船舶を抑留し、又は当該船舶所有者の船舶を抑留を要求することができるとする。
- 7 加盟国は、自国の港に寄港し、又は自国の領海若しくは内水を通過する船舶において勤務する船員の送還及び船舶内の船員の交代を容易にする。
- 8 加盟国は、特に、船舶所有者の財政的事情又は船舶所有者が船員を交代させることができないこと若しくはその意思がないことを理由として、船員の送還される権利を拒否してはならない。
- 9 加盟国は、自国を旗国とする船舶が送還について適用可能な国内法令であつて適当な言語で記載されたものの写しを備え、及び船員の利用に供することを要求する。
- B 2.5 指針 送還
- B 2.5.1 指針 権利
- 1 船員は、次の場合には、送還される権利を有すべきである。
- A 2.5 基準 1 (a) に規定する場合において、船員の雇用契約の規定に従つて与えられた予告期間が終了したとき。
- A 2.5 基準 1 (b) 及び (c) に規定する場合において、
- (i) 送還を必要とする疾病、負傷その他の健康状態にあり、医学的に旅行に耐え得ると認められたとき。
- (ii) 難破したとき。
- (iii) 船舶所有者が支払不能、船舶の売却、船舶の登録の変更その他これらに類似する理由により当該船員の雇用者としての法律上又は契約上の義務を履行し続けることができないとき。

(a) the competent authority of the Member whose flag the ship flies shall arrange for repatriation of the seafarers concerned; if it fails to do so, the State from which the seafarers are to be repatriated or the State of which they are a national may arrange for their repatriation and recover the cost from the Member whose flag the ship flies;

(b) costs incurred in repatriating seafarers shall be recoverable from the shipowner by the Member whose flag the ship flies;

(c) the expenses of repatriation shall in no case be a charge upon the seafarers, except as provided for in paragraph 3 of this Standard.

6. Taking into account applicable international instruments, including the International Convention on Arrest of Ships, 1999, a Member which has paid the cost of repatriation pursuant to this Code may detain, or request the detention of, the ships of the shipowner concerned until the reimbursement has been made in accordance with paragraph 5 of this Standard.

7. Each Member shall facilitate the repatriation of seafarers serving on ships which call at its ports or pass through its territorial or internal waters, as well as their replacement on board.

8. In particular, a Member shall not refuse the right of repatriation to any seafarer because of the financial circumstances of a shipowner or because of the shipowner's inability or unwillingness to replace a seafarer.

9. Each Member shall require that ships that fly its flag carry and make available to seafarers a copy of the applicable national provisions regarding repatriation written in an appropriate language.

#### Guideline B2.5 – Repatriation

##### Guideline B2.5.1 – Entitlement

1. Seafarers should be entitled to repatriation:

(a) in the case covered by Standard A2.5, paragraph 1(a), upon the expiry of the period of notice given in accordance with the provisions of the seafarers' employment agreement;

(b) in the cases covered by Standard A2.5, paragraph 1(b) and (c):

(i) in the event of illness or injury or other medical condition which requires their repatriation when found medically fit to travel;

(ii) in the event of shipwreck;

(iii) in the event of the shipowner not being able to continue to fulfil their legal or contractual obligations as an employer of the seafarers by reason of insolvency, sale of ship, change of ship's registration or any other similar reason;

- (iv) 国内法令又は船員の雇用契約に定義する戦争地帯に船舶が向かうことについて当該船員が同意しないとき。
- (v) 労働についての裁定若しくは団体交渉の合意に従って雇用が終了し、若しくは中断し、又はこれらに類似する他の理由によって雇用が終了したとき。
- 2 船員が送還される権利を有することとなるまでの船舶における最長の勤務期間をこの規範の規定に従って決定するに当たり、船員の労働環境に影響を及ぼす要因を考慮に入れるべきである。加盟国は、可能な限り、技術の変化及び進歩に照らして当該期間を短縮するよう努めるべきであり、並びにこの問題について合同海事委員会が行う勧告を指針とすることができる。
- 3 A.5 基準の規定に基づく送還のために船舶所有者が負担すべき費用は、少なくとも次のものを含むべきである。
  - (a) 6の規定に基づいて送還のために選択された目的地までの移動
  - (b) 船員が船舶を離れた時から送還の目的地に到着するまでの宿泊及び食料
  - (c) 国内法令又は団体交渉の合意に規定している場合には、船員が船舶を離れた時から送還の目的地に到着するまでの給料及び諸手当
  - (d) 送還の目的地までの船員の手荷物三十キログラムの輸送
  - (e) 必要な場合には、船員が送還の目的地までの旅行に医学的に耐え得るようになるまでの治療
- 4 送還されるまでの待機及び送還のための旅行に費やす時間は、船員に与えられた有給休暇から差し引かれるべきでない。
- 5 船舶所有者は、関係する船員が、この規範に規定する目的地に到着し、又はこれらの目的地のうち一の目的地に向かう船舶において適当な職務を与えられるまで、送還に係る費用を引き続き負担するよう要求されるべきである。
- 6 加盟国は、船舶所有者が適当かつ迅速な手段によって送還のための措置をとむことについて責任を負うことを要求すべきである。通常の輸送手段は、航空機とすべきである。加盟国は、船員が送還され得る二以上の目的地について定めるべきである。当該二以上の目的地には、船員が実質的な関係を有すると認められる国であつて次の場所を含むものを含めるべきである。
  - (a) 船員が雇用に合意した場所
  - (b) 団体交渉の合意に定める場所

- (iv) in the event of a ship being bound for a war zone, as defined by national laws or regulations or seafarers' employment agreements, to which the seafarer does not consent to go, and
- (v) in the event of termination or interruption of employment in accordance with an industrial award or collective agreement, or termination of employment for any other similar reason.
2. In determining the maximum duration of service periods on board following which a seafarer is entitled to repatriation, in accordance with this Code, account should be taken of factors affecting the seafarers' working environment. Each Member should seek, wherever possible, to reduce these periods in the light of technological changes and developments and might be guided by any recommendations made on the matter by the Joint Maritime Commission.
3. The costs to be borne by the shipowner for repatriation under Standard A2.5 should include at least the following:
  - (a) passage to the destination selected for repatriation in accordance with paragraph 6 of this Guideline;
  - (b) accommodation and food from the moment the seafarers leave the ship until they reach the repatriation destination;
  - (c) pay and allowances from the moment the seafarers leave the ship until they reach the repatriation destination, if provided for by national laws or regulations or collective agreements;
  - (d) transportation of 30 kg of the seafarers' personal luggage to the repatriation destination; and
  - (e) medical treatment when necessary until the seafarers are medically fit to travel to the repatriation destination.
4. Time spent awaiting repatriation and repatriation travel time should not be deducted from paid leave accrued to the seafarers.
5. Shipowners should be required to continue to cover the costs of repatriation until the seafarers concerned are landed at a destination prescribed pursuant to this Code or are provided with suitable employment on board a ship proceeding to one of those destinations.
6. Each Member should require that shipowners take responsibility for repatriation arrangements by appropriate and expeditious means. The normal mode of transport should be by air. The Member should prescribe the destinations to which seafarers may be repatriated. The destinations should include the countries with which seafarers may be deemed to have a substantial connection including:
  - (a) the place at which the seafarer agreed to enter into the engagement;
  - (b) the place stipulated by collective agreement;



## 海上労働条約

四八八

- (c) 船員の居住国
- (d) 雇用の時に相互に合意する他の場所
- 7 船員は、定められた二以上の目的地の中から送還される場所を選択する権利を有すべきである。
- 8 送還される権利は、関係する船員が国内法令又は団体交渉の合意に定める妥当な期間内に当該権利を主張しない場合には、消滅させることができる。
- B.5.2 2 加盟国による履行
- 1 外国の港において送還されるまで取り残された船員に対しては、できる限りの実際的な援助が与えられるべきである。当該外国の港における権限のある機関は、当該船員の送還が遅延する場合には、旗国及び当該船員の国籍国又は適当なときは当該船員の居住国の領事官又は現地代表者に対して直ちにその旨を通報することを確保すべきである。
- 2 加盟国は、次の事項について適当な措置がとられているか否かについて考慮を払うべきである。
  - (a) 外国を旗国とする船舶において雇用された船員であつて、当該船員の責に帰することができない理由により外国の港に上陸させられたものが次のいずれかの港へ戻ること。
    - (i) 当該船員が雇用された港
    - (ii) 当該船員の国籍国又は適当な場合には当該船員の居住国の港
    - (iii) 権限のある機関の承認を得て、又は他の適当な保障措置の下で、当該船員と船長又は船舶所有者との間で合意された別の港
  - (b) 外国を旗国とする船舶において雇用された船員であつて、当該船舶における勤務中に、かつ、当該船員の悪意の不法行為によることなく生じた疾病又は負傷により外国の港に上陸させられたものの医療及び生計
  - 3 十八歳未満の年少の船員は、その最初の外国への航行において少なくとも四箇月間船舶において業務を行った後、海上における生活に適さないことが明らかになった場合には、当該船舶の旗国又は当該年少の船員の国籍国若しくは居住国の領事機関がある最初の適当な寄港地から費用を負担することなく送還される機会が与えられるべきである。そのような送還の通知は、理由を付して、当該年少の船員の海上における雇用を可能とする文書を発給した機関に送付すべきである。

- (c) the seafarer's country of residence; or
- (d) such other place as may be mutually agreed at the time of engagement.
- 7. Seafarers should have the right to choose from among the prescribed destinations the place to which they are to be repatriated.
- 8. The entitlement to repatriation may lapse if the seafarers concerned do not claim it within a reasonable period of time to be defined by national laws or regulations or collective agreements.

### Guideline B2.5.2 – Implementation by Members

- 1. Every possible practical assistance should be given to a seafarer stranded in a foreign port pending repatriation and in the event of delay in the repatriation of the seafarer, the competent authority in the foreign port should ensure that the consular or local representative of the flag State and the seafarer's State of nationality or State of residence, as appropriate, is informed immediately.
- 2. Each Member should have regard to whether proper provision is made:
  - (a) for the return of seafarers employed on a ship that flies the flag of a foreign country who are put ashore in a foreign port for reasons for which they are not responsible:
    - (i) to the port at which the seafarer concerned was engaged; or
    - (ii) to a port in the seafarer's State of nationality or State of residence, as appropriate; or
    - (iii) to another port agreed upon between the seafarer and the master or ship-owner, with the approval of the competent authority or under other appropriate safeguards.
  - (b) for medical care and maintenance of seafarers employed on a ship that flies the flag of a foreign country who are put ashore in a foreign port in consequence of sickness or injury incurred in the service of the ship and not due to their own wilful misconduct.
  - 3. If, after young seafarers under the age of 18 have served on a ship for at least four months during their first foreign-going voyage, it becomes apparent that they are unsuited to life at sea, they should be given the opportunity of being repatriated at no expense to themselves from the first suitable port of call in which there are consular services of the flag State, or the State of nationality or residence of the young seafarer. Notification of any such repatriation, with the reasons therefor, should be given to the authority which issued the papers enabling the young seafarers concerned to take up seagoing employment.

第2.6規則 船舶の滅失又は沈没に係る船員への補償

目的 船舶が滅失し、又は沈没した場合には、船員が補償を受けることを確保すること。

1 船員は、船舶の滅失又は沈没により負傷し、損失を被り、又は失業する場合において適当な補償を受ける権利を有する。

A 2.6基準 船舶の滅失又は沈没に係る船員への補償

1 加盟国は、船舶が滅失し、又は沈没した場合において、船舶所有者が各船員に対し、その船舶の滅失又は沈没により生ずる失業に対する補償金を支払うことを確保する規則を定める。

2 1の規定は、船舶の滅失又は沈没により生ずる損失又は負傷について関係加盟国の国内法令に基づいて船員が有する他の権利を損なうものではない。

B 2.6指針 船舶の滅失又は沈没に係る船員への補償

B 2.6.1 失業に対する補償金の算定

1 船舶の滅失又は沈没により生ずる失業に対する補償金は、雇用契約に基づいて支払われるべき賃金と同一の割合で、船員の実際の失業日数に応じて支払われるべきである。ただし、一人の船員に対して支払うべき補償金の総額は、二箇月分の賃金の額に制限することができる。

2 加盟国は、船員が1に規定する補償金の請求について、勤務期間に対する賃金の延滞額の請求について有する法的救済手段と同一の法的救済手段を与えられることを確保すべきである。

第2.7規則 船員の配乗の水準

目的 船舶の安全かつ効率的な運航のために船員が船舶において十分な人数で労働することを確保すること。

1 加盟国は、船員の疲労並びにそれぞれの航行の性格及び条件についての懸念を考慮して、全ての条件の下で船舶が安全かつ効率的に及び保安に十分な考慮を払って運航されることを確保するため、自国を旗国とする全ての船舶が船舶内で雇用される十分な数の船員を有することを要求する。

Regulation 2.6 – Seafarer compensation for the ship's loss or foundering

Purpose: To ensure that seafarers are compensated when a ship is lost or has foundered

1. Seafarers are entitled to adequate compensation in the case of injury, loss or unemployment arising from the ship's loss or foundering.

Standard A2.6 – Seafarer compensation for the ship's loss or foundering

1. Each Member shall make rules ensuring that, in every case of loss or foundering of any ship, the shipowner shall pay to each seafarer on board an indemnity against unemployment resulting from such loss or foundering.

2. The rules referred to in paragraph 1 of this Standard shall be without prejudice to any other rights a seafarer may have under the national law of the Member concerned for losses or injuries arising from a ship's loss or foundering.

Guideline B2.6 – Seafarer compensation for the ship's loss or foundering

Guideline B2.6.1 – Calculation of indemnity against unemployment

1. The indemnity against unemployment resulting from a ship's foundering or loss should be paid for the days during which the seafarer remains in fact unemployed at the same rate as the wages payable under the employment agreement, but the total indemnity payable to any one seafarer may be limited to two months' wages.

2. Each Member should ensure that seafarers have the same legal remedies for recovering such indemnities as they have for recovering arrears of wages earned during the service.

Regulation 2.7 – Manning levels

Purpose: To ensure that seafarers work on board ships with sufficient personnel for the safe, efficient and secure operation of the ship

1. Each Member shall require that all ships that fly its flag have a sufficient number of seafarers employed on board to ensure that ships are operated safely, efficiently and with due regard to security under all conditions, taking into account concerns about seafarer fatigue and the particular nature and conditions of the voyage.

海上労働条約

A.7 基準 船員の配乗の水準

1 加盟国は、船舶が安全かつ効率的に及び保安に十分な考慮を払って運航されることを確保するため、自国を旗国とする全ての船舶が船舶内に十分な数の船員を有することを要求する。全ての船舶は、権限のある機関が発行する安全のための最少の船員の配乗に関する文書又はこれと同等の文書に従い全ての運航条件の下で船舶及びその乗員の安全及び保安を確保するため、並びにこの条約の基準を遵守するため、人数及び資格の観点から十分な船員を配乗する。

2 権限のある機関は、船員の配乗の水準を決定し、承認し、又は変更する場合には、十分な休息を確保し、及び疲労を少なくするために労働時間の超過を回避し、又は最少にする必要性並びに適用可能な船員の配乗の水準に関する国際文書（特に国際海事機関の文書）に掲げる原則を考慮する。

3 権限のある機関は、船員の配乗の水準を決定する場合には、食料及び料理の提供に関する第3.2規則及びA.3.2基準に定める全ての義務を考慮する。

B 2.7 指針 船員の配乗の水準

B 2.7.1 指針 紛争解決

1 加盟国は、船舶における船員の配乗の水準に関する苦情若しくは紛争について調査し、及び解決するための効果的な制度を維持し、又は当該制度が維持されていることを確認すべきである。

2 船舶所有者団体及び船員団体の代表者は、他の者又は機関と共に参加するか否かを問わず、1に規定する制度の運用に参加すべきである。

第2.8規則 船員の経歴及び技能の向上並びに雇用の機会

目的 船員の経歴及び技能の向上並びに雇用の機会の提供を促進する<sup>(1)</sup>。

1 加盟国は、海事部門における雇用の促進し、並びに自国の領域内に住所を有する船員の経歴及び技能の向上並びに雇用の機会の増大を奨励するための国内政策を有する。

A 2.8 基準 船員の経歴及び技能の向上並びに雇用の機会

1 加盟国は、海事部門に安定的かつ有能な労働力を供給するため、船員の経歴及び技能の向上並びに雇用の機会の提供を奨励する国内政策を有する。

Standard A2.7 – Manning levels

1. Each Member shall require that all ships that fly its flag have a sufficient number of seafarers on board to ensure that ships are operated safely, efficiently and with due regard to security. Every ship shall be manned by a crew that is adequate, in terms of size and qualifications, to ensure the safety and security of the ship and its personnel, under all operating conditions, in accordance with the minimum safe manning document or an equivalent issued by the competent authority, and to comply with the standards of this Convention.

2. When determining, approving or revising manning levels, the competent authority shall take into account the need to avoid or minimize excessive hours of work to ensure sufficient rest and to limit fatigue, as well as the principles in applicable international instruments, especially those of the International Maritime Organization, on manning levels.

3. When determining manning levels, the competent authority shall take into account all the requirements within Regulation 3.2 and Standard A3.2 concerning food and catering.

Guideline B2.7 – Manning levels

Guideline B2.7.1 – Dispute settlement

1. Each Member should maintain, or satisfy itself that there is maintained, efficient machinery for the investigation and settlement of complaints or disputes concerning the manning levels on a ship.

2. Representatives of shipowners' and seafarers' organizations should participate, with or without other persons or authorities, in the operation of such machinery.

Regulation 2.8 – Career and skill development and opportunities for seafarers' employment

Purpose: To promote career and skill development and employment opportunities for seafarers

1. Each Member shall have national policies to promote employment in the maritime sector and to encourage career and skill development and greater employment opportunities for seafarers domiciled in its territory.

Standard A2.8 – Career and skill development and employment opportunities for seafarers

1. Each Member shall have national policies that encourage career and skill development and employment opportunities for seafarers, in order to provide the maritime sector with a stable and competent workforce.

- 2 1に規定する政策は、船員がその能力を強化し、資格を向上させ、及び雇用の機会を増やすことを支援することを目的とする。
- 3 加盟国は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、船舶における職務が主として船舶の安全な運航及び航行に関係する船員の職業指導、教育及び訓練（勤務期間中継続して行われる訓練を含む。）のための明確な目的を定める。

#### B 2.8 指針 船員の経歴及び技能の向上並びに雇用の機会

- B 2.8 1 指針 船員の経歴及び技能の向上並びに雇用の機会を促進するための措置

- 1 A 2.8基準に規定する目的を達成するための措置には、次のものを含めることができる。
  - (a) 船舶所有者又は船舶所有者団体との合意であつて経歴の向上及び技能の訓練について定めるもの
  - (b) 資格を有する船員の職種別による登録簿又は名簿を作成し、及び維持することによって雇用を促進するための措置
  - (c) 適切な労働を確保し、及び維持し、個人の雇用の見通しを改善し、並びに海運業における技術及び労働市場の条件の変化に対応するため、船舶及び陸上において、船員の技能を向上させ、及び他の分野でも活用することのできる能力を船員に習得させるための追加の訓練及び教育の機会を促進すること。

#### B 2.8 2 指針 船員の登録

- 1 船員の雇用が登録簿又は名簿によって管理される場合には、これらの登録簿又は名簿には、国内法令若しくは国内慣行又は団体交渉の合意によって決定される方法により、全ての職種の船員を含めるべきである。
- 2 1に規定する登録簿又は名簿に記載される船員は、船員としての雇用について優先されるべきである。
- 3 1に規定する登録簿又は名簿に記載される船員は、国内法令若しくは国内慣行又は団体交渉の合意によって決定される態様で就労することができる状態にあることを要求されるべきである。
- 4 1に規定する登録簿又は名簿に記載される船員の人数は、国内法令が許容する限りにおいて、海運業の需要に応じた水準に達するように定期的に見直すべきである。
- 5 1に規定する登録簿又は名簿に記載される船員の人数の削減が必要となる場合には、関係国の経済的及び社会的事情を考慮に入れた上で、船員に対する有害な影響を防止し、又は最小のものとするため、全ての適当な措置がとられるべきである。

## 海上労働条約

2. The aim of the policies referred to in paragraph 1 of this Standard shall be to help seafarers strengthen their competences, qualifications and employment opportunities.

3. Each Member shall, after consulting the shipowners' and seafarers' organizations concerned, establish clear objectives for the vocational guidance, education and training of seafarers whose duties on board ship primarily relate to the safe operation and navigation of the ship, including ongoing training.

#### Guideline B2.8 – Career and skill development and employment opportunities for seafarers

Guideline B2.8.1 – Measures to promote career and skill development and employment opportunities for seafarers

1. Measures to achieve the objectives set out in Standard A2.8 might include:
  - (a) agreements providing for career development and skills training with a shipowner or an organization of shipowners; or
  - (b) arrangements for promoting employment through the establishment and maintenance of registers or lists, by categories, of qualified seafarers; or
  - (c) promotion of opportunities, both on board and ashore, for further training and education of seafarers to provide for skill development and portable competencies in order to secure and retain decent work, to improve individual employment prospects and to meet the changing technology and labour market conditions of the maritime industry.

#### Guideline B2.8.2 – Register of seafarers

1. Where registers or lists govern the employment of seafarers, these registers or lists should include all occupational categories of seafarers in a manner determined by national law or practice or by collective agreement.

2. Seafarers on such a register or list should have priority of engagement for seafaring.

3. Seafarers on such a register or list should be required to be available for work in a manner to be determined by national law or practice or by collective agreement.

4. To the extent that national laws or regulations permit, the number of seafarers on such registers or lists should be periodically reviewed so as to achieve levels adapted to the needs of the maritime industry.

5. When a reduction in the number of seafarers on such a register or list becomes necessary, all appropriate measures should be taken to prevent or minimize detrimental effects on seafarers, account being taken of the economic and social situation of the country concerned.

居住設備、  
レクリエー  
ション用の  
設備、  
食料及び  
料理の提  
供  
居住設備  
及びレク  
リエーシ  
ョン用の  
設備

### 第三章 居住設備、レクリエーション用の設備、食料及び料理の提供

#### 第3.1規則 居住設備及びレクリエーション用の設備

目的 船員が船舶において適切な居住設備及びレクリエーション用の設備を有することを確保すること。

1 加盟国は、船舶において労働し、若しくは居住し、又はその双方を行う船員のため、自国を旗国とする船舶が当該船員の健康及び福祉の増進に適合する適切な居住設備及びレクリエーション用の設備を提供し、及び維持することを確保する。

2 この規則を実施する規範に定める要件であつて船舶の構造及び設備に関連するものは、関係する加盟国についてこの条約が効力を生ずる日以後に建造された船舶についてのみ適用する。当該日前に建造された船舶については、千九百四十九年の乗組員設備改正条約（第九十一号）及び千九百七十年の乗組員設備（補足規定）条約（第百三十三号）に定める船舶の構造及び設備に関する要件が、関係する加盟国の法令又は慣行に基づき当該日前に適用されていた限りにおいて、引き続き適用される。船舶は、そのキールが据え付けられた日又はこれと同様の建造段階にある日に建造されたものとみなされる。

3 別段の明文の規定がない限り、船員の居住設備及びレクリエーション用の設備に係る規定に関連する規範の改正に基づくいかなる要件も、関係する加盟国について当該改正が効力を生ずる日以後に建造された船舶についてのみ適用する。

#### A 3.1 基準 居住設備及びレクリエーション用の設備

1 加盟国は、自国を旗国とする船舶に対し次のことを要求する法令を制定する。

(a) 船舶において労働し、若しくは居住し、又はその双方を行う船員のための居住設備が安全かつ適切であり、及びこの基準の関連する規定に適合していることを確保するための最低基準を満たすこと。

(b) (a)に規定する最低基準の当初の及び継続的な遵守を確保するために検査を受けること。  
2 この基準を実施するための法令を制定し、及び適用するに当たり、権限のある機関は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、次のことを行う。

(a) 船舶において居住し、かつ、労働する船員の特別の必要に照らして、健康及び安全の保護並びに災害の防止に関する第4.3規則及び関連する規範の規定を考慮に入れること。

(b) この規範のB部に含まれる指針に妥当な考慮を払うこと。

3 第1.1規則の規定に基づいて要求される検査は、次の場合に行う。

(a) 船舶が登録され、又は再登録される場合

### Titre 3. ACCOMMODATION, RECREATIONAL FACILITIES, FOOD AND CATERING

#### Regulation 3.1 – Accommodation and recreational facilities

*Purpose: To ensure that seafarers have decent accommodation and recreational facilities on board*

1. Each Member shall ensure that ships that fly its flag provide and maintain decent accommodations and recreational facilities for seafarers working or living on board, or both, consistent with promoting the seafarers' health and well-being.

2. The requirements in the Code implementing this Regulation which relate to ship construction and equipment apply only to ships constructed on or after the date when this Convention comes into force for the Member concerned. For ships constructed before that date, the requirements relating to ship construction and equipment that are set out in the Accommodation of Crews Convention (Revised), 1949 (No. 92), and the Accommodation of Crews (Supplementary Provisions) Convention, 1970 (No. 133), shall continue to apply to the extent that they were applicable prior to that date, under the law or practice of the Member concerned. A ship shall be deemed to have been constructed on the date when its keel is laid or when it is at a similar stage of construction.

3. Unless expressly provided otherwise, any requirement under an amendment to the Code relating to the provision of seafarer accommodation and recreational facilities shall apply only to ships constructed on or after the amendment takes effect for the Member concerned.

#### Standard A3.1 – Accommodation and recreational facilities

1. Each Member shall adopt laws and regulations requiring that ships that fly its flag:

(a) meet minimum standards to ensure that any accommodation for seafarers, working or living on board, or both, is safe, decent and in accordance with the relevant provisions of this Standard; and

(b) are inspected to ensure initial and ongoing compliance with those standards.

2. In developing and applying the laws and regulations to implement this Standard, the competent authority, after consulting the shipowners' and seafarers' organizations concerned, shall:

(a) take into account Regulation 4.3 and the associated Code provisions on health and safety protection and accident prevention, in light of the specific needs of seafarers that both live and work on board ship; and

(b) give due consideration to the guidance contained in Part B of this Code.

3. The inspections required under Regulation 3.1.4 shall be carried out when:

(a) a ship is registered or re-registered; or



- (b) 船舶における船員の居住設備が実質的に変更された場合
- 4 権限のある機関は、次の事項に係保するこの条約上の義務の履行を確保することに特別の注意を払う。
  - (a) 船室その他の居住区域の大きさ
  - (b) 暖房及び通風
  - (c) 騒音、振動その他の環境上の要因
  - (d) 衛生設備
  - (e) 照明
  - (f) 医務室
- 5 加盟国の権限のある機関は、自国を旗国とする船舶が6から17まで規定する船舶における居住設備及びレクリエーション用の設備の最低基準を満たすことを要求する。
  - 6 設備についての一般要件に関し、
    - (a) 船員の全ての居住設備における天井の高さは、十分なものとする。船員が完全に自由に動くことができることが必要な当該居住設備において認められる天井の高さは、二・三二センチメートル以上でなければならない。権限のある機関は、船員の居住設備の一の区域又はその一部分において天井の高さを一定の範囲内で低くすることについて、次のことが満たされる場合には、認めることができる。
      - (i) 合理的であること。
      - (ii) 船員に対して不便をもたらさないこと。
    - (b) 居住設備は、十分に防熱を施す。
    - (c) 改正された千九百七十四年の海上における人命の安全のための国際条約（以下「SOLAS条約」という。）（第二規則(e)及び(f)に定義する旅客船以外の船舶においては、寢室の位置は、船舶の中央部又は船尾部の満載喫水線の上方とする。ただし、船舶の大きさ、種類又は予定された用途が寢室を他の場所に設けることを不可能とする例外的な場合には、寢室は、船舶の前部に設けることができる。もっとも、いかなる場合においても衝突隔壁の前方であつてはならない。
    - (d) 旅客船並びに千九百八十三年の国際海事機関の特殊目的船のための安全に関する規範及びその更新版に従つて建造された特殊な船舶（以下「特殊目的船」という。）については、権限のある機関は、照明及び通風のための十分な措置がとられることを条件として、寢室の位置を満載喫水線の下方とすることを認めることができる。ただし、いかなる場合においても、作業用の通路の直下であつてはならない。

- (b) the seafarer accommodation on a ship has been substantially altered.
- 4. The competent authority shall pay particular attention to ensuring implementation of the requirements of this Convention relating to:
  - (a) the size of rooms and other accommodation spaces;
  - (b) heating and ventilation;
  - (c) noise and vibration and other ambient factors;
  - (d) sanitary facilities;
  - (e) lighting; and
  - (f) hospital accommodation.
- 5. The competent authority of each Member shall require that ships that fly its flag meet the minimum standards for on-board accommodation and recreational facilities that are set out in paragraphs 6 to 17 of this Standard.
- 6. With respect to general requirements for accommodation:
  - (a) there shall be adequate headroom in all seafarer accommodation; the minimum permitted headroom in all seafarer accommodation where full and free movement is necessary shall be not less than 203 centimetres; the competent authority may permit some limited reduction in headroom in any space, or part of any space, in such accommodation where it is satisfied that such reduction:
    - (i) is reasonable; and
    - (ii) will not result in discomfort to the seafarers;
  - (b) the accommodation shall be adequately insulated;
  - (c) in ships other than passenger ships, as defined in Regulation 2(e) and (f) of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended (the "SOLAS Convention"), sleeping rooms shall be situated above the load line amidships or aft, except that in exceptional cases, where the size, type or intended service of the ship renders any other location impracticable, sleeping rooms may be located in the fore part of the ship, but in no case forward of the collision bulkhead;
  - (d) in passenger ships, and in special ships constructed in compliance with the IMO Code of Safety for Special Purpose Ships, 1983, and subsequent versions (hereinafter called "special purpose ships"), the competent authority may, on condition that satisfactory arrangements are made for lighting and ventilation, permit the location of sleeping rooms below the load line, but in no case shall they be located immediately beneath working alleyways;

- (e) 貨物区域、機関区域、調理室、貯藏品室、乾燥室又は共用の衛生区域から寢室への直接の入口は、設けてはならない。寢室からこれらの場所を隔離する部分の隔壁及び外部の隔壁は、鉄鋼その他の承認された物質で効果的に建造し、並びに水密及びガス密とする。
- (f) 内部の隔壁の建造、壁面のパネル張り及び被覆、床張り並びに接合のために使用される材料は、その目的に適合し、及び健康的な環境の確保に資するものとする。
- (g) 適当な照明及び十分な排水設備を設ける。
- (h) 居住設備、レクリエーション用の設備及び料理の提供のための設備は、船舶において有害な水準の騒音、振動その他の環境上の要因及び化学物質にさらされる危険の防止に関して、並びに船員が容認することができ、職業上の環境及び船舶における生活環境を提供するため、健康及び安全の保護並びに災害の防止に関する第4.3規則及び関連する規範に定める要件を満たすものとする。
- 7 通風及び暖房についての要件に関しては、次のとおりとする。
- (a) 寢室及び食堂は、適切に通風する。
- (b) 船舶は、エアコンディショナーを必要としない温和な気候条件の下で航行に通常従事するものを除くほか、船員の居住設備、独立の無線室及び機関制御室にエアコンディショナーを備える。
- (c) 全ての衛生区域は、居住設備の他の部分の通風とは別個に、船舶外に通風する。
- (d) 専ら熱帯性気候の下で航行する船舶を除くほか、適当な暖房装置による適切な暖房を提供する。
- 8 照明についての要件に関し、寢室及び食堂は、旅客船において認められる特別な措置に従うことを条件として、自然の光によって照明し、及び適切な人工の照明を設ける。
- 9 船舶内に宿泊設備が必要とされる場合には、寢室について次の要件を適用する。
- (a) 旅客船以外の船舶においては、各船員に対して個人用の寢室を与える。総トン数三千トン未満の船舶又は特殊目的の船については、権限のある機関は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、この要件の適用除外を認めることができる。
- (b) 男性及び女性のために区別された寢室を与える。
- (c) 寢室は、妥当な快適さを確保し、及び容易に清潔さを保つことができるようにするため、適切な大きさのものとし、及び適当な設備を備えるものとする。
- (d) いかなる状況の下においても、各船員のために個別の寝台を与える。

- (e) there shall be no direct openings into sleeping rooms from cargo and machinery spaces or from galleys, storerooms, drying rooms or communal sanitary areas; that part of a bulkhead separating such places from sleeping rooms and external bulkheads shall be efficiently constructed of steel or other approved substance and be watertight and gas-tight;
- (f) the materials used to construct internal bulkheads, panelling and sheathing, floors and joinings shall be suitable for the purpose and conducive to ensuring a healthy environment;
- (g) proper lighting and sufficient drainage shall be provided; and
- (h) accommodation and recreational and catering facilities shall meet the requirements in Regulation 4.3, and the related provisions in the Code, on health and safety protection and accident prevention, with respect to preventing the risk of exposure to hazardous levels of noise and vibration and other ambient factors and chemicals on board ships, and to provide an acceptable occupational and on-board living environment for seafarers.
7. With respect to requirements for ventilation and heating:
- (a) sleeping rooms and mess rooms shall be adequately ventilated;
- (b) ships, except those regularly engaged in trade where temperate climatic conditions do not require this, shall be equipped with air conditioning for seafarer accommodation, for any separate radio room and for any centralized machinery control room;
- (c) all sanitary spaces shall have ventilation to the open air, independently of any other part of the accommodation; and
- (d) adequate heat through an appropriate heating system shall be provided, except in ships exclusively on voyages in tropical climates.
8. With respect to requirements for lighting, subject to such special arrangements as may be permitted in passenger ships, sleeping rooms and mess rooms shall be lit by natural light and provided with adequate artificial light.
9. When sleeping accommodation on board ships is required, the following requirements for sleeping rooms apply:
- (a) in ships other than passenger ships, an individual sleeping room shall be provided for each seafarer; in the case of ships of less than 3,000 gross tonnage or special purpose ships, exemptions from this requirement may be granted by the competent authority after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned;
- (b) separate sleeping rooms shall be provided for men and for women;
- (c) sleeping rooms shall be of adequate size and properly equipped so as to ensure reasonable comfort and to facilitate tidiness;
- (d) a separate berth for each seafarer shall in all circumstances be provided;

- (e) 寝台の内側の最小の寸法は、少なくとも、縦百九十八センチメートル、横八十センチメートルとする。
- (f) 船員の一人用の寝室の床面積は、次のとおりとする。
- (i) 総トン数三千トン未満の船舶については、四・五平方メートル以上
  - (ii) 総トン数三千トン以上一万トン未満の船舶については、五・五平方メートル以上
  - (iii) 総トン数一万トン以上の船舶については、七平方メートル以上
- (g) 権限のある機関は、総トン数三千トン未満の船舶並びに旅客船及び特殊目的船において一人用の寝室を与えるため、(f)に規定する面積よりも小さい床面積を認めることができる。
- (h) 旅客船及び特殊目的船以外の総トン数三千トン未満の船舶においては、寝室は、最大二人の船員で使用するができる。このような寝室の床面積は、七平方メートル以上とする。
- (i) 旅客船及び特殊目的船において、船舶の職員としての職務を遂行しない船員の寝室の床面積は、次のとおりとする。
- (i) 二人用の部屋については、七・五平方メートル以上
  - (ii) 三人用の部屋については、十一・五平方メートル以上
  - (iii) 四人用の部屋については、十四・五平方メートル以上
- (j) 特殊目的船において、寝室は、四人を超える者を収容することができる。このような寝室の床面積は、一人当たり三・六平方メートル以上とする。
- (k) 旅客船及び特殊目的船以外の船舶において、船舶の職員としての職務を遂行する船員の寝室は、個人用の居室又は執務室が与えられない場合には、一人当たりの床面積が次のとおりとなるものとする。
- (i) 総トン数三千トン未満の船舶については、七・五平方メートル以上
  - (ii) 総トン数三千トン以上一万トン未満の船舶については、八・五平方メートル以上
  - (iii) 総トン数一万トン以上の船舶については、十平方メートル以上
- (l) 旅客船及び特殊目的船において、船舶の職員としての職務を遂行する船員の寝室の一人当たりの床面積は、個人用の居室又は執務室が与えられない場合には、下級職員については七・五平方メートル以上、上級職員については八・五平方メートル以上とする。下級職員とは運用水準の職にある者をいし、上級職員とは管理の水準の職にある者をいう。

- (e) the minimum inside dimensions of a berth shall be at least 198 centimetres by 80 centimetres;
- (f) in single berth seafarers' sleeping rooms the floor area shall not be less than:
- (i) 4.5 square metres in ships of less than 3,000 gross tonnage;
  - (ii) 5.5 square metres in ships of 3,000 gross tonnage or over but less than 10,000 gross tonnage;
  - (iii) 7 square metres in ships of 10,000 gross tonnage or over;
- (g) however, in order to provide single berth sleeping rooms on ships of less than 3,000 gross tonnage, passenger ships and special purpose ships, the competent authority may allow a reduced floor area;
- (h) in ships of less than 3,000 gross tonnage other than passenger ships and special purpose ships, sleeping rooms may be occupied by a maximum of two seafarers; the floor area of such sleeping rooms shall not be less than 7 square metres;
- (i) on passenger ships and special purpose ships the floor area of sleeping rooms for seafarers not performing the duties of ships' officers shall not be less than:
- (i) 7.5 square metres in rooms accommodating two persons;
  - (ii) 11.5 square metres in rooms accommodating three persons;
  - (iii) 14.5 square metres in rooms accommodating four persons;
- (j) on special purpose ships sleeping rooms may accommodate more than four persons; the floor area of such sleeping rooms shall not be less than 3.6 square metres per person;
- (k) on ships other than passenger ships and special purpose ships, sleeping rooms for seafarers who perform the duties of ships' officers, where no private sitting room or day room is provided, the floor area per person shall not be less than:
- (i) 7.5 square metres in ships of less than 3,000 gross tonnage;
  - (ii) 8.5 square metres in ships of 3,000 gross tonnage or over but less than 10,000 gross tonnage;
  - (iii) 10 square metres in ships of 10,000 gross tonnage or over;
- (l) on passenger ships and special purpose ships the floor area for seafarers performing the duties of ships' officers where no private sitting room or day room is provided, the floor area per person for junior officers shall not be less than 7.5 square metres and for senior officers not less than 8.5 square metres; junior officers are understood to be at the operational level, and senior officers at the management level;

- (m) 船長、機関長及び一等航海士は、寝室に加え、寝室に隣接する居室若しくは執務室又はこれと同等の追加的な場所を有する。権限のある機関は、総トン数三千トン未満の船舶については、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、この要件の適用を除外することができる。
- (n) 寝室の各使用者のための家具は、十分な容量（最小四百七十五リットル）の衣服用ロッカー及び五十六リットル以上の引出し又はこれに相当するものを含む。引出しが衣服用ロッカーに組み込まれている場合には、当該衣服用ロッカー全体の最小の容量は、五百リットルとする。衣服用ロッカーは、棚を備え、及びブライバシーを確保するために使用者が施錠することができるものとする。
- (o) 各寝室は、テーブル又は机（固定式、折畳み式又は引出し式とする。）及び必要に応じ快適な座席を備える。
- 10 食堂についての要件に関し、
- (a) 食堂の位置は、寝室から離れ、かつ、できる限り調理室に近いものとする。権限のある機関は、総トン数三千トン未満の船舶については、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、この要件の適用を除外することができる。
- (b) 食堂は、当該食堂を同時に使用する可能性のある船員の数を考慮して、適切な大きさの及び快適なものとし、並びに適当な家具及び備品（常時飲料を飲むことができるための便宜を含む。）を整える。適当な場合には、区別された又は共同の食堂設備を設ける。
- 11 衛生設備についての要件に関し、
- (a) 全ての船員は、船舶において、健康及び衛生に係る最低基準並びに快適さに関する合理的な基準を満たす衛生設備（男性及び女性のために設ける区別された衛生設備を含む。）を容易に利用することができる。
- (b) 船橋及び機関区域から容易に利用することのできる範囲内又は機関制御室の近くには、衛生設備がなければならぬ。権限のある機関は、総トン数三千トン未満の船舶については、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、この要件の適用を除外することができる。
- (c) 全ての船舶において、個人用の設備を有しない者で六人を超えないもの（以下、最低限一の便所一の洗面台及び一の浴槽若しくはシャワー又はその双方を便利な場所に設ける。）
- (d) 旅客船を除くほか、各寝室には、清水の温水及び冷水の出る洗面台を設ける。ただし、個人用の浴室にそのような洗面台がある場合は、この限りでない。

- (m) the master, the chief engineer and the chief navigating officer shall have, in addition to their sleeping rooms, an adjoining sitting room, day room or equivalent additional space; ships of less than 3,000 gross tonnage may be exempted by the competent authority from this requirement after consultation with the ship-owners' and seafarers' organizations concerned.
- (n) for each occupant, the furniture shall include a clothes locker of ample space (minimum 475 litres) and a drawer or equivalent space of not less than 56 litres; if the drawer is incorporated in the clothes locker then the combined minimum volume of the clothes locker shall be 500 litres; it shall be fitted with a shelf and be able to be locked by the occupant so as to ensure privacy;
- (o) each sleeping room shall be provided with a table or desk, which may be of the fixed, drop-leaf or slide-out type, and with comfortable seating accommodation as necessary.
10. With respect to requirements for mess rooms:
- (a) mess rooms shall be located apart from the sleeping rooms and as close as practicable to the galley; ships of less than 3,000 gross tonnage may be exempted by the competent authority from this requirement after consultation with the ship-owners' and seafarers' organizations concerned; and
- (b) mess rooms shall be of adequate size and comfort and properly furnished and equipped (including ongoing facilities for refreshment), taking account of the number of seafarers likely to use them at any one time; provision shall be made for separate or common mess room facilities as appropriate.
11. With respect to requirements for sanitary facilities:
- (a) all seafarers shall have convenient access on the ship to sanitary facilities meeting minimum standards of health and hygiene and reasonable standards of comfort, with separate sanitary facilities being provided for men and for women;
- (b) there shall be sanitary facilities within easy access of the navigating bridge and the machinery space or near the engine room control centre; ships of less than 3,000 gross tonnage may be exempted by the competent authority from this requirement after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned;
- (c) in all ships a minimum of one toilet, one wash basin and one tub or shower or both for every six persons or less who do not have personal facilities shall be provided at a convenient location;
- (d) with the exception of passenger ships, each sleeping room shall be provided with a washbasin having hot and cold running fresh water, except where such a wash-basin is situated in the private bathroom provided;

- (e) 権限のある機関は、通常四時間以内の航行に従事する旅客船においては、要求される設備について特別の措置又はその数の削減を考慮することができる。
- (f) 清水の温水及び冷水は、全ての洗い場において利用することができる。
- 12 医務室についての要件に関し、十五人以上の船員が乗船し、かつ、三日を超える航行に従事する船舶は、専ら医療上の目的に使用される独立の医務室を設ける。権限のある機関は、沿岸の航行に従事する船舶についてこの要件を緩和することができる。権限のある機関は、船舶内の医務室を承認するに当たり、当該医務室がいかなる天候の下においても、容易に利用することができる。患者に快適な場所を提供し、及び患者が迅速かつ適当な治療を受けることに資することを確保する。
- 13 洗濯設備は、適当な場所と備品とともに設け、及び利用に供する。
- 14 全ての船舶は、開放された甲板上に船員が労働時間外に利用することができる区域を設けるものとし、当該区域は、船舶の大きさ及び船舶内の船員の数を考慮し、適切な面積のものとする。
- 15 全ての船舶は、甲板部及び機関部が使用するための区別された又は共同の事務室を設ける。権限のある機関は、総トン数三千トン未満の船舶については、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、この要件の適用を除外することができる。
- 16 蚊が多い港に定期的に航行する船舶は、権限のある機関の要求する適当な装置を備える。
- 17 船員のための適当なレクリエーションに係る設備、備品及びサービスであつて、船舶内において居住し、及び労働しなければならない船員の特別の需要に適應したものは、健康及び安全の保護並びに災害の防止に関する第4.3規則及び関連する規範の規定を考慮して、全ての船員のために船舶において提供される。
- 18 権限のある機関は、船員の居住設備が清潔であり、相応な居住性があり、及び修理によって良好な状態で維持されることを確保するため、船舶において船長により又はその権限の下で頻繁な検査が行われることを要求する。当該検査の結果については、記録し、及び再検討のために利用可能とする。
- 19 異なる宗教的及び社会的な慣習を有する船員の利益を差別することなく考慮する必要がある船舶の場合には、権限のある機関は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、この基準に関して公平に適用される特例を認めることができる。ただし、そのような特例は、船舶の設備の全体が同基準を適用した場合に得られるであろう設備の全体よりも劣るものとならないことを条件とする。

- (e) in passenger ships normally engaged on voyages of not more than four hours' duration, consideration may be given by the competent authority to special arrangements or to a reduction in the number of facilities required; and
- (f) hot and cold running fresh water shall be available in all wash places.
12. With respect to requirements for hospital accommodation, ships carrying 15 or more seafarers and engaged in a voyage of more than three days' duration shall provide separate hospital accommodation to be used exclusively for medical purposes; the competent authority may relax this requirement for ships engaged in coastal trade; in approving on-board hospital accommodation, the competent authority shall ensure that the accommodation will, in all weathers, be easy of access, provide comfortable housing for the occupants and be conducive to their receiving prompt and proper attention.
13. Appropriately situated and furnished laundry facilities shall be available.
14. All ships shall have a space or spaces on open deck to which the seafarers can have access when off duty, which are of adequate area having regard to the size of the ship and the number of seafarers on board.
15. All ships shall be provided with separate offices or a common ship's office for use by deck and engine departments; ships of less than 3,000 gross tonnage may be exempted by the competent authority from this requirement after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned.
16. Ships regularly trading to mosquito-infested ports shall be fitted with appropriate devices as required by the competent authority.
17. Appropriate seafarers' recreational facilities, amenities and services, as adapted to meet the special needs of seafarers who must live and work on ships, shall be provided on board for the benefit of all seafarers, taking into account Regulation 4.3 and the associated Code provisions on health and safety protection and accident prevention.
18. The competent authority shall require frequent inspections to be carried out on board ships, by or under the authority of the master, to ensure that seafarer accommodation is clean, decently habitable and maintained in a good state of repair. The results of each such inspection shall be recorded and be available for review.
19. In the case of ships where there is need to take account, without discrimination, of the interests of seafarers having differing and distinctive religious and social practices, the competent authority may, after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned, permit fairly applied variations in respect of this Standard on condition that such variations do not result in overall facilities less favourable than those which would result from the application of this Standard.



- 20 加盟国は、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、船舶の大きさ及び乗船者の数を考慮し、合理的な場合には、総トン数二百トン未満の船舶について次の規定に定める要件の適用を除外することができる。
- (a) 7 (b), 11 (d) 及び 13 の規定
- (b) 9 (f) 及び (h) から (l) までの規定（床面積に関する要件に限る。）
- 21 この基準に定める要件に関するいかなる適用除外も、同基準において明示的に認められている場合において、当該適用除外が説得力のある根拠に基づき明確に正当と認められる特別の事情があるときにのみ、船員の健康及び安全を保護することを条件として行うことができる。
- B 3.1 指針 居住設備及びレクリエーション用の設備
- 1 寝室及び食堂の外部の隔壁は、十分に防熱を施すべきである。全ての機関区域ケーン、調理室その他の熱を生ずる場所の全ての境界隔壁は、隣接する居住設備又は通路に熱の影響が及ぶ可能性がある場合には、十分に防熱を施すべきである。蒸気管若しくは温水管又はその双方による熱の影響から保護するための措置もとられるべきである。
- 2 居住区域内の寝室、食堂、レクリエーション用の部屋及び通路は、結露又は過熱を防ぐために十分に防熱を施すべきである。
- 3 隔壁の表面及び天井は、表面を清潔に保つことが容易な材料のものとすべきである。害虫が住み着くおそれのある構造の様式は、用いるべきでない。
- 4 寝室及び食堂内の隔壁の表面及び天井は、容易に清潔に保つことができるものとすべきであり、また、明るい色のもの及び耐久性があり、かつ、毒性がない仕上げのものとすべきである。
- 5 全ての船員の居住設備内の床は、承認された材料及び構造のものとすべきである。当該床の表面は、滑り止めの加工がされ、湿気を通さず、かつ、清潔に保つことが容易なものとすべきである。
- 6 床張り材が複合材料のものである場合には、隔壁との接合箇所は、ひびが入るなどのないようになすべきである。
- B 3.1.2 指針 通風
- 1 寝室及び食堂の通風装置は、いかなる天候及び気候の条件においても、空気を満足すべき状態に維持し、及び十分な空気の動きを確保するように制御すべきである。

20. Each Member may, after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned, exempt ships of less than 200 gross tonnage where it is reasonable to do so, taking account of the size of the ship and the number of persons on board in relation to the requirements of the following provisions of this Standard:

(a) paragraphs 7(b), 11(d) and 13; and

(b) paragraph 9(f) and (h) to (l) inclusive, with respect to floor area only.

21. Any exemptions with respect to the requirements of this Standard may be made only where they are expressly permitted in this Standard and only for particular circumstances in which such exemptions can be clearly justified on strong grounds and subject to protecting the seafarers' health and safety.

#### Guideline B3.1 – Accommodation and recreational facilities

##### Guideline B3.1.1 – Design and construction

1. External bulkheads of sleeping rooms and mess rooms should be adequately insulated. All machinery casings and all boundary bulkheads of galleys and other spaces in which heat is produced should be adequately insulated where there is a possibility of resulting heat effects in adjoining accommodation or passageways. Measures should also be taken to provide protection from heat effects of steam or hot-water service pipes or both.

2. Sleeping rooms, mess rooms, recreation rooms and alleyways in the accommodation space should be adequately insulated to prevent condensation or overheating.

3. The bulkhead surfaces and deckheads should be of material with a surface easily kept clean. No form of construction likely to harbour vermin should be used.

4. The bulkhead surfaces and deckheads in sleeping rooms and mess rooms should be capable of being easily kept clean and light in colour with a durable, non-toxic finish.

5. The decks in all seafarer accommodation should be of approved material and construction and should provide a non-slip surface impervious to damp and easily kept clean.

6. Where the floorings are made of composite materials, the joints with the sides should be profiled to avoid crevices.

##### Guideline B3.1.2 – Ventilation

1. The system of ventilation for sleeping rooms and mess rooms should be controlled so as to maintain the air in a satisfactory condition and to ensure a sufficiency of air movement in all conditions of weather and climate.

2 エアコンディショナーは、集中制御による型式であるか個別の機器による型式であるかを問わず、次の条件を満たすように設計すべきである。

(a) 外気の条件と比較して満足すべき温度及び相対湿度で空気を維持し、エアコンディショナーがある全ての区域の十分な換気を確保し、海上における運航に係る特徴を考慮し、並びに過度の騒音又は振動を生じさせないこと。

(b) 疾病のまん延を防止し、及び抑制するため、清掃及び消毒が容易なものとすること。

3 1及び2の規定によって要求されるエアコンディショナーその他通風装置の作動のための電力は、船員が船舶において居住し、又は労働している場合において、状況により必要とされるときは、いつでも利用することができるようにすべきである。ただし、この電力は、非常電源から供給されることを要しない。

B 1. 指針 暖房

1 船員の居住設備の暖房装置は、船員が船舶において居住し、又は労働している場合において、状況により当該暖房装置の使用が必要とされるときは、いつでも作動させておくべきである。

2 暖房は、暖房装置が必要とされる全ての船舶において、温水、温風、電気、蒸気又はこれらと同等のものによるべきである。ただし、居住区域内においては、熱を伝えるための媒体として、蒸気を使用すべきでない。暖房装置は、当該船舶が従事する航行において遭遇する可能性のある通常の天候及び気候の条件の下において、船員の居住設備における温度を満足すべき水準で維持することができるものとすべきである。権限のある機関は、設定すべき基準について定めるべきである。

3 放熱器その他の暖房器具は、火災の危険又は居住者に対する危険若しくは不快さを回避するような方法で、設置し、及び必要な場合には遮蔽すべきである。

B 3.1. 指針 照明

1 全ての船舶において、船員の居住設備には、電気照明を設けるべきである。照明用の二の独立した電源がない場合には、非常用の適切な構造の灯火又は照明器具による追加の照明を設けるべきである。

2 寝室には、各寝台の上部に読書用の電灯を設置すべきである。

3 自然の光及び人工の照明の適当な基準は、権限のある機関が定めるべきである。

2. Air-conditioning systems, whether of a centralized or individual unit type, should be designed to:

(a) maintain the air at a satisfactory temperature and relative humidity as compared to outside air conditions, ensure a sufficiency of air changes in all air-conditioned spaces, take account of the particular characteristics of operations at sea and not produce excessive noises or vibrations; and

(b) facilitate easy cleaning and disinfection to prevent or control the spread of disease.

3. Power for the operation of the air conditioning and other aids to ventilation required by the preceding paragraphs of this Guideline should be available at all times when seafarers are living or working on board and conditions so require. However, this power need not be provided from an emergency source.

Guideline B3.1.3 – Heating

1. The system of heating the seafarer accommodation should be in operation at all times when seafarers are living or working on board and conditions require its use.

2. In all ships in which a heating system is required, the heating should be by means of hot water, warm air, electricity, steam or equivalent. However, within the accommodation area, steam should not be used as a medium for heat transmission. The heating system should be capable of maintaining the temperature in seafarer accommodation at a satisfactory level under normal conditions of weather and climate likely to be met within the trade in which the ship is engaged. The competent authority should prescribe the standard to be provided.

3. Radiators and other heating apparatus should be placed and, where necessary, shielded so as to avoid risk of fire or danger or discomfort to the occupants.

Guideline B3.1.4 – Lighting

1. In all ships, electric light should be provided in the seafarer accommodation. If there are not two independent sources of electricity for lighting, additional lighting should be provided by properly constructed lamps or lighting apparatus for emergency use.

2. In sleeping rooms an electric reading lamp should be installed at the head of each berth.

3. Suitable standards of natural and artificial lighting should be fixed by the competent authority.

## 海上労働条約

### B 3.1.5 寝室

- 1 船員及び当該船員に同行することのある者を可能な限り快適にさせるため、船舶内に適切な寝台を配置すべきである。
- 2 寝室は、船舶の大きさ、当該船舶が従事する活動及び当該船舶の設計に照らして妥当かつ実行可能である場合には、居住者に妥当な快適さを提供し、及び容易に清潔さを保つていかなるようにするため、個人用の浴室（便所を含む。）を備えるものとして計画され、そのような浴室を備えるべきである。
- 3 船員の寝室は、実行可能な限り、当直者が区別され、かつ、昼間労働する船員と当直者とは寝室を共有することのないよう配置すべきである。
- 4 下級職員としての職務を遂行する船員の場合には、一の寝室当たり二人を超えるべきでない。
- 5 実行可能な場合には、一等機関士に対しても A 3.1 基準 9 (m) に定める便宜を与えらるべきことを考慮すべきである。
- 6 寝台及びロッカー、引出し並びに座席の占める場所は、床面積の計測に含めるべきである。小さい又は不規則な形の場所であって、自由に動くことのできる場所を効果的に増大させるものでなく、かつ、家具を設置するために使用することができないものは、当該計測から除外すべきである。
- 7 寝台は、二段を超えて配置すべきでない。船側に沿って設置する寝台については、舷窓が寝台の上に位置する場合には、一段のみとすべきである。
- 8 二段の寝台における下方の寝台の高さは、床の上方三十センチメートル以上とすべきである。上方の寝台の高さは、下方の寝台の底部と天井のはりの下部とのほぼ中央とすべきである。
- 9 寝台に枠及び転落防止板がある場合には、当該枠及び当該転落防止板は、承認された材料の、堅固な、かつ、滑らかなものとすべきであり、また、腐食するおそれ及び害虫が住み着くおそれのないものとすべきである。
- 10 寝台の構造に管状の枠が用いられる場合には、当該管状の枠は、完全に密閉され、及び害虫が入りやすいような穴のないものとすべきである。
- 11 各寝台には、緩衝作用のある底面を有する快適なマットレス又は緩衝作用のある複合型マットレスであってばね付きの底面若しくはばね入りのマットレスを含むものを備え付けるべきである。使用されるマットレス及び緩衝作用のある材料は、承認された材料で作られたものとすべきである。害虫が住み着くおそれのある材料の詰物は、使用すべきでない。

### Guideline B3.1.5 – Sleeping rooms

1. There should be adequate berth arrangements on board, making it as comfortable as possible for the seafarer and any partner who may accompany the seafarer.
2. Where the size of the ship, the activity in which it is to be engaged and its layout make it reasonable and practicable, sleeping rooms should be planned and equipped with a private bathroom, including a toilet, so as to provide reasonable comfort for the occupants and to facilitate tidiness.
3. As far as practicable, sleeping rooms of seafarers should be so arranged that watches are separated and that no seafarers working during the day share a room with watchkeepers.
4. In the case of seafarers performing the duty of petty officers there should be no more than two persons per sleeping room.
5. Consideration should be given to extending the facility referred to in Standard A3.1, paragraph 9 (m), to the second engineer officer when practicable.
6. Space occupied by berths and lockers, chests of drawers and seats should be included in the measurement of the floor area. Small or irregularly shaped spaces which do not add effectively to the space available for free movement and cannot be used for installing furniture should be excluded.
7. Berths should not be arranged in tiers of more than two; in the case of berths placed along the ship's side, there should be only a single tier where a sidelight is situated above a berth.
8. The lower berth in a double tier should be not less than 30 centimetres above the floor; the upper berth should be placed approximately midway between the bottom of the lower berth and the lower side of the deckhead beams.
9. The framework and the lee-board, if any, of a berth should be of approved material, hard, smooth, and not likely to corrode or to harbour vermin.
10. If tubular frames are used for the construction of berths, they should be completely sealed and without perforations which would give access to vermin.
11. Each berth should be fitted with a comfortable mattress with cushioning bottom or a combined cushioning mattress, including a spring bottom or a spring mattress. The mattress and cushioning material used should be made of approved material. Stuffing of material likely to harbour vermin should not be used.

- 12 一の寝台が他の寝台の上方に設置される場合には、上方の寝台の最も下方のマットレス又はばね付きの底面の下方に防じんの底面を備え付けるべきである。
- 13 家具は、滑らか、かつ、堅固な材料であつてゆがみ及び腐食のおそれのないものを用いたものにするべきである。
- 14 寝室の舷窓には、カーテン又はそれと同等のものを備え付けるべきである。
- 15 寝室には、鏡、化粧用品のための小型の戸棚、小型の書棚及び十分な数のコート掛けを備え付けるべきである。
- B 3.1.6 指針 食堂
- 1 食堂の設備は、共同のもの又は区別されたもののいずれかとするべきである。この点に関する決定は、船員及び船舶所有者の代表者と協議した後、権限のある機関の承認を条件として、行われるべきである。船舶の大きさ、船員の異なる文化的、宗教的及び社会的な必要性等の要素を考慮に入れるべきである。
- 2 船員のために区別された食堂の設備を設ける場合には、次の(a)及び(b)の者のために区別された食堂を設けるべきである。
  - (a) 船長及び上級職員
  - (b) 下級職員その他船員
- 3 旅客船以外の船舶において、船員のための食堂の床面積は、予定される座席の定員一人当たり一・五平方メートル以上となるものとすべきである。
- 4 全ての船舶において、食堂には、当該食堂を同時に使用する可能性のある船員の最大の人数を収容するために十分な数のテーブル及び適当な座席（固定式のものが移動するもののできるものかを問わない。）を備えるべきである。
- 5 次のものは、船員が船舶内にいる間、いつでも利用することができるとすべきである。
  - (a) 冷蔵庫（便利な位置にあり、及び食堂を使用する人数に対して十分な容量を有すべきである。）
  - (b) 熱い飲料を飲むことができるための便宜
  - (c) 冷水を飲むことができるための便宜
- 6 利用可能な配膳室が食堂と直接つながっていない場合には、適切な食器用ロッカー及び食器を洗うための適当な設備を設けるべきである。

12. When one berth is placed over another, a dust-proof bottom should be fitted beneath the bottom mattress or spring bottom of the upper berth.
  13. The furniture should be of smooth, hard material not liable to warp or corrode.
  14. Sleeping rooms should be fitted with curtains or equivalent for the side lights.
  15. Sleeping rooms should be fitted with a mirror, small cabinets for toilet requisites, a book rack and a sufficient number of coat hooks.
- Guideline B3.1.6 – Mess rooms
1. Mess room facilities may be either common or separate. The decision in this respect should be taken after consultation with seafarers' and shipowners' representatives and subject to the approval of the competent authority. Account should be taken of factors such as the size of the ship and the distinctive cultural, religious and social needs of the seafarers.
  2. Where separate mess room facilities are to be provided to seafarers, then separate mess rooms should be provided for:
    - (a) master and officers; and
    - (b) petty officers and other seafarers.
  3. On ships other than passenger ships, the floor area of mess rooms for seafarers should be not less than 1.5 square metres per person of the planned seating capacity.
  4. In all ships, mess rooms should be equipped with tables and appropriate seats, fixed or movable, sufficient to accommodate the greatest number of seafarers likely to use them at any one time.
  5. There should be available at all times when seafarers are on board:
    - (a) a refrigerator, which should be conveniently situated and of sufficient capacity for the number of persons using the mess room or mess rooms;
    - (b) facilities for hot beverages; and
    - (c) cool water facilities.
  6. Where available pantries are not accessible to mess rooms, adequate lockers for mess utensils and proper facilities for washing utensils should be provided.

- 7 テーブル及び座席の表面は、湿気に強い材料のものとすべきである。
- B.1.7 指針 衛生設備
- 1 洗面台及び浴槽は、適切な大きさのものとすべきであり、また、承認された材料であつて、表面が滑らかな、かつ、亀裂、割れ落ち及び腐食のおそれのないもので造られたものとすべきである。
- 2 全ての便所は、承認された様式のものですべきであり、また、十分な流水又は常に使用可能であり、かつ、便所ごとに操作することができる他の適当な手段（例えば空気）で洗浄することのできるものとすべきである。
- 3 二人以上の者が使用するための衛生設備は、次の条件を満たすべきである。
- (a) 床は、承認された材料であつて耐久性があり、かつ、湿気を通さないものを用いたものとすべきであり、また、適切に排水されるべきである。
- (b) 隔壁は、鉄鋼その他の承認された材料のものとすべきであり、また、床から少なくとも二十センチメートル上方まで水密にすべきである。
- (c) 衛生設備は、十分に照明し、暖房し、及び通風すべきである。
- (d) 便所は、寝室及び洗面室から便利に利用することができるが区別された位置に設け、寝室と直接又は便所に行くことのできる唯一の通路によつてつながらないようにすべきである。この条件は、合計四人以下の船員を収容する二の寝室の間の区画に便所が位置する場合には適用しない。
- (e) 一の区画に二以上の便所がある場合には、私生活を確保するため、十分に仕切られるべきである。
- 4 船員の利用に供される洗濯設備には、次のものを含めるべきである。
- (a) 洗濯機
- (b) 乾燥機又は適切に暖房し、及び通風した乾燥室
- (c) アイロン及びアイロン台又はこれらに相当するもの
- B.1.8 指針 医務室
- 1 医務室は、診察及び応急医療を容易にし、並びに伝染性疾患のまん延の防止に役立つように設計すべきである。
- 2 入口、寝台、照明、通風、暖房及び水の供給の配置は、快適さを確保し、及び患者の治療を容易にするように設計すべきである。

7. The tops of tables and seats should be of damp-resistant material.

Guideline B3.1.7 – Sanitary accommodation

1. Washbasins and tub baths should be of adequate size and constructed of approved material with a smooth surface not liable to crack, flake or corrode.
  2. All toilets should be of an approved pattern and provided with an ample flush of water or with some other suitable flushing means, such as air, which are available at all times and independently controllable.
3. Sanitary accommodation intended for the use of more than one person should comply with the following:
- (a) floors should be of approved durable material, impervious to damp, and should be properly drained;
  - (b) bulkheads should be of steel or other approved material and should be watertight up to at least 23 centimetres above the level of the deck;
  - (c) the accommodation should be sufficiently lit, heated and ventilated;
  - (d) toilets should be situated convenient to, but separate from, sleeping rooms and wash rooms, without direct access from the sleeping rooms or from a passage between sleeping rooms and toilets to which there is no other access; this requirement does not apply where a toilet is located in a compartment between two sleeping rooms having a total of not more than four seafarers; and
  - (e) where there is more than one toilet in a compartment, they should be sufficiently screened to ensure privacy.
4. The laundry facilities provided for seafarers' use should include:
- (a) washing machines;
  - (b) drying machines or adequately heated and ventilated drying rooms; and
  - (c) irons and ironing boards or their equivalent.
- Guideline B3.1.8 – Hospital accommodation
1. The hospital accommodation should be designed so as to facilitate consultation and the giving of medical first aid and to help prevent the spread of infectious diseases.
  2. The arrangement of the entrance, berths, lighting, ventilation, heating and water supply should be designed to ensure the comfort and facilitate the treatment of the occupants.



- 3 必要とされる医務室の寝台の数は、権限のある機関が定めるべきである。
- 4 専ら医務室の患者の利用に供するため、医務室の一部として又はこれに近接して、衛生設備を設けるべきである。当該衛生設備は、少なくとも一の便所、一の洗面台及び一の浴槽又はシャワーから成るべきである。
- B 1.1 指針 その他の設備
  - 1 機関部の人員が衣服を着替えるための設備が別個に設けられる場合には、当該設備は、次の条件を満たすべきである。
    - (a) 機関区域外に位置しているが、当該区域への出入りが容易であること。
    - (b) 個人の衣服用ロッカー、浴槽若しくはシャワー又はその双方並びに温水の温水及び冷水の出る洗面台を備えていること。
- B 1.10 指針 寝具、食器その他の備品
  3. 加盟国は、次の原則を適用することを考慮すべきである。
    - (a) 清潔な寝具及び食器は、船舶における勤務の間船舶内で使用に供するため、船舶所有者が全ての船員に対して供給すべきである。船員は、船長が指定する時及び船舶における勤務の完了時にこれらを返却する責任を負うべきである。
    - (b) 寝具は、良質のものとすべきであり、また、皿、コップその他の食器は、承認された材料で作られかつ、容易に洗浄することができるものとすべきである。
    - (c) タオル、石けん及びトイレットペーパーは、船舶所有者が全ての船員に提供すべきである。
- B 1.11 指針 レクリエーション用の設備並びに郵便及び船舶への訪問に関する手配
  - 1 レクリエーションに係る設備及びサービスについては、海運業における技術上、運航上及び他の進歩から生ずる船員の需要の変化に照らして適当なものであることを確保するため、頻繁に検討を行うべきである。
  - 2 レクリエーション用の設備のための備品は、少なくとも書棚並びに読書用及び筆記用の設備を含むべきであり、また、実行可能な場合には、遊戯用具を含むべきである。
  - 3 権限のある機関は、レクリエーション用の設備の計画に関連して、酒保を設けることについて考慮を払うべきである。

## 海上労働条約

3. The number of hospital berths required should be prescribed by the competent authority.
  4. Sanitary accommodation should be provided for the exclusive use of the occupants of the hospital accommodation, either as part of the accommodation or in close proximity thereto. Such sanitary accommodation should comprise a minimum of one toilet, one washbasin and one tub or shower.
- Guideline B3.1.9 – Other facilities
1. Where separate facilities for engine department personnel to change their clothes are provided, they should be:
    - (a) located outside the machinery space but with easy access to it; and
    - (b) fitted with individual clothes lockers as well as with tubs or showers or both and washbasins having hot and cold running fresh water.
- Guideline B3.1.10 – Bedding, mess utensils and miscellaneous provisions
1. Each Member should consider applying the following principles:
    - (a) clean bedding and mess utensils should be supplied by the shipowner to all seafarers for use on board during service on the ship, and such seafarers should be responsible for their return at times specified by the master and on completion of service in the ship;
    - (b) bedding should be of good quality, and plates, cups and other mess utensils should be of approved material which can be easily cleaned; and
    - (c) towels, soap and toilet paper for all seafarers should be provided by the shipowner.
- Guideline B3.1.11 – Recreational facilities, mail and ship visit arrangements
1. Recreational facilities and services should be reviewed frequently to ensure that they are appropriate in the light of changes in the needs of seafarers resulting from technical, operational and other developments in the shipping industry.
  2. Furnishings for recreational facilities should as a minimum include a bookcase and facilities for reading, writing and, where practicable, games.
  3. In connection with the planning of recreation facilities, the competent authority should give consideration to the provision of a canteen.

## 海上労働条約

- 4 実行可能な場合には、船員に費用を負担させることなく、次の便宜を含めることについて考慮を払うべきである。
  - (a) 喫煙室
  - (b) テレビジョンの視聴及びラジオ放送の受信
  - (c) 映画の上映（航行の期間に応じた十分な本数を備え、及び必要な場合には合理的な期間の間隔で取り替えるべきである。）
  - (d) スポーツ用具（体操用具、卓上用の遊戯用具及びデッキ遊戯用具を含む。）
  - (e) 可能な場合には、水泳用の設備
  - (f) 職業に関連する本その他の本を収める図書室（本は、航行の期間に応じた十分な冊数を備え、及び合理的な期間の間隔で取り替えるべきである。）
  - (g) レクリエーションとしての工芸のための設備
  - (h) 電子機器、例えば、ラジオ、テレビジョン、ビデオレコーダー、デジタルビデオディスクプレーヤー及びコンパクトディスクプレーヤー、パーソナルコンピュータ及びソフトウェア並びにカセットレコーダー及びカセットプレーヤー
  - (i) 適当な場合には、民族的な、宗教上の又は社会的な慣習に反しない限り、船員のための酒場を船舶内に設けること。
  - (j) 船舶と陸上との間の電話通信並びに可能な場合には電子メール及びインターネットへの妥当な金額の利用料金による合理的なアクセス
- 5 船員の郵便物ができる限り確実に迅速に送付されることを確保するため、あらゆる努力を払うべきである。船員の統制の及ばない事情により郵便物を再送しなければならない場合において、当該船員が追加の郵便料金の支払を要求されることを回避するための努力についても、考慮すべきである。
- 6 船員が可能かつ妥当なときはいつでも、港にある船舶においてパートナー、親族及び友人の訪問を受けることについての許可を迅速に与えられることを適用可能な国内法令又は国際法に従って確保するための措置が検討されるべきである。このような措置は、保安上の認可に関する懸念に対処するものとすべきである。
- 7 実行可能かつ妥当な場合には、船員が航行にパートナーを伴うことを認める可能性について考慮を払うべきである。当該パートナーは、災害及び疾病を対象とする適切な保険に加入しているべきである。船舶所有者は、船員に対し、そのような保険への加入のためのあらゆる援助を与えるべきである。

## 五〇四

4. Consideration should also be given to including the following facilities at no cost to the seafarer, where practicable:
  - (a) a smoking room;
  - (b) television viewing and the reception of radio broadcasts;
  - (c) showing of films, the stock of which should be adequate for the duration of the voyage and, where necessary, changed at reasonable intervals;
  - (d) sports equipment including exercise equipment, table games and deck games;
  - (e) where possible, facilities for swimming;
  - (f) a library containing vocational and other books, the stock of which should be adequate for the duration of the voyage and changed at reasonable intervals;
  - (g) facilities for recreational handicrafts;
  - (h) electronic equipment such as a radio, television, video recorders, DVD/CD player, personal computer and software and cassette recorder/player;
  - (i) where appropriate, the provision of bars on board for seafarers unless these are contrary to national, religious or social customs; and
  - (j) reasonable access to ship-to-shore telephone communications, and email and Internet facilities, where available, with any charges for the use of these services being reasonable in amount.
5. Every effort should be given to ensuring that the forwarding of seafarers' mail is as reliable and expeditious as possible. Efforts should also be considered for avoiding seafarers being required to pay additional postage when mail has to be re-addressed owing to circumstances beyond their control.
6. Measures should be considered to ensure, subject to any applicable national or international laws or regulations, that whenever possible and reasonable seafarers are expeditiously granted permission to have their partners, relatives and friends as visitors on board their ship when in port. Such measures should meet any concerns for security clearances.
7. Consideration should be given to the possibility of allowing seafarers to be accompanied by their partners on occasional voyages where this is practicable and reasonable. Such partners should carry adequate insurance cover against accident and illness; the shipowners should give every assistance to the seafarer to effect such insurance.

B 1.12 指針 騒音及び振動の防止

- 1 居住設備、レクリエーション用の設備及び料理のための設備は、機関、操舵機室、甲板のウィンチ、通風装置、暖房装置、エアコンディショナーその他騒音を生ずる機械及び器具からできる限り離れた位置とすべきである。
  - 2 音を発生する区域内の隔壁、天井及び床並びに機関区域のための自己閉鎖型の防音扉の構造及び仕上には、遮音材その他の適当な音を吸収する材料を使用すべきである。
  - 3 機関室その他の機関区域には、実行可能なときはいつでも、機関室の人員のための防音の中央制御室を設けるべきである。工作室のような作業区域については、機関室の騒音全般からできる限り遮断すべきであり、また、機械の作動による騒音を軽減するための措置をとるべきである。
  - 4 作業区域及び居住区域の騒音の水準の限度は、曝露の水準に関する国際労働機関の国際的な指針（二十年の作業場における環境上の要因と称する国際労働機関の実施基準に含まれる指針を含む。）及び適用可能な場合には国際海事機関の特定の保護に関する勧告並びにその後これらを改正し、及び補足する文書であって船舶内で容認することのできる騒音の水準に関するものに適合するものとすべきである。船舶内には、英語又は船舶内の常用語による適用可能な文書の写しを備え置き、及び船員が利用することができるようにすべきである。
  - 5 居住設備、レクリエーション用の設備又は料理の提供のための設備は、過大な振動にさらされるべきでない。
- 第 3.2 規則 食料及び料理の提供
- 目的 船員が規律された衛生的な条件の下で提供される良質の食料及び飲料水を利用することができることを確保すること。
- 1 加盟国は、自国を旗国とする船舶が当該船舶の需要を適切に満たし、かつ、異なる文化的及び宗教的背景を考慮した適当な品質、栄養価及び量の食料及び飲料水を船舶内に備え、及び提供することを確保する。
  - 2 船舶内の船員は、勤務期間中、無料で食料が提供される。
  - 3 調理について責任を負う船舶料理士として雇用される船員は、船舶におけるその職務上の地位のために訓練を受け、及び資格を有していなければならない。

Guideline B3.1.12 – Prevention of noise and vibration

1. Accommodation and recreational and catering facilities should be located as far as practicable from the engines, steering gear rooms, deck winches, ventilation, heating and air-conditioning equipment and other noisy machinery and apparatus.
2. Acoustic insulation or other appropriate sound-absorbing materials should be used in the construction and finishing of bulkheads, deckheads and decks within the sound-producing spaces as well as self-closing noise-isolating doors for machinery spaces.
3. Engine rooms and other machinery spaces should be provided, wherever practicable, with soundproof centralized control rooms for engine-room personnel. Working spaces, such as the machine shop, should be insulated, as far as practicable, from the general engine-room noise and measures should be taken to reduce noise in the operation of machinery.
4. The limits for noise levels for working and living spaces should be in conformity with the ILO international guidelines on exposure levels, including those in the ILO code of practice entitled *Ambient factors in the workplace*, 2001, and, where applicable, the specific protection recommended by the International Maritime Organization, and with any subsequent amending and supplementary instruments for acceptable noise levels on board ships. A copy of the applicable instruments in English or the working language of the ship should be carried on board and should be accessible to seafarers.
5. No accommodation or recreational or catering facilities should be exposed to excessive vibration.

Regulation 3.2 – Food and catering

*Purpose: To ensure that seafarers have access to good quality food and drinking water provided under regulated hygienic conditions*

1. Each Member shall ensure that ships that fly its flag carry on board and serve food and drinking water of appropriate quality, nutritional value and quantity that adequately covers the requirements of the ship and takes into account the differing cultural and religious backgrounds.
2. Seafarers on board a ship shall be provided with food free of charge during the period of engagement.
3. Seafarers employed as ships' cooks with responsibility for food preparation must be trained and qualified for their position on board ship.

## 海上労働条約

### A.3.2 基準 食料及び料理の提供

- 1 加盟国は、自国を旗国とする船舶において船員に提供される食事について適用する食料及び飲料水の量及び品質並びに料理の提供に係る基準に関する最低基準を定める法令又は他の措置を採択し、並びに当該最低基準についての啓発及び実施を促進するための教育活動を行う。
- 2 加盟国は、自国を旗国とする船舶が次の最低基準を満たすことを確保する。
  - (a) 食料及び飲料水の供給は、船舶内の船員の数、食料に関連する宗教上の要請及び文化的慣行並びに航行の期間及び性質に考慮を払い、量、栄養価、品質及び種類に関して適当なものとすること。
  - (b) 司厨部の組織及び設備は、衛生的な条件の下で調理され、及び提供される適切な、多様な及び栄養のある食事を船員に対して提供する(ことのできるものとする)こと。
  - (c) 司厨部の人員は、その職務上の地位のために適切に訓練され、又は指導されること。
- 3 船舶所有者は、船舶料理士として勤務する船員が関係する加盟国の法令に定める要件に従いその職務上の地位のために訓練され、資格を有し、及び能力を有すると認められることを確保する。
- 4 3に規定する要件は、権限のある機関が承認し、又は認める訓練課程の修了を含む。当該訓練課程は、実用的な料理方法、食料及び個人の衛生、食料の貯蔵、在庫の調整、環境の保護並びに料理の提供における健康及び安全に関するものとする。
- 5 十人未満の定められた人数の配乗で運航する船舶であつて、乗組員の数又は航行の態様により、十分な資格を有する料理士を乗船させることを権限のある機関によつて要求されないものにおいて、調理室で調理する者は、食料及び個人の衛生並びに船舶における食料の取扱い及び貯蔵を含む分野について訓練され、又は指導される。
- 6 権限のある機関は、例外的に必要な場合には、十分な資格を有しない料理士に対し、特定の船舶において特定の限られた期間(次の適当な寄港地までの期間又は一箇月以内の期間)業務を行うことを許可する臨時業務許可書を発給することができる。ただし、当該臨時業務許可書の発給を受ける者が食料及び個人の衛生並びに船舶における食料の取扱い及び貯蔵を含む分野について訓練され、又は指導されることを条件とする。
- 7 権限のある機関は、第五章に規定する継続的な遵守のための手続に従い、次の事項について、船舶において船長により又はその権限の下で頻繁な検査が行われ、かつ、当該検査が記録されることを要求する。

## 五〇六

### Standard A3.2 – Food and catering

1. Each Member shall adopt laws and regulations or other measures to provide minimum standards for the quantity and quality of food and drinking water and for the catering standards that apply to meals provided to seafarers on ships that fly its flag, and shall undertake educational activities to promote awareness and implementation of the standards referred to in this paragraph.
2. Each Member shall ensure that ships that fly its flag meet the following minimum standards:
  - (a) food and drinking water supplies, having regard to the number of seafarers on board, their religious requirements and cultural practices as they pertain to food, and the duration and nature of the voyage, shall be suitable in respect of quantity, nutritional value, quality and variety;
  - (b) the organization and equipment of the catering department shall be such as to permit the provision to the seafarers of adequate, varied and nutritious meals prepared and served in hygienic conditions; and
  - (c) catering staff shall be properly trained or instructed for their positions.
3. Shipowners shall ensure that seafarers who are engaged as ships' cooks are trained, qualified and found competent for the position in accordance with requirements set out in the laws and regulations of the Member concerned.
4. The requirements under paragraph 3 of this Standard shall include a completion of a training course approved or recognized by the competent authority, which covers practical cookery, food and personal hygiene, food storage, stock control, and environmental protection and catering health and safety.
5. On ships operating with a prescribed manning of less than ten which, by virtue of the size of the crew or the trading pattern, may not be required by the competent authority to carry a fully qualified cook, anyone processing food in the galley shall be trained or instructed in areas including food and personal hygiene as well as handling and storage of food on board ship.
6. In circumstances of exceptional necessity, the competent authority may issue a dispensation permitting a non-fully qualified cook to serve in a specified ship for a specified limited period, until the next convenient port of call or for a period not exceeding one month, provided that the person to whom the dispensation is issued is trained or instructed in areas including food and personal hygiene as well as handling and storage of food on board ship.
7. In accordance with the ongoing compliance procedures under Title 5, the competent authority shall require that frequent documented inspections be carried out on board ships, by or under the authority of the master, with respect to:

- (a) 食料及び飲料水の供給
  - (b) 食料及び飲料水の貯蔵及び取扱いのために使用される全ての場所及び設備
  - (c) 食事の調理及び提供のための調理室その他の設備
- 8 十八歳未満の船員は、船舶料理士として雇用され、従業し、又は労働してはならない。

B 3.2 指針 食料及び料理の提供

- 1 権限のある機関は、他の関連する機関及び団体と協力して、船舶において料理を提供することに伴う要請を特に考慮して、栄養並びに食料の購入、貯蔵、保存、調理及び配膳の方法について最新の情報を収集すべきである。この情報は、船舶の食料及び船舶の食料に係る設備の製造業者及び販売業者、船長、給仕及び料理士並びに関連する船舶所有者団体及び船員団体が、無料又は適当な費用で利用することができるようにすべきである。このため、適当な公表の様式、例えば、手引書、小冊子、ポスター、図表又は業界誌における広告を用いるべきである。

- 2 権限のある機関は、食料の浪費を避け、適当な衛生基準の維持を促進し、及び食料に係る業務計画ができる限り適切なものであることを確保するため、勧告を行うべきである。
- 3 権限のある機関は、適切な食料の供給及び料理の提供に係るサービスを確保する方法について教材を作成し、及び船舶内で情報を提供するため、関係する機関及び団体と協力すべきである。
- 4 権限のある機関は、関係する船舶所有者団体及び船員団体に食料及び健康の問題を取り扱う国又は地方の機関と緊密に協力すべきであり、また、必要な場合には、そのような機関のサービスを利用することができるとができる。

B 3.2 指針 船舶料理士

- 1 船員は、次の場合にのみ船舶料理士としての資格を得るべきである。
  - (a) 権限のある機関が定める最小限の期間、海上において勤務した場合、当該最小限の期間は、船員が既に有している関連する資格又は経験に応じて異なるものとするべきである。
  - (b) 権限のある機関が定める試験に合格した場合又は料理士のための承認された訓練の課程において当該試験と同等の試験に合格した場合
- 2 所定の試験及び資格証明書は、権限のある機関が直接に、又は承認された料理人訓練学校が権限のある機関の規制の下に、実施し、及び与えることができる。

- (a) supplies of food and drinking water;
  - (b) all spaces and equipment used for the storage and handling of food and drinking water; and
  - (c) galley and other equipment for the preparation and service of meals.
8. No seafarer under the age of 18 shall be employed or engaged or work as a ship's cook.

Guideline B3.2 – Food and catering

Guideline B3.2.1 – Inspection, education, research and publication

- 1. The competent authority should, in cooperation with other relevant agencies and organizations, collect up-to-date information on nutrition and on methods of purchasing, storing, preserving, cooking and serving food, with special reference to the requirements of catering on board a ship. This information should be made available, free of charge or at reasonable cost, to manufacturers of and traders in ships' food supplies and equipment, masters, stewards and cooks, and to shipowners' and seafarers' organizations concerned. Appropriate forms of publicity, such as manuals, brochures, posters, charts or advertisements in trade journals, should be used for this purpose.

- 2. The competent authority should issue recommendations to avoid wastage of food, facilitate the maintenance of a proper standard of hygiene, and ensure the maximum practicable convenience in working arrangements.
- 3. The competent authority should work with relevant agencies and organizations to develop educational materials and on-board information concerning methods of ensuring proper food supply and catering services.
- 4. The competent authority should work in close cooperation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned and with national or local authorities dealing with questions of food and health, and may where necessary utilize the services of such authorities.

Guideline B3.2.2 – Ships' cooks

- 1. Seafarers should only be qualified as ships' cooks if they have:
  - (a) served at sea for a minimum period to be prescribed by the competent authority, which could be varied to take into account existing relevant qualifications or experience;
  - (b) passed an examination prescribed by the competent authority or passed an equivalent examination at an approved training course for cooks.
- 2. The prescribed examination may be conducted and certificates granted either directly by the competent authority or, subject to its control, by an approved school for the training of cooks.



## 海上労働条約

3 権限のある機関は、適当な場合には、この条約若しくは千九百四十六年の船舶料理士資格証明条約（第六十九号）を批准した他の加盟国又は他の承認された機関が発給する船舶料理士としての資格証明書を承認するための措置をとるべきである。

### 第四章 健康の保護、医療、厚生及び社会保障による保護

#### 第4.1規則 船舶及び陸上における医療

目的 船員の健康を保護し、並びに船員が船舶及び陸上において迅速に医療を受けることができることを確保すること。

1 加盟国は、自国を旗国とする船舶の全ての船員が健康の保護のための適切な措置の対象となり、かつ、当該船員が船舶において労働する間に迅速かつ適切な医療を受けることができることを確保する。

2 1の規定に基づく保護及び医療は、原則として、船員に費用を負担させるところとなし提供される。

3 加盟国は、自国の領域内の船舶において直ちに医療を必要とする船員が当該加盟国の陸上の医療施設を利用することができることを確保する。

4 規範に定める船舶における健康の保護及び医療に関する義務には、陸上の労働者が一般的に受けることのできる健康の保護及び医療と可能な限り同等のものを船員に提供することを目的とする措置の基準を含む。

#### A 4.1基準 船舶及び陸上における医療

1 加盟国は、自国を旗国とする船舶において労働する船員の健康の保護及び医療（基本的な歯科診療を含む）に関し、次のことを内容とする措置をとることを確保する。

(a) 船員に対して、職業上の健康の保護及び医療に関する一般規定であつて船員の職務に関連するものに並びに船舶における労働に特有の特別規定が適用されることを確保する<sup>(a)(i)</sup>。

(b) 船員に対して、陸上の労働者が一般的に受けることができる健康の保護及び医療と可能な限り同等のもの（診断及び治療のために必要な医薬品、医療機器及び医療設備並びに医学的な情報及び専門知識を迅速に利用することができることを含む。）が与えられることを確保する<sup>(a)(ii)</sup>。

(c) 実行可能な場合には、船員に対し、寄港地において遅滞なく資格を有する医師又は歯科医師を訪問する権利を与えること。

3. The competent authority should provide for the recognition, where appropriate, of certificates of qualification as ships' cooks issued by other Members, which have ratified this Convention or the Certification of Ships' Cooks Convention, 1946 (No. 69), or other approved body.

### TITLE 4. HEALTH PROTECTION, MEDICAL CARE, WELFARE AND SOCIAL SECURITY PROTECTION

#### Regulation 4.1 – Medical care on board ship and ashore

*Purpose: To protect the health of seafarers and ensure their prompt access to medical care on board ship and ashore*

1. Each Member shall ensure that all seafarers on ships that fly its flag are covered by adequate measures for the protection of their health and that they have access to prompt and adequate medical care whilst working on board.

2. The protection and care under paragraph 1 of this Regulation shall, in principle, be provided at no cost to the seafarers.

3. Each Member shall ensure that seafarers on board ships in its territory who are in need of immediate medical care are given access to the Member's medical facilities on shore.

4. The requirements for on-board health protection and medical care set out in the Code include standards for measures aimed at providing seafarers with health protection and medical care as comparable as possible to that which is generally available to workers ashore.

#### Standard A4.1 – Medical care on board ship and ashore

1. Each Member shall ensure that measures providing for health protection and medical care, including essential dental care, for seafarers working on board a ship that flies its flag are adopted which:

(a) ensure the application to seafarers of any general provisions on occupational health protection and medical care relevant to their duties, as well as of special provisions specific to work on board ship;

(b) ensure that seafarers are given health protection and medical care as comparable as possible to that which is generally available to workers ashore, including prompt access to the necessary medicines, medical equipment and facilities for diagnosis and treatment and to medical information and expertise;

(c) give seafarers the right to visit a qualified medical doctor or dentist without delay in ports of call, where practicable;

- (d) 当該加盟国の国内法令及び国内慣行に適合する限りにおいて、船員が船舶内にいる間又は外国の港に上陸している間、当該船員に対し、医療及び健康の保護のサービスが無料で提供されることを確保すること。
- (e) 傷病を負った船員の治療に限定せず、健康の増進及び健康に関する教育のためのプログラム等の予防的な性質の措置を含むこと。
- 2 権限のある機関は、船長並びに関係する陸上及び船舶内の医療要員が使用するための医療に関する報告の標準的な様式を制定する。当該様式への記入が行われた場合には、当該様式及びその内容は、秘密のものとして取り扱い、及び船員の治療を容易にするためにのみ使用する。
- 3 加盟国は、自国を旗国とする船舶における医療設備、医療機器及び医療上の訓練に関する義務を定める法令を制定する。
- 4 少なくとも次の義務については、国内法令において定める。
- (a) 全ての船舶は、医療箱、医療機器及び医療手引書を備えるものとし、権限のある機関は、これらの詳細について定め、及び定期的な検査の対象とする。国内的な義務は、船舶の種類、乗船者の数、航行の性質、目的地及び期間並びに国内的及び国際的に勧告された関連する医療上の基準を考慮したものである。
- (b) 百人以上の人員を乗船させ、かつ、通常三日間を超える国際航行に従事する船舶は、資格を有し、かつ、医療の提供について責任を負う医師を乗船させる。国内法令においては、特に航行の期間、性質及び条件、船舶内の船員の数等の要素を考慮して、いずれの他の船舶が医師を乗船させることを要求されるかについても特定する。
- (c) 医師を乗船させない船舶は、通常の職務の一部として医療及び医薬品の管理を担当する船員を少なくとも一人乗船させ、又は応急医療を行う能力を有する船員を少なくとも一人乗船させることを要求される。船舶において医療を担当する者であつて医師でないものは、STCW条約の要件を満たす医療上の訓練を良好に修了した者でなければならない。応急医療を行うために指名される船員は、STCW条約の要件を満たす応急医療の訓練を良好に修了した者でなければならない。国内法令においては、特に航行の期間、性質及び条件、船舶内の船員の数等の要素を考慮して、必要とされる承認された訓練の水準を特定する。

- (d) ensure that, to the extent consistent with the Member's national law and practice, medical care and health protection services while a seafarer is on board ship or landed in a foreign port are provided free of charge to seafarers; and
- (e) are not limited to treatment of sick or injured seafarers but include measures of a preventive character such as health promotion and health education programmes.
2. The competent authority shall adopt a standard medical report form for use by the ships' masters and relevant onshore and on-board medical personnel. The form, when completed, and its contents shall be kept confidential and shall only be used to facilitate the treatment of seafarers.
3. Each Member shall adopt laws and regulations establishing requirements for on-board hospital and medical care facilities and equipment and training on ships that fly its flag.
4. National laws and regulations shall as a minimum provide for the following requirements:
- (a) all ships shall carry a medicine chest, medical equipment and a medical guide, the specifics of which shall be prescribed and subject to regular inspection by the competent authority; the national requirements shall take into account the type of ship, the number of persons on board and the nature, destination and duration of voyages and relevant national and international recommended medical standards;
- (b) ships carrying 100 or more persons and ordinarily engaged on international voyages of more than three days' duration shall carry a qualified medical doctor who is responsible for providing medical care; national laws or regulations shall also specify which other ships shall be required to carry a medical doctor, taking into account, inter alia, such factors as the duration, nature and conditions of the voyage and the number of seafarers on board;
- (c) ships which do not carry a medical doctor shall be required to have either at least one seafarer on board who is in charge of medical care and administering medicine as part of their regular duties or at least one seafarer on board competent to provide medical first aid; persons in charge of medical care on board who are not medical doctors shall have satisfactorily completed training in medical care that meets the requirements of the International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers, 1978, as amended ("STCW"); seafarers designated to provide medical first aid shall have satisfactorily completed training in medical first aid that meets the requirements of STCW; national laws or regulations shall specify the level of approved training required taking into account, inter alia, such factors as the duration, nature and conditions of the voyage and the number of seafarers on board; and

- (d) 権限のある機関は、あらかじめ構築されたシステムにより、海上の船舶が無線通信又は衛星通信による医学的助言（専門家による助言を含む。）を一日二十四時間利用することができることを確保する。医学的助言（船舶と助言を与える陸上の者との間の無線通信又は衛星通信による医学的な伝達事項の送受信を含む。）は、旗国のいかなる間わず、全ての船舶が無料で利用することができるものとする。

B.1 指針 船舶及び陸上における医療

4.1 指針 医療の提供

- 1 権限のある機関は、医師を乗船させることを要求されない船舶において行われる医療上の訓練の水準を決定する場合には、次のことを要求すべきである。

- (a) 通常八時間以内に資格を有する者による医療を受けることができ、及び医療施設に到達することができる船舶は、STCW条約によって要求される承認された応急医療の訓練であって、船舶において生ずるおそれのある災害及び疾病の場合に迅速かつ効果的な措置をとり、及び無線通信又は衛星通信による医学的助言を利用することを可能とするものを受けた指名された船員を少なくとも一人乗船させるべきであること。

- (b) その他の全ての船舶は、STCW条約によって要求される承認された医療上の訓練（実習訓練及び点滴治療等の救命技術についての訓練を含む。）であって、海上の船舶に対する医療上の援助のための調整された制度に効果的に参加すること及び傷病者に対して当該傷病者が乗船を継続する可能性のある期間満足すべき水準の医療を提供することを可能とするものを受けた指名された船員を少なくとも一人乗船させるべきであること。

- 2 1に規定する訓練は、国際船舶医療手引書、危険物による事故の際の応急医療の手引書、国際海洋訓練手引書及び国際信号書（医療関係部門）並びに同種の国内の手引書の最新版に基づくものとすべきである。

- 3 1に規定する船員及び権限のある機関が要求する他の船員は、その知識及び技能を維持し、及び増進し、並びに新たな進展に応じた最新のものとすることを可能とするため、約五年ごとに、再教育のための課程を受講すべきである。

- (d) the competent authority shall ensure by a prearranged system that medical advice by radio or satellite communication to ships at sea, including specialist advice, is available 24 hours a day; medical advice, including the onward transmission of medical messages by radio or satellite communication between a ship and those ashore giving the advice, shall be available free of charge to all ships irrespective of the flag that they fly.

Guideline B4.1 – Medical care on board ship and ashore

Guideline B4.1.1 – Provision of medical care

1. When determining the level of medical training to be provided on board ships that are not required to carry a medical doctor, the competent authority should require that:

- (a) ships which ordinarily are capable of reaching qualified medical care and medical facilities within eight hours should have at least one designated seafarer with the approved medical first-aid training required by STCW which will enable such persons to take immediate, effective action in case of accidents or illnesses likely to occur on board a ship and to make use of medical advice by radio or satellite communication; and

- (b) all other ships should have at least one designated seafarer with approved training in medical care required by STCW, including practical training and training in life-saving techniques such as intravenous therapy, which will enable the persons concerned to participate effectively in coordinated schemes for medical assistance to ships at sea, and to provide the sick or injured with a satisfactory standard of medical care during the period they are likely to remain on board.

2. The training referred to in paragraph 1 of this Guideline should be based on the contents of the most recent editions of the *International Medical Guide for Ships*, the *Medical First Aid Guide for Use in Accidents Involving Dangerous Goods*, the *Document for Guidance – An International Maritime Training Guide*, and the medical section of the *International Code of Signals* as well as similar national guides.

3. Persons referred to in paragraph 1 of this Guideline and such other seafarers as may be required by the competent authority should undergo, at approximately five-year intervals, refresher courses to enable them to maintain and increase their knowledge and skills and to keep up-to-date with new developments.

4 船舶内に備える医療箱及びその内容物並びに医療機器及び医療手引書は、権限のある機関により指名される責任者が適正に維持し、及び十二箇月以内の一定の間隔で検査すべきである。当該責任者は、全ての医薬品のラベル等による表示、有効期間が満了する日、保管の条件及び使用上の指示が点検されていること並びに全ての機器が要求される機能を有していることを確保すべきである。権限のある機関は、国内で使用する船舶の医療手引書を採用し、又は検討し、並びに医療箱の内容物及び医療機器を決定するに当たり、この分野における国際的な勧告（国際船舶医療手引書及び2に規定する他の手引書の最新版を含む。）を考慮に入れるべきである。

5 危険物に分類される貨物が危険物による事故の際の応急医療の手引書の最新版に記載されていない場合には、その物質の性質、関係する危険、必要な個人用保護装置、関係する医療上の措置及び特効のある解毒剤に関する必要な情報は、船員が利用することができるようにするべきである。そのような特効のある解毒剤及び個人用保護装置は、危険物を積載するときはいつでも、船舶内に備えるべきである。この情報は、第4.3規則及び関係する規範に規定する船舶における職業上の安全及び健康についての政策及び計画に組み入れるべきである。

6 全ての船舶は、医学的助言を得ることのできる無線局の完全な、かつ、最新の一覧表を備えるべきであり、また、衛星通信システムを備えている場合には、医学的助言を得ることのできる海岸地球局の最新の、かつ、完全な一覧表を備えるべきである。船舶において医療又は応急医療について責任を負う船員は、助言する医師が必要とする情報の種類及び受けた助言を理解することができるとし、国際信号書（医療関係部門）の最新版及び船舶の医療手引書の利用について指導を受けるべきである。

#### B.1.2 医療に関する報告の様式

1 A.1基準の規定に基づいて要求される船員のための医療に関する報告の標準的な様式は、疾病又は負傷の場合において船舶と陸上との間で個別の船員に関する医療上の情報その他の関連する情報の交換を容易にするものとすべきである。

#### B.1.3 陸上における医療

1 船員を治療するための陸上の医療施設は、その目的のために適切なものとすべきである。医師、歯科医師その他医療要員は、適当な資格を有すべきである。

2 船員が港にいる時に次のものを利用することができ、これを確保するための措置がとられるべきである。

4. The medicine chest and its contents, as well as the medical equipment and medical guide carried on board, should be properly maintained and inspected at regular intervals, not exceeding 12 months, by responsible persons designated by the competent authority, who should ensure that the labelling, expiry dates and conditions of storage of all medicines and directions for their use are checked and all equipment functioning as required. In adopting or reviewing the ship's medical guide used nationally, and in determining the contents of the medicine chest and medical equipment, the competent authority should take into account international recommendations in this field, including the latest edition of the *International Medical Guide for Ships*, and other guides mentioned in paragraph 2 of this Guideline.

5. Where a cargo which is classified dangerous has not been included in the most recent edition of the *Medical First Aid Guide for Use in Accidents Involving Dangerous Goods*, the necessary information on the nature of the substances, the risks involved, the necessary personal protective devices, the relevant medical procedures and specific antidotes should be made available to the seafarers. Such specific antidotes and personal protective devices should be on board whenever dangerous goods are carried. This information should be integrated with the ship's policies and programmes on occupational safety and health described in Regulation 4.3 and related Code provisions.

6. All ships should carry a complete and up-to-date list of radio stations through which medical advice can be obtained; and, if equipped with a system of satellite communication, carry an up-to-date and complete list of coast earth stations through which medical advice can be obtained. Seafarers with responsibility for medical care or medical first aid on board should be instructed in the use of the ship's medical guide and the medical section of the most recent edition of the *International Code of Signals* so as to enable them to understand the type of information needed by the advising doctor as well as the advice received.

#### Guideline B4.1.2 – Medical report form

1. The standard medical report form for seafarers required under Part A of this Code should be designed to facilitate the exchange of medical and related information concerning individual seafarers between ship and shore in cases of illness or injury.

#### Guideline B4.1.3 – Medical care ashore

1. Shore-based medical facilities for treating seafarers should be adequate for the purposes. The doctors, dentists and other medical personnel should be properly qualified.

2. Measures should be taken to ensure that seafarers have access when in port to:



- (a) 疾病及び負傷に関する外来患者のための治療
  - (b) 必要な場合における入院加療
  - (c) 歯科治療のための施設（特に緊急の場合）
- 3 病気にかかっている船員の治療を容易にするため、適当な措置をとるべきである。特に、船員は、困難を伴うことなく、及び国籍又は宗教的信条のいかんを問わず、陸上の診療所及び病院に速やかに収容されるべきである。可能なときはいつでも、当該船員が利用するに十分な医療施設による治療を補うための治療の継続を必要に応じて確保するための措置がとられるべきである。
- B 4.1. 指針 他の船舶への医療上の援助及び国際協力
- 1 加盟国は、健康の保護及び医療に関する援助、計画及び調査の分野における国際協力に参加することに妥当な考慮を払うべきである。このような協力は、次のことを対象とすることができる。
- (a) 千九百七十九年の海上における搜索及び救助に関する国際条約（その改正を含む。）及び国際航空機船舶搜索救助便覧（IAMSAR）に従い、搜索及び救助の努力を発展させ、及び調整すること並びに定期的な船位通報制度、救助調整本部、緊急時におけるヘリコプターの派遣に係るサービス等を通じて海上で迅速に船舶内の重病又は重傷の者に対する医療上の援助及びこれらの者の輸送を行う体制を構築すること。
  - (b) 医師を乗船させている全ての船舶を最大限活用すること並びに医療設備及び救助のための設備を提供することができ、船舶を海上に配置すること。
  - (c) 船員に対して緊急の医療を提供するために世界的規模で利用することができる医師及び医療施設の国際的な一覧表を取りまとめ、及び維持すること。
  - (d) 緊急の治療のために船員を上陸させること。
  - (e) 外国で入院した船員の希望及び必要性を考慮し、当該船員の治療について責任を負う医師の医学的助言に従って当該船員をできる限り速やかに送還すること。
  - (f) 送還される船員の希望及び必要性を考慮し、当該船員の治療について責任を負う医師の医学的助言に従って、送還中、当該船員に対して個人的な援助を手配すること。
  - (g) 次のことを行うために船員のための保健施設を設置するよう努めること。
  - (i) 船員の健康状態、治療及び予防的な保健に関して研究を行うこと。
  - (ii) 医療及び保健サービスの要員に海上の医療に関する訓練を受けさせること。

- (a) outpatient treatment for sickness and injury;
- (b) hospitalization when necessary; and
- (c) facilities for dental treatment, especially in cases of emergency.

3. Suitable measures should be taken to facilitate the treatment of seafarers suffering from disease. In particular, seafarers should be promptly admitted to clinics and hospitals ashore, without difficulty and irrespective of nationality or religious belief, and, whenever possible, arrangements should be made to ensure, when necessary, continuation of treatment to supplement the medical facilities available to them.

Guideline B4.1.4 – Medical assistance to other ships and international cooperation

1. Each Member should give due consideration to participating in international cooperation in the area of assistance, programmes and research in health protection and medical care. Such cooperation might cover:

- (a) developing and coordinating search and rescue efforts and arranging prompt medical help and evacuation at sea for the seriously ill or injured on board a ship through such means as periodic ship position reporting systems, rescue co-ordination centres and emergency helicopter services, in conformity with the International Convention on Maritime Search and Rescue, 1979, as amended, and the *International Aeronautical and Maritime Search and Rescue (IAMSAR) Manual*;

- (b) making optimum use of all ships carrying a doctor and stationing ships at sea which can provide hospital and rescue facilities;
- (c) compiling and maintaining an international list of doctors and medical care facilities available worldwide to provide emergency medical care to seafarers;
- (d) landing seafarers ashore for emergency treatment;
- (e) repatriating seafarers hospitalized abroad as soon as practicable, in accordance with the medical advice of the doctors responsible for the case, which takes into account the seafarer's wishes and needs;
- (f) arranging personal assistance for seafarers during repatriation, in accordance with the medical advice of the doctors responsible for the case, which takes into account the seafarer's wishes and needs;
- (g) endeavouring to set up health centres for seafarers to:
  - (i) conduct research on the health status, medical treatment and preventive health care of seafarers; and
  - (ii) train medical and health service staff in maritime medicine;



- (h) 船員の職業上の災害、疾病及び死亡に関する統計を収集し、及び評価すること並びに当該統計を他の種類の労働者を対象とする職業上の災害及び疾病に関する既存の国内の統計の体系と統合し、及び調整を図ること。
- (i) 技術的情報、訓練用の資料及び訓練要員の国際的な交換及び交流並びに国際的な訓練課程、セミナー及び作業部会を行うこと。
- (j) 全ての船員に対し、特別な保健サービス及び医療であつて治療及び予防に関するものを港において提供すること又は一般的な保健、医療及びリハビリテーションに係るサービスを利用することができるようにすること。
- (k) 近親者の希望に従い、かつ、できる限り速やかに、死亡した船員の遺体又は遺骨の送還のための措置をとること。
- 2 船員のための健康の保護及び医療の分野における国際協力は、加盟国間における二国間又は多数国間の協定又は協議に基づくものとすべきである。
- B 4.1.5 指針 船員の被扶養者
- 1 加盟国は、労働者全般及びその被扶養者を対象として含む医療サービスが存在しない場合には、当該サービスを発展させるまでの間、自国の領域内に住所を有する船員の被扶養者のため、適当かつ十分な医療を確保するための措置をとるべきであり、また、この目的のためにとられた措置に関して国際労働事務局に通報すべきである。
- 第 4.2 規則 船舶所有者の責任
- 目的 船員の雇用に関連して生ずる疾病、負傷又は死亡の金銭上の影響から当該船員が保護されることを確保すること。
- 1 加盟国は、自国を旗国とする船舶において、当該船舶で雇用される船員に対し、船員の雇用契約に基づく勤務中に生じ、又は船員の雇用契約に基づく雇用に起因する疾病、負傷又は死亡の金銭上の影響に関して船舶所有者から物的援助及び支援を受ける権利を与えるための措置が規範の規定に従ってとられることを確保する。
- 2 この規則の規定は、船員が求めることができる他のいかなる法的救済にも影響を及ぼすものではない。

- (h) collecting and evaluating statistics concerning occupational accidents, diseases and fatalities of seafarers and integrating and harmonizing the statistics with any existing national system of statistics on occupational accidents and diseases covering other categories of workers;
- (i) organizing international exchanges of technical information, training material and personnel, as well as international training courses, seminars and working groups;
- (j) providing all seafarers with special curative and preventive health and medical services in port, or making available to them general health, medical and rehabilitation services; and
- (k) arranging for the repatriation of the bodies or ashes of deceased seafarers, in accordance with the wishes of the next of kin and as soon as practicable.
2. International cooperation in the field of health protection and medical care for seafarers should be based on bilateral or multilateral agreements or consultations among Members.

Guideline B4.1.5 – Dependants of seafarers

1. Each Member should adopt measures to secure proper and sufficient medical care for the dependants of seafarers domiciled in its territory pending the development of a medical care service which would include within its scope workers generally and their dependants where such services do not exist and should inform the International Labour Office concerning the measures taken for this purpose.

**Regulation 4.2 – Shipowners' liability**

*Purpose: To ensure that seafarers are protected from the financial consequences of sickness, injury or death occurring in connection with their employment*

1. Each Member shall ensure that measures, in accordance with the Code, are in place on ships that fly its flag to provide seafarers employed on the ships with a right to material assistance and support from the shipowner with respect to the financial consequences of sickness, injury or death occurring while they are serving under a seafarers' employment agreement or arising from their employment under such agreement.

2. This Regulation does not affect any other legal remedies that a seafarer may seek.

## 海上労働条約

### A.2 基準 船舶所有者の責任

- 1 加盟国は、自国を旗国とする船舶の船舶所有者が当該船舶において労働する全ての船員の健康の保護及び医療について次の最低基準に従って責任を負うことを要求する法令を制定する。
  - (a) 船舶所有者は、自己の船舶において労働する船員について、職務の開始の日と適切に送還されたとみなされる日との間に生じ、又はこれらの日の間における雇用起因する当該船員の疾病及び負傷に関して費用を負担する責任を負う。
  - (b) 船舶所有者は、職業上の負傷、疾病又は危険に起因する船員の死亡又は長期の障害の場合における補償を確保するため、国内法令、船員の雇用契約又は団体交渉の合意に規定する金銭上の保証を提供する。
  - (c) 船舶所有者は、傷病を負った船員が回復するまで又は当該船員の疾病若しくは労働不能が恒久的性質のものと言及されるまで、医療に係る費用（治療、必要な医薬品及び治療用の器具の供給並びに自宅以外における食事及び宿泊に係る費用を含む。）を負担する責任を負う。
  - (d) 船舶所有者は、船員が勤務期間中に船舶又は陸上において死亡した場合には、埋葬のための費用を負担する責任を負う。
- 2 国内法令は、医療、食事及び宿泊に係る費用を負担する船舶所有者の責任を、船員の負傷又は発病の日から十六週間以上の期間に限定することができる。
- 3 疾病又は負傷の結果として労働不能が生ずる場合には、船舶所有者は、次のことについて責任を負う。
  - (a) 傷病を負った船員が船舶内にとどまる間又はこの条約に従って送還されるまで、賃金の全額を支払うこと。
  - (b) 傷病を負った船員が送還され、又は上陸する時から回復するまで又は回復に先立ち関係する加盟国の法令に基づき現金給付を受ける権利を得る場合にはその時まで、国内法令又は団体交渉の合意に定めるところに従って賃金の全額又は一部を支払うこと。
- 4 国内法令は、下船した船員に関して賃金の全額又は一部を支払う船舶所有者の責任を、当該船員の負傷又は発病の日から十六週間以上の期間に限定することができる。
- 5 国内法令は、次の事項に関する責任を船舶所有者に負わせないことができる。
  - (a) 船舶の業務以外から生じた負傷
  - (b) 傷病を負い、又は死亡した船員の悪意の不法行為に起因する負傷又は疾病

## 五 一四

### Standard A4.2 – Shipowners' liability

1. Each Member shall adopt laws and regulations requiring that shipowners of ships that fly its flag are responsible for health protection and medical care of all seafarers working on board the ships in accordance with the following minimum standards:
  - (a) shipowners shall be liable to bear the costs for seafarers working on their ships in respect of sickness and injury of the seafarers occurring between the date of commencing duty and the date upon which they are deemed duly repatriated, or arising from their employment between those dates;
  - (b) shipowners shall provide financial security to assure compensation in the event of the death or long-term disability of seafarers due to an occupational injury, illness or hazard, as set out in national law, the seafarers' employment agreement or collective agreement;
  - (c) shipowners shall be liable to defray the expense of medical care, including medical treatment and the supply of the necessary medicines and therapeutic appliances, and board and lodging away from home until the sick or injured seafarer has recovered, or until the sickness or incapacity has been declared of a permanent character; and
  - (d) shipowners shall be liable to pay the cost of burial expenses in the case of death occurring on board or ashore during the period of engagement.
2. National laws or regulations may limit the liability of the shipowner to defray the expense of medical care and board and lodging to a period which shall not be less than 16 weeks from the day of the injury or the commencement of the sickness.
3. Where the sickness or injury results in incapacity for work the shipowner shall be liable:
  - (a) to pay full wages as long as the sick or injured seafarers remain on board or until the seafarers have been repatriated in accordance with this Convention; and
  - (b) to pay wages in whole or in part as prescribed by national laws or regulations or as provided for in collective agreements from the time when the seafarers are repatriated or landed until their recovery or, if earlier, until they are entitled to cash benefits under the legislation of the Member concerned.
4. National laws or regulations may limit the liability of the shipowner to pay wages in whole or in part in respect of a seafarer no longer on board to a period which shall not be less than 16 weeks from the day of the injury or the commencement of the sickness.
5. National laws or regulations may exclude the shipowner from liability in respect of:
  - (a) injury incurred otherwise than in the service of the ship;
  - (b) injury or sickness due to the wilful misconduct of the sick, injured or deceased seafarer; and

(c) 船員が勤務を開始した時に故意に隠蔽された疾病又は心身障害

6 国内法令は、医療、食事及び宿泊に係る費用並びに埋葬のための費用を負担する責任について、公の機関が当該責任を負う限りにおいて、船舶所有者に負わせないことができる。

7 船舶所有者又はその代理人は、傷病を負い、又は死亡した船員が船舶内に残した財産を保全し、及び当該船員又はその近親者に返還するための措置をとる。

#### B.2 指針 船舶所有者の責任

1 A.2 基準 3 (a) の規定により要求される賃金の全額の支払については、賞与を除くことができる。

2 国内法令は、傷病を負った船員が強制的な疾病保険、強制的な災害保険又は労働者の災害に係る補償の制度に基づく医療給付を請求することができる時から、船舶所有者が当該船員に係る費用を負担する責任を負わないことを規定することができる。

3 国内法令は、死亡した船員に関して社会保険又は労働者の補償に関する法令に基づき葬儀料が支払われる場合において、船舶所有者が支払った埋葬のための費用を保険機関が償還することを規定することができる。

#### 第 4.3 規則 健康及び安全の保護並びに災害の防止

目的 船舶における船員の労働環境が職業上の安全及び健康を促進することを確保すること。

1 加盟国は、自国を旗国とする船舶の船員が職業上の健康の保護を与えられ、並びに安全かつ衛生的な環境の船舶内で生活し、労働し、及び訓練することを確保する。

2 加盟国は、代表的な船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、国際機関、国内の行政機関及び海運業団体が勧告する適用可能な規範、指針及び基準を考慮して、自国を旗国とする船舶における職業上の安全及び健康の管理についての国内の指針を作成し、及び公表する。

3 加盟国は、関連する国際文書を考慮して、規範に定める事項を対象とする法令を制定し、及び当該事項を対象とする他の措置をとり、並びに自国を旗国とする船舶における職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止のための基準を設定する。

(c) sickness or infirmity intentionally concealed when the engagement is entered into.

6. National laws or regulations may exempt the shipowner from liability to defray the expense of medical care and board and lodging and burial expenses in so far as such liability is assumed by the public authorities.

7. Shipowners or their representatives shall take measures for safeguarding property left on board by sick, injured or deceased seafarers and for returning it to them or to their next of kin.

#### Guideline B4.2 – Shipowners' liability

1. The payment of full wages required by Standard A4.2, paragraph 3(a), may be exclusive of bonuses.

2. National laws or regulations may provide that a shipowner shall cease to be liable to bear the costs of a sick or injured seafarer from the time at which that seafarer can claim medical benefits under a scheme of compulsory sickness insurance, compulsory accident insurance or workers' compensation for accidents.

3. National laws or regulations may provide that burial expenses paid by the shipowner shall be reimbursed by an insurance institution in cases in which funeral benefit is payable in respect of the deceased seafarer under laws or regulations relating to social insurance or workers' compensation.

#### Regulation 4.3 – Health and safety protection and accident prevention

*Purpose: To ensure that seafarers' work environment on board ships promotes occupational safety and health*

1. Each Member shall ensure that seafarers on ships that fly its flag are provided with occupational health protection and live, work and train on board ship in a safe and hygienic environment.

2. Each Member shall develop and promulgate national guidelines for the management of occupational safety and health on board ships that fly its flag, after consultation with representative shipowners' and seafarers' organizations and taking into account applicable codes, guidelines and standards recommended by international organizations, national administrations and maritime industry organizations.

3. Each Member shall adopt laws and regulations and other measures addressing the matters specified in the Code, taking into account relevant international instruments, and set standards for occupational safety and health protection and accident prevention on ships that fly its flag.

## 海上労働条約

### A 4.3 健康及び安全の保護並びに災害の防止

- 1 第4.3規則3の規定に従って制定する法令及びその他の措置には、次の事項を含む。
  - (a) 加盟国を旗国とする船舶における職業上の安全及び健康についての政策及び計画（危険性の評価並びに船員の訓練及び指導を含む。）の策定並びに効果的な実施及び促進
  - (b) 船舶における職業上の災害、負傷及び疾病を防止するための合理的な予防措置（有害な水準の環境上の要因及び化学物質にさらされる危険並びに船舶内の設備及び機関の使用から生ずる可能性のある負傷又は疾病の危険を減少させ、及び防止する措置を含む。）
  - (c) 職業上の災害、負傷及び疾病を防止し、並びに職業上の安全及び健康の保護を不断に改善するための船舶における計画であって、その実施に当たって船員の代表者その他の関係する全ての者が参加し、かつ、防止措置（工学的な及び設計の管理、共同及び個人の任務に係る手順及び手続の変更並びに個人用保護具の使用を含む。）を考慮に入れたもの
  - (d) 安全でない状態についての検査、報告及び是正並びに船舶における職業上の災害についての調査及び報告に関する要件
- 2 1の規定は、次のことを満たすものとする。
  - (a) 一般的な職業上の安全及び健康の保護並びに特定の危険を取り扱う関連する国際文書を考慮し、並びに職業上の災害、負傷及び疾病の防止に関する事項であって、船員の労働について妥当なもの（特に、海上の業務に特有のもの）を取り扱うこと。
  - (b) 十八歳未満の船員の安全及び健康に特別の考慮を払いつつ、船舶所有者、船員その他の関係者が適用される基準並びに船舶における職業上の安全及び健康についての政策及び計画を遵守する義務を明確に定めること。
  - (c) 船長若しくは船長が指名する者又はその双方について、船舶における職業上の安全及び健康についての政策及び計画の実施及び遵守に関する特別の責任を負うための任務を定めること。
  - (d) 船舶の安全のための委員会の会合に参加するため安全に関する代表として任命され、又は選出される船舶の船員の権限を定めること。当該委員会は、五人以上の船員を有する船舶に設置する。
- 3 第4.3規則3に規定する法令その他の措置は、船舶所有者団体及び船員団体の代表者と協議して定期的に検討するものとし、必要な場合には、職業上の安全及び健康についての政策及び計画の不断の改善を促進し、並びに加盟国を旗国とする船舶の船員に職業上の安全な環境を提供するため、技術の変化及び研究の進展を考慮して改正する。

## 五一六

### Standard A4.3 – Health and safety protection and accident prevention

1. The laws and regulations and other measures to be adopted in accordance with Regulation 4.3, paragraph 3, shall include the following subjects:
  - (a) the adoption and effective implementation and promotion of occupational safety and health policies and programmes on ships that fly the Member's flag, including risk evaluation as well as training and instruction of seafarers;
  - (b) reasonable precautions to prevent occupational accidents, injuries and diseases on board ship, including measures to reduce and prevent the risk of exposure to harmful levels of ambient factors and chemicals as well as the risk of injury or disease that may arise from the use of equipment and machinery on board ships;
  - (c) on-board programmes for the prevention of occupational accidents, injuries and diseases and for continuous improvement in occupational safety and health protection, involving seafarers' representatives and all other persons concerned in their implementation, taking account of preventive measures, including engineering and design control, substitution of processes and procedures for collective and individual tasks, and the use of personal protective equipment; and
  - (d) requirements for inspecting, reporting and correcting unsafe conditions and for investigating and reporting on-board occupational accidents.
2. The provisions referred to in paragraph 1 of this Standard shall:
  - (a) take account of relevant international instruments dealing with occupational safety and health protection in general and with specific risks, and address all matters relevant to the prevention of occupational accidents, injuries and diseases that may be applicable to the work of seafarers and particularly those which are specific to maritime employment;
  - (b) clearly specify the obligation of shipowners, seafarers and others concerned to comply with the applicable standards and with the ship's occupational safety and health policy and programme with special attention being paid to the safety and health of seafarers under the age of 18;
  - (c) specify the duties of the master or a person designated by the master, or both, to take specific responsibility for the implementation of and compliance with the ship's occupational safety and health policy and programme; and
  - (d) specify the authority of the ship's seafarers appointed or elected as safety representatives to participate in meetings of the ship's safety committee. Such a committee shall be established on board a ship on which there are five or more seafarers.
3. The laws and regulations and other measures referred to in Regulation 4.3, paragraph 3, shall be regularly reviewed in consultation with the representatives of the shipowners' and seafarers' organizations and, if necessary, revised to take account of changes in technology and research in order to facilitate continuous improvement in occupational safety and health policies and programmes and to provide a safe occupational environment for seafarers on ships that fly the Member's flag.



4 船舶内の職場における危険にさらされることについての許容される水準並びに船舶の職業上の安全及び健康についての政策及び計画の策定及び実施に関する適用可能な国際文書の要件を満たすことは、この条約上の義務を履行するものとみなす。

5 権限のある機関は、次のことを確保する。

- (a) 職業上の災害及び疾病の報告及び記録に関して国際労働機関が作成する指針を考慮して、職業上の災害、負傷及び疾病が適切に報告されること。
- (b) 職業上の災害及び疾病に関し、詳細な統計が作成され、分析され、及び公表され、並びに、適当な場合には、更に一般的な傾向及び特定された危険についての研究が行われること。
- (c) 職業上の災害が調査されること。

6 職業上の安全及び健康に係る事項に関する報告及び調査は、船員の個人情報の保護を確保するようなものとし、及びこの問題に関して国際労働機関が作成する指針を考慮に入れたものとする。

7 権限のある機関は、船舶における特定の危険に関する情報を全ての船員に知らせるための措置（例えば、その危険に関係がある指示を含む公の情報を掲示すること。）をとるために船舶所有者団体及び船員団体と協力する。

8 権限のある機関は、職業上の安全及び健康の管理に関する危険性の評価を行う船舶所有者に対し、自己の船舶から及び当該権限のある機関が作成する一般的な統計から得られる適当な統計上の情報を参照すること）を要求する。

B.3 指針 健康及び安全の保護並びに災害の防止

B.4.3 指針 職業上の災害、負傷及び疾病に関する規定

1 A.3 基準の規定により制定することを要求される規定は、千九百九十六年の海上及び港における船舶内の災害の防止と称する国際労働機関の実施基準及びその改定版並びに職業上の安全及び健康の保護に関する他の関連する国際労働機関の基準、指針及び実施基準その他国際的な基準、指針及び実施基準（これらの文書で特定される曝露<sup>exposure</sup>の水準を含む。）を考慮に入れたものとすべきである。

2 権限のある機関は、職業上の安全及び健康の管理についての国内の指針が特に次の事項を取り扱うことを確保すべきである。

- (a) 一般的及び基本的な規定
- (b) 船舶の構造上の特性（出入設備及び石綿に関連する危険を含む。）

4. Compliance with the requirements of applicable international instruments on the acceptable levels of exposure to workplace hazards on board ships and on the development and implementation of ships' occupational safety and health policies and programmes shall be considered as meeting the requirements of this Convention.

5. The competent authority shall ensure that:

- (a) occupational accidents, injuries and diseases are adequately reported, taking into account the guidance provided by the International Labour Organization with respect to the reporting and recording of occupational accidents and diseases;
- (b) comprehensive statistics of such accidents and diseases are kept, analysed and published and, where appropriate, followed up by research into general trends and into the hazards identified; and
- (c) occupational accidents are investigated.

6. Reporting and investigation of occupational safety and health matters shall be designed to ensure the protection of seafarers' personal data, and shall take account of the guidance provided by the International Labour Organization on this matter.

7. The competent authority shall cooperate with shipowners' and seafarers' organizations to take measures to bring to the attention of all seafarers information concerning particular hazards on board ships, for instance, by posting official notices containing relevant instructions.

8. The competent authority shall require that shipowners conducting risk evaluation in relation to management of occupational safety and health refer to appropriate statistical information from their ships and from general statistics provided by the competent authority.

Guideline B4.3 – Health and safety protection and accident prevention

Guideline B4.3.1 – Provisions on occupational accidents, injuries and diseases

1. The provisions required under Standard A4.3 should take into account the ILO code of practice entitled *Accident prevention on board ship at sea and in port*, 1996, and subsequent versions and other related ILO and other international standards and guidelines and codes of practice regarding occupational safety and health protection, including any exposure levels that they may identify.

2. The competent authority should ensure that the national guidelines for the management of occupational safety and health address the following matters, in particular:

- (a) general and basic provisions;
- (b) structural features of the ship, including means of access and asbestos-related risks.



## 海上労働条約

- (c) 機械類
- (d) 船員が接触する可能性のあるあらゆる物の表面の極めて低い又は高い温度による影響
- (e) 作業場及び船舶内の居住設備における騒音による影響
- (f) 作業場及び船舶内の居住設備における振動による影響
- (g) 作業場及び船舶内の居住設備における環境上の要因（たばこの煙を含む。）であつて、(e)及び(f)に規定するもの以外のものによる影響
- (h) 甲板上及び甲板下でとるべき特別の安全措施
- (i) 荷役設備
- (j) 防火及び消火
- (k) いかり、鎖及び索
- (l) 危険な貨物及びバラスト
- (m) 船員のための個人用保護具
- (n) 閉鎖された場所における作業
- (o) 疲労による身体的及び精神的な影響
- (p) 薬物及びアルコールへの依存による影響
- (q) ヒト免疫不全ウイルス及び後天性免疫不全症候群に関する保護及び予防
- (r) 緊急事態及び災害への対応
- 3 2に規定する事項に関する危険性の評価及び曝露を減少させることについては、職業上の健康への身体的な影響（積荷の移動での取扱ひ、騒音及び振動によるものを含む）、職業上の健康への化学的及び生物学的な影響、職業上の健康への精神的な影響、疲労による健康への身体的及び精神的な影響並びに職業上の災害を考慮すべきである。必要な措置は、予防の原則、特に、危険性についてその根源において対処すること、労働、特に作業場の設計を個人に適応したものとすること及び危険なものを危険でないもの又はより危険性の低いものに置き換えることが船員のための個人用保護具に優先することについて、妥当な考慮を払うべきである。
- 4 権限のある機関は、さらに、健康及び安全への影響が特に次の分野において考慮されることを確保すべきである。
- (a) 緊急事態及び災害への対応
- (b) 薬物及びアルコールへの依存による影響

- (c) machinery;
- (d) the effects of the extremely low or high temperature of any surfaces with which seafarers may be in contact;
- (e) the effects of noise in the workplace and in shipboard accommodation;
- (f) the effects of vibration in the workplace and in shipboard accommodation;
- (g) the effects of ambient factors, other than those referred to in subparagraphs (e) and (f), in the workplace and in shipboard accommodation, including tobacco smoke;
- (h) special safety measures on and below deck;
- (i) loading and unloading equipment;
- (j) fire prevention and fire-fighting;
- (k) anchors, chains and lines;
- (l) dangerous cargo and ballast;
- (m) personal protective equipment for seafarers;
- (n) work in enclosed spaces;
- (o) physical and mental effects of fatigue;
- (p) the effects of drug and alcohol dependency;
- (q) HIV/AIDS protection and prevention; and
- (r) emergency and accident response.
3. The assessment of risks and reduction of exposure on the matters referred to in paragraph 2 of this Guideline should take account of the physical occupational health effects, including manual handling of loads, noise and vibration, the chemical and biological occupational health effects, the mental occupational health effects, the physical and mental health effects of fatigue, and occupational accidents. The necessary measures should take due account of the preventive principle according to which, among other things, combating risk at the source, adapting work to the individual, especially as regards the design of workplaces, and replacing the dangerous by the non-dangerous or the less dangerous, have precedence over personal protective equipment for seafarers.
4. In addition, the competent authority should ensure that the implications for health and safety are taken into account, particularly in the following areas:
- (a) emergency and accident response;
- (b) the effects of drug and alcohol dependency; and

(c) ヒト免疫不全ウイルス及び後天性免疫不全症候群に関する保護及び予防

B 3. 2 指針 騒音への曝露

1 権限のある機関は、権限のある国際団体並びに関係する船舶所有者団体及び船員団体の代表者と協力し、騒音への曝露による悪影響からの船員の保護について可能な限り改善することを目的として、船舶内の騒音の問題を継続的に検討すべきである。

2 1に規定する検討は、過度の騒音への曝露が船員の聴覚、健康及び快適さに及ぼす悪影響並びに船員を保護するために船舶内の騒音を減少させることを目的として定められ、又は勧告される措置を考慮すべきである。検討される措置は、次のことを含むべきである。

(a) 高水準の騒音への長時間の曝露による聴覚及び健康に対する危険並びに騒音からの保護装置及び保護具の適切な使用について船員を指導すること。

(b) 必要な場合には、承認された聴覚保護具を船員に提供すること。

(c) 危険性を評価すること並びに全ての居住設備、レクリエーション用の設備及び料理のための設備並びに機関室その他の機関区域における騒音への曝露の水準を低下させること。

B 4. 3. 3 指針 振動への曝露

1 権限のある機関は、権限のある国際団体並びに関係する船舶所有者団体及び船員団体の代表者と協力し、並びに、適当な場合には、関連する国際的な基準を考慮し、振動による悪影響からの船員の保護について可能な限り改善することを目的として、船舶内の振動の問題を継続的に検討すべきである。

2 1に規定する検討は、過度の振動への曝露が船員の健康及び快適さに及ぼす影響並びに船員を保護するために船舶内の振動を減少させることを目的として定められ、又は勧告される措置を対象とすべきである。検討される措置は、次のことを含むべきである。

(a) 振動への長時間の曝露による健康に対する危険について船員を指導すること。

(b) 必要な場合には、承認された個人用保護具を船員に提供すること。

(c) 危険性を評価すること並びに全ての居住設備、レクリエーション用の設備及び料理のための設備における振動への曝露を、そのような区域における曝露と作業場における曝露との相違を考慮しつつ、二千年の作業場における環境上の要因と称する国際労働機関の実施基準及びその改定版によって定められる指針に従って措置をとるにより減少させること。

(c) HIV/AIDS protection and prevention.

Guideline B4.3.2 – Exposure to noise

1. The competent authority, in conjunction with the competent international bodies and with representatives of shipowners' and seafarers' organizations concerned, should review on an ongoing basis the problem of noise on board ships with the objective of improving the protection of seafarers, in so far as practicable, from the adverse effects of exposure to noise.

2. The review referred to in paragraph 1 of this Guideline should take account of the adverse effects of exposure to excessive noise on the hearing, health and comfort of seafarers and the measures to be prescribed or recommended to reduce shipboard noise to protect seafarers. The measures to be considered should include the following:

(a) instruction of seafarers in the dangers to hearing and health of prolonged exposure to high noise levels and in the proper use of noise protection devices and equipment;

(b) provision of approved hearing protection equipment to seafarers where necessary; and

(c) assessment of risk and reduction of exposure levels to noise in all accommodation and recreational and catering facilities, as well as engine rooms and other machinery spaces.

Guideline B4.3.3 – Exposure to vibration

1. The competent authority, in conjunction with the competent international bodies and with representatives of shipowners' and seafarers' organizations concerned, and taking into account, as appropriate, relevant international standards, should review on an ongoing basis the problem of vibration on board ships with the objective of improving the protection of seafarers, in so far as practicable, from the adverse effects of vibration.

2. The review referred to in paragraph 1 of this Guideline should cover the effect of exposure to excessive vibration on the health and comfort of seafarers and the measures to be prescribed or recommended to reduce shipboard vibration to protect seafarers. The measures to be considered should include the following:

(a) instruction of seafarers in the dangers to their health of prolonged exposure to vibration;

(b) provision of approved personal protective equipment to seafarers where necessary; and

(c) assessment of risks and reduction of exposure to vibration in all accommodation and recreational and catering facilities by adopting measures in accordance with the guidance provided by the ILO code of practice entitled *Ambient factors in the workplace*, 2001, and any subsequent revisions, taking account of the difference between exposure in those areas and in the workplace.

## 海上労働条約

### B 4.3. 指針 船舶所有者の義務

1 保護具その他災害の防止のための安全装置を備えるべき船舶所有者の義務は、原則として、船員がそれらの保護具及び安全装置を使用すべき義務並びにそれらの保護具及び安全装置に関する措置であって災害の防止及び健康の保護に関するものを遵守すべき義務とともに定めらるべきである。

2 千九百六十二年の機械防護条約（第百十九号）第七条及び第十一条の規定並びにこれらの規定に対応する千九百六十二年の機械防護勧告（第百十八号）の規定についても考慮されるべきである。これらの規定においては、使用者に対しては、使用している機械に適当な防護装置を施し、及び適当な防護装置が施されていない機械の使用を防止すべき義務の遵守を確保する義務が課される一方で、労働者に対しては、防護装置が所定の位置にない機械を使用せず、及び防護装置の機能を失わせない義務が課されている。

### B 4.3. 指針 統計の報告及び収集

1 全ての職業上の災害、負傷及び疾病は、関係する船員の個人情報保護に考慮を払いつつ、それらについて調査し、並びに詳細な統計を作成し、分析し、及び公表するべきである。報告は、死亡又は船舶に係る災害に限定すべきでない。

2 1に規定する統計には、職業上の災害、負傷及び疾病の件数、性質、原因及び結果を記録し、適当な場合には、それらが生じた船舶内の部、災害の種類及び災害が海上におけるものであるか港におけるものであるかを明確に表示すべきである。

3 加盟国は、船員が被る災害の記録のための国際的な制度又は様式であって国際労働機関が構築し、又は確立するものに妥当な考慮を払うべきである。

### B 4.3. 指針 調査

1 権限のある機関は、死亡又は重傷をもたらした全ての職業上の災害、負傷及び疾病並びに国内法令に定める他の事例について、その原因及び状況を調査すべきである。

2 調査の対象として、次のものを含めることに考慮を払うべきである。

- (a) 作業環境（例えば、作業を行っていた場所、機械の配置、出入設備、照明及び作業方法）
- (b) 年齢層別の職業上の災害、負傷及び疾病の発生状況
- (c) 船舶内の環境がもたらす特殊な生理的又は心理的な問題

### Guideline B4.3.4 – Obligations of shipowners

1. Any obligation on the shipowner to provide protective equipment or other accident prevention safeguards should, in general, be accompanied by provisions requiring their use by seafarers and by a requirement for seafarers to comply with the relevant accident prevention and health protection measures.

2. Account should also be taken of Articles 7 and 11 of the Guarding of Machinery Convention, 1963 (No. 119), and the corresponding provisions of the Guarding of Machinery Recommendation, 1963 (No. 118), under which the obligation to ensure compliance with the requirement that machinery in use is properly guarded, and its use without appropriate guards prevented, rests on the employer, while there is an obligation on the worker not to use machinery without the guards being in position nor to make inoperative the guards provided.

### Guideline B4.3.5 – Reporting and collection of statistics

1. All occupational accidents and occupational injuries and diseases should be reported so that they can be investigated and comprehensive statistics can be kept, analysed and published, taking account of protection of the personal data of the seafarers concerned. Reports should not be limited to fatalities or to accidents involving the ship.

2. The statistics referred to in paragraph 1 of this Guideline should record the numbers, nature, causes and effects of occupational accidents and occupational injuries and diseases, with a clear indication, as applicable, of the department on board a ship, the type of accident and whether at sea or in port.

3. Each Member should have due regard to any international system or model for recording accidents to seafarers which may have been established by the International Labour Organization.

### Guideline B4.3.6 – Investigations

1. The competent authority should undertake investigations into the causes and circumstances of all occupational accidents and occupational injuries and diseases resulting in loss of life or serious personal injury, and such other cases as may be specified in national laws or regulations.

2. Consideration should be given to including the following as subjects of investigation:

- (a) working environment, such as working surfaces, layout of machinery, means of access, lighting and methods of work;
- (b) incidence in different age groups of occupational accidents and occupational injuries and diseases;
- (c) special physiological or psychological problems created by the shipboard environment;

- (d) 船舶内における、特に作業量の増加の結果としての身体的なストレスから生ずる問題
  - (e) 技術の進歩から生ずる問題及び技術の進歩の影響（技術の進歩が乗組員の構成に及ぼす影響を含む。）
  - (f) 人的な過失から生ずる問題
- B 3. 7 指針 保護及び防止に係る各国の計画
- 1 職業上の安全及び健康の保護並びに海上の業務に特有の危険に起因する災害、負傷及び疾病の防止を促進するための措置の有効な基礎とするため、一般的な傾向及び統計によって明らかにされる危険について研究を行うべきである。
  - 2 職業上の安全及び健康の促進のための保護及び防止に係る計画の実施については、権限のある機関、船舶所有者及び船員又はそれらを代表する者その他適当な団体が積極的な役割を果たすこと（説明会、作業場の潜在的に有害な環境上の要因その他の危険に対する最大限の曝露の水準に関する船舶内の指針、体系的な危険性の評価の作業の結果等の手段を通じて役割を果たすことを含む。）ができるように企画すべきである。特に、職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止のための全国的若しくは地域的な合同の委員会又は臨時の作業部会及び船舶内の委員会であって、関係する船舶所有者団体及び船員団体が代表を出すものを設置すべきである。
  - 3 2の規定に基づく活動が会社で行われる場合には、船舶所有者である当該会社の船舶に設置される安全のための委員会に船員の代表者を参加させることを考慮すべきである。
  - B 4. 3. 8 指針 保護及び防止に係る計画の内容
    - 1 B 3. 7 指針 2 に規定する委員会その他の機関の任務に次のことを含めなければならないことについて考慮を払うべきである。
      - (a) 職業上の安全及び健康の管理のための制度並びに災害の防止に関する規定、規則及び手引書についての自国の指針及び政策を策定すること。
      - (b) 職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止のための訓練及び計画を企画すること。
      - (c) 職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止に関する広報、映画、ポスター、通知及び小冊子を含む。）を企画すること。
      - (d) 職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止に関する出版物及び情報を船舶内の船員に届くように配布すること。

- (d) problems arising from physical stress on board a ship, in particular as a consequence of increased workload;
  - (e) problems arising from and effects of technical developments and their influence on the composition of crews; and
  - (f) problems arising from any human failures.
- Guideline B4.3.7 – National protection and prevention programmes
1. In order to provide a sound basis for measures to promote occupational safety and health protection and prevention of accidents, injuries and diseases which are due to particular hazards of maritime employment, research should be undertaken into general trends and into such hazards as are revealed by statistics.
  2. The implementation of protection and prevention programmes for the promotion of occupational safety and health should be so organized that the competent authority, shipowners and seafarers or their representatives and other appropriate bodies may play an active role, including through such means as information sessions, on-board guidelines on maximum exposure levels to potentially harmful ambient workplace factors and other hazards or outcomes of a systematic risk evaluation process. In particular, national or local joint occupational safety and health protection and accident prevention committees or ad hoc working parties and on-board committees, on which shipowners' and seafarers' organizations concerned are represented, should be established.
  3. Where such activity takes place at company level, the representation of seafarers on any safety committee on board that shipowner's ships should be considered.
- Guideline B4.3.8 – Content of protection and prevention programmes
1. Consideration should be given to including the following in the functions of the committees and other bodies referred to in Guideline B4.3.7, paragraph 2:
    - (a) the preparation of national guidelines and policies for occupational safety and health management systems and for accident prevention provisions, rules and manuals;
    - (b) the organization of occupational safety and health protection and accident prevention training and programmes;
    - (c) the organization of publicity on occupational safety and health protection and accident prevention, including films, posters, notices and brochures; and
    - (d) the distribution of literature and information on occupational safety and health protection and accident prevention so that it reaches seafarers on board ships.

- 2 職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止に関する措置又は推奨される慣行を起案するに当たっては、適当な国の当局若しくは機関又は国際機関が採択する規定又は勧告を考慮すべきである。
- 3 加盟国は、職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止のための計画を作成するに当たり、国際労働機関が公表する船員の安全及び健康に関する実施基準に妥当な考慮を払うべきである。
- B 4.3.9 指針 職業上の安全及び健康の保護並びに職業上の災害の防止に関する指導
  - 1 A 4.3 基準 1 (a)に規定する訓練の課程は、定期的に検討し、船舶の種類、大きさ及び設備の推移並びに船舶における配乗の慣行、国籍、言語及び業務の配置の変化に照らして最新のものとすべきである。
  - 2 職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止について継続的な広報が行われるべきである。当該広報は、次の形式をとることができる。
    - (a) 視聴覚教材（例えば、船員のための職業訓練センターにおいて使用され、及び可能な場合には船舶において上映される映画）
    - (b) 船舶におけるポスターの掲示
    - (c) 海上の業務に伴う危険並びに職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止に係る措置に関する記事を船員が読む定期刊行物に掲載すること。
    - (d) 種々の媒体を用いた特別な広報活動であって船員を指導するためのもの（安全な作業方法に関する広報活動を含む。）
  - 3 2に規定する広報は、船舶内の船員の異なる国籍、言語及び文化を考慮したものとするべきである。
- B 3.10 4.3.10 指針 年少の船員の安全及び健康に関する教育
  - 1 安全及び健康に関する規則は、雇用前及び雇用中の健康診断並びに業務における災害の防止及び健康の保護に関する規定であって、船員の労働について適用される一般的なものに言及すべきである。当該規則は、職務を遂行中の年少の船員に生ずる職業上の危険を最小にする措置を明示すべきである。

2. Relevant provisions or recommendations adopted by the appropriate national authorities or organizations or international organizations should be taken into account by those preparing texts of occupational safety and health protection and accident prevention measures or recommended practices.

3. In formulating occupational safety and health protection and accident prevention programmes, each Member should have due regard to any code of practice concerning the safety and health of seafarers which may have been published by the International Labour Organization.

Guideline B4.3.9 – Instruction in occupational safety and health protection and the prevention of occupational accidents

1. The curriculum for the training referred to in Standard A4.3, paragraph 1(a), should be reviewed periodically and brought up to date in the light of development in types and sizes of ships and in their equipment, as well as changes in manning practices, nationality, language and the organization of work on board ships.

2. There should be continuous occupational safety and health protection and accident prevention publicity. Such publicity might take the following forms:

- (a) educational audiovisual material, such as films, for use in vocational training centres for seafarers and where possible shown on board ships;
- (b) display of posters on board ships;
- (c) inclusion in periodicals read by seafarers of articles on the hazards of maritime employment and on occupational safety and health protection and accident prevention measures; and
- (d) special campaigns using various publicity media to instruct seafarers, including campaigns on safe working practices.

3. The publicity referred to in paragraph 2 of this Guideline should take account of the different nationalities, languages and cultures of seafarers on board ships.

Guideline B4.3.10 – Safety and health education of young seafarers

1. Safety and health regulations should refer to any general provisions on medical examinations before and during employment and on the prevention of accidents and the protection of health in employment, which may be applicable to the work of seafarers. Such regulations should specify measures which will minimize occupational dangers to young seafarers in the course of their duties.



2 年少の船員が権限のある機関により関連する技能について十分に能力を有すると認められる場合を除くほか、1に規定する規則は、特定の種類の作業であつて、災害に係る特別な危険を与え、健康若しくは身体の発達に対する有害な影響に係る特別な危険を与え、又は一定の熟練、経験若しくは技能を要するものに關し、年少の船員が適当な監督及び指導なしに当該作業に従事することについての制限を明示すべきである。権限のある機関は、当該規則によって制限される作業の種類を決定するに当たり、特に次の作業について考慮することができる。

- (a) 重い積荷又は物の持上げ、移動又は運搬
- (b) ボイラー、タンク及びコフアダムへの立入り
- (c) 有害な水準の騒音及び振動への曝露<sup>ばつそく</sup>
- (d) ホイストその他の動力で動かす機械及び道具の操作又はそのような機器を操作する者に対する信号係としての行為
- (e) 係留用若しくははい航用の索又はびよう泊用の機器の操作
- (f) 索具の操作
- (g) 荒天時における高所の作業又は甲板上の作業
- (h) 夜間の当直の任務
- (i) 電気設備の保守
- (j) 潜在的に有害な物質又は有害な物理的な因子（例えば、危険な又は毒性を有する物質及び電離放射線）への曝露<sup>ばつそく</sup>
- (k) 料理の提供に用いる機械の洗浄
- (l) 端艇の操作又はその責任を引き受けること。

3 船舶における災害の防止及び年少の船員の健康の保護に関する情報について年少の船員の注意を喚起するため、権限のある機関によつて又は適当な仕組みを通じて、実地的な措置がとられるべきである。そのような措置には、研修課程における適切な指導、年少者向けの災害の防止に関する公式の広報並びに年少の船員に対する職業上の指導及び監督を含めることができる。

4 陸上及び船舶における年少の船員の教育及び訓練には、アルコール及び薬物その他潜在的に有害な物質の濫用、ヒト免疫不全ウイルス及び後天性免疫不全症候群に関する危険及び懸念並びに健康に対する危険に関連する他の活動が年少の船員の健康及び福祉に及ぼす有害な影響に関する指導を含めるべきである。

2. Except where a young seafarer is recognized as fully qualified in a pertinent skill by the competent authority, the regulations should specify restrictions on young seafarers undertaking, without appropriate supervision and instruction, certain types of work presenting special risk of accident or of detrimental effect on their health or physical development, or requiring a particular degree of maturity, experience or skill. In determining the types of work to be restricted by the regulations, the competent authority might consider in particular work involving:

- (a) the lifting, moving or carrying of heavy loads or objects;
- (b) entry into boilers, tanks and cofferdams;
- (c) exposure to harmful noise and vibration levels;
- (d) operating hoisting and other power machinery and tools, or acting as signallers to operators of such equipment;
- (e) handling mooring or tow lines or anchoring equipment;
- (f) rigging;
- (g) work aloft or on deck in heavy weather;
- (h) nightwatch duties;
- (i) servicing of electrical equipment;
- (j) exposure to potentially harmful materials, or harmful physical agents such as dangerous or toxic substances and ionizing radiations;
- (k) the cleaning of catering machinery; and
- (l) the handling or taking charge of ships' boats.

3. Practical measures should be taken by the competent authority or through the appropriate machinery to bring to the attention of young seafarers information concerning the prevention of accidents and the protection of their health on board ships. Such measures could include adequate instruction in courses, official accident prevention publicity intended for young persons and professional instruction and supervision of young seafarers.

4. Education and training of young seafarers both ashore and on board ships should include guidance on the detrimental effects on their health and well-being of the abuse of alcohol and drugs and other potentially harmful substances, and the risk and concerns relating to HIV/AIDS and of other health risk related activities.

## 海上労働条約

### B 3.1 指針 国際協力

- 1 加盟国は、適当な場合には政府間機関その他国際機関の援助を得て、相互に協力して、職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止を促進するための活動について最大限の統一性を実現するよう努めるべきである。
  - 2 加盟国は、A 4.3 基準の規定に基づく職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止を促進するための計画を作成するに当たり、国際労働機関が公表する実施基準及び国際機関の適当な基準に妥当な考慮を払うべきである。
  - 3 加盟国は、職業上の安全及び健康の保護並びに職業上の災害の防止に関連する活動を継続的に促進する上で国際協力が必要であることを考慮すべきである。当該国際協力は、次の形式をとることができる。
    - (a) 職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止のための基準及び保障措置の統一を図るための二国間又は多数国間の取決め
    - (b) 船員に影響を及ぼす特定の危険並びに職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止を促進する方法に関する情報の交換
    - (c) 旗国の国内法令に基づく検査及び設備の試験に対する援助
    - (d) 職業上の安全及び健康の保護並びに災害の防止に関する規定、規則及び手引書の作成及び周知に関する協力
    - (e) 訓練用の教材の作成及び使用に関する協力
    - (f) 職業上の安全及び健康の保護、災害の防止並びに安全な作業方法に関する船員の訓練のための共同の施設又は相互援助
- 第 4.4 規則 陸上の厚生用施設の利用**
- 目的 船舶において労働する船員が自己の健康及び福祉を確保するため陸上の施設及びサービスを利用することができていることを確保すること。
- 1 加盟国は、陸上の厚生用施設が存在する場合には、当該施設を容易に利用することができることを確保する。加盟国は、また、自国の港にある船舶の船員が適切な厚生用施設及び厚生に係るサービスを利用することができるようにするため、指定された港において、規範に列記するような厚生用施設の更なる開設を促進する。
  - 2 厚生、文化、レクリエーション及び情報に係る施設及びサービス等の陸上の施設に関する加盟国の責任は、規範に定める。

## 五二四

### Guideline B4.3.11 – International cooperation

1. Members, with the assistance as appropriate of intergovernmental and other international organizations, should endeavour, in cooperation with each other, to achieve the greatest possible uniformity of action for the promotion of occupational safety and health protection and prevention of accidents.
2. In developing programmes for promoting occupational safety and health protection and prevention of accidents under Standard A4.3, each Member should have due regard to relevant codes of practice published by the International Labour Organization and the appropriate standards of international organizations.
3. Members should have regard to the need for international cooperation in the continuous promotion of activity related to occupational safety and health protection and prevention of occupational accidents. Such cooperation might take the form of:
  - (a) bilateral or multilateral arrangements for uniformity in occupational safety and health protection and accident prevention standards and safeguards;
  - (b) exchange of information on particular hazards affecting seafarers and on means of promoting occupational safety and health protection and preventing accidents;
  - (c) assistance in testing of equipment and inspection according to the national regulations of the flag State;
  - (d) collaboration in the preparation and dissemination of occupational safety and health protection and accident prevention provisions, rules or manuals;
  - (e) collaboration in the production and use of training aids; and
  - (f) joint facilities for, or mutual assistance in, the training of seafarers in occupational safety and health protection, accident prevention and safe working practices.

#### Regulation 4.4 – Access to shore-based welfare facilities

*Purpose: To ensure that seafarers working on board a ship have access to shore-based facilities and services to secure their health and well-being*

1. Each Member shall ensure that shore-based welfare facilities, where they exist, are easily accessible. The Member shall also promote the development of welfare facilities, such as those listed in the Code, in designated ports to provide seafarers on ships that are in its ports with access to adequate welfare facilities and services.
2. The responsibilities of each Member with respect to shore-based facilities, such as welfare, cultural, recreational and information facilities and services, are set out in the Code.

A 4.4 基準 陸上の厚生用施設の利用

- 1 加盟国は、自国の領域内に厚生用施設が存在する場合には、当該施設について、全ての船員がその国籍、人種、皮膚の色、性、宗教、政治的意見又は社会的出身のいかんを問わず、及び雇用され、従業し又は労働する船舶の旗国のいかんを問わず利用することができることを要求する。
  - 2 加盟国は、自国の適当な港における厚生用施設の更なる開設を促進するものとし、関係する船舶所有者団体及び船員団体と協議した後、適当と認められる港を決定する。
  - 3 加盟国は、海運業における技術上、運輸上その他の進歩に起因する船員の需要の変化に照らして、厚生用施設及び厚生に係るサービスが適当なものであることを確保するため、当該施設及び当該サービスを定期的に検討する厚生についての委員会の設置を奨励する。
- B 4.4 指針 陸上の厚生用施設の利用
- 4.4 指針 加盟国の責任
- 1 加盟国は、次のことを行うべきである。
    - 4.4 1 (a) 指定された寄港地において船員のために適切な厚生用施設及び厚生に係るサービスが提供され、並びに船員の職務の遂行に当たり船員に対して適切な保護が提供されることを確保するための措置をいふこと。
    - (b) (a)に規定する措置の実施に当たり、船員の安全、健康及び余暇の活動に関する特別の必要性（特に、当該船員が外国にいる場合及び戦争地帯に入る場合の必要性）を考慮すること。
  - 2 厚生用施設及び厚生に係るサービスを監督するための措置には、関係する代表的な船舶所有者団体及び船員団体の参加を含めるべきである。
  - 3 加盟国は、船員が自らの船舶及び陸上の厚生センターで利用する厚生用の物品（例えば、映画、書籍、新聞及びスポーツ用具）について、船舶、中心的な供給機関及び厚生用施設の間で当該物品の自由な流通が迅速に行われるようにするための措置をとるべきである。
  - 4 加盟国は、海上及び港における船員の厚生を促進するため、相互に協力すべきである。そのような協力には、次のものを含むべきである。
    - (a) 港及び船舶の双方における船員の厚生用施設及び厚生に係るサービスの提供及び改善を目的とする権限のある機関間の協議
    - (b) 不必要な重複を避けるため、主要な港において、資源を共同で管理し、及び厚生用施設を共同で提供することに関する取決

Standard A4.4 – Access to shore-based welfare facilities

1. Each Member shall require, where welfare facilities exist on its territory, that they are available for the use of all seafarers, irrespective of nationality, race, colour, sex, religion, political opinion or social origin and irrespective of the flag State of the ship on which they are employed or engaged or work.
2. Each Member shall promote the development of welfare facilities in appropriate ports of the country and determine, after consultation with the shipowners' and seafarers' organizations concerned, which ports are to be regarded as appropriate.
3. Each Member shall encourage the establishment of welfare boards which shall regularly review welfare facilities and services to ensure that they are appropriate in the light of changes in the needs of seafarers resulting from technical, operational and other developments in the shipping industry.

Guideline B4.4 – Access to shore-based welfare facilities

Guideline B4.4.1 – Responsibilities of Members

1. Each Member should:
- (a) take measures to ensure that adequate welfare facilities and services are provided for seafarers in designated ports of call and that adequate protection is provided to seafarers in the exercise of their profession, and
  - (b) take into account, in the implementation of these measures, the special needs of seafarers, especially when in foreign countries and when entering war zones, in respect of their safety, health and spare-time activities.
2. Arrangements for the supervision of welfare facilities and services should include participation by representative shipowners' and seafarers' organizations concerned.
3. Each Member should take measures designed to expedite the free circulation among ships, central supply agencies and welfare establishments of welfare materials such as films, books, newspapers and sports equipment for use by seafarers on board their ships and in welfare centres ashore.
4. Members should cooperate with one another in promoting the welfare of seafarers at sea and in port. Such cooperation should include the following:
- (a) consultations among competent authorities aimed at the provision and improvement of seafarers' welfare facilities and services, both in port and on board ships;
  - (b) agreements on the pooling of resources and the joint provision of welfare facilities in major ports so as to avoid unnecessary duplication;

## 海上労働条約

- (c) 国際的なスポーツ競技会の開催及びスポーツ活動への船員の参加の奨励
  - (d) 海上及び港における船員の厚生を主題とする国際的なセミナーの開催
- B 4. 2 4. 2 2 1 2
- 1 加盟国は、自国の適当な港において、必要とされる厚生用施設及び厚生に係るサービスを提供し、又はこれらが提供されることを確保すべきである。
- 2 厚生用施設及び厚生に係るサービスは、国内事情及び国内慣行に従い、次の一又は二以上の機関又は団体によって提供されるべきである。
- (a) 公の機関
  - (b) 団体交渉の合意その他合意された取決めに基づく関係する船舶所有者団体及び船員団体
  - (c) ボランティアの団体
- 3 必要な厚生用施設及びレクリエーション用の施設を港に設置し、又は更に開設すべきである。これらの施設には、次のものを含めるべきである。
- (a) 必要な会議室及びレクリエーション用の部屋
  - (b) スポーツ用施設及び屋外の施設（競技用の施設を含む。）
  - (c) 教育施設
  - (d) 適当な場合には、宗教上の儀式及び個人的なカウンセリングのための施設
- 4 3に規定する施設は、一般の利用に供するために設計された施設を船員の需要に応じて利用することができるようにすることによって提供することができる。
- 5 異なる国籍を有する多数の船員が特定の港においてホテル、クラブ、スポーツ用施設等の施設を必要とする場合には、船員の出身国及び旗国の権限のある機関又は団体並びに関係する国際的な団体は、資源を共同で管理し、及び不必要な重複を避けるため、当該港の所在する国の権限のある機関及び団体と並びに相互に、協議し、及び協力すべきである。
- 6 船員に適するホテル又はホステルは、船員がそれらを必要とする場所で利用可能とすべきである。当該ホテル又はホステルは、妥当な等級のホテルにおける便宜と同等の便宜を提供すべきであり、また、可能な限り、埠頭の近傍から離れた場所に位置し、かつ、良好な環境の下にあるべきである。当該ホテル又はホステルは、適切に監督されるべきであり、その料金は、妥当な金額であるべきである。必要かつ可能な場合には、船員の家族を宿泊させるための措置がとられるべきである。

## 五二六

- (c) organization of international sports competitions and encouragement of the participation of seafarers in sports activities; and
  - (d) organization of international seminars on the subject of welfare of seafarers at sea and in port.
- Guideline B4.4.2 – Welfare facilities and services in ports
1. Each Member should provide or ensure the provision of such welfare facilities and services as may be required, in appropriate ports of the country.
2. Welfare facilities and services should be provided, in accordance with national conditions and practice, by one or more of the following:
- (a) public authorities;
  - (b) shipowners' and seafarers' organizations concerned under collective agreements or other agreed arrangements; and
  - (c) voluntary organizations.
3. Necessary welfare and recreational facilities should be established or developed in ports. These should include:
- (a) meeting and recreation rooms as required;
  - (b) facilities for sports and outdoor facilities, including competitions;
  - (c) educational facilities; and
  - (d) where appropriate, facilities for religious observances and for personal counselling.
4. These facilities may be provided by making available to seafarers in accordance with their needs facilities designed for more general use.
5. Where large numbers of seafarers of different nationalities require facilities such as hotels, clubs and sports facilities in a particular port, the competent authorities or bodies of the countries of origin of the seafarers and of the flag States, as well as the international associations concerned, should consult and cooperate with the competent authorities and bodies of the country in which the port is situated and with one another, with a view to the pooling of resources and to avoiding unnecessary duplication.
6. Hotels or hostels suitable for seafarers should be available where there is need for them. They should provide facilities equal to those found in a good-class hotel, and should wherever possible be located in good surroundings away from the immediate vicinity of the docks. Such hotels or hostels should be properly supervised, the prices charged should be reasonable in amount and, where necessary and possible, provision should be made for accommodating seafarers' families.

7 これらの宿泊施設は、国籍、人種、皮膚の色、性、宗教、政治的意見又は社会的出身のいかんを問わず、及び船員が雇用され、従業し、又は労働する船舶の旗国のいかんを問わず、全ての船員に対して開放すべきである。いかなる意味においてもこの原則を損なうことなく、一定の港においては、規格においては同等であるが異なる船員の集団の習慣及び需要に応じた複数の種類の施設を提供することが必要となることがある。

8 必要に応じ、船員の厚生用施設及び厚生に係るサービスの運営において、ボランティアの労働者のほかに、技術的能力を有する者が常勤として雇用されることを確保するための措置をとるべきである。

#### B 4.3 指針 厚生についての委員会

1 厚生についての委員会は、適当な場合には、港、地域及び国の段階で設置されるべきである。当該委員会の任務には、次のことを含めるべきである。

(a) 既存の厚生用施設の妥当性を常に検討し、及び追加の施設の設定又は十分に活用されていない施設の撤去の必要性を把握すること。

(b) 厚生用施設の提供について責任を負う者を支援し、及び当該者に助言を与え、並びにこれらの者の間の調整を確保すること。

2 厚生についての委員会の構成員には、船舶所有者団体及び船員団体、権限のある機関並びに適当な場合にはボランティアの団体及び社会福祉団体の代表者を含めるべきである。

3 適当な場合には、海運国の領事及び外国の福祉団体の現地における代表者は、国内法令に従い、地域及び国の厚生についての委員会と提携すべきである。

#### B 4.4 指針 厚生用施設の資金調達

1 港の厚生用施設に対する資金上の支援は、国内事情及び国内慣行に従い、次の二又は二以上のものを通じて与えられるべきである。

- (a) 公の資金からの補助金
  - (b) 海運に対する課徴金その他の特別な賦課金
  - (c) 船舶所有者、船員又は船舶所有者団体若しくは船員団体からの任意の拠出金
  - (d) その他の財源からの任意の拠出金
- 2 厚生に関する税、課徴金及び特別な賦課金を課する場合には、これらは、その賦課の目的のためにのみ用いるべきである。

7. These accommodation facilities should be open to all seafarers, irrespective of nationality, race, colour, sex, religion, political opinion or social origin and irrespective of the flag State of the ship on which they are employed or engaged or work. Without in any way infringing this principle, it may be necessary in certain ports to provide several types of facilities, comparable in standard but adapted to the customs and needs of different groups of seafarers.

8. Measures should be taken to ensure that, as necessary, technically competent persons are employed full time in the operation of seafarers' welfare facilities and services, in addition to any voluntary workers.

#### Guideline B4.3 – Welfare boards

1. Welfare boards should be established, at the port, regional and national levels, as appropriate. Their functions should include:

- (a) keeping under review the adequacy of existing welfare facilities and monitoring the need for the provision of additional facilities or the withdrawal of underutilized facilities; and
- (b) assisting and advising those responsible for providing welfare facilities and ensuring coordination between them.

2. Welfare boards should include among their members representatives of shipowners' and seafarers' organizations, the competent authorities and, where appropriate, voluntary organizations and social bodies.

3. As appropriate, consults of maritime States and local representatives of foreign welfare organizations should, in accordance with national laws and regulations, be associated with the work of port, regional and national welfare boards.

#### Guideline B4.4 – Financing of welfare facilities

1. In accordance with national conditions and practice, financial support for port welfare facilities should be made available through one or more of the following:

- (a) grants from public funds;
  - (b) levies or other special dues from shipping sources;
  - (c) voluntary contributions from shipowners, seafarers, or their organizations; and
  - (d) voluntary contributions from other sources.
2. Where welfare taxes, levies and special dues are imposed, they should be used only for the purposes for which they are raised.



## 海上労働条約

### B 4.5 指針 情報の周知及び寄港を円滑にするための措置

- 1 寄港地において一般公衆に開放されている施設（特に、交通施設、厚生用施設、娯楽施設、教育施設及び礼拝所）及び船員のために特に提供される施設に関し、船員の間に情報の周知を図るべきである。
- 2 船員が港の便利な場所から市街区域に到達することができるようにするため、妥当な時に、妥当な価格による適切な交通手段を利用することができるようになるべきである。
- 3 権限のある機関は、船舶所有者及び入港する船員に対し、特別の法規及び慣例であつてその違反により当該船員の自由が制約されるおそれのあるものを周知するため、全ての適当な措置をとるべきである。
- 4 港の区域及び連絡道路には、権限のある機関により、適切な照明及び道標が提供され、並びに船員の保護のための定期的な巡視が行われるべきである。

### B 4.6 指針 外国の港における船員

- 1 外国の港における船員の保護のため、次のことを容易にするための措置がとられるべきである。
  - (a) 当該船員の国籍国又は居住国の領事と面接すること。
  - (b) 領事と地方又は国の機関との間で効果的に協力すること。
- 2 外国の港で拘禁された船員は、正当な法的手続に従い、及び領事上の適当な保護を得て、迅速に取り扱われるべきである。
- 3 加盟国の領域内で船員が何らかの理由で拘禁された場合には、権限のある機関は、当該船員の要請に応じ、船舶の旗国及び当該船員の国籍国に直ちに通報すべきである。権限のある機関は、当該船員に対し、当該要請を行う権利があることを迅速に通知すべきである。当該船員の国籍国は、当該船員の近親者に迅速に通知すべきである。権限のある機関は、これらの国の領事官が当該船員と直ちに面接すること及びその後当該船員が拘禁されている間定期的に訪問することを許可すべきである。
- 4 加盟国は、必要なときはいつでも、船舶が自国の領水内及び特に港への進入路にある間、襲撃その他の不法行為から船員の安全を確保するための措置をとるべきである。
- 5 船舶が港に到着した後、港及び船舶の責任者は、船員のできる限り速やかな上陸を促進するため、あらゆる努力を払うべきである。

## 社会保障

### 第5 規則 社会保障

目的 船員が社会保障による保護を受けられるようにするための措置がとられることを確保すること。

## 五二八

### Guideline B4.4.5 – Dissemination of information and facilitation measures

1. Information should be disseminated among seafarers concerning facilities open to the general public in ports of call, particularly transport, welfare, entertainment and educational facilities and places of worship, as well as facilities provided specifically for seafarers.
2. Adequate means of transport at moderate prices should be available at any reasonable time in order to enable seafarers to reach urban areas from convenient locations in the port.
3. All suitable measures should be taken by the competent authorities to make known to shipowners and to seafarers entering port any special laws and customs, the contravention of which may jeopardize their freedom.
4. Port areas and access roads should be provided by the competent authorities with adequate lighting and signposting and regular patrols for the protection of seafarers.

### Guideline B4.4.6 – Seafarers in a foreign port

1. For the protection of seafarers in foreign ports, measures should be taken to facilitate:
  - (a) access to consuls of their State of nationality or State of residence; and
  - (b) effective cooperation between consuls and the local or national authorities.
2. Seafarers who are detained in a foreign port should be dealt with promptly under due process of law and with appropriate consular protection.
3. Whenever a seafarer is detained for any reason in the territory of a Member, the competent authority should, if the seafarer so requests, immediately inform the flag State and the State of nationality of the seafarer. The competent authority should promptly inform the seafarer of the right to make such a request. The State of nationality of the seafarer should promptly notify the seafarer's next of kin. The competent authority should allow consular officers of these States immediate access to the seafarer and regular visits thereafter so long as the seafarer is detained.
4. Each Member should take measures, whenever necessary, to ensure the safety of seafarers from aggression and other unlawful acts while ships are in their territorial waters and especially in approaches to ports.
5. Every effort should be made by those responsible in port and on board a ship to facilitate shore leave for seafarers as soon as possible after a ship's arrival in port.

### Regulation 4.5 – Social security

Purpose: To ensure that measures are taken with a view to providing seafarers with access to social security protection

- 1 加盟国は、国際労働機関憲章第十九条8に規定する有利な条件を認めることを妨げられることなく、全ての船員及び自国の国内法令に定める限りにおいて船員の被扶養者が規範の規定に基づき社会保障による保護を受けることができることを確保する。
- 2 加盟国は、自国の事情に応じ、個別に及び国際協力を通じて、船員の社会保障による包括的な保護を漸進的に達成するための措置をとることを約束する。
- 3 加盟国は、自国の社会保障に関する法令の対象となる船員及び自国の国内法令に定める限りにおいて当該船員の被扶養者が、陸上の労働者が享受する社会保障による保護よりも不利でない社会保障による保護を享受する権利を有することを確保する。

#### A 4.5 基準 社会保障

- 1 第4.5規則の規定に基づき社会保障による包括的な保護を漸進的に達成するために考慮すべき分野は、医療に関する第4.1規則、船舶所有者の責任に関する第4.2規則及びこの条約の他の章に規定する保護を補完する医療、傷病給付、失業給付、老齢給付、業務災害給付、家族給付、母性給付、廃疾給付及び遺族給付とする。
- 2 批准の時に第4.5規則1の規定に従い加盟国が提供する保護には、1に規定する九の分野のうち少なくとも二の分野を含む。
- 3 加盟国は、自国の事情に応じ、自国の領域内に通常居住する全ての船員に対し1に規定する社会保障による補完的な保護を提供するための措置をとる。この措置をとる責任は、例えば、適当な二国間若しくは多国間間の協定又は保険料の支払に立脚した制度を通じて果たすことができる。その結果として得られる保護は、当該加盟国の領域内に居住する陸上の労働者が享受する保護よりも不利なものであってはならない。
- 4 3に規定する責任の帰属にかかわらず、加盟国は、二国間及び多数国間の協定により並びに地域的な経済統合のための機関の枠組みにおいて採択された規定により、船員を対象とする社会保障に係る法令に関する他の規則を決定することができる。
- 5 自国を旗国とする船舶の船員に関する加盟国の責任には、第4.1規則及び第4.2規則に定めるもの、規範の関連する規定によって定めるもの並びに国際法に基づく当該加盟国の一般的な義務に内在するものを含む。
- 6 加盟国は、1に規定する分野の給付の範囲が十分でない場合には、国内法令及び国内慣行に従い、船員に対して同等の給付を行う種々の方法を検討する。

## 海上労働条約

1. Each Member shall ensure that all seafarers and, to the extent provided for in its national law, their dependants have access to social security protection in accordance with the Code without prejudice however to any more favourable conditions referred to in paragraph 8 of article 19 of the Constitution.
2. Each Member undertakes to take steps, according to its national circumstances, individually and through international cooperation, to achieve progressively comprehensive social security protection for seafarers.
3. Each Member shall ensure that seafarers who are subject to its social security legislation, and, to the extent provided for in its national law, their dependants, are entitled to benefit from social security protection no less favourable than that enjoyed by shoreworkers.

#### Standard A4.5 – Social security

1. The branches to be considered with a view to achieving progressively comprehensive social security protection under Regulation 4.5 are: medical care, sickness benefit, unemployment benefit, old-age benefit, employment injury benefit, family benefit, maternity benefit, invalidity benefit and survivors' benefit, complementing the protection provided for under Regulations 4.1, on medical care, and 4.2, on ship-owners' liability, and under other titles of this Convention.
2. At the time of ratification, the protection to be provided by each Member in accordance with Regulation 4.5, paragraph 1, shall include at least three of the nine branches listed in paragraph 1 of this Standard.
3. Each Member shall take steps according to its national circumstances to provide the complementary social security protection referred to in paragraph 1 of this Standard to all seafarers ordinarily resident in its territory. This responsibility could be satisfied, for example, through appropriate bilateral or multilateral agreements or contribution-based systems. The resulting protection shall be no less favourable than that enjoyed by shoreworkers resident in their territory.
4. Notwithstanding the attribution of responsibilities in paragraph 3 of this Standard, Members may determine, through bilateral and multilateral agreements and through provisions adopted in the framework of regional economic integration organizations, other rules concerning the social security legislation to which seafarers are subject.
5. Each Member's responsibilities with respect to seafarers on ships that fly its flag shall include those provided for by Regulations 4.1 and 4.2 and the related provisions of the Code, as well as those that are inherent in its general obligations under international law.
6. Each Member shall give consideration to the various ways in which comparable benefits will, in accordance with national law and practice, be provided to seafarers in the absence of adequate coverage in the branches referred to in paragraph 1 of this Standard.

- 7 第5規則1の規定に基づく保護は、適当な場合には、法令、民間の制度若しくは団体交渉の合意又はこれらの組合せに含めることができる。
- 8 加盟国は、自国の国内法令及び国内慣行に適合する限りにおいて、二国間又は多数国間の協定その他取決めに、全ての船員（その居住地のいかんを問わぬ。）が取得した又は取得する過程にある社会保障に係る権利であつて、保険料の支払に立脚した制度又は当該支払に立脚しない制度を通じて付与されるものが維持されることを確保するために協力する。
- 9 加盟国は、紛争の解決のための公正かつ効果的な手続を定める。
- 10 加盟国は、批准の時に、2の規定に従つて保護を提供する分野を指定する。その後、当該加盟国が1に規定する一又は二以上の他の分野に関する社会保障による保護を提供する場合には、当該加盟国は、国際労働事務局長にその旨を通報する。同事務局長は、その指定及び通報に係る情報の登録簿を管理し、及び利害関係を有する全ての者が入手することができるようにする。
- 11 国際労働機関憲章第二十二條の規定に基づく国際労働事務局への報告には、他の分野に保護を拡大するために第4.5規則2の規定に従つてとる措置に関する情報も含める。
- B.5 指針  
4.5 社会保障
- 1 批准の時にA.5基準2の規定に従つて提供する保護には、少なくとも、医療、傷病給付及び業務災害給付の分野を含めるべきである。
- 2 A.5基準6に規定する場合において、同等の給付は、関連する団体交渉の合意の規定を考慮して、保険、二国間及び多数国間の協定その他の効果的な方法によつて行なうことができる。そのような措置がとられる場合には、当該措置の対象となる船員は、各種の分野の社会保障による保護がどのような方法によつて提供されるかについて助言を与えられるべきである。
- 3 船員が社会保障に関する二以上の国の法令の対象となる場合には、関係する加盟国は、それぞれの法令に基づく保護のうち当該船員にとつて一層有利なものの種類及び水準、当該船員の嗜好等の要素を考慮して、いずれの法令を適用するかについて相互の合意によつて決定するため、協力すべきである。
- 4 A.5基準9の規定に基づいて定める手続は、その対象を定める方法のいかんを問わず、関係する船員の請求に関連する全ての紛争を対象とするよう定めるべきである。

7. The protection under Regulation 4.5, paragraph 1, may, as appropriate, be contained in laws or regulations, in private schemes or in collective bargaining agreements or in a combination of these.

8. To the extent consistent with their national law and practice, Members shall cooperate, through bilateral or multilateral agreements or other arrangements, to ensure the maintenance of social security rights, provided through contributory or non-contributory schemes, which have been acquired, or are in the course of acquisition, by all seafarers regardless of residence.

9. Each Member shall establish fair and effective procedures for the settlement of disputes.

10. Each Member shall at the time of ratification specify the branches for which protection is provided in accordance with paragraph 2 of this Standard. It shall subsequently notify the Director-General of the International Labour Office when it provides social security protection in respect of one or more other branches stated in paragraph 1 of this Standard. The Director-General shall maintain a register of this information and shall make it available to all interested parties.

11. The reports to the International Labour Office pursuant to article 22 of the Constitution, shall also include information regarding steps taken in accordance with Regulation 4.5, paragraph 2, to extend protection to other branches.

#### Guideline B4.5 – Social security

1. The protection to be provided at the time of ratification in accordance with Standard A4.5, paragraph 2, should at least include the branches of medical care, sickness benefit and employment injury benefit.

2. In the circumstances referred to in Standard A4.5, paragraph 6, comparable benefits may be provided through insurance, bilateral and multilateral agreements or other effective means, taking into consideration the provisions of relevant collective bargaining agreements. Where such measures are adopted, seafarers covered by such measures should be advised of the means by which the various branches of social security protection will be provided.

3. Where seafarers are subject to more than one national legislation covering social security, the Members concerned should cooperate in order to determine by mutual agreement which legislation is to apply, taking into account such factors as the type and level of protection under the respective legislations which is more favourable to the seafarer concerned as well as the seafarer's preference.

4. The procedures to be established under Standard A4.5, paragraph 9, should be designed to cover all disputes relevant to the claims of the seafarers concerned, irrespective of the manner in which the coverage is provided.

## 遵守及び 執行

- 5 自国を旗国とする船舶において自国民である船員、自国民でない船員又はこれらの双方が業務を行って  
いる加盟国は、この条約が適用される場合には、この条約に基づく社会保障による保護を提供すべきであ  
り、また、<sup>4.5</sup>基準1に規定する社会保障による保護の分野について、関係する船員にとって追加するこ  
とが適当な当該分野を特定するため、定期的に検討すべきである。
- 6 船員の雇用契約には、船舶所有者が各種の分野の社会保障による保護を船員に提供する方法及び船舶所  
有者が有している他の関連情報（例えば、関連する国内の社会保障制度に基づく特定の、かつ、権限を与  
えられた機関の要請に従って行われる船舶所有者の提出及び船員の資金からの法令に基づく控除）を明示  
すべきである。
- 7 自国を旗国とする船舶を有する加盟国は、社会上の事項に（）いて有効に管轄権を行使するに当たり、社  
会保障による保護に関する船舶所有者の責任が果たされている（）（社会保障制度のために求められる拠  
出を行うことを含む。）を確認すべきである。

### 第五章 遵守及び執行

- 1 この章の規則は、この条約の各条に規定する原則及び権利並びに第一章から第四章までに定める特定の  
義務を完全に実施し、及び執行する加盟国の責任について定める。
- 2 実質的に同等な規定を通じて規範A部を実施する（）を認める第六条3及び4の規定は、この章の規範  
A部については、適用しない。
- 3 加盟国は、第六条2の規定に従い、この章の規則に基づく自国の責任を、対応する規範B部の指針に妥  
当な考慮を払いつつ、対応する規範A部の基準に定める方法で果たす。
- 4 この章の規定は、船員及び船舶所有者が、他の全ての者と同様に、法律の前に平等であり、及び法律に  
よる平等の保護を受ける権利を有すること並びに裁判所の裁判を受け、審判機関に申立てを行い、又はそ  
の他の紛争解決のための制度を利用するに当たって差別の対象とならないことに留意して実施する。この  
章の規定は、裁判管轄権又は裁判地を決定するものではない。

### 第5.1規則 旗国の責任

目的 加盟国が自国を旗国とする船舶についてこの条約に基づく自国の責任を果たすことを確保する（）。

## 一般原則

### 第5.1.1規則 一般原則

- 1 加盟国は、自国を旗国とする船舶についてこの条約に基づく自国の義務の履行を確保する責任を負う。

### 海上労働条約

5. Each Member which has national seafarers, non-national seafarers or both serving on ships that fly its flag should provide the social security protection in the Convention as applicable, and should periodically review the branches of social security protection in Standard A4.5, paragraph 1, with a view to identifying any additional branches appropriate for the seafarers concerned.

6. The seafarers' employment agreement should identify the means by which the various branches of social security protection will be provided to the seafarer by the shipowner as well as any other relevant information at the disposal of the shipowner, such as statutory deductions from the seafarers' wages and shipowners' contributions which may be made in accordance with the requirements of identified authorized bodies pursuant to relevant national social security schemes.

7. The Member whose flag the ship flies should, in effectively exercising its jurisdiction over social matters, satisfy itself that the shipowners' responsibilities concerning social security protection are met, including making the required contributions to social security schemes.

### TITLE 5. COMPLIANCE AND ENFORCEMENT

1. The Regulations in this Title specify each Member's responsibility to fully implement and enforce the principles and rights set out in the Articles of this Convention as well as the particular obligations provided for under its Titles 1, 2, 3 and 4.

2. Paragraphs 3 and 4 of Article VI, which permit the implementation of Part A of the Code through substantially equivalent provisions, do not apply to Part A of the Code in this Title.

3. In accordance with paragraph 2 of Article VI, each Member shall implement its responsibilities under the Regulations in the manner set out in the corresponding Standards of Part A of the Code, giving due consideration to the corresponding Guidelines in Part B of the Code.

4. The provisions of this Title shall be implemented bearing in mind that seafarers and shipowners, like all other persons, are equal before the law and are entitled to the equal protection of the law and shall not be subject to discrimination in their access to courts, tribunals or other dispute resolution mechanisms. The provisions of this Title do not determine legal jurisdiction or a legal venue.

### Regulation 5.1 – Flag State responsibilities

Purpose: To ensure that each Member implements its responsibilities under this Convention with respect to ships that fly its flag

### Regulation 5.1.1 – General principles

1. Each Member is responsible for ensuring implementation of its obligations under this Convention on ships that fly its flag.



## 海上労働条約

- 2 加盟国は、自国を旗国とする船舶における船員の労働条件及び生活条件がこの条約の基準を満たすこと及び引き続き満たすことを確保するため、第1.1規則及び第4.1規則の規定に従い、海上の労働条件に関する検査及び証明のための効果的な制度を構築する。<sup>5.1.1</sup>
- 3 加盟国は、海上の労働条件に関する検査及び証明のための効果的な制度を構築するに当たり、適当な場合には、公の機関又は能力を有し、かつ、独立性を有すると認定される他の団体（他の加盟国が同意する場合）には、その加盟国のものを含む。）に対し、検査を行い、若しくは証明書を発給し、又はその双方を行う権限を与えることができる。当該加盟国は、いかなる場合にも、自国を旗国とする船舶における関係する船員の労働条件及び生活条件に関する検査及び証明について引き続き完全な責任を負う。
- 4 海上労働遵守措置認定書により補完される海上労働証書は、船舶がその旗国である加盟国による検査を正当に受けており、並びに船員の労働条件及び生活条件に関するこの条約上の義務が当該海上労働証書の証明する限りにおいて履行されているものと推定する証拠となる。
- 5 2に規定する制度（当該制度の実効性を評価するために用いる方法を含む。）に関する情報は、国際労働機関憲章第二十一条の規定に基づく加盟国の国際労働事務局に対する報告に含む。
- A 1.1.基準 一般原則
  - 1 加盟国は、自国の検査及び証明の制度の運用に関する明確な目的及び基準並びに当該目的及び基準がどの程度達成されているかについて評価するための適当な手続を定める。
  - 2 加盟国は、自国を旗国とする全ての船舶に対してこの条約の写しを船舶内で利用することができるように備えることを要求する。
- B 1.1.指針 一般原則
  - 1 権限のある機関は、第1.1規則及び第1.1規則に規定する他の団体であつて、船員の船舶における労働条件及び生活条件に関係するものと公の機関との間における効果的な協力を促進するため、適当な措置をとるべきである。
  - 2 権限のある機関は、検査員と船舶所有者、船員、船舶所有者団体及び船員団体との間の「層緊密な協力」を確保し、並びに船員の労働条件及び生活条件を維持し、又は改善するため、これらの目的を達成するための最良の方法について船舶所有者団体及び船員団体の代表者と定期的に協議すべきである。そのような協議の方法については、権限のある機関が、船舶所有者団体及び船員団体と協議した後決定すべきである。

## 五三三

2. Each Member shall establish an effective system for the inspection and certification of maritime labour conditions, in accordance with Regulations 5.1.3 and 5.1.4 ensuring that the working and living conditions for seafarers on ships that fly its flag meet, and continue to meet, the standards in this Convention.
  3. In establishing an effective system for the inspection and certification of maritime labour conditions, a Member may, where appropriate, authorize public institutions or other organizations (including those of another Member, if the latter agrees) which it recognizes as competent and independent to carry out inspections or to issue certificates or to do both. In all cases, the Member shall remain fully responsible for the inspection and certification of the working and living conditions of the seafarers concerned on ships that fly its flag.
  4. A maritime labour certificate, complemented by a declaration of maritime labour compliance, shall constitute prima facie evidence that the ship has been duly inspected by the Member whose flag it flies and that the requirements of this Convention relating to working and living conditions of the seafarers have been met to the extent so certified.
  5. Information about the system referred to in paragraph 2 of this Regulation, including the method used for assessing its effectiveness, shall be included in the Member's reports to the International Labour Office pursuant to article 22 of the Constitution.
- Standard A5.1.1 – General principles*
1. Each Member shall establish clear objectives and standards covering the administration of its inspection and certification systems, as well as adequate overall procedures for its assessment of the extent to which those objectives and standards are being attained.
  2. Each Member shall require all ships that fly its flag to have a copy of this Convention available on board.
- Guideline B5.1.1 – General principles*
1. The competent authority should make appropriate arrangements to promote effective cooperation between public institutions and other organizations, referred to in Regulations 5.1.1 and 5.1.2, concerned with seafarers' shipboard working and living conditions.
  2. In order to better ensure cooperation between inspectors and shipowners, seafarers and their respective organizations, and to maintain or improve seafarers' working and living conditions, the competent authority should consult the representatives of such organizations at regular intervals as to the best means of attaining these ends. The manner of such consultation should be determined by the competent authority after consulting with shipowners' and seafarers' organizations.



# 認定された 権限団体

- 第1.2 認定された団体の権限
  - 第1.1 規則 認定された公の機関又は他の団体（以下「認定された団体」という。）は、規範に定める能力及び独立性に関する要件を満たしていると権限のある機関が認定したものである。認定された団体が行うことを認められる検査又は証明の任務は、権限のある機関又は認定された団体が行うものとして規範に明示的に定める活動の範囲内にあるものとする。
  - 第1.1 規則 5 に規定する報告には、認定された団体、認定された団体に与えられた権限の範囲及び権限を与えられた活動が完全かつ効果的に行われることを確保するために加盟国がとる措置に関する情報を含める。
  - A 1.1 基準 認定された団体の権限
    - 1 権限のある機関は、第1.1 規則 1 の規定に基づく認定のため、関係する団体の能力及び独立性を検討し、並びに当該団体に与えられる権限の対象となる活動を行うために必要な範囲内で、当該団体が次のことを証明したか否かについて決定する。
      - (a) 当該団体がこの条約の関連する側面についての必要な専門知識及び船舶の運航（船舶において労働する船員に関する最低限の条件、雇用条件、居住設備、レクリエーション用の設備、食料及び料理の提供、災害の防止、健康の保護、医療、厚生並びに社会保障による保護を含む。）に関する適当な知識を有していること。
      - (b) 当該団体がその職員の専門知識を維持し、及び最新のものとする能力を有すること。
      - (c) 当該団体がこの条約上の義務並びに適用可能な国内法令及び関連する国際文書についての必要な知識を有すること。
      - (d) 当該団体が与えられる権限の種類及び程度に相応する適当な規模、構成、経験及び能力を有すること。
    - 2 検査に関して与えられる権限は、少なくとも、認定された団体が船員の労働条件及び生活条件について特定した不備の是正を要求し、並びにこの点に関して寄港国の要請により検査を行う権限を含むものとする。
  - 3 加盟国は、次のことを行う。
    - (a) 認定された団体が行う業務の妥当性を確保するための制度であつて、全ての適用可能な国内法令及び関連する国際文書に関する情報の提供を含むものを構築すること。
    - (b) 認定された団体と連絡を取り、及び認定された団体を監督するための手続を定めること。

## 海上労働条約

### Regulation 5.1.2 – Authorization of recognized organizations

1. The public institutions or other organizations referred to in paragraph 3 of Regulation 5.1.1 (“recognized organizations”) shall have been recognized by the competent authority as meeting the requirements in the Code regarding competency and independence. The inspection or certification functions which the recognized organizations may be authorized to carry out shall come within the scope of the activities that are expressly mentioned in the Code as being carried out by the competent authority or a recognized organization.
  2. The reports referred to in paragraph 5 of Regulation 5.1.1 shall contain information regarding any recognized organization, the extent of authorizations given and the arrangements made by the Member to ensure that the authorized activities are carried out completely and effectively.
- Standard A5.1.2 – Authorization of recognized organizations*
1. For the purpose of recognition in accordance with paragraph 1 of Regulation 5.1.2, the competent authority shall review the competency and independence of the organization concerned and determine whether the organization has demonstrated, to the extent necessary for carrying out the activities covered by the authorization conferred on it, that the organization:
    - (a) has the necessary expertise in the relevant aspects of this Convention and an appropriate knowledge of ship operations, including the minimum requirements for seafarers to work on a ship, conditions of employment, accommodation, recreational facilities, food and catering, accident prevention, health protection, medical care, welfare and social security protection;
    - (b) has the ability to maintain and update the expertise of its personnel;
    - (c) has the necessary knowledge of the requirements of this Convention as well as of applicable national laws and regulations and relevant international instruments; and
    - (d) is of the appropriate size, structure, experience and capability commensurate with the type and degree of authorization.
  2. Any authorizations granted with respect to inspections shall, as a minimum, empower the recognized organization to require the rectification of deficiencies that it identifies in seafarers’ working and living conditions and to carry out inspections in this regard at the request of a port State.
  3. Each Member shall establish:
    - (a) a system to ensure the adequacy of work performed by recognized organizations, which includes information on all applicable national laws and regulations and relevant international instruments; and
    - (b) procedures for communication with and oversight of such organizations.

- 4 加盟国は、自国のために活動する権限を与えられた認定された団体の現行の一覧表を国際労働事務局に提供し、及びこの一覧表を常時更新する。当該一覧表には、認定された団体が行う権限を与えられた任務を明記する。同事務局は、当該一覧表を公に利用可能なものとする。

B.1. 指針 認定された団体の権限

5. 2 1 認定を求める団体は、満足すべき質の役務を適時に提供することを確認するための技術上、運営上及び管理上の能力を証明すべきである。
- 2 権限のある機関は、団体の能力を評価するに当たり、当該団体に関して次のことが認められるか否かを判断すべきである。
- (a) 適当な技術職員、管理に係る職員及び補助職員を有していること。
- (b) 要求される役務を提供するために十分な資質を有する専門職員を有し、かつ、当該専門職員の構成が適切な地理的範囲を代表するものとなっていること。
- (c) 満足すべき質の役務を適時に提供することができていることを証明していること。
- (d) 当該団体がその運営について、独立性及び透明性を有していること。
- 3 権限のある機関は、権限を与えるために認定する全ての団体と書面による合意を締結すべきである。当該合意には、次に掲げる要素を含めるべきである。
- (a) 適用範囲
- (b) 目的
- (c) 一般的条件
- (d) 与えられる権限に基づく任務の遂行
- (e) 与えられる権限に基づく任務の法的根拠
- (f) 権限のある機関に対する報告
- (g) 権限のある機関が認定された団体に対して与える権限の詳細
- (h) 権限のある機関が認定された団体に委任された活動について行う監督
- 4 加盟国は、認定された団体に対し、当該認定された団体が検査員として雇用する職員の知識及び専門性を適時に更新することを確認するため当該職員の資格に係る制度を構築することを要求すべきである。

4. Each Member shall provide the International Labour Office with a current list of any recognized organizations authorized to act on its behalf and it shall keep this list up to date. The list shall specify the functions that the recognized organizations have been authorized to carry out. The Office shall make the list publicly available.

Guideline B5.1.2 – Authorization of recognized organizations

1. The organization seeking recognition should demonstrate the technical, administrative and managerial competence and capacity to ensure the provision of timely service of satisfactory quality.
2. In evaluating the capability of an organization, the competent authority should determine whether the organization:
- (a) has adequate technical, managerial and support staff;
- (b) has sufficient qualified professional staff to provide the required service, representing an adequate geographical coverage;
- (c) has proven ability to provide a timely service of satisfactory quality; and
- (d) is independent and accountable in its operations.
3. The competent authority should conclude a written agreement with any organization that it recognizes for purposes of an authorization. The agreement should include the following elements:
- (a) scope of application;
- (b) purpose;
- (c) general conditions;
- (d) the execution of functions under authorization;
- (e) legal basis of the functions under authorization;
- (f) reporting to the competent authority;
- (g) specification of the authorization from the competent authority to the recognized organization; and
- (h) the competent authority's supervision of activities delegated to the recognized organization.
4. Each Member should require the recognized organizations to develop a system for qualification of staff employed by them as inspectors to ensure the timely updating of their knowledge and expertise.

- 5 加盟国は、認定された団体に對し、当該認定された団体がその役務の対象となる事項について要求される基準を達成したことを証明することができるよう、自らが行った役務の記録を維持することを要求するものである。
- 6 加盟国は、A.1.基準3(b)に規定する監督するための手続を定めるに当たり、国際海事機関の枠組みにおいて採択された主管庁に代わって活動する団体への権限の付与に関する指針を考慮に入れるべきである。
- 第1.規則 海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書
  - 5.1.規則 この規則の規定は、次の船舶に適用する。
    - (a) 国際航行に従事する総トン数五百トン以上の船舶
    - (b) 加盟国を旗国とし、かつ、他の国の港から又は他の国の国内の諸港間を運航する総トン数五百トン以上の船舶
- この規則の規定の適用上、「国際航行」とは、一の国から国外の港に至る航行をいう。
- 2 この規則の規定は、加盟国に対する船舶所有者の要請により、当該加盟国を旗国とする船舶であつて1の規定の適用を受けないものについても、適用する。
- 3 加盟国は、自国を旗国とする船舶に對し、当該船舶における船員の労働条件及び生活条件（4）に規定する海上労働遵守措置認定書に記載される継続的な遵守のための措置を含む。）について検査を受けたこと及びこの条約を実施するための国内法令その他の措置の要件を満たすことを証明する海上労働証書を備え、及び維持することを要求する。
- 4 加盟国は、自国を旗国とする船舶に對し、船員の労働条件及び生活条件に關してこの条約を実施するための国内的な要件を明記し、及び当該船舶において当該要件の遵守を確保するために船舶所有者がとる措置を記載した海上労働遵守措置認定書を備え、及び維持することを要求する。
- 5 海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書は、規範に規定する様式に合致するものとする。
- 6 加盟国の権限のある機関又は正当に権限を与えられた認定された団体は、検査を通じて、自国を旗国とする船舶がこの条約の基準を満たし、又は引き続き満たすことを確認した場合には、その旨の海上労働証書を発給し、又は更新し、及び当該海上労働証書の公に利用可能な記録を維持する。
- 7 検査し、かつ、承認しなければならない事項の一覧表を含む海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書に係る詳細な要件は、規範A部に規定する。

## 海上労働条約

5. Each Member should require the recognized organizations to maintain records of the services performed by them such that they are able to demonstrate achievement of the required standards in the items covered by the services.

6. In establishing the oversight procedures referred to in Standard A5.1.2, paragraph 3(b), each Member should take into account the *Guidelines for the Authorization of Organizations Acting on Behalf of the Administration*, adopted in the framework of the International Maritime Organization.

### Regulation 5.1.3 – Maritime labour certificate and declaration of maritime labour compliance

1. This Regulation applies to ships of:
  - (a) 500 gross tonnage or over, engaged in international voyages; and
  - (b) 500 gross tonnage or over, flying the flag of a Member and operating from a port, or between ports, in another country.

For the purpose of this Regulation, “international voyage” means a voyage from a country to a port outside such a country.

2. This Regulation also applies to any ship that flies the flag of a Member and is not covered by paragraph 1 of this Regulation, at the request of the shipowner to the Member concerned.

3. Each Member shall require ships that fly its flag to carry and maintain a maritime labour certificate certifying that the working and living conditions of seafarers on the ship, including measures for ongoing compliance to be included in the declaration of maritime labour compliance referred to in paragraph 4 of this Regulation, have been inspected and meet the requirements of national laws or regulations or other measures implementing this Convention.

4. Each Member shall require ships that fly its flag to carry and maintain a declaration of maritime labour compliance stating the national requirements implementing this Convention for the working and living conditions for seafarers and setting out the measures adopted by the shipowner to ensure compliance with the requirements on the ship or ships concerned.

5. The maritime labour certificate and the declaration of maritime labour compliance shall conform to the model prescribed by the Code.

6. Where the competent authority of the Member or a recognized organization duly authorized for this purpose has ascertained through inspection that a ship that flies the Member’s flag meets or continues to meet the standards of this Convention, it shall issue or renew a maritime labour certificate to that effect and maintain a publicly available record of that certificate.

7. Detailed requirements for the maritime labour certificate and the declaration of maritime labour compliance, including a list of the matters that must be inspected and approved, are set out in Part A of the Code.

## 海上労働条約

### A.1.基準 海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書

- 1 海上労働証書は、権限のある機関又は正当に権限を与えられた認定された団体が、五年以下の期間について、船舶に対して発給する。海上労働証書の発給に先立ち、船舶における船員の労働条件及び生活条件に關してこの条約上の義務を履行するための国内法令その他の措置を満たすことを検査し、及び承認しなければならぬ事項の一覽表については、付録A五―Iに掲げる。
- 2 海上労働証書の効力は、この条約を実施するための国内的な要件の継続的な遵守を確保するために、権限のある機関又は正当に権限を与えられた認定された団体による中間検査の対象となる。中間検査を一回のみ行う場合において、海上労働証書の有効期間が五年であるときは、当該中間検査は、当該海上労働証書の二回目の検査基準日と三回目の検査基準日との間に行う。検査基準日とは、海上労働証書の有効期間の満了の日に対応する各年の日をいう。中間検査の範圍及び程度は、海上労働証書の更新のための検査と同等のものとする。海上労働証書は、中間検査の結果が満足すべきものであった場合には、裏書する。
- 3 1の規定にかかわらず、更新のための検査が既存の海上労働証書の有効期間の満了の前三箇月以内に完了する場合には、新たな海上労働証書は、当該更新のための検査の完了の日から、既存の海上労働証書の有効期間の満了の日から五年以内の日までの期間効力を有する。
- 4 更新のための検査が既存の海上労働証書の有効期間の満了の前三箇月の日前までに完了する場合には、新たな海上労働証書は、当該更新のための検査の完了の日から五年以内の日までの期間効力を有する。
- 5 海上労働証書は、次の場合には、暫定的に発給することができる。
  - (a) 新船を回航する場合
  - (b) 船舶が旗国を変更する場合
  - (c) 船舶所有者が新たに船舶の運航について責任を引き受ける場合
- 6 暫定的な海上労働証書は、六箇月以内の期間について、権限のある機関又は正当に権限を与えられた認定された団体が発給することができる。
- 7 暫定的な海上労働証書は、次のことを確認した後にのみ発給することができる。
  - (a) (b)から(d)までに規定する事項の確認を考慮しつつ、合理的かつ実行可能な限り、船舶が付録A五―Iに掲げる事項について検査を受けたこと。

## 五三六

### Standard A5.1.3 – Maritime labour certificate and declaration of maritime labour compliance

1. The maritime labour certificate shall be issued to a ship by the competent authority, or by a recognized organization duly authorized for this purpose, for a period which shall not exceed five years. A list of matters that must be inspected and found to meet national laws and regulations or other measures implementing the requirements of this Convention regarding the working and living conditions of seafarers on ships before a maritime labour certificate can be issued is found in Appendix A5-1.
2. The validity of the maritime labour certificate shall be subject to an intermediate inspection by the competent authority, or by a recognized organization duly authorized for this purpose, to ensure continuing compliance with the national requirements implementing this Convention. If only one intermediate inspection is carried out and the period of validity of the certificate is five years, it shall take place between the second and third anniversary dates of the certificate. Anniversary date means the day and month of each year which will correspond to the date of expiry of the maritime labour certificate. The scope and depth of the intermediate inspection shall be equal to an inspection for renewal of the certificate. The certificate shall be endorsed following satisfactory intermediate inspection.
3. Notwithstanding paragraph 1 of this Standard, when the renewal inspection has been completed within three months before the expiry of the existing maritime labour certificate, the new maritime labour certificate shall be valid from the date of completion of the renewal inspection for a period not exceeding five years from the date of expiry of the existing certificate.
4. When the renewal inspection is completed more than three months before the expiry date of the existing maritime labour certificate, the new maritime labour certificate shall be valid for a period not exceeding five years starting from the date of completion of the renewal inspection.
5. A maritime labour certificate may be issued on an interim basis:
  - (a) to new ships on delivery;
  - (b) when a ship changes flag; or
  - (c) when a shipowner assumes responsibility for the operation of a ship which is new to that shipowner.
6. An interim maritime labour certificate may be issued for a period not exceeding six months by the competent authority or a recognized organization duly authorized for this purpose.
7. An interim maritime labour certificate may only be issued following verification that:
  - (a) the ship has been inspected, as far as reasonable and practicable, for the matters listed in Appendix A5-1, taking into account verification of items under subparagraphs (b), (c) and (d) of this paragraph;

- (b) 船舶所有者が権限のある機関又は認定された団体に對し、船舶がこの条約を遵守するための適切な手続を有することを証明したと。
  - (c) 船長がこの条約上の義務及び実施に係る責任に精通している。
  - (d) 関連する情報が海上労働遵守措置認定書を作成するために権限のある機関又は認定された団体に提出されたこと。
  - 8 正式な海上労働証書の発給を可能とするためには、暫定的な海上労働証書の有効期間が満了する前に、1の規定に基づく完全な検査が行われなければならない。6に規定する当初の六箇月の後に、更に暫定的な海上労働証書を発給することはできない。海上労働遵守措置認定書は、暫定的な海上労働証書の有効期間については、発給することを必要としない。
  - 9 海上労働証書、暫定的な海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書は、付録A五―IIに定めるひな形に対応する様式により作成する。
  - 10 海上労働遵守措置認定書は、海上労働証書に添付する。海上労働遵守措置認定書は、次の二部から成る。
    - (a) 第I部については、権限のある機関が次のとおり作成する。
      - (i) 1の規定に従って検査する事項の一覧表を明示する。
      - (ii) 関連する国内法規を引用し、及び必要な範囲内で国内的な要件の主な内容に関する簡潔な情報を提供することにより、この条約の関連する規定を具体化する国内的な要件を明示する。
      - (iii) 国内法令に基づく船舶の種類に特有の要件に言及する。
      - (iv) 第六条3の規定に基づいて採用する実質的に同等な規定を明記する。
      - (v) 第三章の規定に基づき権限のある機関が認める適用除外を明確に示す。
    - (b) 第II部については、船舶所有者が作成するものとし、検査から次の検査までの間において国内的な要件の継続的な遵守を確保するためにとる措置及び不断に改善することを確認するために提案する措置を明示する。
- 権限のある機関又は正当に権限を与えられた認定された団体は、第II部を確認し、海上労働遵守措置認定書を発給する。

- (b) the shipowner has demonstrated to the competent authority or recognized organization that the ship has adequate procedures to comply with this Convention;
  - (c) the master is familiar with the requirements of this Convention and the responsibilities for implementation; and
  - (d) relevant information has been submitted to the competent authority or recognized organization to produce a declaration of maritime labour compliance.
  - 8. A full inspection in accordance with paragraph 1 of this Standard shall be carried out prior to expiry of the interim certificate to enable issue of the full-term maritime labour certificate. No further interim certificate may be issued following the initial six months referred to in paragraph 6 of this Standard. A declaration of maritime labour compliance need not be issued for the period of validity of the interim certificate.
  - 9. The maritime labour certificate, the interim maritime labour certificate and the declaration of maritime labour compliance shall be drawn up in the form corresponding to the models given in Appendix A5-II.
  - 10. The declaration of maritime labour compliance shall be attached to the maritime labour certificate. It shall have two parts:
    - (a) Part I shall be drawn up by the competent authority which shall: (i) identify the list of matters to be inspected in accordance with paragraph 1 of this Standard; (ii) identify the national requirements embodying the relevant provisions of this Convention by providing a reference to the relevant national legal provisions as well as, to the extent necessary, concise information on the main content of the national requirements; (iii) refer to ship-type specific requirements under national legislation; (iv) record any substantially equivalent provisions adopted pursuant to paragraph 3 of Article VI; and (v) clearly indicate any exemption granted by the competent authority as provided in Title 3; and
    - (b) Part II shall be drawn up by the shipowner and shall identify the measures adopted to ensure ongoing compliance with the national requirements between inspections and the measures proposed to ensure that there is continuous improvement.
- The competent authority or recognized organization duly authorized for this purpose shall certify Part II and shall issue the declaration of maritime labour compliance.



11 関係する船舶について行った全ての検査その他の確認の結果及びこの確認において認められた重大な不備については、当該不備を是正したことが認められた日とともに記録する。この記録は、英語でない場合には英語による訳文を付して、国内法令に従い、海上労働遵守措置認定書に記載し、若しくは添付するものとし、又は他の方法により船員、旗国の検査員、寄港国の権限のある職員並びに船舶所有者及び船員の代表者が利用することができるようにする。

12 最新の有効な海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書は、英語でない場合には英語による訳文を付して船舶内に備え、及びそれらの写しは、船員が利用することができるように船舶内の目につきやすい場所に掲示する。当該写しは、国内法令に従い、要請により、船員、旗国の検査員、寄港国の権限のある職員並びに船舶所有者及び船員の代表者が利用することができるようにする。

13 11及び12に規定する英語による訳文に係る要請については、国際航行に従事しない船舶の場合には、適用しない。

14 1又は5の規定に基づいて発給された海上労働証書は、次のいずれかの場合には、効力を失う。

- (a) 2の規定により要求される期間内に関連する検査が完了しない場合
- (b) 当該海上労働証書が2の規定に従って裏書されない場合
- (c) 船舶がその旗国を変更する場合
- (d) 船舶所有者が船舶の運航について責任を負わなくなる場合
- (e) 第三章に規定する構造又は設備を実質的に変更する場合

15 14(c)から(e)までに規定する場合において、新たな海上労働証書は、船舶がこの基準に規定する要件を遵守していると当該新たな海上労働証書を発給する権限のある機関又は認定された団体が認めたときにのみ発給される。

16 船舶がこの条約上の義務を遵守せず、かつ、要求された是正措置をかついていないという証拠がある場合には、当該船舶に対する海上労働証書は、権限のある機関又は旗国により正当に権限を与えられた認定された団体によって取り消される。

17 権限のある機関又は認定された団体は、16の規定に従い海上労働証書を取り消すべきか否かを検討する場合には、不備の重大性又は頻度を考慮する。

11. The results of all subsequent inspections or other verifications carried out with respect to the ship concerned and any significant deficiencies found during any such verification shall be recorded, together with the date when the deficiencies were found to have been remedied. This record, accompanied by an English-language translation where it is not in English, shall, in accordance with national laws or regulations, be inscribed upon or appended to the declaration of maritime labour compliance or made available in some other way to seafarers, flag State inspectors, authorized officers in port States and shipowners' and seafarers' representatives.

12. A current valid maritime labour certificate and declaration of maritime labour compliance, accompanied by an English-language translation where it is not in English, shall be carried on the ship and a copy shall be posted in a conspicuous place on board where it is available to the seafarers. A copy shall be made available in accordance with national laws and regulations, upon request, to seafarers, flag State inspectors, authorized officers in port States, and shipowners' and seafarers' representatives.

13. The requirement for an English-language translation in paragraphs 11 and 12 of this Standard does not apply in the case of a ship not engaged in an international voyage.

14. A certificate issued under paragraph 1 or 5 of this Standard shall cease to be valid in any of the following cases:

- (a) if the relevant inspections are not completed within the periods specified under paragraph 2 of this Standard;
- (b) if the certificate is not endorsed in accordance with paragraph 2 of this Standard;
- (c) when a ship changes flag;
- (d) when a shipowner ceases to assume the responsibility for the operation of a ship; and
- (e) when substantial changes have been made to the structure or equipment covered in Title 3.

15. In the case referred to in paragraph 14(c), (d) or (e) of this Standard, a new certificate shall only be issued when the competent authority or recognized organization issuing the new certificate is fully satisfied that the ship is in compliance with the requirements of this Standard.

16. A maritime labour certificate shall be withdrawn by the competent authority or the recognized organization duly authorized for this purpose by the flag State, if there is evidence that the ship concerned does not comply with the requirements of this Convention and any required corrective action has not been taken.

17. When considering whether a maritime labour certificate should be withdrawn in accordance with paragraph 16 of this Standard, the competent authority or the recognized organization shall take into account the seriousness or the frequency of the deficiencies.

B 1. 3  
5. 1. 3 指針 海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書

1 海上労働遵守措置認定書の第Ⅰ部における国内的な要件の記述には、付録A五―Ⅰに掲げる各事項に係る船員の労働条件及び生活条件に関する国内法令の規定の引用を含め、又は添付すべきである。国内法令がこの条約上の義務に係る規定を正確に踏襲している場合には、当該国内法令の引用により、必要なことを全て記述したことになることがある。この条約のⅠの規定を第6条3の規定に基づく実質的に同等な規定によって実施する場合には、当該Ⅰの規定を明示し、及び簡潔な説明を記載すべきである。第三章に定めるところにより権限のある機関が適用除外を認める場合には、関係する特定の規定を明示すべきである。

2 船舶所有者が海上労働遵守措置認定書の第Ⅱ部に記載する措置については、特に、特定の国内的な要件の継続的な遵守を確認する機会、その確認について責任を負う者、作成すべき記録及び遵守されていないことが認められた場合にとる手続を明示すべきである。第Ⅱ部は、複数の様式により作成することができる。第Ⅱ部の作成については、海事分野の他の側面に関する政策及び手続を対象とする他の一層包括的な文書（例えば、国際安全管理（ISM）コードによって要求される文書又は船舶の履歴記録に関するSOLAS条約第十一―一章第五規則によって要求される情報）を参照することができむ。

3 継続的な遵守を確保するための措置には、船舶所有者及び船長が、船員の労働に固有の危険を考慮に入れた作業場の設計に関する最新の技術の進歩及び科学的な調査結果を常に把握し、並びに船員の代表者にこれらに関する情報を提供することにより、船舶における船員の労働条件及び生活条件の保護の水準の改善を保障するという一般的かつ国際的な要請を含めるべきである。

4 海上労働遵守措置認定書は、特に、関係する全ての者（旗国の検査員、寄港国の権限のある職員、船員等）が適切に要件が実施されていることを確認することに基づき、明確な用語で作成すべきである。

5 海上労働遵守措置認定書に含めることができる情報の種類の例は、付録B五―Ⅰに定める。

6 A 1. 基準 14 (c) に規定する船舶がその旗国を変更する場合において、関係する双方の国がこの条約を批准しているときは、その変更の前に当該船舶の旗国であった加盟国は、他方の加盟国の権限のある機関に対し、当該船舶が旗国を変更する前に備えていた海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書の写しをできる限り速やかに送付すべきであり、また、旗国の変更後三箇月以内に当該権限のある機関が要請する場合には、関連する検査報告の写しを当該権限のある機関に送付すべきである。

Guideline B5.1.3 – Maritime labour certificate and declaration of maritime labour compliance

1. The statement of national requirements in Part I of the declaration of maritime labour compliance should include or be accompanied by references to the legislative provisions relating to seafarers' working and living conditions in each of the matters listed in Appendix A5-1. Where national legislation precisely follows the requirements stated in this Convention, a reference may be all that is necessary. Where a provision of the Convention is implemented through substantial equivalence as provided under Article VI, paragraph 3, this provision should be identified and a concise explanation should be provided. Where an exemption is granted by the competent authority as provided in Title 3, the particular provision or provisions concerned should be clearly indicated.

2. The measures referred to in Part II of the declaration of maritime labour compliance, drawn up by the shipowner, should, in particular, indicate the occasions on which ongoing compliance with particular national requirements will be verified, the persons responsible for verification, the records to be taken, as well as the procedures to be followed where non-compliance is noted. Part II may take a number of forms. It could make reference to other more comprehensive documentation covering policies and procedures relating to other aspects of the maritime sector, for example documents required by the *International Safety Management (ISM) Code* or the information required by Regulation 5 of the SOLAS Convention, Chapter XI-1 relating to the ship's Continuous Synopsis Record.

3. The measures to ensure ongoing compliance should include general international requirements for the shipowner and master to keep themselves informed of the latest advances in technology and scientific findings concerning workplace design, taking into account the inherent dangers of seafarers' work, and to inform the seafarers' representatives accordingly, thereby guaranteeing a better level of protection of the seafarers' working and living conditions on board.

4. The declaration of maritime labour compliance should, above all, be drafted in clear terms designed to help all persons concerned, such as flag State inspectors, authorized officers in port States and seafarers, to check that the requirements are being properly implemented.

5. An example of the kind of information that might be contained in a declaration of maritime labour compliance is given in Appendix B5-1.

6. When a ship changes flag as referred to in Standard A5.1.3, paragraph 14(c), and where both States concerned have ratified this Convention, the Member whose flag the ship was formerly entitled to fly should, as soon as possible, transmit to the competent authority of the other Member copies of the maritime labour certificate and the declaration of maritime labour compliance carried by the ship before the change of flag and, if applicable, copies of the relevant inspection reports if the competent authority so requests within three months after the change of flag has taken place.

海上労働条約

- 第 5.1.4 規則 検査及び執行
- 1 加盟国は、定期的な検査、監視その他の管理のための措置の効果的なかつ調整の図られた制度を通じて、自国を旗国とする船舶が国内法令により実施されるこの条約上の義務を遵守していることを確認する。
  - 2 1 の規定に基づく検査及び執行の制度に関する詳細な要件は、規範 A 部に定める。
  - A 1.1.4 基準 検査及び執行
  - 1 加盟国は、自国を旗国とする船舶の船員に係る条件に関する検査（この条約上の義務が履行されていること並びに、必要な場合には、海上労働遵守措置認定書に記載された労働条件及び生活条件に関する措置がとられていることの確認を含む。）の制度を維持する。
  - 2 権限のある機関は、1 の規定に基づく責任を果たすため、資質を有する十分な数の検査員を任命する。加盟国は、認定された団体が検査を行う権限を与えられている場合には、検査を行う職員がその職務を引き受けるための資質を有することを要求し、及び当該職員に対しその職務を遂行するために必要な法的権限を与える。
  - 3 検査員が確認を行い、及び 1 の規定に基づきこの条約の遵守を確保することができるようになるため、検査員が必要な又は望ましい訓練を受けること並びに必要な又は望ましい能力、付託事項、権限、地位及び独立性を有することを確保するための適当な措置がとられなければならない。
  - 4 検査は、必要な場合には、A 1.1.3 基準に規定する間隔で行う。この間隔は、いかなる場合にも、三年を超えてはならない。
  - 5 加盟国は、自国を旗国とする船舶がこの条約上の義務を遵守していないこと又は海上労働遵守措置認定書に記載された措置の実施において重大な不備があることについて、明らかに根拠がないとは認められない苦情を受け、又は証拠を得た場合には、その問題を調査し、及び認められた不備を是正するための措置がとられることを確保するために必要な措置をとる。
  - 6 加盟国は、検査員が政府の変更及び不当な外部からの影響と無関係であることを確保するための地位及び勤務条件を享受することを保障するため、適切な規則を定め、効果的に実施する。
  - 7 遂行する任務に関する明確な指針を与えられ、及び正当な証明書を所持する検査員は、次のことを行う権限を有する。
    - (a) 加盟国を旗国とする船舶に乗船すること。

**Regulation 5.1.4 – Inspection and enforcement**

1. Each Member shall verify, through an effective and coordinated system of regular inspections, monitoring and other control measures, that ships that fly its flag comply with the requirements of this Convention as implemented in national laws and regulations.
  2. Detailed requirements regarding the inspection and enforcement system referred to in paragraph 1 of this Regulation are set out in Part A of the Code.
- Standard A5.1.4 – Inspection and enforcement**
1. Each Member shall maintain a system of inspection of the conditions for seafarers on ships that fly its flag which shall include verification that the measures relating to working and living conditions as set out in the declaration of maritime labour compliance, where applicable, are being followed, and that the requirements of this Convention are met.
  2. The competent authority shall appoint a sufficient number of qualified inspectors to fulfil its responsibilities under paragraph 1 of this Standard. Where recognized organizations have been authorized to carry out inspections, the Member shall require that personnel carrying out the inspection are qualified to undertake these duties and shall provide them with the necessary legal authority to perform their duties.
  3. Adequate provision shall be made to ensure that the inspectors have the training, competence, terms of reference, powers, status and independence necessary or desirable so as to enable them to carry out the verification and ensure the compliance referred to in paragraph 1 of this Standard.
  4. Inspections shall take place at the intervals required by Standard A5.1.3, where applicable. The interval shall in no case exceed three years.
  5. If a Member receives a complaint which it does not consider manifestly unfounded or obtains evidence that a ship that flies its flag does not conform to the requirements of this Convention or that there are serious deficiencies in the implementation of the measures set out in the declaration of maritime labour compliance, the Member shall take the steps necessary to investigate the matter and ensure that action is taken to remedy any deficiencies found.
  6. Adequate rules shall be provided and effectively enforced by each Member in order to guarantee that inspectors have the status and conditions of service to ensure that they are independent of changes of government and of improper external influences.
  7. Inspectors, issued with clear guidelines as to the tasks to be performed and provided with proper credentials, shall be empowered:
    - (a) to board a ship that flies the Member's flag;

- (b) 基準が厳格に遵守されていることを確認するために必要と認める調査、検査又は質問を行うこと。
- (c) 不備を是正することを要求すること並びに、その不備がこの条約上の義務の重大な違反（船員の権利の重大な侵害を含む。）に当たり、又は船員の安全、健康及び保安に対する重大な危険をもたらしていると信ずるに足りる理由がある場合には、必要な措置がとられるまで船舶の出港を禁止すること。
- 8 7(c)の規定に基づいてとる措置は、司法当局又は行政当局に対し不服申立てを行う権利の行使の対象となる。
- 9 検査員は、この条約上の義務の明白な違反であつて関係する船員の安全、健康又は保安を脅かすものがなく、かつ、類似の違反の履歴がない場合には、司法上の手続の開始又は勧告に代えて、助言を与える裁量を有する。
- 10 検査員は、船員の労働条件及び生活条件に関する危険若しくは不備又は法令に対する違反について申し立てられる苦情については、その出所を秘密のものとして取り扱うものとし、そのような苦情の結果として検査を行ったことを船舶所有者、船舶所有者の代表者又は船舶の運航者に知らせはならない。
- 11 検査員は、実効的な検査を妨げ、又は船舶所有者、船員その他の利害関係者との関係においてその権威若しくは公平性を害するおそれのある量又は性質の任務を引き受けてはならない。特に、検査員は、
- (a) 検査することが求められている運航について直接又は間接に利害関係を有することを禁止される。
- (b) 職務上知り得た商業上の秘密、非公開の作業工程又は私的な性質を有する情報をその職を退いた後も漏らしてはならない。それらの漏えいは、適当な制裁又は懲戒処分の対象となる。
- 12 検査員は、各検査の報告を権限のある機関に提出する。英語又は船舶内の常用語による当該報告の写し一通は、船長に提供し、他の写しは、船員の参考のため船舶内の掲示板に掲示し、及び要請に応じて船員の代表者に送付する。
- 13 加盟国の権限のある機関は、自国を旗国とする船舶の船員に係る条件に関する検査の記録を維持する。当該権限のある機関は、一の年の終了後、六箇月以内の合理的な期間内に、検査に係る活動に関する年次報告を公表する。
- 14 重大な事件の発生を受けて調査が行われる場合には、その報告は、実行可能な限り速やかに、遅くとも当該調査の終了後一箇月以内に権限のある機関に提出する。

- (b) to carry out any examination, test or inquiry which they may consider necessary in order to satisfy themselves that the standards are being strictly observed; and
- (c) to require that any deficiency is remedied and, where they have grounds to believe that deficiencies constitute a serious breach of the requirements of this Convention (including seafarers' rights), or represent a significant danger to seafarers' safety, health or security, to prohibit a ship from leaving port until necessary actions are taken.
8. Any action taken pursuant to paragraph 7(c) of this Standard shall be subject to any right of appeal to a judicial or administrative authority.
9. Inspectors shall have the discretion to give advice instead of instituting or recommending proceedings when there is no clear breach of the requirements of this Convention that endangers the safety, health or security of the seafarers concerned and where there is no prior history of similar breaches.
10. Inspectors shall treat as confidential the source of any grievance or complaint alleging a danger or deficiency in relation to seafarers' working and living conditions or a violation of laws and regulations and give no intimation to the shipowner, the shipowner's representative or the operator of the ship that an inspection was made as a consequence of such a grievance or complaint.
11. Inspectors shall not be entrusted with duties which might, because of their number or nature, interfere with effective inspection or prejudice in any way their authority or impartiality in their relations with shipowners, seafarers or other interested parties. In particular, inspectors shall:
- (a) be prohibited from having any direct or indirect interest in any operation which they are called upon to inspect; and
- (b) subject to appropriate sanctions or disciplinary measures, not reveal, even after leaving service, any commercial secrets or confidential working processes or information of a personal nature which may come to their knowledge in the course of their duties.
12. Inspectors shall submit a report of each inspection to the competent authority. One copy of the report in English or in the working language of the ship shall be furnished to the master of the ship and another copy shall be posted on the ship's notice board for the information of the seafarers and, upon request, sent to their representatives.
13. The competent authority of each Member shall maintain records of inspections of the conditions for seafarers on ships that fly its flag. It shall publish an annual report on inspection activities within a reasonable time, not exceeding six months, after the end of the year.
14. In the case of an investigation pursuant to a major incident, the report shall be submitted to the competent authority as soon as practicable, but not later than one month following the conclusion of the investigation.



15 この基準の規定に基づいて検査を行い、又は措置をとる場合には、船舶を不当に抑留し、又はその出航を不当に遅延させることのないように、あらゆる合理的な努力を払う。

16 検査員の権限の不法な行使の結果として被った損失又は損害に対しては、国内法令に従って賠償が支払われる。個々の事案についての立証責任は、申立てを行った者にあるものとする。

17 加盟国は、この条約上の義務の違反（船員の権利の侵害を含む。）及び検査員の職務の遂行に対する妨害について適当な罰則その他是正措置を定め、それを実効的に実施する。

#### B.1.4 検査及び執行

1 権限のある機関並びに船員の労働条件及び生活条件の検査の全部又は一部に関係する他の機関は、その任務を遂行するために必要な手段を有すべきである。特に、

(a) 加盟国は、必要に応じて正当な資格を有する技術者及び専門家に検査員の作業の支援を要請することができるよう必要な措置をとるべきである。

(b) 検査員は、便利な場所にある施設、設備及び交通手段であって当該検査員の任務の効果的な遂行に適したものを提供されるべきである。

2 権限のある機関は、この条約に関連する検査及び執行に係る活動について一貫性を確保し、及び他の方法により指導するため、遵守及び執行に関する方針を作成すべきである。この方針の写しは、全ての検査員及び関係する法執行の職員に提供すべきであり、また、公衆並びに船舶所有者及び船員が利用することができるようにするべきである。

3 権限のある機関は、この条約上の義務の違反（船員の権利の侵害を含む。）の可能性に関し船員が直接又はその代表者を通じて提供する情報を秘密のものとして受領することができるようにするため及び検査員がそのような事項を迅速に調査することを認めることができるようにするため、次のことを含む簡易な手続を定めるべきである。

(a) 船長、船員又は船員の代表者が必要と認める場合にはこれらの者が検査を要請することができるようにする。

(b) この条約上の義務を遵守し、及び船員に係る船舶内の条件の継続的な改善をもたらすための最も効果的な方法について、船舶所有者、船員及び関係する団体に技術的な情報及び助言を与えること。

15. When an inspection is conducted or when measures are taken under this Standard, all reasonable efforts shall be made to avoid a ship being unreasonably detained or delayed.

16. Compensation shall be payable in accordance with national laws and regulations for any loss or damage suffered as a result of the wrongful exercise of the inspectors' powers. The burden of proof in each case shall be on the complainant.

17. Adequate penalties and other corrective measures for breaches of the requirements of this Convention (including seafarers' rights) and for obstructing inspectors in the performance of their duties shall be provided for and effectively enforced by each Member.

#### Guideline B5.1.4 – Inspection and enforcement

1. The competent authority and any other service or authority wholly or partly concerned with the inspection of seafarers' working and living conditions should have the resources necessary to fulfil their functions. In particular:

(a) each Member should take the necessary measures so that duly qualified technical experts and specialists may be called upon, as needed, to assist in the work of inspectors; and

(b) inspectors should be provided with conveniently situated premises, equipment and means of transport adequate for the efficient performance of their duties.

2. The competent authority should develop a compliance and enforcement policy to ensure consistency and otherwise guide inspection and enforcement activities related to this Convention. Copies of this policy should be provided to all inspectors and relevant law-enforcement officials and should be made available to the public and ship-owners and seafarers.

3. The competent authority should establish simple procedures to enable it to receive information in confidence concerning possible breaches of the requirements of this Convention (including seafarers' rights) presented by seafarers directly or by representatives of the seafarers, and permit inspectors to investigate such matters promptly, including:

(a) enabling masters, seafarers or representatives of the seafarers to request an inspection when they consider it necessary; and

(b) supplying technical information and advice to shipowners and seafarers and organizations concerned as to the most effective means of complying with the requirements of this Convention and of bringing about a continual improvement in seafarers' on-board conditions.



- 4 検査員については、次の事項に妥当な考慮を払いつつ、その任務の効果的な遂行を確保するため、十分に訓練し、及び十分な数とすべきである。
  - (a) 検査員が遂行すべき任務の重要性、特に、検査の対象となる船舶の数、種類及び大きさ並びに執行すべき法規の数及び複雑性
  - (b) 検査員の使用に供される手段
  - (c) 検査を実効的に行うために必要な実質的な条件
- 5 検査員は、国内法令に定める公務員の採用に関する条件に従い、その任務の遂行に必要な資質を有し、かつ、十分な訓練を受けるべきであり、また、可能な場合には、海事に係る教育を受け、又は船員としての経験を有すべきである。検査員は、船員の労働条件及び生活条件並びに英語に関する十分な知識を有すべきである。
- 6 検査員の雇用期間中、当該検査員に対して適当な追加の訓練を提供するための措置がとられるべきである。
- 7 全ての検査員は、検査を行うべき状況、そのような種々の状況において行うべき検査の範囲及び検査の一般的な手法について明確な理解を有すべきである。
- 8 国内法令に基づき正当な証明書を所持する検査員は、少なくとも、次のことを行う権限を有すべきである。
  - (a) 自由に、かつ、予告なしに船舶に乗船すること。ただし、検査員は、船舶の検査を開始する場合に、船長又は責任者及び適当な場合には船員又はその代表者に対し、当該検査員が乗船することを通知すべきである。
  - (b) 船長、船員その他の者（船舶所有者又はその代表者を含む。）に対し、その者が証人の立会いを要求する場合には証人の立会いの下、法令に基づく要件の適用に関する事項について質問すること。
  - (c) この条約を実施するための国内法令の遵守を確認するため、検査の対象となる事項に直接関係する帳簿、航海日誌、登録簿、証明書その他の書類又は情報の提出を要求する<sup>1)</sup>。
  - (d) この条約を実施するための国内法令に基づいて要求される揭示を行わせる<sup>1)</sup>。
  - (e) 使用され、又は取り扱われる物品、貨物、飲料水、食料、材料及び物質の試料を分析のため採取する<sup>1)</sup>。

4. Inspectors should be fully trained and sufficient in numbers to secure the efficient discharge of their duties with due regard to:
  - (a) the importance of the duties which the inspectors have to perform, in particular the number, nature and size of ships subject to inspection and the number and complexity of the legal provisions to be enforced;
  - (b) the resources placed at the disposal of the inspectors; and
  - (c) the practical conditions under which inspections must be carried out in order to be effective.
5. Subject to any conditions for recruitment to the public service which may be prescribed by national laws and regulations, inspectors should have qualifications and adequate training to perform their duties and where possible should have a maritime education or experience as a seafarer. They should have adequate knowledge of seafarers' working and living conditions and of the English language.
6. Measures should be taken to provide inspectors with appropriate further training during their employment.
7. All inspectors should have a clear understanding of the circumstances in which an inspection should be carried out, the scope of the inspection to be carried out in the various circumstances referred to and the general method of inspection.
8. Inspectors provided with proper credentials under the national law should at a minimum be empowered:
  - (a) to board ships freely and without previous notice; however, when commencing the ship inspection, inspectors should provide notification of their presence to the master or person in charge and, where appropriate, to the seafarers or their representatives;
  - (b) to question the master, seafarer or any other person, including the shipowner or the shipowner's representative, on any matter concerning the application of the requirements under laws and regulations, in the presence of any witness that the person may have requested;
  - (c) to require the production of any books, log books, registers, certificates or other documents or information directly related to matters subject to inspection, in order to verify compliance with the national laws and regulations implementing this Convention;
  - (d) to enforce the posting of notices required under the national laws and regulations implementing this Convention;
  - (e) to take or remove, for the purpose of analysis, samples of products, cargo, drinking water, provisions, materials and substances used or handled;

- (f) 検査を行った後、乗船者の健康及び安全に影響を及ぼし得る不備について、直ちに船舶所有者、船舶の運航者又は船長の注意を喚起すること。
- (g) 権限のある機関及び適当な場合には認定された団体に對し、現行の法令に明示的な規定のない不備又は弊害について警告し、及び当該法令を改善するための提案を提出すること。
- (h) 法令に定める事例に關し、及び法令に定める態様により、権限のある機関に對し船員に影響を及ぼす職業上の負傷又は疾病について通報すること。
- 9 船舶所有者又はその代表者及び必要に応じて船員は、8(e)に規定する試料が採取される場合には、その旨の通報を受け、又は当該試料が採取される時に立ち会うべきである。当該試料の量については、検査員が適正に記録すべきである。
- 10 加盟国の権限のある機関が自国を旗国とする船舶について公表する年次報告には、次のものを含めるべきである。
- (a) 船員の労働条件及び生活条件に關連する現行の法令並びに当該年次報告の対象となる年において効力を生じた改正の一覧表
  - (b) 検査制度の組織の詳細
  - (c) 検査の対象となる船舶又は他の施設並びに実際に検査が行われた船舶及び他の施設に關する統計
  - (d) 国内法令の対象となる全ての船員に關する統計
  - (e) 法令に對する違反、処罰及び船舶の抑留に關する統計及び情報
  - (f) 報告された職業上の負傷及び疾病であつて船員に影響を及ぼすものに關する統計
- 第5.1.5規則 船舶内における苦情に關する手続
- 1 加盟国は、自国を旗国とする船舶に對し、この条約上の義務の違反（船員の権利の侵害を含む。）（1）について申し立てる船員の苦情を公正、効果的かつ迅速に取り扱うための船舶内における手続を有すること并要求する。
- 2 加盟国は、苦情を申し立てたことについての船員に對するいかなる種類の迫害も禁止し、及び処罰する。
- 3 この規則の規定及び規範の關連する部分の規定は、船員が適当と認める法的手段を通じて是正を求める権利を害するものではない。

- (f) following an inspection, to bring immediately to the attention of the shipowner, the operator of the ship or the master, deficiencies which may affect the health and safety of those on board ship;
- (g) to alert the competent authority and, if applicable, the recognized organization to any deficiency or abuse not specifically covered by existing laws or regulations and submit proposals to them for the improvement of the laws or regulations; and
- (h) to notify the competent authority of any occupational injuries or diseases affecting seafarers in such cases and in such manner as may be prescribed by laws and regulations.
9. When a sample referred to in paragraph 8(e) of this Guideline is being taken or removed, the shipowner or the shipowner's representative, and where appropriate a seafarer, should be notified or should be present at the time the sample is taken or removed. The quantity of such a sample should be properly recorded by the inspector.
10. The annual report published by the competent authority of each Member, in respect of ships that fly its flag, should contain:
- (a) a list of laws and regulations in force relevant to seafarers' working conditions and any amendments which have come into effect during the year;
  - (b) details of the organization of the system of inspection;
  - (c) statistics of ships or other premises subject to inspection and of ships and other premises actually inspected;
  - (d) statistics on all seafarers subject to its national laws and regulations;
  - (e) statistics and information on violations of legislation, penalties imposed and cases of detention of ships; and
  - (f) statistics on reported occupational injuries and diseases affecting seafarers.

#### Regulation 5.1.5 – On-board complaint procedures

1. Each Member shall require that ships that fly its flag have on-board procedures for the fair, effective and expeditious handling of seafarer complaints alleging breaches of the requirements of this Convention (including seafarers' rights).
2. Each Member shall prohibit and penalize any kind of victimization of a seafarer for filing a complaint.
3. The provisions in this Regulation and related sections of the Code are without prejudice to a seafarer's right to seek redress through whatever legal means the seafarer considers appropriate.

A 5.1.5 基準 船舶内における苦情に関する手続

1 船舶内における手続は、国内法令又は団体交渉の合意によりその対象に一層広範な事項を含めることを妨げることなく、この条約上の義務の違反（船員の権利の侵害を含む。）に当たると疑いのある事項に関する苦情の申立てを行うために船員が利用することができる。

2 加盟国は、第 1.1 規則に定める義務を履行するため、その国内法令により適当な船舶内における苦情に関する手続を設けることを確保する。当該手続は、可能な限り低い職業上の地位の段階において苦情を解決することを追求するものとする。ただし、船員は、いかなる場合においても、船長及び、必要と認めるときは、適当な外部の機関に対して直接に苦情の申立てを行う権利を有する。

3 船舶内における苦情に関する手続には、船員が当該手続の間、補佐人又は代理人を立てる権利及び苦情を申し立てた船員に対する迫害の可能性からの保護を含む。「迫害」とは、明白な濫用又は悪意によるものでない苦情を申し立てた船員についていずれかの者がとる行為であって、当該船員に不利益となる全てのものをいう。

4 全ての船員は、船員の雇用契約の写しに加えて、船舶内において適用可能な苦情に関する手続の写しを提供される。この写しには、旗国の権限のある機関及び船員の居住国が旗国と異なる場合にはその居住国の権限のある機関の連絡先並びに船員が当該手続を利用するに当たり、当該船員に対しその苦情について内密に公平な助言を与え、及びその他の方法により支援することができる乗船者の氏名を含む。

B 5.1.1 指針 船舶内における苦情に関する手続

1 権限のある機関は、適用可能な団体交渉の合意の関連規定に従うべき条件として、船舶所有者団体及び船員団体と緊密な協議の上、自国を旗国とする全ての船舶のため、船舶内における苦情処理の手続であって、公正な、迅速な、かつ、文書による十分な裏付けに基づくもののひな形を作成すべきである。当該手続を作成するに当たっては、次のことを考慮すべきである。

(a) 多くの苦情が、苦情の申立てを受理すべき者又は船長にさえも特に関係する可能性があること。船員は、いかなる場合においても、船長に対して直接及び外部に対しても苦情の申立てを行うことができるべきであること。

(b) 当該手続は、この条約に規定する事項について苦情を申し立てる船員に対する迫害の問題の回避に資するため、当該船員が利用することができる手続について助言することができる乗船者であって、当該船員の要請がある場合には当該苦情の対象である事項に関する会合又は聴取に出席することのできるものを指名することを奨励すべきであること。

Standard A5.1.5 – On-board complaint procedures

1. Without prejudice to any wider scope that may be given in national laws or regulations or collective agreements, the on-board procedures may be used by seafarers to lodge complaints relating to any matter that is alleged to constitute a breach of the requirements of this Convention (including seafarers' rights).

2. Each Member shall ensure that, in its laws or regulations, appropriate on board complaint procedures are in place to meet the requirements of Regulation 5.1.5. Such procedures shall seek to resolve complaints at the lowest level possible. However, in all cases, seafarers shall have a right to complain directly to the master and, where they consider it necessary, to appropriate external authorities.

3. The on-board complaint procedures shall include the right of the seafarer to be accompanied or represented during the complaints procedure, as well as safeguards against the possibility of victimization of seafarers for filing complaints. The term "victimization" covers any adverse action taken by any person with respect to a seafarer for lodging a complaint which is not manifestly vexatious or maliciously made.

4. In addition to a copy of their seafarers' employment agreement, all seafarers shall be provided with a copy of the on-board complaint procedures applicable on the ship. This shall include contact information for the competent authority in the flag State and, where different, in the seafarers' country of residence, and the name of a person or persons on board the ship who can, on a confidential basis, provide seafarers with impartial advice on their complaint and otherwise assist them in following the complaint procedures available to them on board the ship.

Guideline B5.1.5 – On-board complaint procedures

1. Subject to any relevant provisions of an applicable collective agreement, the competent authority should, in close consultation with shipowners' and seafarers' organizations, develop a model for fair, expeditious and well-documented on-board complaint-handling procedures for all ships that fly the Member's flag. In developing these procedures the following matters should be considered:

(a) many complaints may relate specifically to those individuals to whom the complaint is to be made or even to the master of the ship. In all cases seafarers should also be able to complain directly to the master and to make a complaint externally; and

(b) in order to help avoid problems of victimization of seafarers making complaints about matters under this Convention, the procedures should encourage the nomination of a person on board who can advise seafarers on the procedures available to them and, if requested by the complainant seafarer, also attend any meetings or hearings into the subject matter of the complaint.

- 2 1に規定する協議の過程において討議される手続には、少なくとも次のことを含めるべきである。
- (a) 苦情の申立ては、苦情を提出する船員の所属する部の長又は当該船員の上司に対して行うべきであること。
  - (b) (a)に規定する船員の所属する部の長又は上司は、関係する問題の重大性に応じた所定の期間内に苦情を解決するよう努めるべきであること。
  - (c) (a)に規定する船員の所属する部の長又は上司が当該船員の満足するように苦情を解決することができない場合には、当該船員は、当該苦情を船長に付託することになること。当該船長は、当該苦情を自ら直接取り扱うべきであること。
  - (d) (a)に規定する船員は、いつでも、当該船員が乗船している船舶に乗船している他の船員であつて自らが選択するものを補佐人又は代理人として立てる権利を有すべきであること。
  - (e) 全ての苦情及びそれらについての決定は、記録すべきであり、また、その記録の写しを関係する船員に提供すべきであること。
  - (f) 船舶において苦情を解決することができない場合には、当該苦情は、陸上の船舶所有者に付託すべきであること。当該船舶所有者は、必要に応じ関係する船員又はその代理として当該船員が指名する者と協議の上当該苦情を解決するため、適当な期限を与えられるべきであること。
  - (g) いかなる場合においても、船員は、船長、船舶所有者及び権限のある機関に対して直接苦情を申し立てる権利を有すべきであること。
- 第1.規則 海難
- 5.1.6 1 加盟国は、負傷又は死亡をもたらした重大な海難であつて自国を旗国とする船舶に係るものについて公式的調査を行う。調査の最終報告は、原則として、公表する。
- 2 加盟国は、1に規定する重大な海難に関する調査を円滑にするために相互に協力する。
- A 5.1.基準 海難  
5.1.6 (規定なし)
- B 5.1.指針 海難  
5.1.6 (規定なし)

2. At a minimum the procedures discussed during the consultative process referred to in paragraph 1 of this Guideline should include the following:
- (a) complaints should be addressed to the head of the department of the seafarer lodging the complaint or to the seafarer's superior officer;

- (b) the head of department or superior officer should then attempt to resolve the matter within prescribed time limits appropriate to the seriousness of the issues involved;
- (c) if the head of department or superior officer cannot resolve the complaint to the satisfaction of the seafarer, the latter may refer it to the master, who should handle the matter personally;

- (d) seafarers should at all times have the right to be accompanied and to be represented by another seafarer of their choice on board the ship concerned;

- (e) all complaints and the decisions on them should be recorded and a copy provided to the seafarer concerned;

- (f) if a complaint cannot be resolved on board, the matter should be referred ashore to the shipowner, who should be given an appropriate time limit for resolving the matter, where appropriate, in consultation with the seafarers concerned or any person they may appoint as their representative; and

- (g) in all cases seafarers should have a right to file their complaints directly with the master and the shipowner and competent authorities.

**Regulation 5.1.6 – Marine casualties**

1. Each Member shall hold an official inquiry into any serious marine casualty, leading to injury or loss of life, that involves a ship that flies its flag. The final report of an inquiry shall normally be made public.

2. Members shall cooperate with each other to facilitate the investigation of serious marine casualties referred to in paragraph 1 of this Regulation.

**Standard A5.1.6 – Marine casualties**

(No provisions)

**Guideline B5.1.6 – Marine casualties**

(No provisions)

第5.2規則 寄港国の責任

目的 外国船舶におけるこの条約の基準の実施及び執行についての国際協力に関し、加盟国がこの条約に基づく自国の責任を果たすことができるようにする<sup>1</sup>。

第5.2規則 港における検査

- 1 予定の航路に従い又は運輸上の理由により加盟国の港に寄港する全ての外国船舶は、船舶内における船員の労働条件及び生活条件に関するこの条約上の義務（船員の権利の保障を含む。）の遵守状況を検討するため、第五条4の規定に基づく検査の対象となることがある。
- 2 加盟国は、第1.規則に基づき要求される海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書を、この条約上の義務（船員の権利の保障を含む。）が遵守されているものと推定する証拠として認容する。したがって、加盟国の港における検査は、規範に定める場合を除くほか、当該海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書の審査に限る。

3 港における検査は、規範の規定及び加盟国における寄港国による監督のための検査を規律する他の適用可能な国際的な取決めに従い、権限のある職員が行う。この検査は、検査される事項がこの条約の本文及び規則並びに規範A部に規定する要件に適合している<sup>2</sup>ことを確認に限る。

4 この規則に従って行う検査は、関係する加盟国の港に入港する船舶における船員の労働条件及び生活条件がこの条約上の義務（船員の権利の保障を含む。）に従ったものであることを確保することに寄与するための実効的な寄港国による検査及び監視のための制度に立脚したものとす。

5 4に規定する制度（当該制度の実効性を評価するために用いる方法を含む。）に関する情報は、国際労働機関憲章第二十一条の規定に基づく加盟国の報告に含まれる。

A 5.2.1 基準 港における検査

- 1 検査を行うために乗船し、並びに必要な場合において海上労働証書及び海上労働遵守措置認定書の提示を要求した権限のある職員が次のことを認める場合には、船舶における労働条件及び生活条件を確認するために一層詳細な検査を行うことができる。
- (a) 要求された文書が作成されず、維持されておらず、若しくは偽って維持されていること又は作成された当該文書がこの条約によって要求される情報を含まず、若しくは他の理由により無効であること。

Regulation 5.2 – Port State responsibilities

*Purpose: To enable each Member to implement its responsibilities under this Convention regarding international cooperation in the implementation and enforcement of the Convention standards on foreign ships*

Regulation 5.2.1 – Inspections in port

1. Every foreign ship calling, in the normal course of its business or for operational reasons, in the port of a Member may be the subject of inspection in accordance with paragraph 4 of Article V for the purpose of reviewing compliance with the requirements of this Convention (including seafarers' rights) relating to the working and living conditions of seafarers on the ship.
2. Each Member shall accept the maritime labour certificate and the declaration of maritime labour compliance required under Regulation 5.1.3 as prima facie evidence of compliance with the requirements of this Convention (including seafarers' rights). Accordingly, the inspection in its ports shall, except in the circumstances specified in the Code, be limited to a review of the certificate and declaration.

3. Inspections in a port shall be carried out by authorized officers in accordance with the provisions of the Code and other applicable international arrangements governing port State control inspections in the Member. Any such inspection shall be limited to verifying that the matter inspected is in conformity with the relevant requirements set out in the Articles and Regulations of this Convention and in Part A only of the Code.

4. Inspections that may be carried out in accordance with this Regulation shall be based on an effective port State inspection and monitoring system to help ensure that the working and living conditions for seafarers on ships entering a port of the Member concerned meet the requirements of this Convention (including seafarers' rights).

5. Information about the system referred to in paragraph 4 of this Regulation, including the method used for assessing its effectiveness, shall be included in the Member's reports pursuant to article 22 of the Constitution.

Standard A5.2.1 – Inspections in port

1. Where an authorized officer, having come on board to carry out an inspection and requested, where applicable, the maritime labour certificate and the declaration of maritime labour compliance, finds that:
- (a) the required documents are not produced or maintained or are falsely maintained or that the documents produced do not contain the information required by this Convention or are otherwise invalid; or



- (b) 船舶における労働条件及び生活条件がこの条約上の義務に従ったものでないと思するに足りる明白な理由があること。
  - (c) 船舶がこの条約の遵守を回避する目的で旗を変更したと思するに足りる合理的な理由があること。
  - (d) 船舶における特定の労働条件又は生活条件がこの条約上の義務に従ったものでないことを申し立てる苦情があること。
- この検査は、不備があると認められ、若しくは申し立てられた労働条件若しくは生活条件が船員の安全・健康若しくは保安に対して明白な危険をもたらし得るとき又はいずれかの不備がこの条約上の義務の重大な違反（船員の権利の重大な侵害を含む。）に当たると信するに足りる理由があると権限のある職員が認めるときは、いかなる場合にも行う。
- 2 1 (a) から (c) までに規定する状況において、加盟国の港内の外国船舶において権限のある職員が一層詳細な検査を行う場合には、当該検査は、原則として、付録 A 五・III に掲げる事項を対象とする。
  - 3 1 (d) に規定する苦情の場合には、検査は、原則として、当該苦情の範囲内の事項に限る。もともと当該苦情又はその調査により、1 (b) の規定に基づく詳細な検査のための明白な理由が提供されることもあり得る。1 (d) の規定の適用上、「苦情」とは、船員、職業団体、協会、労働組合その他一般に船舶の安全について利害関係（船舶内における船員の安全又は健康に対する危険についての利害関係を含む。）を有する者から提供された情報をいう。
  - 4 一層詳細な検査の後、船舶における労働条件及び生活条件がこの条約上の義務に従ったものでないと思められる場合には、権限のある職員は、直ちに当該検査で認められた不備につき、その是正をすべき期限を付して当該船舶の船長の注意を喚起する。権限のある職員が当該不備を重大であると認めるとき又は当該不備が 3 の規定に基づいて申し立てられた苦情に関係するときは、当該権限のある職員は、当該不備につき、当該検査が行われた加盟国の適当な船員団体及び船舶所有者団体の注意を喚起するものとし、並びに次のことを行うことができる。
    - (a) 旗国の代表者に通報すること。
    - (b) 関連する情報を次の寄港地の権限のある機関に提供する<sup>1)</sup>。
  - 5 検査が行われた加盟国は、検査に関する情報の記録が維持されること及び関連する訴えの手続の利用に関心を有し得る者の注意を喚起することを確保するために適当かつ有益と認められる措置がとられることを目的として、検査を行った権限のある職員の報告の写し（この写しには、旗国の権限のある機関から所

- (b) there are clear grounds for believing that the working and living conditions on the ship do not conform to the requirements of this Convention; or
  - (c) there are reasonable grounds to believe that the ship has changed flag for the purpose of avoiding compliance with this Convention; or
  - (d) there is a complaint alleging that specific working and living conditions on the ship do not conform to the requirements of this Convention.
- a more detailed inspection may be carried out to ascertain the working and living conditions on board the ship. Such inspection shall in any case be carried out where the working and living conditions believed or alleged to be defective could constitute a clear hazard to the safety, health or security of seafarers or where the authorized officer has grounds to believe that any deficiencies constitute a serious breach of the requirements of this Convention (including seafarers' rights).
2. Where a more detailed inspection is carried out on a foreign ship in the port of a Member by authorized officers in the circumstances set out in subparagraph (a), (b) or (c) of paragraph 1 of this Standard, it shall in principle cover the matters listed in Appendix A5-III.
  3. In the case of a complaint under paragraph 1(d) of this Standard, the inspection shall generally be limited to matters within the scope of the complaint, although a complaint, or its investigation, may provide clear grounds for a detailed inspection in accordance with paragraph 1(b) of this Standard. For the purpose of paragraph 1(d) of this Standard, "complaint" means information submitted by a seafarer, a professional body, an association, a trade union or, generally, any person with an interest in the safety of the ship, including an interest in safety or health hazards to seafarers on board.
  4. Where, following a more detailed inspection, the working and living conditions on the ship are found not to conform to the requirements of this Convention, the authorized officer shall forthwith bring the deficiencies to the attention of the master of the ship, with required deadlines for their rectification. In the event that such deficiencies are considered by the authorized officer to be significant, or if they relate to a complaint made in accordance with paragraph 3 of this Standard, the authorized officer shall bring the deficiencies to the attention of the appropriate seafarers' and ship-owners' organizations in the Member in which the inspection is carried out, and may:
    - (a) notify a representative of the flag State;
    - (b) provide the competent authorities of the next port of call with the relevant information.
  5. The Member in which the inspection is carried out shall have the right to transmit a copy of the officer's report, which must be accompanied by any reply received from the competent authorities of the flag State within the prescribed deadline, to the Director-General of the International Labour Office with a view to such action as may be considered appropriate and expedient in order to ensure that a record is

定の期間内に回答を受領した場合には、当該回答を添付しなければならない。）を国際労働事務局長に送付する権利を有する。

6 権限のある職員による一層詳細な検査の後、船舶がこの条約上の義務を履行していないと認められる場合において、次の(a)又は(b)に規定するときは、当該権限のある職員は、(a)若しくは(b)の規定に該当する不履行が是正されるまで、又は当該不履行を是正するための行動計画を受理し、当該行動計画が迅速に実施されるであろうことを確認するまで、当該船舶が出航しないことを確保するための措置をとる。

(a) 船舶内の諸条件が船員の安全、健康又は保安に対する明白な危険をもたらしているとき。

(b) その不履行がこの条約上の義務の重大な又は繰り返し返される違反（船員の権利の重大な又は繰り返し返される侵害を含む。）に当たるとき。

当該権限のある職員は、当該船舶を出航させない場合には、直ちにその旨を旗国に通報し、可能な場合には当該旗国の代表者が立ち会うよう招請して、当該旗国が所定の期間内に回答するよう要請する。当該権限のある職員は、当該検査が行われた寄港国の適当な船舶所有者団体及び船員団体に對しても直ちに通知する。

7 加盟国は、6の規定に基づいて船舶を抑留することが正当と認められる場合の類型について、自国の権限のある職員が規範B部に示すような指針を与えられることを確保する。

8 加盟国は、この基準に基づく自国の責任を果たす場合には、船舶を不当に抑留し、又はその出航を不当に遅延させることのないようにあらゆる可能な努力を払う。船舶が不当に抑留され、又はその出航を不当に遅延させられたことが認められる場合には、被った損失及び損害に對し賠償が支払われる。個々の事案についての立証責任は、申立てを行った者にあるものとする。

B.2.指針 港における検査

1 権限のある機関は、第5.2.規則の規定に基づき検査を行う権限のある職員のために検査の方針を作成すべきである。当該方針は、この条約上の義務（船員の権利の保障を含む。）に関する検査及び執行に係る活動について、一貫性を確保し、及び他の方法により指導することを目的とすべきである。当該方針の写しは、全ての権限のある職員に提供すべきであり、また、公衆並びに船舶所有者及び船員が利用することができるようにすべきである。

kept of such information and that it is brought to the attention of parties which might be interested in availing themselves of relevant recourse procedures.

6. Where, following a more detailed inspection by an authorized officer, the ship is found not to conform to the requirements of this Convention and:

(a) the conditions on board are clearly hazardous to the safety, health or security of seafarers; or  
(b) the non-conformity constitutes a serious or repeated breach of the requirements of this Convention (including seafarers' rights);

the authorized officer shall take steps to ensure that the ship shall not proceed to sea until any non-conformities that fall within the scope of subparagraph (a) or (b) of this paragraph have been rectified, or until the authorized officer has accepted a plan of action to rectify such non-conformities and is satisfied that the plan will be implemented in an expeditious manner. If the ship is prevented from sailing, the authorized officer shall forthwith notify the flag State accordingly and invite a representative of the flag State to be present, if possible, requesting the flag State to reply within a prescribed deadline. The authorized officer shall also inform forthwith the appropriate shipowners' and seafarers' organizations in the port State in which the inspection was carried out.

7. Each Member shall ensure that its authorized officers are given guidance, of the kind indicated in Part B of the Code, as to the kinds of circumstances justifying detention of a ship under paragraph 6 of this Standard.

8. When implementing their responsibilities under this Standard, each Member shall make all possible efforts to avoid a ship being unduly detained or delayed. If a ship is found to be unduly detained or delayed, compensation shall be paid for any loss or damage suffered. The burden of proof in each case shall be on the complainant.

Guideline B5.2.1 – Inspections in port

1. The competent authority should develop an inspection policy for authorized officers carrying out inspections under Regulation 5.2.1. The objective of the policy should be to ensure consistency and to otherwise guide inspection and enforcement activities related to the requirements of this Convention (including seafarers' rights). Copies of this policy should be provided to all authorized officers and should be available to the public and shipowners and seafarers.

2 A.2.基準6の規定に基づき船舶の抑留が正当と認められる場合に関する方針を作成するときは、権限のある機関は、A.2.基準6(b)に規定する違反に関し、その重大性が関係する不備の性質によるものであり得ることを考慮すべきである。この点は、第三条及び第四条の規定に基づく基本的な権利及び原則又は船舶の雇用及び社会的権利の侵害の場合においては、特に重要となる。例えば、最低年齢に達していない者の雇用は、そのような乗船者が一人のみのときであっても、重大な違反とみなすべきである。その他の場合においては、特定の検査中に認められた種々の不備の数を考慮に入れるべきである。例えば、居住設備又は食料及び料理の提供に係る不備であつて安全又は健康を脅かさないものに関しては、重大な違反に当たるとみなされる前提として、当該不備の複数の事例の存在が必要とされることがある。

3 加盟国は、検査に係る方針に関する国際的に合意される指針（特に、船舶の抑留が正当と認められる場合に関する指針）を採択するため、可能な限り相互に協力すべきである。

## 第2.規則 陸上における船員の苦情の取扱いに係る手続

1 加盟国は、自国の領域内の港に寄港する船舶の船員であつて、この条約上の義務の違反（船員の権利の侵害を含む。）を主張するものについて、迅速かつ実際的な救済の方法を促進するため、当該違反についての苦情を報告する権利を有することを確保する。

## A.2.基準 陸上における船員の苦情の取扱いに係る手続

1 この条約上の義務の違反（船員の権利の侵害を含む。）を主張する船員は、その苦情を当該船員が乗り組む船舶が寄港した港における権限のある職員に報告するべきである。このような場合には、当該権限のある職員は、予備的な調査を行う。

2 予備的な調査は、適当な場合には、苦情の性質に鑑み、第5.1.規則に規定する船舶内における苦情に関する手続が用いられたか否かについての検討を含む。権限のある職員は、A.2.基準の規定に従つて一層詳細な検査を行うこともできる。

3 権限のある職員は、適当な場合には、船舶内の段階で苦情を解決することを促進するよう努める。

4 この基準に規定する調査又は検査により、A.2.基準6の規定に該当する不履行が明らかにされた場合には、同規定を適用する。

5 4の規定が適用されず、かつ、船舶内の段階で苦情が解決されない場合には、権限のある職員は、直ちに旗国に通報し、所定の期間内に助言及び是正のための行動計画を提示するよう求める。

2. When developing a policy relating to the circumstances warranting a detention of the ship under Standard A5.2.1, paragraph 6, of the competent authority should consider that, with respect to the breaches referred to in Standard A5.2.1, paragraph 6(b), the seriousness could be due to the nature of the deficiency concerned. This would be particularly relevant in the case of the violation of fundamental rights and principles of seafarers' employment and social rights under Articles III and IV. For example, the employment of a person who is under age should be considered as a serious breach even if there is only one such person on board. In other cases, the number of different defects found during a particular inspection should be taken into account; for example, several instances of defects relating to accommodation or food and catering which do not threaten safety or health might be needed before they should be considered as constituting a serious breach.

3. Members should cooperate with each other to the maximum extent possible in the adoption of internationally agreed guidelines on inspection policies, especially those relating to the circumstances warranting the detention of a ship.

## Regulation 5.2.2 – Onshore seafarer complaint-handling procedures

1. Each Member shall ensure that seafarers on ships calling at a port in the Member's territory who allege a breach of the requirements of this Convention (including seafarers' rights) have the right to report such a complaint in order to facilitate a prompt and practical means of redress.

## Standard A5.2.2 – Onshore seafarer complaint-handling procedures

1. A complaint by a seafarer alleging a breach of the requirements of this Convention (including seafarers' rights) may be reported to an authorized officer in the port at which the seafarer's ship has called. In such cases, the authorized officer shall undertake an initial investigation.

2. Where appropriate, given the nature of the complaint, the initial investigation shall include consideration of whether the on-board complaint procedures provided under Regulation 5.1.5 have been explored. The authorized officer may also conduct a more detailed inspection in accordance with Standard A5.2.1.

3. The authorized officer shall, where appropriate, seek to promote a resolution of the complaint at the ship-board level.

4. In the event that the investigation or the inspection provided under this Standard reveals a non-conformity that falls within the scope of paragraph 6 of Standard A5.2.1, the provisions of that paragraph shall be applied.

5. Where the provisions of paragraph 4 of this Standard do not apply, and the complaint has not been resolved at the ship-board level, the authorized officer shall forthwith notify the flag State, seeking, within a prescribed deadline, advice and a cor-

6 5の規定に従ってとられた措置の後、苦情が解決されない場合には、寄港国は、権限のある職員による報告の写しを国際労働事務局長に送付する。当該報告は、旗国の権限のある機関から所定の期間内に回答を受領した場合には、当該回答を添付しなければならない。寄港国における適当な船舶所有者団体及び船員団体には、同様に通知する。さらに、寄港国は、解決された苦情に関する統計及び情報を定期的に国際労働事務局長に提出する。これらの送付及び提出は、適当かつ有益であると認められる措置に基づき、そのような情報の記録が維持されること及び関連する訴えの手続の利用に関心を有し得る者（船舶所有者団体及び船員団体を含む。）の注意を喚起することを目的として行う。

7 船員の苦情に関する秘密を保護するため、適当な措置がとられなければならない。

B 2. 2 指針 陸上における船員の苦情の取扱いに係る手続

1 A 2.2基準に規定する苦情を権限のある職員が取り扱う場合には、当該権限のある職員は、当該苦情が船舶内の全ての船員若しくは一部の職種に属する船員に係る一般的な性質を有するものであるか又は関係する船員の個別の事案のみに関連するものであるかについて、最初に確認すべきである。

2 苦情が一般的な性質を有するものである場合には、A 2.2基準の規定に基づいて一層詳細な検査を行うことを考慮すべきである。

3 苦情が個別の事案に関連するものである場合には、当該苦情を解決するための船舶内における苦情に関する手続の結果について審査を行うべきである。当該手続が用いられていない場合には、権限のある職員は、申立てを行った者が当該手続を利用することを勧奨すべきである。船舶内における苦情に関する手続が用いられる前に苦情を検討することについては、十分な理由があるべきである。当該十分な理由には、船舶内の手続が適切でなく、若しくは不当に遅延していること又は申立てを行った者が苦情の提出に関する報復を恐れていることが含まれる。

4 苦情に関する調査において、権限のある職員は、船長、船舶所有者その他当該苦情に関与する者に対して、自己の意見を明らかにする適当な機会を与えるべきである。

5 旗国がA 2.2基準5の規定に基づく寄港国からの通報に応じて、当該旗国が苦情を取り扱うこと及びその他の効果的な手続を有し、かつ、受け入れられる行動計画を提示したことを証明する場合には、権限のある職員は、当該苦情についての更なる関与を差し控えることができる。

rective plan of action.

6. Where the complaint has not been resolved following action taken in accordance with paragraph 5 of this Standard, the port State shall transmit a copy of the authorized officer's report to the Director-General. The report must be accompanied by any reply received within the prescribed deadline from the competent authority of the flag State. The appropriate shipowners' and seafarers' organizations in the port State shall be similarly informed. In addition, statistics and information regarding complaints that have been resolved shall be regularly submitted by the port State to the Director-General. Both such submissions are provided in order that, on the basis of such action as may be considered appropriate and expedient, a record is kept of such information and is brought to the attention of parties, including shipowners' and seafarers' organizations, which might be interested in availing themselves of relevant recourse procedures.

7. Appropriate steps shall be taken to safeguard the confidentiality of complaints made by seafarers.

Guideline B5.2.2 – Onshore seafarer complaint-handling procedures

1. Where a complaint referred to in Standard A5.2.2 is dealt with by an authorized officer, the officer should first check whether the complaint is of a general nature which concerns all seafarers on the ship, or a category of them, or whether it relates only to the individual case of the seafarer concerned.

2. If the complaint is of a general nature, consideration should be given to undertaking a more detailed inspection in accordance with Standard A5.2.1.

3. If the complaint relates to an individual case, an examination of the results of any on-board complaint procedures for the resolution of the complaint concerned should be undertaken. If such procedures have not been explored, the authorized officer should suggest that the complainant take advantage of any such procedures available. There should be good reasons for considering a complaint before any on-board complaint procedures have been explored. These would include the inadequacy of, or undue delay in, the internal procedures or the complainant's fear of reprisal for lodging a complaint.

4. In any investigation of a complaint, the authorized officer should give the master, the shipowner and any other person involved in the complaint a proper opportunity to make known their views.

5. In the event that the flag State demonstrates, in response to the notification by the port State in accordance with paragraph 5 of Standard A5.2.2, that it will handle the matter, and that it has in place effective procedures for this purpose and has submitted an acceptable plan of action, the authorized officer may refrain from any further involvement with the complaint.



労働力の  
供給に関  
する責任

## 第5.3規則 労働力の供給に関する責任

目的 加盟国がこの条約に基づく自国の責任であつて、船員の募集及び職業紹介並びに自国の船員の社会的

な保護に関するものを果たすことを確保すること。

1 自国を旗国とする船舶における船員の労働条件及び生活条件についての加盟国の責任の原則を害することなく、加盟国は、この条約に規定する限りにおいて、自国の国籍を有し、又は自国の領域内に居住し、若しくは住所を有する船員について、船員の募集及び職業紹介並びに社会保障による保護に関するこの条約上の義務の履行を確保する責任を負う。

2 1の規定の実施に関する詳細な要件は、規範に定める。

3 加盟国は、この条約に基づく自国の労働力の供給に関する責任を果たすための実効的な検査及び監視のための制度を構築する。

4 3に規定する制度（当該制度の実効性を評価するために用いる方法を含む。）に関する情報は、国際労働機関憲章第二十二条の規定に基づく加盟国の報告に含める。

## A 5.3 基準 労働力の供給に関する責任

1 加盟国は、検査及び監視のための制度並びにA 1.4基準に定める免許その他運営に係る要件についての違反に対する法的手続を通じ、自国の領域に設けられた船員の募集及び職業紹介のための機関の運営及び活動について適用されるこの条約上の義務を履行する。

## B 5.3 指針 労働力の供給に関する責任

1 加盟国の領域に設けられた民間の船員の募集及び職業紹介のための機関であつて、船舶所有者に対して船員による役務の提供を確保するものは、その所在地のいかなを問わず、船舶所有者が船員との間で締結する雇用契約の条件を当該船舶所有者が適正に履行することを確認する義務を負うことを要求されるべきである。

## Regulation 5.3 – Labour-supplying responsibilities

*Purpose: To ensure that each Member implements its responsibilities under this Convention as pertaining to seafarer recruitment and placement and the social protection of its seafarers*

1. Without prejudice to the principle of each Member's responsibility for the working and living conditions of seafarers on ships that fly its flag, the Member also has a responsibility to ensure the implementation of the requirements of this Convention regarding the recruitment and placement of seafarers as well as the social security protection of seafarers that are its nationals or are resident or are otherwise domiciled in its territory, to the extent that such responsibility is provided for in this Convention.

2. Detailed requirements for the implementation of paragraph 1 of this Regulation are found in the Code.

3. Each Member shall establish an effective inspection and monitoring system for enforcing its labour-supplying responsibilities under this Convention.

4. Information about the system referred to in paragraph 3 of this Regulation, including the method used for assessing its effectiveness, shall be included in the Member's reports pursuant to article 22 of the Constitution.

## Standard A5.3 – Labour-supplying responsibilities

1. Each Member shall enforce the requirements of this Convention applicable to the operation and practice of seafarer recruitment and placement services established on its territory through a system of inspection and monitoring and legal proceedings for breaches of licensing and other operational requirements provided for in Standard A1.4.

## Guideline B5.3 – Labour-supplying responsibilities

1. Private seafarer recruitment and placement services established in the Member's territory and securing the services of a seafarer for a shipowner, wherever located, should be required to assume obligations to ensure the proper fulfilment by shipowners of the terms of their employment agreements concluded with seafarers.



A 5.1.3 基準 1 の規定に従って船舶に証書を発給する前に旗国が検査し、及び承認しなければならない船員の労働条件及び生活条件は、次に掲げるものとする。

- 最低年齢
- 健康証明書
- 船員の資格
- 船員の雇用契約
- 免許を与えられ、資格証明を受け、又は規制された民間の船員の募集及び職業紹介のための機関の利用
- 労働時間及び休息時間
- 船舶の配乗の水準
- 居住設備
- 船舶におけるレクリエーション用の設備
- 食料及び料理の提供
- 健康及び安全並びに災害の防止
- 船舶における医療
- 船舶内における苦情に関する手続
- 賃金の支払

The working and living conditions of seafarers that must be inspected and approved by the flag State before certifying a ship in accordance with Standard A5.1.3, paragraph 1:

- Minimum age
- Medical certification
- Qualifications of seafarers
- Seafarers' employment agreements
- Use of any licensed or certified or regulated private recruitment and placement service
- Hours of work or rest
- Manning levels for the ship
- Accommodation
- On-board recreational facilities
- Food and catering
- Health and safety and accident prevention
- On-board medical care
- On-board complaint procedures
- Payment of wages

海上労働条約

付録 A 五  
II

付録 A 五 – II

海上労働証書

(注 海上労働遵守措置認定書を添付する。)

2 0 0 6 年の海上の労働に関する条約 (以下「条約」という。) 第 5 条及び第 5 章の規定に基づき、

政府の権限の下に、

(船舶の旗国の正式名称)

(権限のある機関又は条約に基づいて正当に権限を与えられた認定された団体の正式名称及び住所)

が発給する。

船名

船舶の要目

船舶番号又は信号符字

船籍港

登録日

総トン数 (注 1)

国際海事機関船舶識別番号

船舶の種類

船舶所有者の氏名又は名称及び住所 (注 2)

この証書は、次のことを証明する。

- 1 この船舶が条約上の義務及び添付された海上労働遵守措置認定書に掲げる規定を遵守していることを検査し、及び確認したこと。
- 2 条約付録 A 5 – I に掲げる船員の労働条件及び生活条件が条約を実施するための上記の国の国内的な要件に合致することが認められたこと。これらの国内的な要件については、海上労働遵守措置認定書第 1 部にその要約が記載されている。

五五四

APPENDIX A5-II

Maritime Labour Certificate

(Note: This Certificate shall have a Declaration of Maritime Labour Compliance attached)

Issued under the provisions of Article V and Title 5 of the  
Maritime Labour Convention, 2006  
(referred to below as “the Convention”)  
under the authority of the Government of:

(full designation of the State whose flag the ship is entitled to fly)

by .....  
(full designation and address of the competent authority or recognized organization  
duly authorized under the provisions of the Convention)

Particulars of the ship

Name of ship .....

Distinctive number or letters .....

Port of registry .....

Date of registry .....

Gross tonnage<sup>1</sup> .....

IMO number .....

Type of ship .....

Name and address of the shipowner<sup>2</sup> .....

.....  
This is to certify:

1. That this ship has been inspected and verified to be in compliance with the requirements of the Convention, and the provisions of the attached Declaration of Maritime Labour Compliance.
2. That the seafarers' working and living conditions specified in Appendix A5-I of the Convention were found to correspond to the abovementioned country's national requirements implementing the Convention. These national requirements are summarized in the Declaration of Maritime Labour Compliance, Part I.

この証書は、条約A5.1.3基準及びA5.1.4基準の規定に基づく検査が行われることを条件として、  
.....まで効力を有する。

この証書は、.....において.....に発給された海上労働遵守措置認定書が添付  
されている場合にのみ効力を有する。

この証書の基礎となる検査の完了の日は、.....である。  
.....において.....に発給した。

証書の発給について正当に権限を与えられた職員の名  
.....(必要に応じて、証書を発給する当局の印章)

義務的な中間検査及び必要な場合における追加の検査に係る裏書

この裏書は、この船舶について条約A5.1.3基準及びA5.1.4基準の規定に基づく検査が行われたこと並びに  
条約付録A5-1に掲げる船員の労働条件及び生活条件が条約を実施するための上記の国の国内的な要件に  
合致することが認められたことを証明する。

中間検査	署名 .....	署名 (権限を与えられた職員の名)
(2回目の検査基準日と3回目の		
検査基準日との間に完了すること。)	場所 .....	
	日 .....	
	(必要に応じて、証書を発給する当局の印章)	

追加の裏書 (必要な場合)

この裏書は、この船舶が、条約A3.1基準3の規定 (再登録又は居住設備の実質的な変更) が要求するとこ  
ろに従い又は他の理由により、条約を実施するための国内的な要件を継続的に遵守していることを確認する  
ために追加の検査を受けたことを証明する。

This Certificate is valid until ..... subject to inspections in accordance with  
Standards A5.1.3 and A5.1.4 of the Convention.

This Certificate is valid only when the Declaration of Maritime Labour Compliance issued

at ..... on ..... is attached.

Completion date of the inspection on which this Certificate is based was .....

Issued at ..... on .....

Signature of the duly authorized official issuing the Certificate  
(Seal or stamp of issuing authority, as appropriate)

Endorsements for mandatory intermediate inspection and, if required,  
any additional inspection

This is to certify that the ship was inspected in accordance with Standards A5.1.3 and  
A5.1.4 of the Convention and that the seafarers' working and living conditions specified in  
Appendix A5-1 of the Convention were found to correspond to the abovementioned country's  
national requirements implementing the Convention.

Intermediate inspection:	Signed .....	Signed
(to be completed between the second	(Signature of authorized official)	
and third anniversary	.....	
dates)	Place .....	
	Date .....	
	(Seal or stamp of the authority, as appropriate)	

Additional endorsements (if required)

This is to certify that the ship was the subject of an additional inspection for the purpose  
of verifying that the ship continued to be in compliance with the national requirements im-  
plementing the Convention, as required by Standard A3.1, paragraph 3, of the Convention  
(re-registration or substantial alteration of accommodation) or for other reasons.

海上労働条約

追加の検査  
(必要な場合)  
署名.....  
(権限を与えられた職員の名)

場所.....  
日.....  
(必要に応じて、証書を発給する当局の印章)

追加の検査  
(必要な場合)  
署名.....  
(権限を与えられた職員の名)

場所.....  
日.....  
(必要に応じて、証書を発給する当局の印章)

追加の検査  
(必要な場合)  
署名.....  
(権限を与えられた職員の名)

場所.....  
日.....  
(必要に応じて、証書を発給する当局の印章)

注 1 国際海事機関によって採択されたトン数の測定に関する暫定的な制度の対象となる船舶については、総トン数は、国際トン数證書  
(1969年)の備考欄に記載されるものとする。条約第2条1(c)参照

注 2 「船舶所有者」とは、船舶の所有者又は管理人、代理人、操縦船者その他の当該所有者以外の団体若しくは個人であって、当該所有者から船舶の運転に係る責任を引き受け、かつ、その引受けに照して、条約に従って船舶所有者に課される義務及び責任を引き継ぐことに同意したものをいう。この場合において、別の団体又は個人が船舶所有者の義務又は責任の一部を果たすか否かを問わな  
い。条約第2条1(j)参照

Additional inspection:  
(if required)  
Signed .....  
(Signature of authorized official)

Place .....  
Date .....  
(Seal or stamp of the authority,  
as appropriate)

Additional inspection:  
(if required)  
Signed .....  
(Signature of authorized official)

Place .....  
Date .....  
(Seal or stamp of the authority,  
as appropriate)

Additional inspection:  
(if required)  
Signed .....  
(Signature of authorized official)

Place .....  
Date .....  
(Seal or stamp of the authority,  
as appropriate)

<sup>1</sup> For ships covered by the tonnage measurement interim scheme adopted by the IMO, the gross tonnage is that which is included in the REMARKS column of the International Tonnage Certificate (1969). See Article II(f)(c) of the Convention.

<sup>2</sup> Shipowner means the owner of the ship or another organization or person, such as the manager, agent or bareboat charterer, who has assumed the responsibility for the operation of the ship from the owner and who, on assuming such responsibility, has agreed to take over the duties and responsibilities imposed on shipowners in accordance with this Convention, regardless of whether any other organizations or persons fulfil certain of the duties or responsibilities on behalf of the shipowner. See Article II(f)(j) of the Convention.

2006年の海上の労働に関する条約

海上労働遵守措置認定書 第1部

(注 この船舶の海上労働証書に添付しなければならない。)

(上記の条約の第2条1(a)に定める権限のある機関の名前を記入すること。)

2006年の海上の労働に関する条約に関し、次の船舶は、同条約のA5.1.3基準の規定に従って維持されている。

船名	国際海事機関船舶識別番号	総トン数

署名者は、上記の権限のある機関に代わって次のとおり宣言する。

- (a) 2006年の海上の労働に関する条約の関連規定は、次の1から14までに掲げる国内的な要件によって完全に具体化されている。
  - (b) (a)に規定する国内的な要件は、次の1から14までに引用する国内法規に規定されている。必要に応じ、当該国内法規の内容に関する説明を記載している。
  - (c) 第6条3及び4の規定に基づく実質的に同等な規定の詳細は、次の1から14までに掲げる国内的な要件の項目のうち、対応するものにこの目的のために設けた下欄に(く)の記述のうち、該当しないものを抹消すること。)記載している。
  - (d) 第3章の規定に基づき権限のある機関によって認められた適用除外は、この目的のために設けた下欄に明確に記載している。
  - (e) 国内法令に基づく船舶の種類に特有の要件についても、関係する国内的な要件の項目において引用している。
- 1 最低年齢 (第1.1規則)

2 健康証明書 (第1.2規則)

3 船員の資格 (第1.3規則)

Maritime Labour Convention, 2006

Declaration of Maritime Labour Compliance – Part I

(Note: This Declaration must be attached to the ship's Maritime Labour Certificate)

Issued under the authority of: ..... (insert name of competent authority as defined in Article II, paragraph 1(a), of the Convention)  
With respect to the provisions of the Maritime Labour Convention, 2006, the following referenced ship:

Name of ship	IMO number	Gross tonnage

is maintained in accordance with Standard A5.1.3 of the Convention.

The undersigned declares, on behalf of the abovementioned competent authority, that:

- (a) the provisions of the Maritime Labour Convention are fully embodied in the national requirements referred to below;
  - (b) these national requirements are contained in the national provisions referenced below; explanations concerning the content of those provisions are provided where necessary;
  - (c) the details of any substantial equivalencies under Article VI, paragraphs 3 and 4, are provided <under the corresponding national requirement listed below> <in the section provided for this purpose below> (strike out the statement which is not applicable);
  - (d) any exemptions granted by the competent authority in accordance with Title 3 are clearly indicated in the section provided for this purpose below; and
  - (e) any ship-type specific requirements under national legislation are also referenced under the requirements concerned.
1. Minimum age (Regulation 1.1) .....

2. Medical certification (Regulation 1.2) .....

3. Qualifications of seafarers (Regulation 1.3) .....



- 4 船員の雇用契約 (第2.1規則) .....
- 5 免許を与えられ、資格証明を受け、又は規制された民間の船員の募集及び職業紹介のための機関の利用 (第1.4規則) .....
- 6 労働時間及び休息時間 (第2.3規則) .....
- 7 船舶の配乗の水準 (第2.7規則) .....
- 8 居住設備 (第3.1規則) .....
- 9 船舶におけるレクリエーション用の設備 (第3.1規則) .....
- 10 食料及び料理の提供 (第3.2規則) .....
- 11 健康及び安全並びに災害の防止 (第4.3規則) .....
- 12 船舶における医療 (第4.1規則) .....
- 13 船舶内における苦情に関する手続 (第5.1.5規則) .....
- 14 賃金の支払 (第2.2規則) .....

氏名 .....

肩書 .....

署名 .....

場所 .....

日 .....

(必要に応じて、権限のある機関の印章)

実質的に同等な規定

(注 該当しない記述を抹消すること。)

1 から14までの項目に記載したものを除くほか、2006年の海上の労働に関する条約第6条3及び4に規定する実質的に同等な規定を次に記載する。(適当な場合には説明を挿入すること。)

.....

4. Seafarers' employment agreements (Regulation 2.1) .....
5. Use of any licensed or certified or regulated private recruitment and placement service (Regulation 1.4) .....
6. Hours of work or rest (Regulation 2.3) .....
7. Manning levels for the ship (Regulation 2.7) .....
8. Accommodation (Regulation 3.1) .....
9. On-board recreational facilities (Regulation 3.1) .....
10. Food and catering (Regulation 3.2) .....
11. Health and safety and accident prevention (Regulation 4.3) .....
12. On-board medical care (Regulation 4.1) .....
13. On-board complaint procedures (Regulation 5.1.5) .....
14. Payment of wages (Regulation 2.2) .....

Name: .....

Title: .....

Signature: .....

Place: .....

Date: .....

(Seal or stamp of the authority, as appropriate)

Substantial equivalencies

(Note: Strike out the statement which is not applicable)

The following substantial equivalencies, as provided under Article VI, paragraphs 3 and 4, of the Convention, except where stated above, are noted (insert description if applicable):

.....

実質的に同等な規定による実施は、認められなかった。

氏名 .....  
肩書 .....  
署名 .....  
場所 .....  
日 .....  
(必要に応じて、権限のある機関の印章)

適用除外

(注 該当しない記述を抹消すること。)

2006年の海上の労働に関する条約第3章の規定に基づいて権限のある機関が認めた適用除外を次に記載する。

適用除外は、認められなかった。

氏名 .....  
肩書 .....  
署名 .....  
場所 .....  
日 .....  
(必要に応じて、権限のある機関の印章)

No equivalency has been granted.

Name: .....  
Title: .....  
Signature: .....  
Place: .....  
Date: .....  
(Seal or stamp of the authority,  
as appropriate)

Exemptions

(Note: Strike out the statement which is not applicable)

The following exemptions granted by the competent authority as provided in Title 3 of the Convention are noted:

No exemption has been granted.

Name: .....  
Title: .....  
Signature: .....  
Place: .....  
Date: .....  
(Seal or stamp of the authority,  
as appropriate)

検査から次の検査までの間において継続的な遵守を確保するためにとる措置

次の措置は、検査から次の検査までの間において継続的な遵守を確保するため、この海上労働遵守措置認定書を添付する海上労働証書に氏名又は名称が記載されている船舶所有者がとることとした。

(第I部の各項目の遵守を確保することとした措置を次の1から14までに記載すること。)

- |    |   |                          |
|----|---|--------------------------|
| 1  | 最低年齢 (第1.1規則)   | <input type="checkbox"/> |
| 2  | 健康証明書 (第1.2規則)  | <input type="checkbox"/> |
| 3  | 船員の資格 (第1.3規則)  | <input type="checkbox"/> |
| 4  | 船員の雇用契約 (第2.1規則)  | <input type="checkbox"/> |
| 5  | 免許を与えられ、資格証明を受け、又は規制された民間の船員の募集及び職業紹介のための機関の利用 (第1.4規則) | <input type="checkbox"/> |
| 6  | 労働時間及び休息時間 (第2.3規則)                                     | <input type="checkbox"/> |
| 7  | 船舶の配乗の水準 (第2.7規則)                                       | <input type="checkbox"/> |
| 8  | 居住設備 (第3.1規則)   | <input type="checkbox"/> |
| 9  | 船舶におけるレクリエーション用の設備 (第3.1規則)                             | <input type="checkbox"/> |
| 10 | 食料及び料理の提供 (第3.2規則)                                      | <input type="checkbox"/> |

*Measures adopted to ensure ongoing compliance between inspections*

The following measures have been drawn up by the shipowner, named in the Maritime Labour Certificate to which this Declaration is attached, to ensure ongoing compliance between inspections:

*(State below the measures drawn up to ensure compliance with each of the items in Part I)*

- |     |  |                          |
|-----|--|--------------------------|
| 1.  | Minimum age (Regulation 1.1)   | <input type="checkbox"/> |
| 2.  | Medical certification (Regulation 1.2)   | <input type="checkbox"/> |
| 3.  | Qualifications of seafarers (Regulation 1.3)   | <input type="checkbox"/> |
| 4.  | Seafarers' employment agreements (Regulation 2.1)  | <input type="checkbox"/> |
| 5.  | Use of any licensed or certified or regulated private recruitment and placement service (Regulation 1.4) | <input type="checkbox"/> |
| 6.  | Hours of work or rest (Regulation 2.3)   | <input type="checkbox"/> |
| 7.  | Manning levels for the ship (Regulation 2.7)   | <input type="checkbox"/> |
| 8.  | Accommodation (Regulation 3.1)   | <input type="checkbox"/> |
| 9.  | On-board recreational facilities (Regulation 3.1)  | <input type="checkbox"/> |
| 10. | Food and catering (Regulation 3.2)   | <input type="checkbox"/> |

- 11 健康及び安全並びに災害の防止 (第4.3規則) ☐
- 12 船舶における医療 (第4.1規則) ☐
- 13 船舶内における苦情に関する手続 (第5.1.5規則) ☐
- 14 賃金の支払 (第2.2規則) ☐

第1部に掲げる要件に関し、検査から次の検査までの間において継続的な遵守を確保するため、上記の措置をとることとしたことをここに証明する。

船舶所有者 (注) の氏名又は名称  
.....  
会社の住所  
.....  
権限を与えられた署名者の氏名  
.....  
肩書  
.....  
権限を与えられた署名者の署名  
.....  
日  
.....  
(船舶所有者 (注) の印章)

上記の措置は、(権限のある機関又は正当に認定された団体の名称を挿入すること。) により検討され、船舶の検査の後、この海上労働遵守措置認定書の第1部に掲げる要件の当初の及び継続的な遵守を確保するための措置に関しA5.1.3基準10(b)に定める目的に合致すると判断された。

氏名 .....

11. Health and safety and accident prevention (Regulation 4.3) ☐
12. On-board medical care (Regulation 4.1) ☐
13. On-board complaint procedures (Regulation 5.1.5) ☐
14. Payment of wages (Regulation 2.2) ☐

I hereby certify that the above measures have been drawn up to ensure ongoing compliance, between inspections, with the requirements listed in Part I.

Name of shipowner:1) .....  
.....  
Company address: .....  
.....  
Name of the authorized signatory: .....  
.....  
Title: .....  
.....  
Signature of the authorized signatory: .....  
.....  
Date: .....  
.....  
(Stamp or seal of the shipowner1)

The above measures have been reviewed by *(insert name of competent authority or duly recognized organization)* and, following inspection of the ship, have been determined as meeting the purposes set out under Standard A5.1.3, paragraph 10(b), regarding measures to ensure initial and ongoing compliance with the requirements set out in Part I of this Declaration.

Name: .....

肩書.....  
住所.....  
.....  
.....  
署名.....  
場所.....  
日.....  
(必要に応じて、権限のある機関の印章)

注 「船舶所有者」とは、船舶の所有者又は管理人、代理人、操縦<sup>2</sup>者その他の当該所有者以外の団体若しくは個人であつて、当該所有者から船舶の運航に係る責任を引き受け、かつ、その引受けに際して、2006年の海上の労働に関する条約に従つて船舶所有者に課される義務及び責任を引き継ぐことに同意したものをいう。この場合において、別の団体又は個人が船舶所有者の義務又は責任の一部を果たすか否かを問わない、同条約第2条1(i)参照

Title: .....  
Address: .....  
.....  
.....  
Signature: .....  
Place: .....  
Date: .....  
(Seal or stamp of the authority,  
as appropriate)

<sup>1</sup> *Shipowner* means the owner of the ship or another organization or person, such as the manager, agent or bareboat charterer, who has assumed the responsibility for the operation of the ship from the owner and who, on assuming such responsibility, has agreed to take over the duties and responsibilities imposed on shipowners in accordance with this Convention, regardless of whether any other organizations or persons fulfil certain of the duties or responsibilities on behalf of the shipowner. See Article II(1)(j) of the Convention.



暫定的な海上労働証書

2006年の海上の労働に関する条約（以下「条約」という。）第5条及び第5章の規定に基づき、

(船舶の旗国の正式名称)

政府の権限の下に、

(権限のある機関又は条約に基づき正当に権限を与えられた認定された団体の正式名称及び住所)

が発給する。

船舶の要目

船名	
船舶番号又は信号符字	
船籍港	
登録日	
総トン数 (注1)	
国際海事機関船舶識別番号	
船舶の種類	
船舶所有者の氏名又は名称及び住所 (注2)	

この証書は、条約A5.1.3基準7の規定の適用上、次のことを証明する。

- (a) 条約付録A5-1に掲げる事項について、(b)から(d)までに規定する事項の確認を考慮しつつ、合理的かつ実行可能な限り、この船舶を検査したこと。
- (b) 船舶所有者が権限のある機関又は認定された団体に対し、この船舶が条約を遵守するための適切な手続を有することを証明したこと。
- (c) 船長が条約上の義務及び実施に係る責任に精通していること。
- (d) 関連する情報が海上労働遵守措置認定書を作成するために権限のある機関又は認定された団体に提出されたこと。

Interim Maritime Labour Certificate

Issued under the provisions of Article V and Title 5 of the  
Maritime Labour Convention, 2006  
(referred to below as "the Convention")  
under the authority of the Government of:

(full designation of the State whose flag the ship is entitled to fly)

by .....  
(full designation and address of the competent authority or recognized organization  
duly authorized under the provisions of the Convention)

Particulars of the ship

Name of ship	.....
Distinctive number or letters	.....
Port of registry	.....
Date of registry	.....
Gross tonnage <sup>1</sup>	.....
IMO number	.....
Type of ship	.....
Name and address of the shipowner <sup>2</sup>	.....

- This is to certify, for the purposes of Standard A5.1.3, paragraph 7, of the Convention, that:
- (a) this ship has been inspected, as far as reasonable and practicable, for the matters listed in Appendix A5-1 to the Convention, taking into account verification of items under (b), (c) and (d) below;
  - (b) the shipowner has demonstrated to the competent authority or recognized organization that the ship has adequate procedures to comply with the Convention;
  - (c) the master is familiar with the requirements of the Convention and the responsibilities for implementation; and
  - (d) relevant information has been submitted to the competent authority or recognized organization to produce a Declaration of Maritime Labour Compliance.

この証書は、条約A5.1.3基準及びA5.1.4基準の規定に基づく検査が行われることを条件として、  
.....  
まで効力を有する。

(a)に規定する検査の完了の日は、.....である。  
.....において.....に発給した。

暫定的な証書の発給について正当に権限を与えられた職員の名  
.....  
(必要に応じて、証書を発給する当局の印章)

注1 国際海事機関によって採択されたトン数の測定に関する暫定的な制度の対象となる船舶については、総トン数は、国際トン数証書  
(1969年)の備考欄に記載されるものとする。条約第2条1(c)参照

注2 「船舶所有者」とは、船舶の所有者又は管理人、代理人、操縦<sup>上</sup>船者その他の当該所有者以外の関係者しくは個人であつて、当該  
所有者から船舶の運転に係る責任を引き受け、かつ、その引受けに照して、条約に従つて船舶所有者に課される義務及び責任を引き  
継ぐことに同意したものをいう。この場合において、別の団体又は個人が船舶所有者の義務又は責任の一部を果たすか否かを問わな  
い。条約第2条1(d)参照

This Certificate is valid until ..... subject to inspections in accordance with  
Standards A5.1.3 and A5.1.4.

Completion date of the inspection referred to under (a) above was .....  
Issued at ..... on .....  
Signature of the duly authorized official .....  
issuing the interim certificate .....  
(Seal or stamp of issuing authority, as appropriate)

<sup>1</sup> For ships covered by the tonnage measurement interim scheme adopted by the IMO, the gross tonnage is that  
which is included in the REMARKS column of the International Tonnage Certificate (1969). See Article II(1)(c) of  
the Convention.

<sup>2</sup> *Shipowner* means the owner of the ship or another organization or person, such as the manager, agent or bare-  
boat charterer, who has assumed the responsibility for the operation of the ship from the owner and who, on assuming  
such responsibility, has agreed to take over the duties and responsibilities imposed on shipowners in accordance with  
this Convention, regardless of whether any other organizations or persons fulfil certain of the duties or responsibilities  
on behalf of the shipowner. See Article II(1)(j) of the Convention.

A 5.2.1 基準の規定に基づく寄港国による検査を行う加盟国の港において、権限のある職員による一層詳細な検査の対象となる一般的な分野は、次に掲げるものとする。

- 最低年齢
- 健康証明書
- 船員の資格
- 船員の雇用契約
- 免許を与えられ、資格証明を受け、又は規制された民間の船員の募集及び職業紹介のための機関の利用
- 労働時間及び休息时间
- 船舶の配乗の水準
- 居住設備
- 船舶におけるレクリエーション用の設備
- 食料及び料理の提供
- 健康及び安全並びに災害の防止
- 船舶における医療
- 船舶内における苦情に関する手続
- 賃金の支払

General areas that are subject to a detailed inspection by an authorized officer in a port of a Member carrying out a port State inspection pursuant to Standard A5.2.1:

- Minimum age
- Medical certification
- Qualifications of seafarers
- Seafarers' employment agreements
- Use of any licensed or certified or regulated private recruitment and placement service
- Hours of work or rest
- Manning levels for the ship
- Accommodation
- On-board recreational facilities
- Food and catering
- Health and safety and accident prevention
- On-board medical care
- On-board complaint procedures
- Payment of wages

海上労働条約

付録 B 五

付録 B 五 – 1 各国における海上労働遵守措置認定書の記載の例

B5.1.3 指示を参照する。

2006 年の海上の労働に関する条約  
海上労働遵守措置認定書 第 1 部

(注 この船舶の海上労働証書に添付しなければならない。)

××× 国海上運送省の権限の下に発給する。

2006 年の海上の労働に関する条約に関し、次の船舶は、同条約の A5.1.3 基準の規定に従って維持されている。

船名	国際海事機関船舶識別番号	総トン数
機船 例丸	12345	1,000

署名者は、上記の権限のある機関に代わって次のとおり宣言する。

- (a) 2006 年の海上の労働に関する条約の関連規定は、次の 1 から 14 までは掲げる国内的な要件によって完全に具体化されている。
- (b) (a) に規定する国内的な要件は、1 から 14 までは引用する国内法規に規定されている。必要に応じ、当該国内法規の内容に関する説明を記載している。
- (c) 第 6 条 3 及び 4 の規定に基づく実質的に同等な規定の詳細は、次の 1 から 14 までは掲げる国内的な要件の項目のうち、対応するものにこの目的のために設けた下欄に（<> の記述のうち、該当しないものを抹消すること。）記載している。
- (d) 第 3 章の規定に基づき権限のある機関によって認められた適用除外は、この目的のために設けた下欄に明確に記載している。
- (e) 国内法令に基づく船舶の種類に特有の要件についても、関係する国内的な要件の項目において引用している。

APPENDIX B5-1 – EXAMPLE OF A NATIONAL DECLARATION

See Guideline B5.1.3, paragraph 5

Maritime Labour Convention, 2006

Declaration of Maritime Labour Compliance – Part I

(Note: This Declaration must be attached to the ship's Maritime Labour Certificate)

Issued under the authority of: **The Ministry of Maritime Transport of XXXXX**

With respect to the provisions of the Maritime Labour Convention, 2006, the following referenced ship:

Name of ship	IMO number	Gross tonnage
M.S. EXAMPLE	12345	1,000

is maintained in accordance with Standard A5.1.3 of the Convention.

- The undersigned declares, on behalf of the abovementioned competent authority, that:
- (a) the provisions of the Maritime Labour Convention are fully embodied in the national requirements referred to below;
- (b) these national requirements are contained in the national provisions referenced below; explanations concerning the content of those provisions are provided where necessary;
- (c) the details of any substantial equivalencies under Article VI, paragraphs 3 and 4, are provided <under the corresponding national requirement listed below> <in the section provided for this purpose below> (strike out the statement which is not applicable);
- (d) any exemptions granted by the competent authority in accordance with Title 3 are clearly indicated in the section provided for this purpose below; and
- (e) any ship-type specific requirements under national legislation are also referenced under the requirements concerned.

1 最低年齢 (第1.1規則)

改正された海運法 (1905年法律第123号) (以下「法律」という。) 第10章、2006年の海運規則 (以下「規則」という。) 第111号から第122号まで  
最低年齢は、2006年の海上の労働に関する条約に規定する年齢である。

「夜間」とは、海上運送省 (以下「省」という。) が異なる期間を承認する場合を除くほか、午後9時から午前6時までをいう。

18歳以上の者に限定される危険な労働の例は、この海上労働遵守措置認定書の附属書Aに掲げる。貨物船の場合には、18歳未満の者は、船舶の配置図 (この海上労働遵守措置認定書に添付する。) に「危険区域」として記載された区域で働くことができない。

2 健康証明書 (第1.2規則)

法律第11章、規則第1223号から第1233号まで

健康証明書は、適用可能な場合には、改正された1978年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約に定める要件に従うものとする。その他の場合には、当該要件が必要な調整を行った上で適用される。

資格を有する眼鏡技師であって、省が承認した名簿に記載されたものは、視力に関する証明書を発給することができる。

健康検査は、B1.2.1指針に規定する国際労働機関及び世界保健機関の指針に従って行われる。

1. Minimum age (Regulation 1.1)

Shipping Law, No. 123 of 1905, as amended ("Law"), Chapter X: Shipping Regulations ("Regulations"), 2006, Rules 1111-1222.

Minimum ages are those referred to in the Convention.

"Night" means 9 p.m. to 6 a.m., unless the Ministry of Maritime Transport ("Ministry") approves a different period.

Examples of hazardous work restricted to 18-year-olds or over are listed in Schedule A hereto. In the case of cargo ships, no one under 18 may work in the areas marked on the ship's plan (to be attached to this Declaration) as "hazardous area".

2. Medical certification (Regulation 1.2)

Law, Chapter XI: Regulations, Rules 1223-1233.

Medical certificates shall conform to the STCW requirements, where applicable; in other cases, the STCW requirements are applied with any necessary adjustments.

Qualified opticians on list approved by Ministry may issue certificates concerning eyesight.

Medical examinations follow the ILO/WHO Guidelines referred to in Guideline B1.2.1



検査から次の検査までの間において継続的な遵守を確保するためにとる措置

次の措置は、検査から次の検査までの間において継続的な遵守を確保するため、この海上労働遵守措置認定書を添付する海上労働証書に氏名又は名称が記載されている船舶所有者がとることとした。

(第I部の各項目の遵守を確保するためにとることとした措置を次の1から14までに記載すること。)

1. 最低年齢 (第1.1規則)

各船員の生年月日は、乗組員名簿上の当該船員の氏名の次に記載する。

乗組員名簿は、各航行の開始時に、船長又はこれに代わって行動する職員 (以下「権限のある職員」という。) が確認し、確認した日を記録する。

18歳未満の船員は、雇用の時に、当該船員が夜間の労働、危険であるとして明示的に掲げる労働 (第I部1参照) その他の危険な労働を行うことが禁じられること及び疑義がある場合には権限のある職員に相談することを要求されることが記載された書簡を受領する。当該書簡の写しは、「受領し、及び確認した。」という記載の下に当該船員に署名させ、及びその署名の日付を記載させた上で権限のある職員が保管する。

2 健康証明書 (第1.2規則)

健康証明書は、権限のある職員の責任の下で準備され、並びに船舶内の各船員についてその職務、最新の健康証明書の日付及び当該証明書に記載された健康状態を明記した一覧表とともに、権限のある職員が厳格に秘密のものとして保管する。

船員が特定の職務について医学上適しているか否かにつき疑義がある場合には、権限のある職員は、当該船員の医師その他の資格を有する医師に相談し、当該医師の所見の概要、当該医師の氏名及び電話番号並びに相談した日付を記録する。

Measures adopted to ensure ongoing compliance between inspections

The following measures have been drawn up by the shipowner, named in the Maritime Labour Certificate to which this Declaration is attached, to ensure ongoing compliance between inspections:

(State below the measures drawn up to ensure compliance with each of the items in Part I)

1. Minimum age (Regulation 1.1)

Date of birth of each seafarer is noted against his/her name on the crew list.

The list is checked at the beginning of each voyage by the master or officer acting on his or her behalf ("competent officer"), who records the date of such verification.

Each seafarer under 18 receives, at the time of engagement, a note prohibiting him/her from performing night work or the work specifically listed as hazardous (see Part I, section 1, above) and any other hazardous work, and requiring him/her to consult the competent officer in case of doubt. A copy of the note, with the seafarer's signature under "received and read", and the date of signature, is kept by the competent officer.

2. Medical certification (Regulation 1.2)

The medical certificates are kept in strict confidence by the competent officer, together with a list, prepared under the competent officer's responsibility and stating for each seafarer on board: the functions of the seafarer, the date of the current medical certificate(s) and the health status noted on the certificate concerned.

In any case of possible doubt as to whether the seafarer is medically fit for a particular function or functions, the competent officer consults the seafarer's doctor or another qualified practitioner and records a summary of the practitioner's conclusions, as well as the practitioner's name and telephone number and the date of the consultation.

以上は、国際労働機関の総会が、ジュネーブで開催されて二千六年二月二十三日に閉会を宣言されたその第九十四回会期において、正当に採択した条約の真正な本文である。

以上の証拠として、我々は、二千六年二月二十三日に署名した。

総会議長

ジャン＝マルク・シンドラー

国際労働事務局長

ホアン・ソマビア

The foregoing is the authentic text of the Convention duly adopted by the General Conference of the International Labour Organization during its Ninety-fourth Session which was held at Geneva and declared closed the 23 February 2006.

IN FAITH WHEREOF we have appended our signatures this twenty-third day of February 2006.

*The President of the Conference,*

JEAN-MARC SCHINDLER

*The Director-General of the International Labour Office,*

JUAN SOMAVIA

（参考）

この条約は、国際労働機関（ILO）において採択された船員に関する既存の国際労働基準を統合し、国際的に広く受け入れられるべき労働基準を設定するとともに、その実効性を高めるため、寄港国による検査等の措置について定めるものである。